

FAX System(W)

使用説明書



使用説明書 メニュー

目次・索引から選ぶ

 目次から選ぶ 索引から選ぶ

目的で選ぶ

 送信する ファクスを設定する 受信する べんりな機能を使う 通信を中止する トラブルが発生した 宛先を登録する リスト / レポート
を表示 / 印刷する

送信する

- ▶ 基本的な送信のしかた
- ▶ 同報送信
- ▶ リダイヤルを使う
- ▶ ダイレクト送信
- ▶ 手動送信
- ▶ 手動送信(ハンドセット/外付け電話併用)
- ▶ タイマー送信
- ▶ 送信予約
- ▶ 割り込み送信
- ▶ Fコード送信する

受信する

- ▶ 受信方法の種類
- ▶ ファクス専用自動受信
- ▶ 手動受信
- ▶ 手動受信(ハンドセット/外付け電話併用)
- ▶ ファクス/電話自動切替受信
- ▶ ファクス/留守番電話自動切替受信
- ▶ リモート切替機能
- ▶ Fコード受信する
- ▶ メモリー転送
- ▶ ポーリング通信
- ▶ 両面印刷
- ▶ 2in1印刷
- ▶ 縮小受信
- ▶ 使用禁止時間

通信を中止する

- ▶ 送信を中止する
- ▶ ダイレクト送信の中止
- ▶ タイマー送信(待機中)の中止と即時送信
- ▶ 受信を中止する(通信の切断)
- ▶ ポーリング送信の中止

宛先を登録する

- ▶ アドレス帳の登録
- ▶ ワンタッチキーの登録
- ▶ プログラムダイヤルを使う
- ▶ 文字の入力方法

ファクスを設定する

▶ 簡単セットアップ(ファクスのセットアップ)

- ▶ 回線設定
- ▶ 受信方式
- ▶ 自局名登録
- ▶ 自局名登録(フリガナ)
- ▶ 自局ファクス番号
- ▶ 自局ファクスID
- ▶ 発信元記録
- ▶ スピーカー音量
- ▶ モニター音量
- ▶ ベル回数(普通)
- ▶ ベル回数(留守番電話)
- ▶ ベル回数(ファクス/電話切替)
- ▶ 排紙先
- ▶ 縮小受信
- ▶ リダイヤル回数
- ▶ Fネット無鳴動受信

▶ 日付と時刻の設定

▶ 管理機能

- ▶ ファクス/電話自動切替受信
- ▶ ファクス/留守番電話自動切替受信
- ▶ 手差しトレイ設定
- ▶ ファクススピーカー音量
- ▶ ファクスモニター音量
- ▶ リモート診断
- ▶ 両面印刷
- ▶ 2in1印刷
- ▶ リモート切り替えダイヤル
- ▶ ファクス番号のテンキー入力の禁止
- ▶ 受信日時記録
- ▶ 受信用紙種類
- ▶ Fネット無鳴動受信
- ▶ ダイヤルイン
- ▶ 送受信制限
- ▶ 暗号通信

べんりな機能を使う

- ▶ チェーンダイヤルを使う
- ▶ メモリー転送
- ▶ プログラムダイヤルを使う
- ▶ ポーリング通信
- ▶ インターネットファクス
- ▶ Network FAX

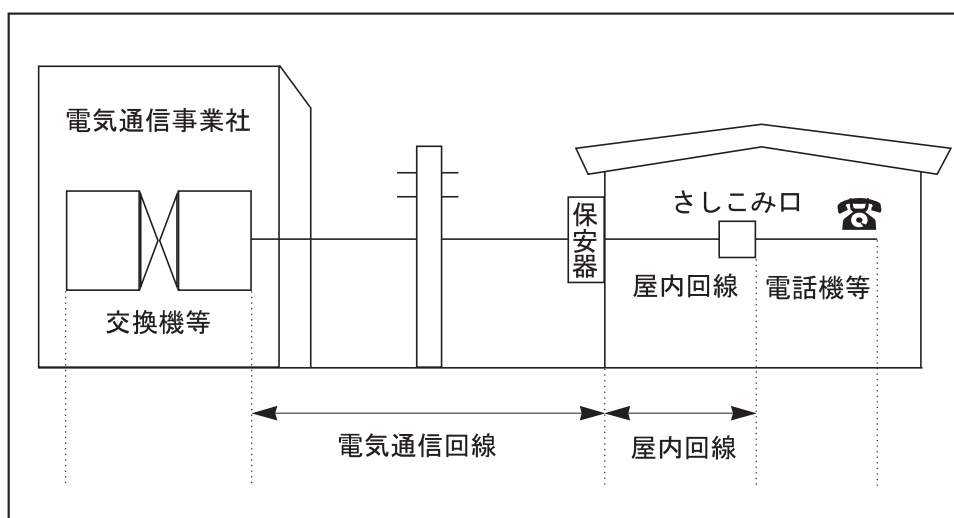
トラブルが発生した

- ▶ 送/受信中のランプ表示について
- ▶ 電源を切るときの注意
- ▶ こんな表示が出たら
- ▶ エラーコード一覧表
- ▶ トラブルが発生した場合

リスト / レポートを表示 / 印刷する

- ▶ アドレス帳の登録
- ▶ 通信結果や登録した内容を確認する
- ▶ ファクスジョブの送信/受信履歴を確認する
- ▶ 管理レポートを印刷する
- ▶ 通信管理レポート
- ▶ ステータスページ

[電気通信回線への接続方法]



IP 電話回線のご使用について

ブロードバンド通信網（光ファイバー、CATV、ADSLなど）によるIP電話回線をご利用になるときは、送/受信が正常に行えないことがあります。その場合は、ご加入の回線事業者へお問い合わせください。

参考

一時的な回避方法として、送信設定の[送信開始速度]や受信設定の[受信開始速度]の設定値を変更すると送/受信できる場合があります。[6-8ページの送信開始速度を設定する【送信開始速度】](#)または[6-26ページの受信開始速度を設定する【受信開始速度】](#)を参照してください。

ナンバーディスプレイをご契約されている際の注意について

本製品はナンバーディスプレイ表示に対応していないため、ナンバーディスプレイサービスはご利用いただけません。また、受信が正常に行えないことがあります。一時的な回避方法として、ナンバーディスプレイの設定を[契約している]に変更すると受信できる場合があります。いずれにしても、利用の如何にかかわらずナンバーディスプレイ料金が発生しますので、サービス提供会社にご連絡ください。

 [2-2ページの簡単セットアップ\(ファクスのセットアップ\)](#)を参照してください。

ファクスキットについて

本FAX System(W)は弊社製複合機(TASKalfaシリーズ)の対応機種で使用できます。

対応機種については、複合機のカatalogまたは説明書等をご確認ください。

商標について

- Microsoft、MS-DOSおよびWindowsは、Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。
- Adobe Acrobat、Adobe Reader、PostScriptは、Adobe Systems, Incorporated (アドビシステムズ社)の商標です。
- Ethernetは、ゼロックス社の登録商標です。
- IBMおよびIBM PC/ATは、米国International Business Machines Corporationの商標です。

その他、本使用説明書中に記載されている会社名や製品名は、各社の商標または登録商標です。なお、本文中には™および®は明記していません。

本書中の注意表示について

この使用説明書は、ファクスを良好な状態でご使用いただくために、正しい操作方法・日常の手入れおよび簡単なトラブルの処置などができるようにまとめたものです。

ご使用前に必ずこの使用説明書をお読みください。また、お読みになった後は、本製品の近くに大切に保管してください。

この使用説明書及び本製品への表示では、本製品を正しくお使い頂き、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。

 警告：この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

 注意：この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示

△記号は注意(危険・警告を含む)を促す内容があることを告げるものです。図の中に具体的な注意内容が描かれています。

 「注意一般」、 「高温注意」

⊘記号は禁止の行為であることを告げるものです。図の中に具体的な禁止内容が描かれています。

 「禁止一般」、 「分解禁止」

●記号は行為を規制したり指示する内容を告げるものです。図の中に具体的な指示内容が描かれています。

 「強制一般」、 「電源プラグをコンセントから抜け」、 「必ずアース線を接続せよ」

本製品使用時の汚れなどによって本使用説明書の注意・警告事項が判読できない場合や、本使用説明書を紛失した場合には、弊社製品取り扱い店等へご連絡の上、新しい使用説明書を入手してください。(有償)

〈お願い〉

使用説明書の内容は、機械性能改善のために、予告なく変更する場合がありますので御了承ください。

目次

本書中の注意表示について	iii
目次	v
安全に正しくお使いいただくために	ix
本書の構成・表記について	x
1 各部の名称とはたらき	1-1
操作パネル	1-2
本体	1-3
2 使用前の準備	2-1
簡単セットアップ(ファクスのセットアップ)	2-2
日付と時刻を設定する	2-4
アドレス帳を使う	2-6
ワンタッチキーを使う	2-16
3 ファクスの操作方法(基本編)	3-1
[エンター]キー、[短縮]キーについて	3-2
自動送信する	3-4
自動受信する(ファクス専用自動受信)	3-13
通信を中止する	3-15
宛先をアドレス帳から選ぶ	3-18
宛先をワンタッチキーで選ぶ	3-21
番号キーを使う	3-21
同じ相手に再送信する(リダイヤル)	3-22
送信する原稿のイメージを確認する	3-23
簡単設定画面について	3-25
ショートカット登録	3-27
4 ファクスの操作方法(応用編)	4-1
長い原稿を読み込む【長尺原稿】	4-2
時刻を指定して送信する【タイマー送信】	4-3
1回の操作でたくさんの相手先に送信する【同報送信】	4-7
通信中に別の原稿の送信を予約する【送信予約】	4-10
別の原稿を優先して送信する【割り込み送信】	4-11
特定の局番を省略して送信する【チェーンダイヤル】	4-12
相手先に電話して手動で送信する【手動送信】	4-14
送られてきたファクスを手動で受信する【手動受信】	4-15
電話機を操作して受信させる【リモート切替機能】	4-16
受信した文書を条件ごとに印刷/転送する【メモリー転送】	4-18
受信した原稿を管理する【ファクスボックス機能】	4-32
Fコードを使って通信する【Fコード通信】	4-38
送信する相手や設定内容などを登録する【プログラムダイヤル】	4-41
受信側の操作で通信を開始する【ポーリング通信】	4-43
ファクス番号のテンキー入力を禁止する	4-52
ファクスの使用状況などを管理する【管理機能】	4-53
その他の便利な機能	4-56
5 通信結果や登録した内容の確認	5-1
通信結果や登録した内容を確認する	5-2
ファクスジョブの送信/受信履歴を確認する	5-3

	管理レポートを印刷する	5-7
	ファクスの受信結果をメールで知らせる	5-11
	宛先確認画面について	5-12
6	各種設定と登録	6-1
	電話回線の種類を選択する	6-2
	送信したファクスに印刷される発信元記録を設定する	6-3
	発信元の情報を設定する	6-4
	ECM 送信を設定する【ECM 送信】	6-7
	送信開始速度を設定する【送信開始速度】	6-8
	ファクスと電話を自動で切り替える【ファクス / 電話自動切替受信】	6-9
	ファクスと留守番電話を自動で切り替える【ファクス / 留守番電話自動切替受信】	6-11
	呼び出しベルの回数を変更する【ベル回数】	6-13
	スピーカーの音量を調整する【音量調整】	6-14
	ジョブの正常終了音を設定する【正常終了音】	6-15
	リダイヤルする回数を変更する【リダイヤル回数】	6-16
	利用状況に合わせて受信のしかたを切り替える【受信方式】	6-17
	受信した日時や情報などを印刷する【受信日時記録】	6-18
	使用する用紙の種類を限定する【受信用紙種類】	6-19
	手差しトレイの使用 / 不使用を選択する【手差しトレイ受信】	6-21
	ファクス通信網を使用して受信する【F ネット無鳴動受信】	6-22
	1 回線で電話とファクスを使い分ける【ダイヤルイン】	6-23
	ナンバーディスプレイを設定する【ナンバーディスプレイ】	6-24
	ECM 受信を設定する【ECM 受信】	6-25
	受信開始速度を設定する【受信開始速度】	6-26
	通信する相手先を限定する【送受信制限】	6-27
	原稿を暗号化して安全に通信する【暗号通信】	6-35
	用紙サイズより大きい原稿を縮小して受信する【縮小受信】	6-40
	幅が同じ原稿を受信したときは両面に印刷する【両面受信】	6-41
	2 枚の原稿を 1 枚にまとめて受信する【2in1 受信】	6-42
	サービスセンターからの通信で本機を診断する【リモート診断】	6-43
	時間を指定してファクスの印刷を禁止する【使用禁止時間】	6-44
	排紙先を設定する【排紙先】	6-45
7	オプションについて	7-1
	インターネットファクスキット	7-2
	ハンドセット	7-3
	拡張メモリー	7-5
	マルチポートについて	7-5
8	インターネットファクスについて	8-1
	インターネットファクスとは	8-2
	インターネットファクスを設定する	8-5
	インターネットファクス送信	8-8
	インターネットファクス受信	8-13
9	Network FAX について	9-1
	Network FAX とは	9-2
	セットアップする	9-3
	基本的な送信の方法	9-9
	送信設定を変更する	9-16
	送付状を使用する	9-21
	送付状の登録(初期設定)	9-26

	送信の状況を確認する	9-31
10	こんなときには	10-1
	送 / 受信中のランプ表示について	10-2
	電源を切るときの注意	10-3
	こんな表示が出たら	10-4
	トラブルが発生した場合	10-5
11	付録	11-1
	文字の入力方法	11-2
	仕様	11-12
	メニュー構成一覧	11-13
	出荷時設定値一覧表	11-18
	受信サイズと印刷用紙優先順位表	11-21
	区点コード表	11-24
	エラーコード一覧表	11-30
索引		索引 -1



安全に正しくお使いいただくために

本使用説明書について

本使用説明書は、ファクス機能についての説明書です。

ご使用前には必ず本体の**使用説明書**と合わせてお読みいただき、またお読みになった後は機械の近くに大切に保管してください。

ご使用にあたって、次の内容については本体の**使用説明書**をお読みください。

注意ラベル・刻印について
設置環境について
取り扱い上のご注意
用紙の補給
清掃
トナーコンテナと廃棄トナーボックスの交換
トラブルが発生した場合
紙詰まりが発生したら

設置電源について

他の複写機や空調機器と同じ系統の電源は避けてください。

この装置は、クラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。

取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。

VCCI-B

本書の構成・表記について

本書の構成

本説明書は、次の章で構成されています。

章		内容
1	各部の名称とはたらき	本体各部の名称と操作パネルのキー名称を説明しています。
2	使用前の準備	ファクスを使用する前に必要な設定について説明しています。
3	ファクスの操作方法(基本編)	「原稿を送る」、「原稿を受ける」など一般的なファクスの使いかたについて説明しています。
4	ファクスの操作方法(応用編)	送る時刻を指定したり、同じ原稿を複数の相手先に連続して送ったり、次の送信を予約したりなどファクスの便利な機能について説明しています。 また、送信先や受信先を制限したり、受信した原稿を条件ごとに転送/保存/印刷したりなど高度なファクス通信について説明もしています。さらに、他社機と互換性のあるFコード通信機能や、ファクスの通信状況を把握するのに便利な部門管理機能も説明しています。
5	通信結果や登録した内容の確認	最近行われた送/受信の状況をタッチパネルで確認する方法を説明しています。また、通信結果や本機の設定・登録状況を把握するための管理レポート類の印刷方法についても説明しています。
6	各種設定と登録	エラー時に発生するブザー音の音量を調整するなど、機能に関する各種の設定や登録について説明しています。
7	オプションについて	オプションのインターネットファクスキット、ハンドセット、拡張メモリー、およびマルチポートについての紹介と、オプション機器を装着した場合の操作方法について説明しています。
8	インターネットファクスについて	インターネットファクス機能を使用する方法や、インターネットファクスに必要な設定について説明しています。 * i-ファクスはインターネットファクスと読み替えてください。
9	Network FAXについて	Network FAX機能を使用する方法について説明しています。
10	こんなときには	エラーが表示されたときやトラブルが発生したときの対処方法を説明しています。
11	付録	文字の入力方法や本製品の仕様などについて説明しています。

本書の読みかた

本書中では、説明の内容によって、次のように表記しています。

表記	説明	表記例
[太字]	操作パネル上のキーおよびパソコン画面に表示されるボタンやメッセージを示します。	[スタート]キーを押します。 [OK]ボタンをクリックします。
[太字]	タッチパネル上のキーを示します。	[OK]を押します。
「標準」	タッチパネルに表示されるメッセージを示します。	「コピーできます。」が表示されます。
参考	補足説明や操作の参考となる情報が書かれています。	 参考
重要	トラブルを防止するために、必ず守っていただきたい事項や禁止事項が書かれています。	 重要

操作手順の表記について

本書中では、タッチパネルのキーを連続して操作する手順を、次のように→でつないで表記しています。

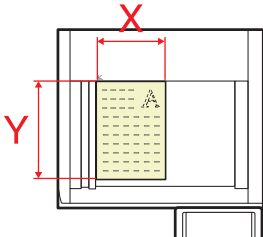
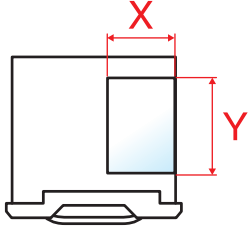
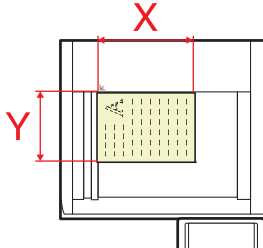
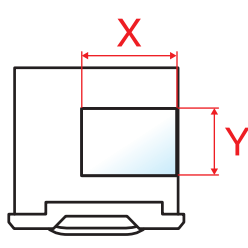
実際の手順	本書の表記
[ファクス]を押す ▼ 「送信設定」の[次へ]を押す ▼ 「基本設定」の[次へ]を押す ▼ 「発信元記録」の[変更]を押す	[ファクス]→「送信設定」の[次へ]→「基本設定」の[次へ]→「発信元記録」の[変更]の順に押してください。

原稿および用紙サイズについて

本書中で使用する原稿および用紙サイズの表記について説明します。

原稿および用紙サイズについて

本書中で使用する原稿および用紙サイズは、A4やB5、Letterのように、縦向きと横向きのどちらも使用できるサイズの場合、原稿/用紙の向きを区別するために、横向きのサイズには「R」をつけて表記しています。

セット向き		表記サイズ†
縦向き	 原稿 原稿/用紙のYよりXが短い。  用紙	A4、B5、A5、B6、A6、Letter、Statement
横向き (-R)	 原稿 原稿/用紙のYよりXが長い。  用紙	A4-R、B5-R、A5-R、B6-R、A6-R、Letter-R、Statement-R

†使用できる原稿/用紙のサイズは機能や給紙段によって異なります。詳しくは各機能または給紙段のページを参照してください。

タッチパネルのアイコン表示について

タッチパネルでは、原稿および用紙のセット方向を次のアイコンで表示します。

セット向き	原稿	用紙
縦向き		
横向き		

1 各部の名称とはたらき

この章では、本体にファクスキットを装着し、ファクスとして利用する場合に使用する部位の名称とはたらきを説明します。

その他の部位については、本体の使用説明書を参照してください。

操作パネル	1-2
本体	1-3
原稿送り装置	1-4

操作パネル

ファクス以外の機能を使用するときのキーやランプについては、本体の使用説明書を参照してください。

 ホーム		ホーム画面を表示します。		 電源		本機をスリープ状態にします。スリープ状態のときはスリープから復帰します。
システムメニュー 	システムメニュー画面を表示します。	カウンター 	カウンター画面を表示します。	認証 / ログアウト 	ユーザー切り替えの認証と各ユーザーの操作を終了(ログアウト)します。	
状況確認 / ジョブ中止 	状況確認/ジョブ中止画面を表示します。	コピー 	コピー画面を表示します。	割り込み 	割り込みコピー画面を表示します。	
ヘルプ 	ヘルプガイダンスを表示します。	送信 	送信の基本画面を表示します。アドレス帳の画面を表示するように変更することもできます。			本機の主電源がONのときに点灯します。
ユニバーサル 	コピー画面または送信画面でタッチパネルの表示を拡大表示に切り替えます。	ファクス 	ファクスの基本画面を表示します。	タッチパネルです。このキーに触れて各種設定を行います。		



ジョブセレーターのトレイに用紙があると点灯します。

エラーが発生してジョブが停止すると点灯または点滅します。

印刷中や送受信の処理中に点滅します。

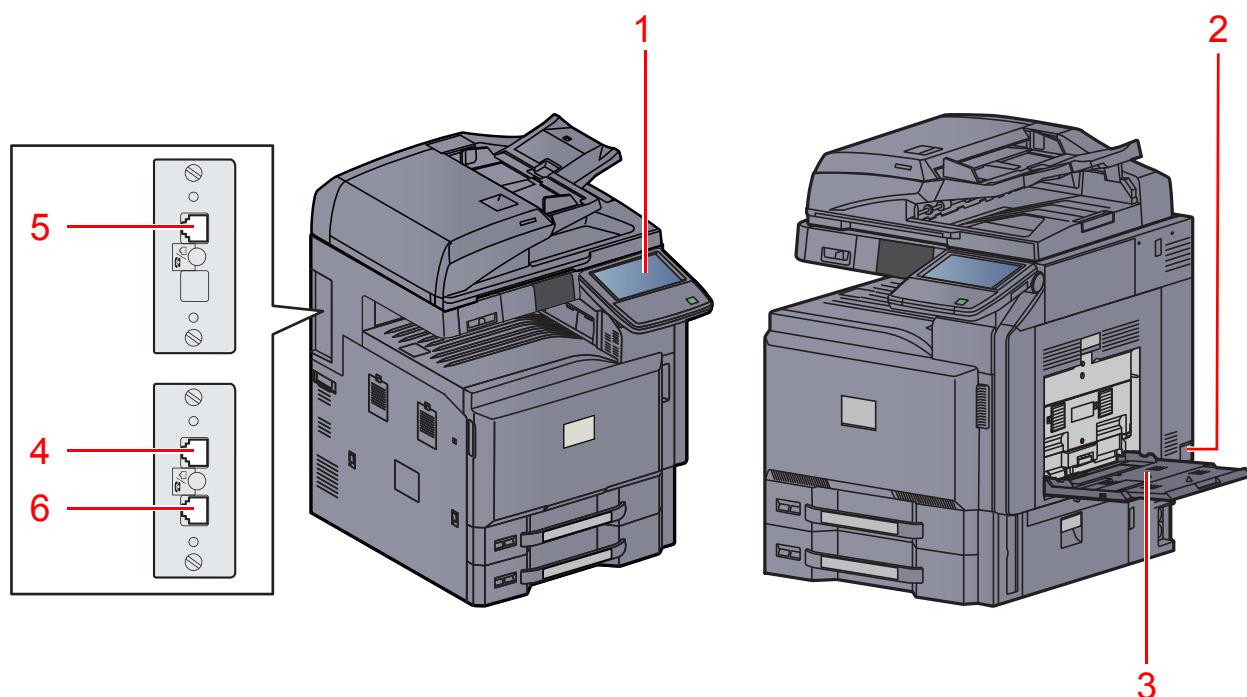
ハードディスク、ファクス用メモリー、USBメモリー(汎用品)にアクセス中に点滅します。

	テンキーです。数字や記号を入力します。	クリア 	入力した数値や文字を消去します。	リセット 	設定値を初期状態に戻します。
		短縮 	アドレス番号、ユーザーID、プログラム番号など、番号で登録内容を指定します。	ストップ 	動作中のジョブを中止、または一時停止します。
		エンター 	テンキーの入力や、機能設定中の内容を確定します。タッチパネル上の[OK]と連動しています。	スタート 	コピーやスキャン動作の開始したり、設定動作の処理を開始したりします。

本体

本機をファクスとして利用するとき使用する部位について説明しています。

ファクス以外の機能を使用するときの部位については、本体の使用説明書を参照してください。



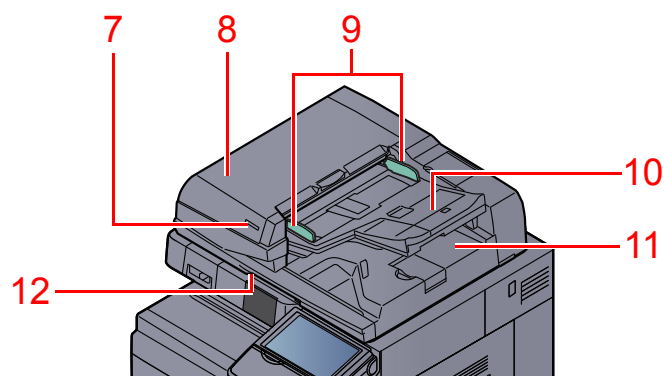
*使用される本体のモデルによって、イラストと外観が異なることがあります。

1	操作パネル	ファクスの操作はここで行います。
2	主電源スイッチ	ファクスやコピーの操作を行うときは、このスイッチをON ()にしてください。タッチパネルが点灯し、機械の操作が可能になります。
3	手差しトレイ	特殊紙など、カセット以外の用紙を使用するときは、ここに用紙をセットします。
4	LINE接続コネクタ(L1)	電話回線用のモジュラーコードを接続してください。このコネクタがポート1になります。
5	LINE接続コネクタ(L2)	ファクスキットを2台装着すると、ポート2が使用できます。電話回線用のモジュラーコードを接続してください。
6	TEL接続コネクタ(T1)	オプションのハンドセットや市販の電話機を併用する場合は、ここに接続してください。

☑ 重要

主電源スイッチを切ると、ファクスを受信できなくなりますのでご注意ください。電源を切る場合は操作パネルにある**[電源]**キーを押してください。

原稿送り装置



*モデルによっては、イラストと外観が異なることがあります。

7	原稿セットランプ	原稿送り装置の原稿の状態を表示します。原稿が正しくセットされているとランプが緑色に点灯します。
8	上カバー	原稿送り装置で原稿がつまったときに開いてください。
9	原稿幅ガイド	原稿幅に合わせて調節してください。
10	原稿トレイ	ここにシート原稿を重ねてセットしてください。
11	原稿排紙テーブル	読み込みが完了した原稿はここに排出されます。
12	開閉取っ手	原稿送り装置を開閉するときは、この取っ手を持ってください。

2 使用前の準備

この章では、ファクスを初めて使用する前に行う準備作業を説明します。

準備作業をサービス担当者が済ませている場合は、お客様が行う必要はありません。

簡単セットアップ(ファクスのセットアップ).....	2-2
ファクスのセットアップの項目.....	2-2
ファクスのセットアップの手順.....	2-3
日付と時刻を設定する.....	2-4
アドレス帳を使う.....	2-6
最初に表示するアドレス帳の種類を変更する.....	2-6
宛先の新規登録.....	2-6
個人登録(ファクス).....	2-6
個人登録(インターネットファクス).....	2-10
グループ登録.....	2-13
アドレス帳リストの出力.....	2-15
ワンタッチキーを使う.....	2-16
ワンタッチキーの新規登録.....	2-16
登録内容の変更と削除.....	2-17

簡単セットアップ(ファクスのセットアップ)

簡単セットアップでは、ウィザード形式で以下の設定を行います。ファクスをご使用になる前に必ず設定を行なってください。

ファクスのセットアップの項目

ステップ	設定項目	説明	参照ページ
1.回線設定	回線種類(ポート1)	契約している電話回線の種類に合わせて回線の種類を設定します。	6-2ページ
	回線種類(ポート2)		
	受信方式	受信方式を選択します。	6-17ページ
2.自局情報	自局名登録(ポート1)	相手先の記録紙に印字する自局名を登録します。	6-4ページ
	自局名登録(ポート2)		
	自局名登録(ポート1)(フリガナ)	発信元情報に印刷する発信元の自局名(フリガナ)を登録します。	6-4ページ
	自局名登録(ポート2)(フリガナ)		
	自局ファクス番号(ポート1)	自局ファクス番号は、通信する相手先を限定するときにも使用します。	6-5ページ
	自局ファクス番号(ポート2)		
3.音量	自局ID	自局ファクスIDを登録します。自局ファクスIDは通信する相手先を限定するときを使用します。登録する自局ファクスIDの番号は4桁で入力してください。	6-6ページ
	発信元記録	自局ファクス番号を相手先の記録紙に印刷するかどうかを設定します。	6-3ページ
	ファクススピーカー音量	オンフック時の音量を設定します。 スピーカー音量:[オンフック]を押して電話回線を接続したときに、内蔵スピーカーから聞こえる音量です。	6-14ページ
	ファクスモニター音量	モニター音量を設定します。 モニター音量:メモリー送信などで[オンフック]を押さずに電話回線を接続したときに、内蔵スピーカーから聞こえる音量です。	6-14ページ
	正常終了音	ジョブの終了が正常に終了したときに音を鳴らすかどうかを設定します。	6-15ページ
4.ベル回数	ベル回数(普通)	相手先からの呼び出しに応答するまでのベル回数を設定します。	6-13ページ
	ベル回数(留守番電話)	ファクスと留守番電話を切り替えるまでのベル回数を設定します。	6-13ページ
	ベル回数(ファクス/電話切替)	ファクスと電話を切り替えるまでのベル回数を設定します。	6-13ページ
5.出力	用紙種類	ファクスが印刷されるときに使用する用紙を、用紙の種類で限定できます。	6-19ページ
	排紙先(ポート1)	ファクスを受信したときの印刷用紙の排紙先を設定します。	6-45ページ
	排紙先(ポート2)		
6.リダイヤル	縮小受信	受信サイズが用紙サイズよりも大きい場合、縮小して印刷します。	6-40ページ
	リダイヤル回数	リダイヤルする回数を設定します。	6-16ページ
7.Fネット	Fネット無鳴動受信	ファクス通信網(Fネット)を使用する場合、呼び出し音を鳴らさずにファクスを受信します。	6-22ページ
8.ナンバーディスプレイ	ナンバーディスプレイ(ポート1)	本機はナンバーディスプレイ表示に対応していないため、ナンバーディスプレイサービスはご利用いただけません。また、ナンバーディスプレイサービスを契約していると、受信が正常に行えないことがあります。一時的な回避方法として、[契約している]を設定すると、受信できる場合があります。	6-24ページ
	ナンバーディスプレイ(ポート2)		

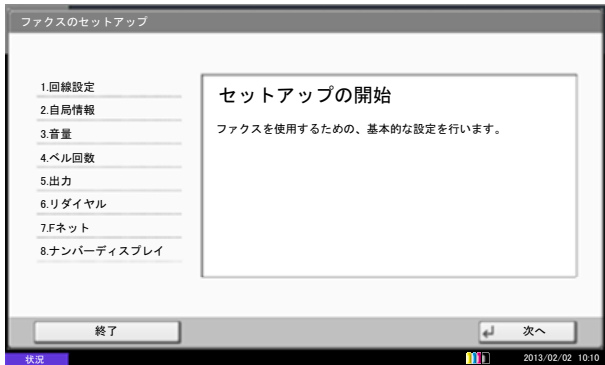


参考

各設定はシステムメニューで変更することができます。

ファクスのセットアップの手順

- 1 [システムメニュー]キーを押します。
- 2 「簡単セットアップウィザード」の[次へ]→「ファクスのセットアップ」の[次へ]の順に押します。
ウィザードを開始します。
- 3 画面の指示に従って設定します。



キー	説明
終了	ウィザードを終了します。
前の項目	前の項目に戻ります。
スキップ	現在の項目を設定せずに次の項目に進みます。
次へ	次の項目に進みます。

- 4 設定が終わったら[完了]を押します。

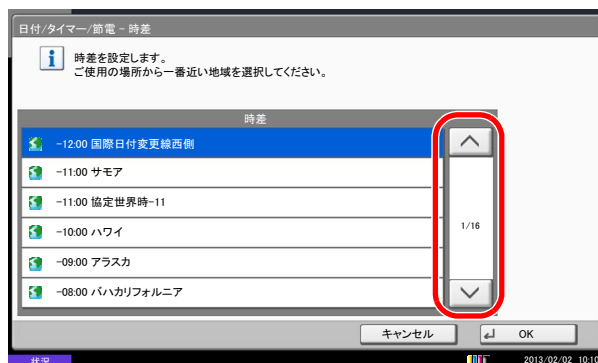
日付と時刻を設定する

本機に内蔵されている時計の日付と時刻を登録します。ここで登録した時刻をもとにタイマー送信が行われるため、必ず正しい日付と時刻を登録してください。

重要

操作部タッチパネル上に表示される時刻は定期的に修正してください。誤差が生じ現在時刻からずれることがあります。

- 1 [システムメニュー]キーを押します。
- 2 [✓]→[日付/タイマー/節電]の順に押します。
ユーザー認証画面が表示されます。ログインユーザー名とパスワードを入力し、[ログイン]を押します。
ログインユーザー名とパスワードの工場出荷時の値は、ともに「Admin」です。
- 3 「時差」の[変更]を押します。
- 4 地域を選択します。



参考

[へ]または[✓]を押すと、次の地域が表示されます。

- 5 サマータイムの[設定する]または[設定しない]を押して、[OK]を押します。

参考

サマータイムを採用していない地域を選択した場合はサマータイムの設定画面は表示されません。

- 6 「日付/時刻」の[変更]を押します。

7 日付と時刻を[+]または[-]で入力します。

時刻は24時間制で入力してください。



8 [OK]を押します。

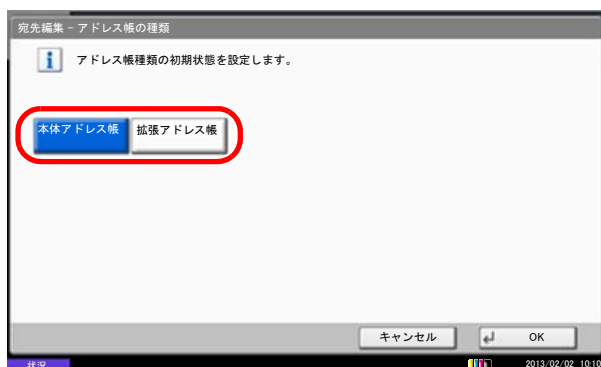
アドレス帳を使う

ファクスまたはインターネットファクスの宛先をアドレス帳から選択することができます。
「拡張アドレス帳」を選択すると、LDAPのアドレス帳を使用できます。拡張アドレス帳については、Command Center RX 操作手順書を参照してください。

最初に表示するアドレス帳の種類を変更する

最初に表示されるアドレス帳を「本体アドレス帳」と「拡張アドレス帳」(LDAPのアドレス帳)から選んで設定します。

- 1 [システムメニュー]キーを押します。
- 2 [✓]→[宛先編集]→「アドレス帳初期設定」の[次へ]→「アドレス帳の種類」の[変更]の順に押します。



- 3 [本体アドレス帳]または[拡張アドレス帳]から設定したい項目を選び、[OK]を押します。

宛先の新規登録

アドレス帳に新しい宛先を登録します。登録方法には、個人登録および複数の個人登録をまとめて登録するグループ登録の2種類があります。



参考

インターネットファクスのアドレスを個人登録する場合は、[2-10ページの個人登録\(インターネットファクス\)](#)を参照してください。

個人登録(ファクス)

2,000件までの宛先が登録できます。各宛先には、宛先名、ファクス番号、Fコード通信、暗号通信、送信開始速度、ECM通信が登録できます。

- 1 [システムメニュー]キーを押します。
- 2 [✓]→[宛先編集]→「アドレス帳」の[登録/編集]→[新規登録]→[個人]→[次へ]の順に押します。

- 3 「アドレス番号」の[変更]を押します。

- 4 [+], [-]またはテンキーで、任意のアドレス番号(0001~2,500)を入力します。

 参考

アドレス番号は、宛先1件ごとの識別番号です。個人登録2,000件、グループ登録500件の合計2,500件の中から、空いている番号を選択できます。

「0000」を入力した場合は、自動的に空いている番号を割り当てます。

- 5 [OK]を押します。
- 6 「名前」の[変更]を押します。
- 7 アドレス帳に表示される宛先名を入力して、[OK]を押します。
32文字まで入力できます。

 参考

文字の入力方法は[11-2ページの文字の入力方法](#)を参照してください。

- 8 「フリガナ」の[変更]を押します。
- 9 宛先名のフリガナを入力して、[OK]を押します。
32文字まで入力できます。
- 10 [ファクス]を押します。

- 11** テンキーを使って相手先のファクス番号を入力します。

 参考

相手先のファクス番号は32桁まで入力できます。

[スペース]を押すと、半角スペースが入力されます。

[<]または[>]を押すと、カーソルが移動します。

番号を訂正するときは、タッチパネルの[ボックススペース]を押して1文字ずつ削除し、入力し直してください。すべて削除するときは、操作パネルの[クリア]キーを押してください。

[ポーズ]について

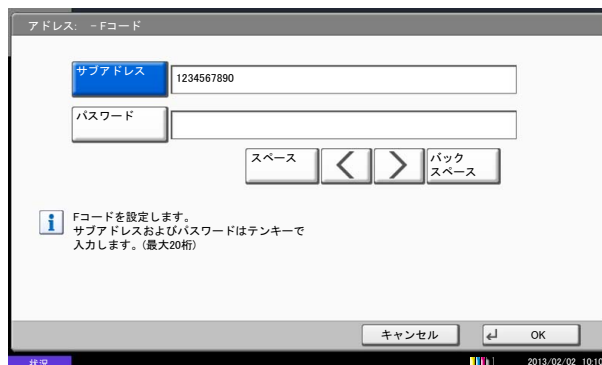
このキーを押すとダイヤル時に約3秒の待ち時間が挿入されます。たとえば、0発信（構内交換機を使用して内線から外線への発信）するときや、情報サービスを受けるときなどのダイヤル待ち時間の挿入に使用します。

- 12** 「Fコード」の[変更]を押します。Fコード通信を使用しない場合は、手順16に進んでください。

 参考

Fコードについては、[4-38ページのFコード通信とは](#)を参照してください。

- 13** [サブアドレス]を押して、テンキーでFコードサブアドレスを入力します。



 参考

サブアドレスは、0～9の数字とスペース、「#」、「*」の文字を使って20桁まで入力できます。

[スペース]を押すと、半角スペースが入力されます。

[<]または[>]を押すと、カーソルが移動します。

[ボックススペース]を押すと、カーソルの前の一文字が削除されます。

- 14** [パスワード]を押して、テンキーでFコードパスワードを入力します。

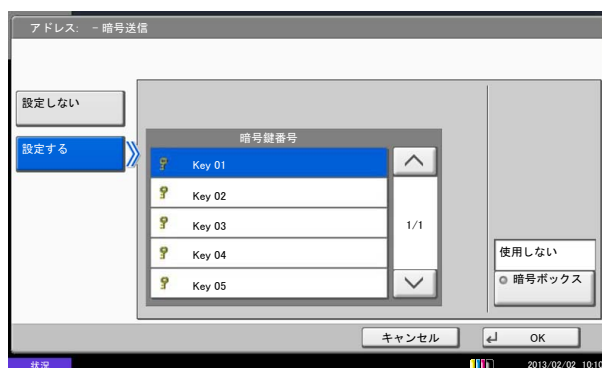
 参考

Fコードパスワードは0～9の数字とスペース、「#」、「*」の文字を使って20桁まで入力できます。本機で受信する場合はFコードパスワードを使用しません。

- 15** [OK]を押します。

- 16** 「暗号鍵番号」の[変更]を押します。暗号通信を使用しない場合は、手順21に進んでください。

- 17** [設定する] を押し、暗号鍵番号を選択します。



参考

暗号鍵は事前に設定してください。詳細は[6-36ページの暗号鍵の登録のしかた](#)を参照してください。

- 18** 相手先の暗号ボックスを指定する場合は、[暗号ボックス] を押して次の手順に進んでください。

相手先で原稿を印刷する場合は、[使用しない] を選択し、[OK] を押して手順21に進んでください。

- 19** [使用する] を押し、テンキーで相手先の暗号ボックス番号 (4桁) を入力して、[OK] を押します。

- 20** [OK] を押します。

- 21** 必要に応じて、[送信開始速度] または [ECM] を押して、設定を変更します。[変更] を押して設定を変更し、[OK] を押します。

工場出荷時、送信開始速度は33600 bps、ECMは設定するに設定されています。

キー	説明
送信開始速度	通常は設定値を変更しないで使用してください。海外や通信エラーが起こりやすい相手先の場合のみ、送信開始速度を低く設定してください。送信開始速度を変更するときは、このキーを押してください。33600 bps、14400 bps、9600 bpsから選択できます。
ECM	ECM通信は、通信中にノイズなどの影響を受けて正しく送信できなかったときでも、影響を受けたデータのみを自動的に送信し直して画像の乱れを防ぐ機能です。ECM通信の設定を変更するときは、このキーを押してください。

- 22** 各項目が正しく入力できているか確認します。

- 23** 宛先が正しく設定できているか確認して、[登録] を押します。

アドレス帳に宛先が追加されます。

- 24** ワンタッチキーの登録確認画面が表示されるので、[はい] または [いいえ] を選んで押します。

[はい] を選ぶとワンタッチキーの登録画面が表示されます。次の手順に進んでください。

[いいえ] を選ぶと登録を終了します。

- 25** 登録したいワンタッチキーを選択し、[次へ] を押します。

- 26** 宛先を選択し、[次へ] を押します。

宛先を選択し、[詳細] を押すと、宛先の内容を変更できます。

27 必要に応じて、「表示名」と「宛先」の[変更]を押して、設定を変更します。

28 [登録]を押します。

ワンタッチキーがすでに登録されている場合は、上書登録の確認画面が表示されます。[はい]または[いいえ]を押してください。

個人登録(インターネットファクス)

2,000件までの宛先が登録できます。各宛先には、宛先名、インターネットファクスアドレス、送信モード、相手機条件が登録できます。

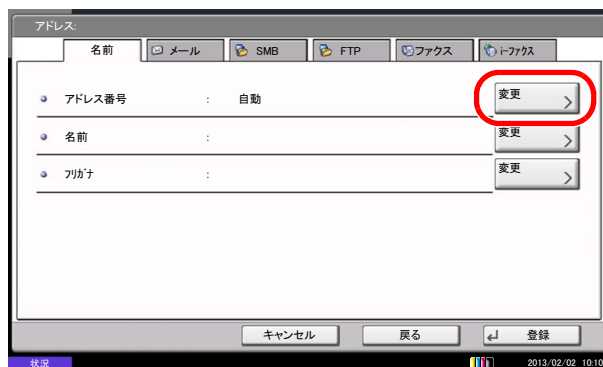
参考

インターネットファクスについては[8-1ページのインターネットファクスについて](#)を参照してください。

1 [システムメニュー]キーを押します。

2 [✓]→[宛先編集]→「アドレス帳」の[登録/編集]→[新規登録]→[個人]→[次へ]の順に押します。

3 「アドレス番号」の[変更]を押します。



4 [+],[-]またはテンキーで、任意のアドレス番号(0001~2,500)を入力します。

参考

アドレス番号は、宛先1件ごとの識別番号です。個人登録2,000件、グループ登録500件の合計2,500件の中から、空いている番号を選択できます。

「0000」を入力した場合は、自動的に空いている番号を割り当てます。

5 [OK]を押します。

6 「名前」の[変更]を押します。

7 アドレス帳に表示される宛先名を入力して、[OK]を押します。

32文字まで入力できます。

参考

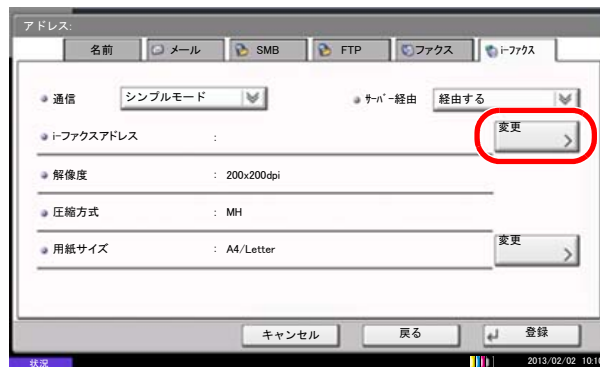
文字の入力方法は[11-2ページの文字の入力方法](#)を参照してください。

8 「フリガナ」の[変更]を押します。

9 宛先名のフリガナを入力して、[OK]を押します。

32文字まで入力できます。

10「i-ファクス」を押します。



11「i-ファクスアドレス」の[変更]を押します。

- 12** 相手先のインターネットファクスアドレス(メールアドレス)を入力し、[OK]を押します。
128文字まで入力できます。
相手機がダイレクトSMTPに対応している場合は、相手機のIPアドレスを入力してください。



参考

文字の入力方法は[11-2ページの文字の入力方法](#)を参照してください。

13「通信」の[☑]を押して、「シンプルモード」または「フルモード」を選択します。

送信モード	説明
シンプルモード	相手機に送達確認をしません。
フルモード	相手機に送達確認をします。

14「サーバー経由」の[☑]を押して、[経由する]または[経由しない]を選択します。

この設定を[経由しない]にすると、ダイレクトSMTPとして(Emailサーバーを経由しない方式で)動作します。

この設定を[経由する]にすると、今までのインターネットファクスとして(Emailサーバーを経由する方式で)動作します。

15「用紙サイズ」の[変更]を押します。

16 相手機条件を設定して、[OK]を押します。

項目	説明
解像度	相手先のファクス機で受信できる解像度を設定します。 禁止されている解像度で送信した場合は、自動的に許可している解像度に変更して送信します。 • 200×100 dpi:許可(固定) • 200×200 dpi:許可(固定) • 200×400 dpi:許可または禁止 • 400×400 dpi:許可または禁止 • 600×600 dpi:許可または禁止 許可する場合は、その解像度のキーを押して反転表示させください。 禁止する場合は、もう一度そのキーを押して反転表示を解除してください。
圧縮方式	相手先のファクス機に合わせてファイル形式を選択します。 MH、MR、MMRまたはJBIG
用紙サイズ	相手先のファクス機に合わせて選択できる原稿幅を設定します。 • A4/Letter:許可(固定) • B4:許可または禁止 • A3/Ledger:許可または禁止 許可する場合は、そのサイズのキーを押して反転表示させください。 禁止する場合は、もう一度そのキーを押して反転表示を解除してください。

17 宛先が正しく設定できているか確認して、[登録]を押します。

アドレス帳に宛先が追加されます。

18 ワンタッチキーの登録確認画面が表示されるので、[はい]または[いいえ]を選んで押します。

[はい]を選ぶとワンタッチキーの登録画面が表示されます。次の手順に進んでください。

[いいえ]を選ぶと登録を終了します。

19 登録したいワンタッチキーを選択し、[次へ]を押します。

20 宛先を選択し、[次へ]を押します。

宛先を選択し、[詳細]を押すと、宛先の内容を変更できます。

21 必要に応じて、「表示名」と「宛先」の[変更]を押して、設定を変更します。

22 [登録]を押します。

ワンタッチキーがすでに登録されている場合は、上書登録の確認画面が表示されます。[はい]または[いいえ]を押してください。

グループ登録

個人登録された複数の宛先をまとめて、グループとして登録します。宛先を一度に指定できるので便利です。500件までのグループが登録できます。



参考

グループ登録には、個人登録された宛先が必要です。あらかじめ必要な個人登録を行ってください。

- 1 [システムメニュー]キーを押します。
- 2 [✓]→[宛先編集]→「アドレス帳」の[登録/編集]→[新規登録]→[グループ]→[次へ]の順に押します。
- 3 「アドレス番号」の[変更]を押します。

- 4 [+], [-]またはテンキーで、アドレス番号(0001~2,500)を入力します。



参考

アドレス番号は、グループ1件ごとの識別番号です。個人登録2,000件、グループ登録500件の合計2,500件の中から、空いている番号を選択できます。

「0000」を入力した場合は、自動的に空いている番号を割り当てます。

- 5 [OK]を押します。
- 6 「名前」の[変更]を押します。

- 7 アドレス帳に表示されるグループ名を入力して、[OK]を押します。
32文字まで入力できます。



参考

文字の入力方法は[11-2ページの文字の入力方法](#)を参照してください。

- 8 「フリガナ」の[変更]を押します。
- 9 グループ名のフリガナを入力して、[OK]を押します。
32文字まで入力できます。

宛先	詳細
CCC	0123456789

- 10 [メンバー]を押します。
- 11 [新規登録]を押します。
- 12 グループに登録する宛先(個人)を選択します。



参考

宛先は、フリガナやアドレス番号で検索することができます。

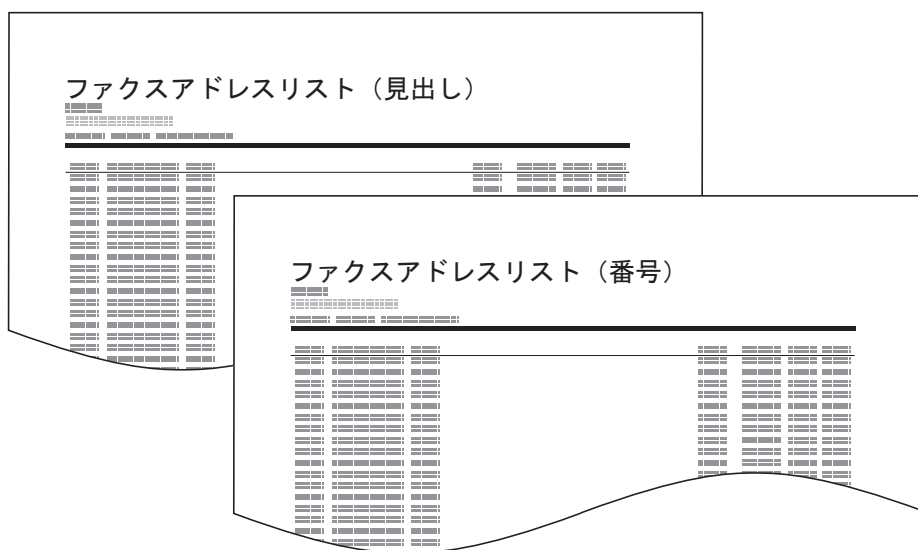
- 13 [OK]を押します。
- 14 宛先を追加するときは、手順11～13を繰り返します。
選択した宛先がグループに追加されたことを確認して、[登録]を押してください。アドレス帳にグループが追加されます。
- 15 ワンタッチキーの登録確認画面が表示されるので、[はい]または[いいえ]を選んで押します。
[はい]を選ぶとワンタッチキーの登録画面が表示されます。次の手順に進んでください。
[いいえ]を選ぶと登録を終了します。
- 16 登録したいワンタッチキーを選択し、[次へ]を押します。
- 17 必要に応じて、「表示名」と「宛先」の[変更]を押して、設定を変更します。
- 18 [登録]を押します。
ワンタッチキーがすでに登録されている場合は、上書登録の確認画面が表示されます。[はい]または[いいえ]を押してください。

アドレス帳リストの出力

アドレス帳に登録している宛先のリストを出力できます。

リストは、宛先の見出し順とアドレス番号順から選択できます。

- 1 [システムメニュー]キーを押します。
- 2 [✓]→[宛先編集]→「リスト印刷」の[次へ]の順に押します。
- 3 「ファクスリスト(見出し)」の[印刷]または「ファクスリスト(番号)」の[印刷]を押します。
- 4 印刷の確認画面で[はい]を押します。
リストが印刷されます。



ワンタッチキーを使う

[宛先]画面のワンタッチキーで、アドレス帳の宛先を呼び出すことができます。

ワンタッチキーの新規登録

ワンタッチキーにアドレス帳の宛先(個人またはグループ)を登録します。1000件まで登録できます。

- 1 [システムメニュー]キーを押します。
- 2 [✓]→[宛先編集]→「ワンタッチキー」の[登録/編集]の順に押します。
- 3 宛先を登録するワンタッチキー番号(0001~1000)を選択します。[短縮]キーまたは[番号]を押すと、ワンタッチキー番号を直接入力して選択できます。



- 4 [登録/編集]を押します。
- 5 「表示名」の[変更]を押し、表示名を入力します。
24文字まで入力できます。
表示名を入力しないで宛先を選択すると、選択した宛先のアドレス帳登録名が入力されます。[変更]を押して表示名を変更してください。
- 6 「宛先」の[変更]を押し、アドレス帳からワンタッチキーに登録する宛先(個人またはグループ)を選択します。
[詳細]を押すと、選択した宛先の詳しい情報が参照できます。

参考

宛先は、フリガナ、アドレス番号で並べ替えたり検索したりできます。

- 7 [OK]を押します。
- 8 [登録]を押します。
ワンタッチキーに宛先が登録されます。

登録内容の変更と削除

ワンタッチキーに登録されている宛先を別の宛先に変更したり、ワンタッチキーの登録内容を削除します。



参考

アドレス帳で宛先情報を変更すると、ワンタッチキーに登録されている情報が更新されます。

- 1 [システムメニュー]キーを押します。
- 2 [✓]→[宛先編集]→「ワンタッチキー」の[登録/編集]の順に押します。
- 3 編集するワンタッチキー番号(0001～1000)を選択します。[短縮]キーまたは[番号]を押すと、ワンタッチキー番号を直接入力して選択することができます。
- 4 登録内容を変更します。

表示名を変更する場合

- 1 [登録/編集]を押します。
- 2 「表示名」の[変更]を押して、表示名を入力し直します。

別の宛先に変更する場合

- 1 [登録/編集]を押します。
- 2 「宛先」の[変更]を押して、新しい宛先(個人またはグループ)を選択します。
表示名の[変更]を押して[バックスペース]で空欄にしておき、宛先の[変更]を押して新しい宛先を選択すると、表示名が自動的に入力されます。
[詳細]を押すと、選択した宛先の詳しい情報が参照できます。



参考

宛先は、フリガナ、アドレス番号で並べ替えたり検索したりできます。

- 3 [OK]を押します。
- 4 [登録]を押します。
- 5 変更の確認画面で[はい]を押すと、ワンタッチキーに宛先が登録されます。

登録内容を削除する場合

- 1 [削除]を押します。
- 2 削除の確認画面で[はい]を押すと、ワンタッチキーの登録内容が削除されます。

3 ファクスの操作方法(基本編)

この章では、基本的なファクスの使いかたを説明します。

[エンター]キー、[短縮]キーについて	3-2
エンターキーの使いかた	3-2
短縮キーの使いかた	3-3
自動送信する	3-4
ファクス画面への切り替え	3-4
送信方法の選択	3-4
原稿のセット	3-6
相手先のダイヤル	3-6
詳細設定	3-7
自動受信する(ファクス専用自動受信)	3-13
受信方法について	3-13
通信を中止する	3-15
メモリー送信(原稿読み込み中)の中止	3-15
メモリー送信(通信中)の中止	3-15
タイマー送信(待機中)の中止と即時送信	3-15
ダイレクト送信の中止	3-16
送/受信の中止(通信の切断)	3-16
ポーリング送信/Fコード掲示板送信の中止	3-17
メモリー転送の中止	3-17
宛先をアドレス帳から選ぶ	3-18
宛先の検索	3-19
登録内容の変更と削除	3-20
宛先をワンタッチキーで選ぶ	3-21
番号キーを使う	3-21
同じ相手に再送信する(リダイヤル)	3-22
自動リダイヤル	3-22
手動リダイヤル(再宛先呼び出し)	3-22
送信する原稿のイメージを確認する	3-23
簡単設定画面について	3-25
簡単設定画面に登録できる機能	3-25
登録変更のしかた	3-26
ショートカット登録	3-27
ショートカットの登録	3-27
ショートカットの変更と削除	3-28

[エンター]キー、[短縮]キーについて

操作パネルにある[エンター]キー、および[短縮]キーの使いかたについて説明します。

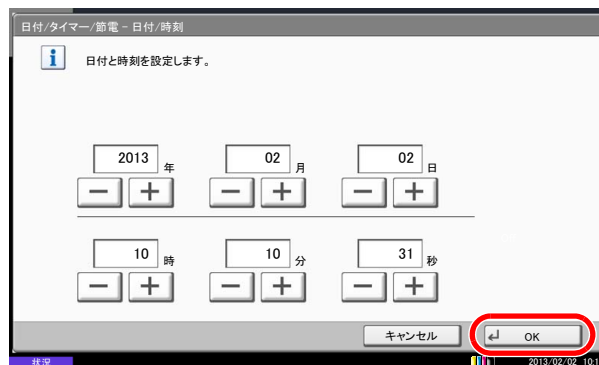
[エンター]キー(^{エンター})の使いかた

[エンター]キーは、タッチパネルに表示される[OK]、[閉じる]などのキーと同じ働きをします。

同じ働きをするキーには、[↵ OK]や[↵ 閉じる]のように、エンターのマーク(↵)が表示されます。

日付と時刻の設定を例に、[エンター]キーの使いかたを説明します。詳しい操作手順は、[2-4ページの日付と時刻を設定する](#)を参照してください。

- 1 日付/時刻の設定画面で、日付と時刻を[+]または[-]で入力します。



タッチパネルの[OK]キーには、[エンター]のマーク(↵)が表示され、エンターキーが[OK]と同じ働きをすることを示しています。

- 2 日付と時刻を決定するときは、[エンター]キー(または[OK])を押します。

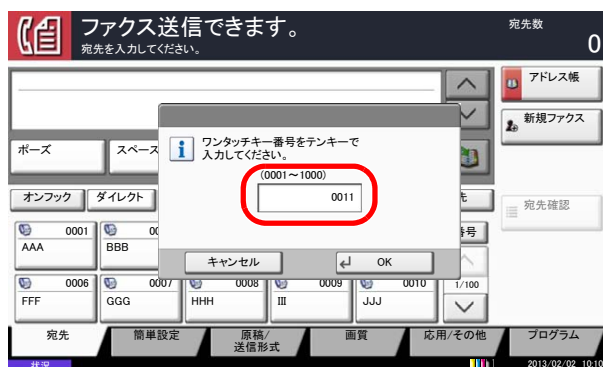
[短縮]キー()の使いかた

[短縮]キーは、送信するときの宛先を短縮番号で指定したり、登録したプログラムをプログラム番号で呼び出すときなど、番号を直接テンキーで入力する場合に使用します。

タッチパネルに表示されている[番号]と同じ働きをします。

短縮番号を指定して宛先を選択する場合を例に、[短縮]キーの使いかたを説明します。短縮番号については、[3-21ページの番号キーを使う](#)を参照してください。

- 1 ファクスの基本画面で、[短縮]キー(または[番号])を押します。



- 2 番号入力画面で、短縮番号をテンキーで入力します。



参考

短縮番号を4桁で入力した場合は、手順3の操作は不要です。送信の基本画面が表示され、指定された宛先が宛先リストに表示されます。

- 3 短縮番号を1桁～3桁で入力した場合は、[エンター]キー(または[OK])を押します。
指定した宛先が宛先リストに表示されます。

自動送信する

テンキーを使った一般的な送信方法を説明します。



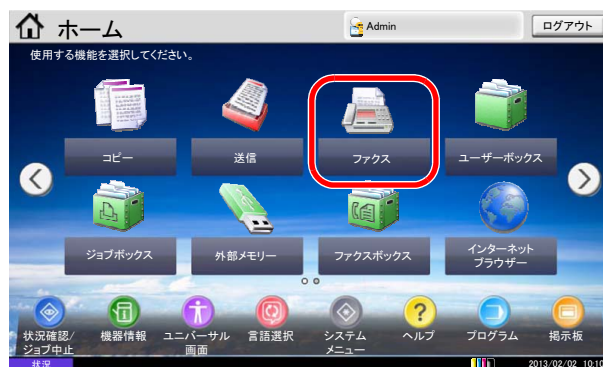
参考

インターネットファクス送信の場合は、[8-8ページのインターネットファクス送信](#)を参照してください。

ファクス画面への切り替え

ファクスの基本画面が表示されていることを確認してください。

ファクスの基本画面でないときは、ホーム画面の[ファクス]を押してください。ファクスの基本画面が表示されます。



送信方法の選択

送信方法には、メモリー送信とダイレクト送信の2つがあります。初期状態ではメモリー送信です。

メモリー送信

メモリー送信は、原稿をメモリーに読み込んでから通信を開始します。

原稿送り装置に原稿をセットする場合：

原稿送り装置にセットした原稿を読み込み、メモリーに記憶した後に相手先にダイヤルします。送信の完了を待たずに原稿を手元に戻すことができるため、非常に便利です。複数ページのシート原稿の送信に適しています。

原稿ガラスに原稿をセットする場合：

原稿送り装置にセットできないブック原稿などの送信に適しています。原稿ガラスにセットした原稿をメモリーに記憶した後に相手先にダイヤルします。

**参考**

連続読み込みが設定されている場合は、原稿ガラスの原稿をメモリーに記憶した後、続けて次の原稿を読み込むことができます。1ページ読み込むごとに、読み込み継続の操作を行い、すべての原稿をメモリーに記憶した後に相手先にダイヤルします。

ダイレクト送信

ダイレクト送信は、相手先にダイヤルし、通信を開始してから原稿を読み込みます。1回の送信で指定できる宛先は1件です。オプションの機密文書ガードキットが導入されているときは、ダイレクト送信はできません。

原稿送り装置に原稿をセットする場合：

相手先と回線がつながってから、原稿送り装置にセットされた原稿の読み込みを開始します。複数ページの原稿がセットされている場合は、1ページ分の原稿を送信してから、次のページを読み込みます。

原稿ガラスに原稿をセットする場合：

原稿送り装置にセットできないブック原稿などの送信に適しています。相手先と回線がつながった後、原稿ガラスにセットした原稿を読み込んで送信します。

**参考**

連続読み込みが設定されている場合は、原稿ガラスの原稿を送信した後、続けて次の原稿を読み込むことができます。1ページ送信するごとに、読み込み継続の操作を行います。

ダイレクト送信を選択する場合は、次の手順を行ってください。

- 1 [応用/その他]→[ファクスダイレクト送信]の順に押します。



- 2 [設定する]を選択します。

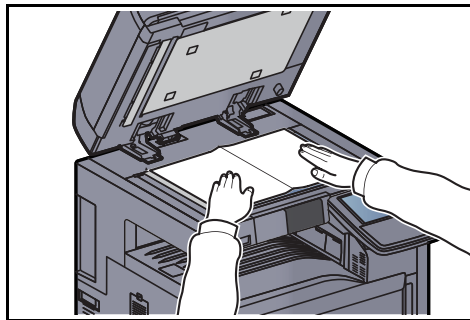
- 3 [OK]を押します。

送信方法は、ファクスの基本画面からも選択することができます。



ファクスの基本画面で、[ダイレクト]を押してください。送信方法がダイレクト送信になり、タッチパネル上のキー表示が反転されます。キー表示が反転した[ダイレクト]を押すと、送信方法がメモリー送信になります。

原稿のセット



原稿ガラスまたは原稿送り装置に原稿をセットしてください。原稿をセットする方法は、本体の使用説明書を参照してください。

参考

原稿サイズがB5の場合、原稿を横向き (B5-R) にセットすると、A4サイズ (横向き : A4-R) で送信します。

相手先のダイヤル

参考

ファクスを送信するときに、テンキーでの直接入力禁止をすることができます。禁止すると、アドレス帳やワンタッチキーに登録した相手先以外にファクス送信できなくなります。[4-52ページのファクス番号のテンキー入力を禁止する](#)を参照してください。

- 1 [新規ファクス]を押します。



- 2 テンキーを使って相手先のファクス番号を入力します。

- 「新規宛先の入力確認」を[設定しない]に設定している場合は、番号入力後、[OK]を押すと番号が確定されます。
- 「新規宛先の入力確認」を[設定する]に設定している場合は、番号入力後、[OK]を押すと確認画面が表示されます。再度ファクス番号を入力して[OK]を押してください。

番号確定後、[新規ファクス]を押すと、次のファクス番号が入力できます。

[編集]を押すと、入力した番号を変更できます。

新規宛先の入力確認については、本体の使用説明書の「8章 動作設定・登録を行う (システムメニュー)」の「送信」―「新規宛先の入力確認」を参照してください。

相手先のファクス番号は64桁まで入力できます。

[スペース]を押すと、半角スペースが入力されます。

[<]または[>]を押すと、カーソルが移動します。

番号を訂正するときは、タッチパネルの[バックスペース]を押して1文字ずつ削除し、入力し直してください。すべて削除するときは、操作パネルの[クリア]キーを押してください。



が表示されているときは、入力した内容をアドレス帳に登録することができます。

「新規宛先の入力」の設定が[禁止にする]に設定されているときは、テンキーを使って入力できません。詳しくは、[4-52ページのファクス番号のテンキー入力を禁止する](#)を参照してください。

[ポーズ]について

このキーを押すとダイヤル時に約3秒の待ち時間が挿入されます。たとえば、0発信(構内交換機を使用して内線から外線への発信)するときや、情報サービスを受けるときなどのダイヤル待ち時間の挿入に使用します。

[オンフック]について

このキーを押すと電話回線に接続します。

ファクス番号が入力されている場合は、相手先にダイヤルを開始します。

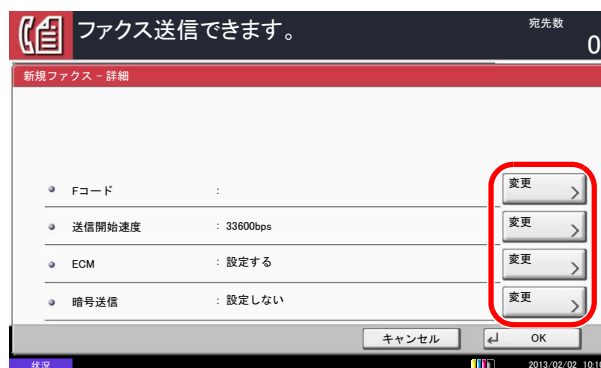
このキーを押してから、テンキーを使って相手先にダイヤルすることもできます。詳細は、[4-14ページの相手先に電話して手動で送信する【手動送信】](#)を参照してください。

テンキー以外のダイヤルのしかた

- 宛先をアドレス帳から選ぶ([3-18ページ参照](#))
- 宛先をワンタッチキーで選ぶ([3-21ページ参照](#))
- 番号キーを使う([3-21ページ参照](#))
- 手動リダイヤル(再宛先呼び出し)([3-22ページ参照](#))

詳細設定

相手先に対応した通信の設定ができます。ほかにも、原稿の濃度、画質、解像度、およびサイズの設定ができます。



[詳細] ボタンを押して各設定にある[変更]キーを押して設定を変更し、[OK]を押してください。

変更が終わったら、[OK]を押してください。

キー	説明
Fコード	Fコードを使って通信するときは、このキーを押してください。詳細は、 4-38ページのFコードを使って通信する【Fコード通信】 を参照してください。
送信開始速度	通常は設定値を変更しないで使用してください。海外や通信エラーが起こりやすい相手先の場合のみ、送信開始速度を低く設定してください。送信開始速度を変更するときは、このキーを押してください。33600 bps、14400 bps、9600 bpsから選択できます。
ECM	ECM通信は、通信中にノイズなどの影響を受けて正しく送信できなかったときでも、影響を受けたデータのみを自動的に送信し直して画像の乱れを防ぐ機能です。ECM通信の設定を変更するときは、このキーを押してください。
暗号送信	暗号通信を使って送信するときは、このキーを押してください。詳細は、 6-35ページの原稿を暗号化して安全に通信する【暗号通信】 を参照してください。

濃度の選択

原稿読み込み時の濃度を調整します。

- 1 [画質]を押し、[濃度]を押します。

[プレビュー]を押すと、送信画像のプレビューを参照できます。詳細は[3-23ページの送信する原稿のイメージを確認する](#)を参照してください。

- 2 濃度を選択します。

濃度(-3~+3)は、13段階まで調整できます。簡単設定から濃度を調整するときは、7段階の調整になります。[その他詳細]を押すと、13段階まで調整できます。



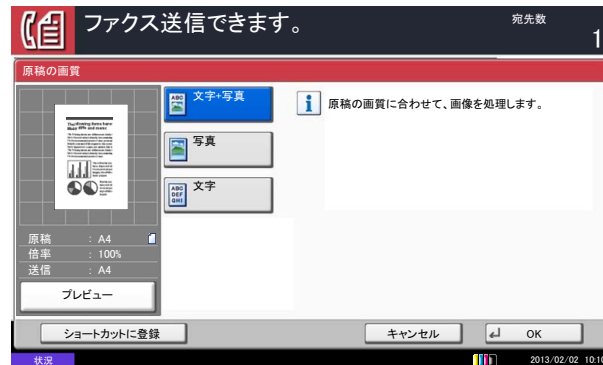
- 3 [OK]を押します。

画質の選択

原稿の種類に合わせて画質を選択します。

- 1 [画質]を押し、[原稿の画質]を押します。

[プレビュー]を押すと、送信画像のプレビューを参照できます。詳細は[3-23ページの送信する原稿のイメージを確認する](#)を参照してください。



- 2 画質を選択します。

- 文字+写真：文字と写真が混在する原稿の場合。
- 写真： 写真原稿の立体感を出す場合。
- 文字： えんぴつや細線をくっきり再現する場合。
文字を選択した場合、OCR画面が表示されます。OCRアプリケーションソフト(画像として取り込んだデータをテキストデータに変換するソフトウェア)での読み込みに適した画質にする場合は[使用する]を、しない場合は[設定しない]を押してください。

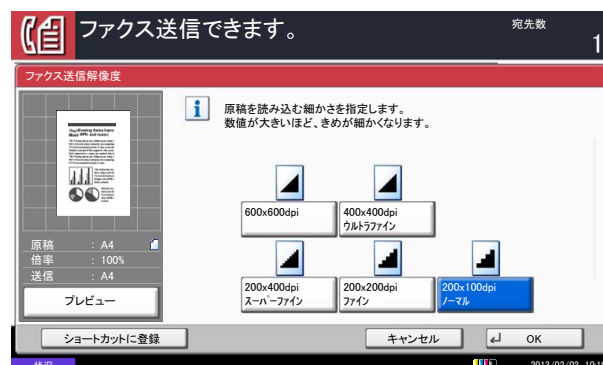
- 3 [OK]を押します。

解像度の選択

送る原稿に適した解像度を選択します。工場出荷時は200×100 dpi(ノーマル)に設定されています。解像度を高くすると画像は鮮明になりますが、送信時間は長くなります。

- 1 [画質]を押し、[ファクス送信解像度]を押します。

[プレビュー]を押すと、送信画像のプレビューを参照できます。詳細は[3-23ページの送信する原稿のイメージを確認する](#)を参照してください。



- 2 解像度を選択します。

- 200×100 dpi(ノーマル)：普通の大きさの文字の原稿を送るとき
文字の大きさの目安：10.5ポイント
(サンプル：解像度 解像度)

- 200×200 dpi(ファイン):比較的小さい文字や細い線のある原稿を送るとき
文字の大きさの目安:8ポイント
(サンプル:解像度 解像度)
- 200×400 dpi(スーパーファイン):微細な文字や線のある原稿を送るとき
文字の大きさの目安:6ポイント
(サンプル:解像度 解像度)
- 400×400 dpi(ウルトラファイン):微細な文字や線のある原稿をさらにきれいに送るとき
文字の大きさの目安:6ポイント
(サンプル:解像度 解像度)
- 600×600 dpi:微細な文字や線のある原稿をできる限りきれいに送るとき
文字の大きさの目安:6ポイント
(サンプル:解像度 解像度)

200×400 dpi(スーパーファイン)以上で送信する場合、受信側のファクスもそれらの画質で受信する必要があります。受信側がその機能を備えていない場合は、200×200 dpi(ファイン)の画質で送信されます。

3 [OK]を押します。

 参考

読み込み解像度はファクス送信解像度と等しいか、ファクス解像度より高く設定する必要があります。ファクス送信解像度を読み込み解像度より高く設定した場合、読み込み解像度が自動的に、ファクス送信解像度と同じ設定に変更されます。

原稿サイズの変更

送信する原稿サイズを設定します。

- 1 [原稿／送信形式]を押し、[原稿サイズ]を押します。
原稿サイズ設定画面が表示されます。

2 原稿サイズを選択します。

項目	方法	サイズ
定形サイズ1	原稿のサイズを自動検知させるか、または定形サイズから選択します。	自動、A3、A4-R、A4、A5-R、A5、A6、B4、B5-R、B5、B6-R、B6、216×340mm
定形サイズ2	定形サイズ1以外の定形サイズから選択します。	Ledger、Letter-R、Letter、Legal、Statement-R、Statement、11 × 15"、Oficio II、Folio、8K、16K-R、16K
その他	封筒、はがき、カスタム原稿サイズ*から選択します。	はがき、往復はがき
サイズ入力	定形サイズ1、2 に表示されていないサイズを入力します。*	センチ よこ: 50 ～ 432 mm(1 mm 単位)、 たて: 50 ～ 297 mm(1 mm 単位)
		インチ よこ: 2 ～ 17"(0.01" 単位)、 たて: 2 ～ 11.69"(0.01" 単位)

* 入力単位は、システムメニューで切り替えることができます。詳しくは本体の使用説明書を参照してください。

3 [OK]を押します。

送信スタート

- 1 [スタート]キーを押します。

送信が開始されます。



参考

「送信前の宛先確認画面の設定」を「設定する」に設定している場合は、[スタート]キーを押したときに、宛先確認画面が表示されます。詳しくは、[5-12ページの宛先確認画面について](#)を参照してください。

送信状況の確認

- 1 [状況確認/ジョブ中止]キーを押します。

番号	受付時刻	種類	宛先	ユーザー名	状況
438	14:47		0123456789		処理中

- 2 [送信ジョブ]を押します。

受付時刻や宛先、状況がジョブごとに一覧表示されます。

番号	受付時刻	種類	宛先	ユーザー名	状況
438	14:47		0123456789		処理中
439	14:50		0123456789		待機中

待機中のジョブを優先して送信するには、送信ジョブ確認画面で、ジョブを選択して[優先送信]を押し、[はい]を押してください。



参考

送信中のファクス送信ジョブがある場合は、送信中のジョブが終了してから優先送信を設定したファクス送信ジョブを送信します。



送信を中止するには、送信ジョブ確認画面で、ジョブを選択して[中止]を押してください。
中止の確認画面で、[はい]を押してください。

参考

原稿読み込み中は、送信画面で操作パネルの[ストップ]キーを押すと、送信を中止します。

送信を中止しても、中止するまでに送信されたファクスは相手の方に届く場合があります。誤って受信していないか相手の方に確認してください。

自動受信する(ファクス専用自動受信)

本機で電話を受けずにファクス専用として使用する場合は、ファクス専用自動受信にしてください。受信時には特に操作の必要はありません。

受信方法について

本機の受信方法には次の4種類があります。

- ファクス専用自動受信[自動(普通)]
- ファクス/電話自動切替受信[自動(ファクス/電話)] ([6-9ページ](#)参照)
- ファクス/留守番電話自動切替受信[自動(留守番電話)] ([6-11ページ](#)参照)
- 手動受信[手動] ([4-15ページ](#)参照)

受信方法の確認と変更

- 1 [システムメニュー]キーを押します。
- 2 [ファクス]→「受信設定」の[次へ]→「ファクス」の[次へ]→「受信方式」の[変更]の順に押します。
- 3 [自動(普通)]を選択します。
- 4 [OK]を押します。

受信開始

- 1 ファクスが送られてくると、[処理中]ランプが点滅し自動で受信を開始します。



参考

本機にオプションのハンドセットまたは電話機(市販品)を接続すれば、呼び出し音が鳴った後、受信を開始します。

呼び出し音が鳴る回数は変更することができます。[\(6-13ページの呼び出しベルの回数を変更する【ベル回数】を参照\)](#)

受信を中止するときは、[3-16ページの送/受信の中止\(通信の切断\)](#)を参照してください。

代行受信とは

用紙切れや紙づまりなどで印刷できない場合、本機は送られてきた原稿をいったん画像メモリーに記憶します。そして印刷可能な状態になると、印刷を行います。
保存できる枚数は原稿によって変わりますが、目安として、解像度ノーマルでA4サイズ原稿が700枚以上保存できるようになっています。

代行受信が行われると、状況確認画面の印刷ジョブにファクス受信印刷ジョブが表示されます。受信原稿を印刷するときは、用紙を補給するか、紙づまりを解除してください。



参考

状況確認画面については本体の使用説明書を参照してください。

受信印刷

- 2** 受信した原稿は、印刷された面を下にしてトレイに排出されます。
また、手差しトレイに用紙をセットしてファクスを印刷することもできます。手差しトレイでは、カセットにはセットできないサイズや種類の用紙にもファクスを印刷できます。手差しトレイの用紙を使ってファクスを印刷する設定については、[6-21ページの手差しトレイの使用/不使用を選択する【手差しトレイ受信】](#)を参照してください。
手差しトレイにセットする用紙の種類については、[6-19ページの使用する用紙の種類を限定する【受信用紙種類】](#)を参照してください。

 重要

排紙先や収納可能な枚数は、ご使用のモデルによって異なります。本体の使用説明書を参照してください。収納可能な枚数を超えときは、トレイの用紙をすべて取り出してください。

用紙切れや紙づまりなどで本機が印刷できない状態であっても、受信は行われます。(代行受信)

通信を中止する

本機で通信を中止する方法は、送信方法(メモリー送信またはダイレクト送信)や通信形態によって異なります。ここでは、さまざまなケースでの中止方法を説明します。

メモリー送信(原稿読み込み中)の中止

メモリー送信で、原稿の読み込みを中止するには、操作パネルの[ストップ]キーまたは、タッチパネルの[中止]を押してください。原稿の読み込みを中止し、原稿を排出します。原稿送り装置に原稿が残っているときは、原稿排紙テーブルから取り出してください。

メモリー送信(通信中)の中止

メモリー送信で、原稿の読み込みが終了して通信が開始した後に中止するには、次の手順で行ってください。



参考

回線を切って、送/受信を中止させることができます。詳細は、[3-16ページの送/受信の中止\(通信の切断\)](#)を参照してください。

送信を中止しても、中止するまでに送信されたファクスは相手の方に届く場合があります。誤って受信していないか相手の方に確認してください。

- 1 [状況確認/ジョブ中止]キーを押します。
- 2 [送信ジョブ]を押します。
- 3 中止したいジョブを選択して[中止]を押します。
中止の確認画面で、[はい]を押します。
通信が中止されます。



タイマー送信(待機中)の中止と即時送信

タイマー送信で待機中のジョブを中止する、または指定時刻を待たずに今すぐ送信するには、次の手順で行ってください。

- 1 [状況確認/ジョブ中止]キーを押します。
- 2 [送信ジョブ]→[予約ジョブ]の順に押します。
- 3 中止するときは、中止したいジョブを選択して[中止]を押します。
中止の確認画面で、[はい]を押します。
送信が中止されます。



即時送信するときは、送信したいジョブを選択して[今すぐ開始]を押してください。

送信の確認画面で、[はい]を押してください。

送信が開始します。

ダイレクト送信の中止

ダイレクト送信で、送信中に中止するときは、操作パネルの[ストップ]キー、またはタッチパネルの[キャンセル]を押してください。読み込み中の原稿を排出し、送信の初期画面に戻ります。原稿送り装置に原稿が残っているときは、原稿送り装置から取り出してください。

参考

送信を中止しても、中止するまでに送信されたファクスは相手の方に届く場合があります。誤って受信していないか相手の方に確認してください。

送/受信の中止(通信の切断)

通信中の回線を切って、送信または受信を中止するときは、次の手順で行ってください。

参考

ファクスキットを2台装着しているときは、通信中の回線を選択して切断します。

送信を中止しても、中止するまでに送信されたファクスは相手の方に届く場合があります。誤って受信していないか相手の方に確認してください。

- 1 [状況確認/ジョブ中止]キーを押します。
- 2 [デバイス/通信]を押します。
- 3 「ファクス回線1」または「ファクス回線2」(オプション)の[回線を切る]を押します。
中止の確認画面で、[はい]を押してください。
通信中の回線を切ります。



ポーリング送信/Fコード揭示板送信の中止

ポーリング送信/Fコード揭示板送信を中止するには、ポーリングボックス内に保存されているポーリング送信用原稿を削除してください。削除方法は、[4-48ページのポーリングボックスからの削除のしかた](#)を参照してください。

メモリー転送の中止

メモリー転送の中止は、通信中の回線を切って、転送を中止してください。中止方法は、[3-16ページの送/受信の中止\(通信の切断\)](#)を参照してください。

宛先をアドレス帳から選ぶ

アドレス帳に登録されている宛先を選択します。

参考

送信キーを押したときに、アドレス帳の画面を表示するように設定することができます。詳しくは、本体の使用説明書の「8章 動作設定・登録を行う(システムメニュー)」の「送信」―「初期画面」を参照してください。

- 1 ファクスの基本画面で、[アドレス帳]を押します。



- 2 リストの中から、チェックボックスを押して宛先を選択します。

宛先は複数選択できます。選択された宛先はチェックボックスにチェックマークがつきます。LDAPのアドレス帳を使用する場合は、「アドレス帳」のプルダウンメニューから[拡張アドレス帳]を選択してください。
「表示順」のプルダウンメニューから[フリガナ]、[番号]を選択すると、宛先のリストを並べ替えることができます。



参考

選択を解除するときは、チェックボックスを押してチェックマークを消してください。拡張アドレス帳については、Command Center RX操作手順書を参照してください。

- 3 [OK]を押します。

選択した宛先が宛先リストに登録されます。



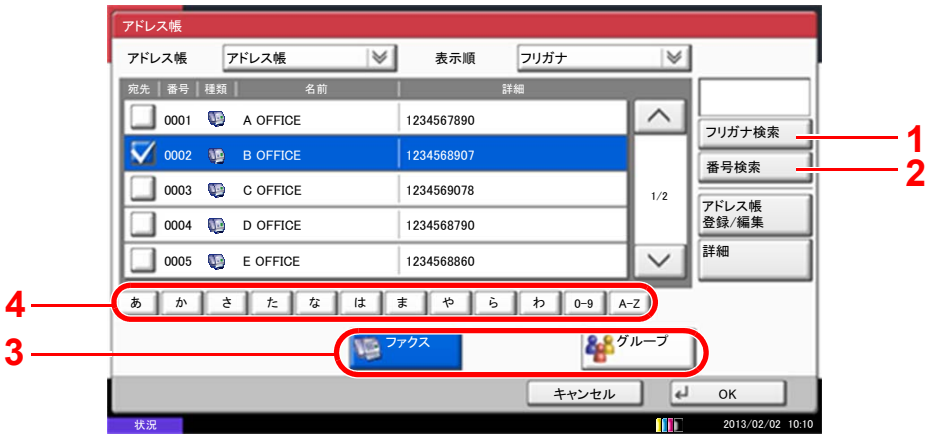
 参考

登録した宛先を削除するときは、その宛先を選択して[削除]を押してください。

「表示順」の初期値を変更することができます。詳しくは、本体の使用説明書の「8章 動作設定・登録を行う(システムメニュー)」の「宛先編集」―「アドレス帳初期設定」―「表示順」を参照してください。

宛先の検索

アドレス帳に登録された宛先の検索や絞り込み検索ができます。



使用するキー	検索方法	検索語句など
1	フリガナ検索	登録されているフリガナで検索します。
2	番号検索	登録されているアドレス番号で検索します。
3	宛先タイプ絞り込み検索	登録されている宛先の種類(ファクス、グループ)で絞り込み検索します。 アドレス帳を表示したときに、宛先の種類が選択されているように設定することができます。詳しくは、本体の使用説明書の「8章 動作設定・登録を行う(システムメニュー)」の「宛先編集」―「アドレス帳初期設定」―「絞り込み表示」を参照してください。
4	頭文字絞り込み検索	頭文字の絞り込み検索には、かな検索、アルファベット検索、および数字検索があります。 かな検索 検索したい頭文字がある行のキー([あ]～[わ])を押すと、その行の列(例:たちつと)のキーが表示されます。表示された列のキーを押すと、その文字で始まる宛先が宛先リストに表示されます。 例えば、"ち"から始まる宛先を検索する場合、[た]を押して[ち]を押してください。"ち"で始まる宛先が宛先リストに表示されます。 アルファベット検索 アルファベット検索キー[A-Z]を押すと、かな検索のキー([あ]～[わ])が[ABC]、[DEF]...のアルファベットのキーに変わります。検索したい頭文字があるアルファベットのキーを押すと、それらの文字で始まる宛先が宛先リストに表示されます。 例えば、"M"から始まる宛先を検索する場合、[A-Z]を押して[MNO]を押してください。"M、N、O"から始まる宛先が宛先リストに表示されます。 * アルファベット検索の間、[A-Z]キーは[かな]の表示に変わります。[かな]を押すとかな検索ができる画面に戻ります。 数字検索 数字検索キー[0-9]を押すと、数字で始まる宛先が宛先リストに表示されます。

登録内容の変更と削除

登録した宛先(個人)やグループの内容変更/削除ができます。

編集する場合

- 1 [システムメニュー]キーを押します。
- 2 [✓]→[宛先編集]→「アドレス帳」の[登録/編集]の順に押します。
- 3 編集する宛先またはグループを選択します。
- 4 [詳細]を押します。
- 5 個人登録の宛先またはグループを編集します。

個人登録の宛先を編集する場合

「アドレス番号」、「名前」、「フリガナ」、送信先のファクス番号や送信詳細設定を変更してください。変更方法は、個人登録(ファクス)の手順3～23、または個人登録(インターネットファクス)の手順3～17を参照してください。

グループを編集する場合

- 1 「アドレス番号」、「名前」、「フリガナ」を変更します。変更方法は、グループ登録の手順3～9を参照してください。
- 2 [メンバー]を押します。
- 3 グループに宛先を追加する場合は、[新規登録]を押します。追加方法は、グループ登録の手順12～13を参照してください。
グループから宛先を削除する場合は、削除する宛先を選択して[削除]を押してください。削除の確認画面で[はい]を押すと、削除されます。
[詳細]を押すと、選択した宛先の詳しい情報が参照できます。
- 6 [登録]を押します。変更の確認画面で[はい]を押します。

削除する場合

- 1 [システムメニュー]キーを押します。
- 2 [✓]→[宛先編集]→「アドレス帳」の[登録/編集]の順に押します。
- 3 削除する宛先またはグループを選択します。
- 4 [削除]を押します。変更の確認画面で[はい]を押します。

宛先をワンタッチキーで選ぶ

ワンタッチキーで宛先を選択できます。



[宛先]画面で、宛先が登録されているワンタッチキーを押してください。

参考
タッチパネル上に宛先のワンタッチキーが表示されていない場合は、右の[へ]/[v]を押してください。次/前のワンタッチキーが表示されます。

番号キーを使う

4桁(0001~1000)のワンタッチキー番号(短縮番号)を指定して、宛先を選択できます。

参考
ワンタッチキーの登録方法は、[2-16ページのワンタッチキーを使う](#)を参照してください。

[宛先]画面で[短縮]キーまたは[番号]を押し、番号入力画面にワンタッチキー番号をテンキーで入力後、[OK]押してください。



参考
1桁、2桁または3桁のワンタッチキー番号を入力する場合は、先頭の0は省略できます。(例: 1や01の入力ができます)

同じ相手に再送信する(リダイヤル)

リダイヤルは、直前に入力された番号にもう一度ダイヤルする機能です。

システムメニューの再宛先で[禁止する]に設定している場合は、リダイヤルを使用できません。

再宛先の設定については、本体の**使用説明書**の「8章 動作設定・登録を行う(システムメニュー)」の「送信」―「再宛先」を参照してください。

自動リダイヤル

送信しようとしても相手先が応答しないときに、本機が自動的にダイヤルし直す機能です。

自動リダイヤルに特に設定は必要ありません。一定の間隔をあけて繰り返し行われますので、相手先の通信が長引いた場合でも安心です。

参考

ダイレクト送信時は、自動リダイヤルは行われません。

自動リダイヤルの回数は、0～14回の間で変更できます。詳細は、[6-16ページのリダイヤルする回数を変更する【リダイヤル回数】](#)を参照してください。

リダイヤル待機中の即時送信はできません。

手動リダイヤル(再宛先呼び出し)

送信を試みたが、相手先が応答しない。もう一度同じ相手先にファクスしたい。そんなときに[再宛先]を押すと、直前にダイヤルした相手先を宛先リストに呼び出すことができます。

- 1 [再宛先]を押します。直前の相手先が宛先リストに表示されます。



参考

直前の送信が同報送信やコンピューター、メールなどの宛先を含んでいる場合は、それらもあわせて表示されます。必要に応じて相手先の追加や削除などを行ってください。

- 2 [スタート]キーを押します。

送信を開始します。

参考

「送信前の宛先確認画面の設定」を「設定する」に設定している場合は、[スタート]キーを押したときに、宛先確認画面が表示されます。詳しくは、[5-12ページの宛先確認画面について](#)を参照してください。

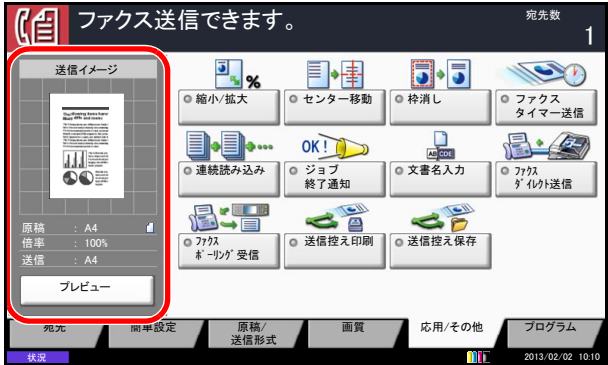
次の条件で再宛先情報は破棄されます。

- ・電源を切ったとき
- ・次の送信操作を行ったとき(新しい再宛先情報が登録されます。)
- ・ログアウトしたとき

送信する原稿のイメージを確認する

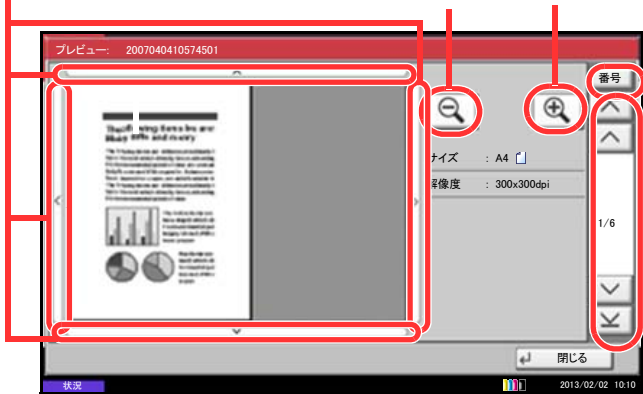
読み込んだ原稿のプレビューをタッチパネル上に表示して、送信画像を確認することができます。

- 1 3-4ページの自動送信するを参照して、送信の準備をします。
- 2 [簡単設定]画面、[原稿/送信形式]画面、[画質]画面、[応用/その他]画面のうち、いずれかの画面の左側にある[プレビュー]を押します。



拡大したとき、表示する範囲を移動できます。

縮小します。拡大します。



複数ページあるときは、ページ番号を入力して、ページを切り替えることができます。

複数ページあるときは、ページを切り替えることができます。

原稿を読み込み、プレビューを表示します。

[詳細表示]を押すと、プレビュー画面が表示されます。

プレビュー画面の操作について

プレビュー画面が表示されているとき、タッチパネルに触れている指の動きで次のような操作を行うことができます。

機能	説明
ドラッグ機能	タッチパネルをタッチした状態で指をスライドさせることで、表示されているプレビューの位置を移動します。
ピンチイン機能 ピンチアウト機能	2本の指でタッチパネルをタッチした状態で、タッチしている指の間隔を狭めたり広げたりすることで表示の拡大や縮小を行います。

参考

次の送信機能を変更されている場合は、その結果がプレビューに反映されます。送信機能の詳細については、[3-4ページの自動送信する](#)、または[4-1ページのファクスの操作方法\(応用編\)](#)を参照してください。

- 解像度の選択
- 濃度の選択
- 原稿サイズ選択
- 送信サイズ選択
- 原稿セット向き
- 画質の選択
- 枠消し
- 縮小/拡大

原稿送り装置に複数ページの原稿をセットしている場合は、すべての原稿を読み込み、1枚目のプレビューを表示します。[詳細表示]を押すと、読み込んだすべてのページのプレビュー画面を表示させることができます。[✓]を押すと、読み込んだ順にプレビューを表示します。

プレビューが表示されている間は、送信機能を変更できません。

- 送信機能を変更する場合は[ストップ]キー、または[中止]を押してください。プレビューが削除されて、宛先がキャンセルされます。送信機能を変更し、宛先を選択すると、再度プレビューを表示できます。

3 送信する場合は[スタート]キーを押します。

送信が開始します。

参考

「送信前の宛先確認画面の設定」を「設定する」に設定している場合は、[スタート]キーを押したときに、宛先確認画面が表示されます。詳しくは、本体の[使用説明書の「8章 動作設定・登録を行う\(システムメニュー\)」の「送信」](#)―「送信前の宛先確認」を参照してください。

原稿送り装置を使用して、再度プレビューを表示するときは、原稿をセットしなおしてください。

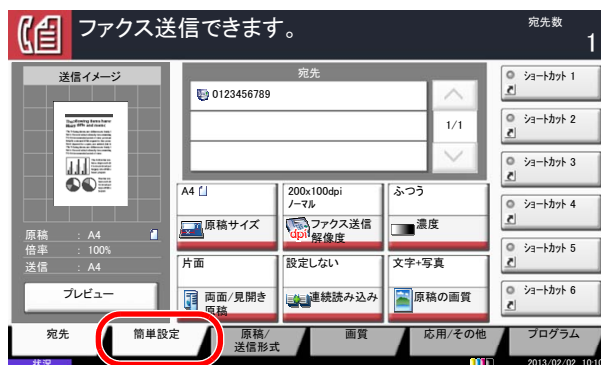
ポーリングボックスに保存されたポーリング送信用原稿も同様に、プレビューで参照できます。ポーリング送信の詳細については、[4-43ページのポーリング送信](#)を参照してください。

次の場合はプレビューを表示できません。

- 原稿混載モードを使用している場合
- ダイレクト送信時
- ポーリング受信時
- 長尺原稿の設定を「設定する」にしている場合

簡単設定画面について

ファクスの基本画面で[簡単設定]を押すと、一般的によく使われるファクス送信の設定をまとめた簡単設定画面が表示されます。



参考

簡単設定画面で設定できる項目は、簡易的な設定です。

詳細な設定を行う場合は、[簡単設定]画面、[原稿/送信形式]画面、[画質]画面、[応用/その他]画面から行ってください。

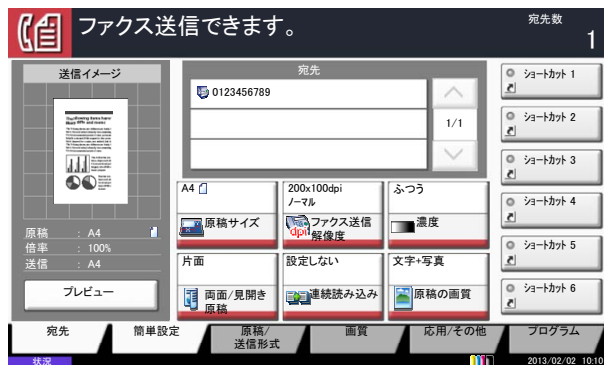
簡単設定画面に登録できる機能

簡単設定画面に登録されている機能と、登録できる機能は次のとおりです。

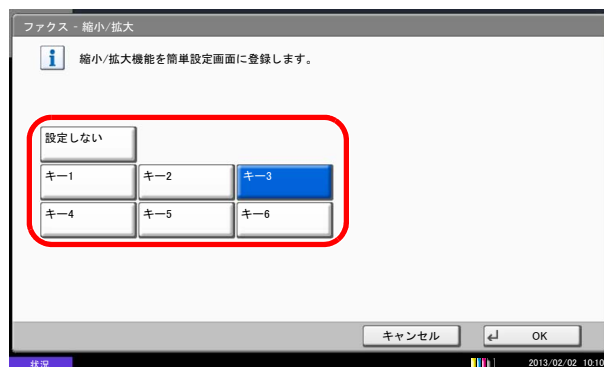
出荷時に登録されている機能	登録できる機能
1: 原稿サイズ 2: ファクス送信解像度 3: 濃度 4: 両面／見開き原稿 5: 連続読み込み 6: 原稿の画質	- 原稿サイズ - 両面/見開き原稿 - 送信サイズ - 原稿セット向き - 濃度 - 原稿の画質 - ファクス送信解像度 - 縮小/拡大 - 連続読み込み

登録変更のしかた

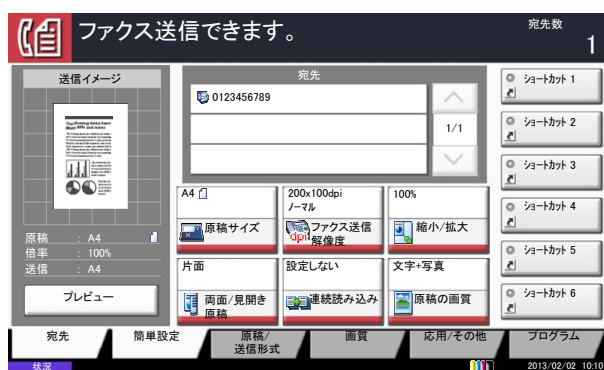
簡単設定画面で、あらかじめ登録されている「濃度」の代わりに「縮小/拡大」機能を登録する場合を例に、操作方法を説明します。



- 1 [システムメニュー]キーを押します。
- 2 [ファクス]→「簡単設定登録」の[次へ]→「縮小/拡大」の[変更]の順に押します。
- 3 入れ替える位置のキー、ここでは[キー3]を押します。

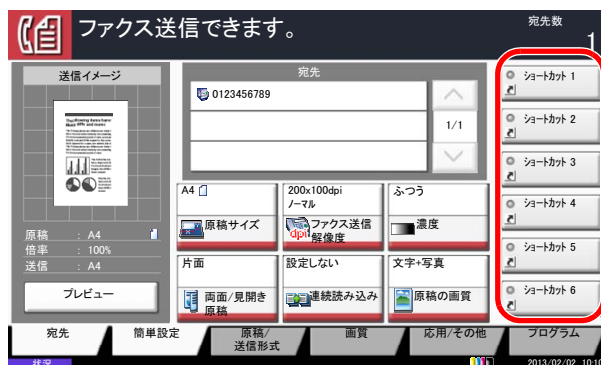


- 4 [OK]を押します。確認画面が表示されますので[はい]を押します。
新しく[縮小/拡大]が登録されます。



ショートカット登録

簡単設定画面にショートカットを登録し、よく使う機能を簡単に呼び出すことができます。また、選択した機能の設定を登録することができます。登録したショートカットキーに表示される機能名は、必要に応じて変更できます。ショートカットは6つまで登録できます。

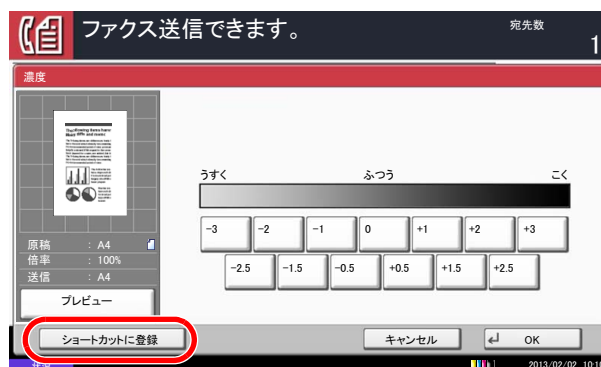


ショートカットの登録

ショートカットの登録は、各機能の設定画面で行います。画面に[ショートカットに登録]が表示される機能はすべて、ショートカットに登録できます。

ショートカットを登録する操作手順は、次のとおりです。

- 1 各機能の設定画面で、登録したい状態を設定してから、[ショートカットに登録]を押します。



- 2 登録するショートカット番号(01~06)のキーを押します。

参考

すでに登録されているショートカット番号を選択すると、新しいショートカットに置き換えることができます。

- 3 名前を入力し、[登録]を押します。
登録したショートカットが追加されます。

ショートカットの変更と削除

ショートカットの番号/名前の変更や、ショートカット削除の手順は次のとおりです。

- 1 各機能の設定画面で、画面下の[ショートカットに登録]を押します。
- 2 [編集]を押して、変更または削除するショートカット番号(01～06)のキーを選択します。
- 3 変更する場合は、登録時と同じ方法で[変更]を押してボタンの番号とショートカット名を変更し、[OK]を押します。

[登録]を押し、変更の確認画面で[はい]を選択すると、ショートカットキーが変更されます。

削除する場合は、[このショートカットを削除]を押してください。削除の確認画面で[はい]を押すとショートカットキーが削除されます。

4 ファクスの操作方法(応用編)

この章では、ファクスを効率的に使う方法について説明します。

長い原稿を読み込む【長尺原稿】.....	4-2
時刻を指定して送信する【タイマー送信】.....	4-3
一括送信機能.....	4-3
タイマー送信ジョブの変更/削除のしかた.....	4-4
1回の操作でたくさんの相手先に送信する【同報送信】.....	4-7
宛先がファクスの場合.....	4-7
宛先がインターネットファクスの場合.....	4-8
通信中に別の原稿の送信を予約する【送信予約】.....	4-10
別の原稿を優先して送信する【割り込み送信】.....	4-11
特定の局番を省略して送信する【チェーンダイヤル】.....	4-12
相手先に電話して手動で送信する【手動送信】.....	4-14
相手先との接続を確認してから送信する.....	4-14
電話を使って送信する.....	4-14
送られてきたファクスを手動で受信する【手動受信】.....	4-15
電話を使って受信する.....	4-15
電話機を操作して受信させる【リモート切替機能】.....	4-16
リモート切替ダイヤルの登録のしかた.....	4-16
リモート切替ダイヤルの使いかた.....	4-17
受信した文書を条件ごとに印刷/転送する【メモリー転送】.....	4-18
転送先の種類と転送条件.....	4-18
すべての受信に適用する.....	4-20
特定の受信に適用する.....	4-22
転送条件の変更/削除.....	4-26
転送詳細設定.....	4-26
Command Center RXからの転送設定(条件付き受信/転送).....	4-30
受信した原稿を管理する【ファクスボックス機能】.....	4-32
ファクスボックスとは.....	4-32
ファクスボックスの登録のしかた.....	4-32
ファクスボックスの変更/削除のしかた.....	4-33
ファクスボックスからの印刷のしかた.....	4-34
ファクスボックスからの削除のしかた.....	4-35
詳細情報の確認/ファイル名の変更のしかた.....	4-36
プレビューの参照のしかた.....	4-36
ファクスボックスリストの印刷のしかた.....	4-37
Fコードを使って通信する【Fコード通信】.....	4-38
Fコード通信とは.....	4-38
Fコード送信のしかた.....	4-38
Fコード受信のしかた.....	4-40
送信する相手や設定内容などを登録する【プログラムダイヤル】.....	4-41
プログラムの登録のしかた.....	4-41
登録内容の変更と削除のしかた.....	4-41
プログラムの使いかた.....	4-42
受信側の操作で通信を開始する【ポーリング通信】.....	4-43
ポーリング送信.....	4-43
ポーリング受信.....	4-46
ポーリングボックスからの印刷のしかた.....	4-48
ポーリングボックスからの削除のしかた.....	4-48
詳細情報の確認/ファイル名の変更のしかた.....	4-50
プレビューの参照のしかた.....	4-51
ファクス番号のテンキー入力を禁止する.....	4-52
ファクスの使用状況などを管理する【管理機能】.....	4-53
その他の便利な機能.....	4-56

長い原稿を読み込む【長尺原稿】

原稿送り装置を使用して、長尺原稿 (給紙される方向に長い原稿) を読み込むことができます。



参考

長尺原稿は、片面しか読み込むことができません。

1,600 mmまでの原稿を読み込むことができます。

- 1 ホーム画面の[ファクス]を押します。
- 2 原稿送り装置に原稿をセットします。
- 3 [原稿/送信形式]→[長尺原稿]の順に押します。
- 4 長尺原稿として読み込む場合は[設定する]を、定形サイズとして読み込む場合は[設定しない]を押します。
- 5 [OK]を押します。
- 6 宛先を指定し、[スタート]キーを押します。
送信が開始します。



参考

「送信前の宛先確認画面の設定」を「設定する」に設定している場合は、[スタート]キーを押したときに、宛先確認画面が表示されます。詳しくは、[5-12ページの宛先確認画面について](#)を参照してください。

時刻を指定して送信する【タイマー送信】

タイマー送信は、送信開始の時刻をセットしておく、その時刻に自動的に送信する機能です。同報送信などの機能と併用することができます。

ここでは、1件の宛先に開始時刻を指定して送信する方法を説明します。

重要

タッチパネル上に表示されている現在時刻が合っていないと、指定時刻に正しく通信できません。表示されている現在時刻が合っていないときは正しく調整してください。詳細は、[2-4ページの日付と時刻を設定する](#)を参照してください。

参考

ダイレクト送信は選択できません。

時刻は、00:00～23:59までの1分単位で指定できます。

送信予約、割り込み送信とあわせて、200件までのタイマー送信を指定できます。

同じ指定時刻のタイマー送信が2つ以上ある場合は、指定した順に送信されます。ただし、指定した順に関わらず同じ宛先への送信は、まとめて行われます。

タイマー送信は、指定時刻の前にキャンセルできます。また、指定時刻の前に送信することもできます。詳細は、[3-15ページのタイマー送信\(待機中\)の中止と即時送信](#)を参照してください。

タイマー送信は、指定時刻の前に宛先の変更をすることもできます。詳細は、[4-4ページのタイマー送信ジョブの変更/削除のしかた](#)を参照してください。

ユーザーボックスの文書をファクスで送信するときにタイマー送信を使用すると、送信が終了するまで文書の移動はできません。ユーザーボックスの操作については、本体の[使用説明書](#)を参照してください。

一括送信機能

タイマー送信を使用して、同じ宛先のファクスを同じ送信開始時刻にセットすると、10件までを一度にまとめて送信します。同じ宛先に通信を繰り返すといったムダがなくなり、通信コストの削減につながります。

参考

ダイレクト送信は一括送信されません。

宛先にテンキー入力とワンタッチキーを組み合わせた場合、一括送信ができません。

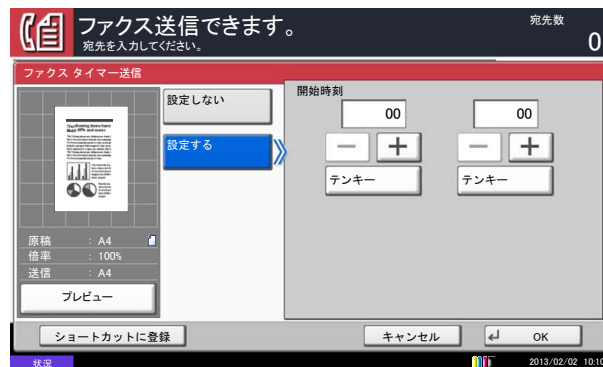
同報送信を使用して同じ送信開始時刻のファクスを2件以上セットしたときに、それぞれの宛先の中に同じ相手先番号がある場合は一括送信されません。

送信開始時刻に、同じ相手先に対してリダイヤル待機中のファクスがある場合は、リダイヤル待機原稿もあわせて一括送信されます。

部門管理を有効にしているときは、同じ部門コードでタイマー送信を使用した原稿だけが一括送信されます。

- 1 ホーム画面の[ファクス]を押します。
- 2 原稿をセットします。

- 3 [応用/その他]→[ファクスタイマー送信]の順に押します。



- 4 [設定する]を押し、[+]または[-]で、送信の開始時刻を入力します。



参考

[テンキー]を押して、テンキーで入力することもできます。

- 5 [OK]を押します。

- 6 宛先を指定し、[スタート]キーを押します。

原稿が読み込まれ、指定時刻になると送信が開始します。



参考

「送信前の宛先確認画面の設定」を「設定する」に設定している場合は、[スタート]キーを押したときに、宛先確認画面が表示されます。詳しくは、[5-12ページの宛先確認画面について](#)を参照してください。

タイマー送信ジョブの変更/削除のしかた

登録した宛先を変更または削除できます。



参考

タイマー送信の中止と即時送信の操作については、[3-15ページのメモリー送信\(通信中\)の中止](#)を参照してください。

操作手順は次のとおりです。

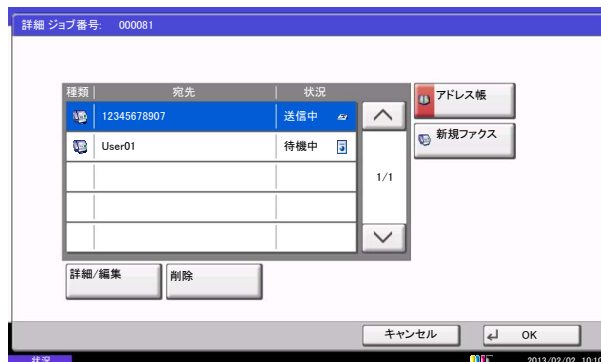
- 1 [状況確認 / ジョブ中止]キーを押します。
- 2 [送信ジョブ]→[予約ジョブ]の順に押します。



- 3 変更または削除したいジョブを一覧で選択し、[詳細]を押します。
- 詳細情報が表示されます。



4 「状況/宛先」の項目の[詳細/編集]を押します。



別の宛先を追加する場合

- 1 アドレス帳で新しい宛先を選択するか、テンキーでファクス番号を入力します。
 [アドレス帳]を押した場合
 1リストから新しい宛先を選択して[OK]を押します。
 [新規ファクス]を押した場合
 1宛先をテンキーで入力します。
 2[OK]を押します。
- 2 [OK]を押します。

 参考

「新規宛先の入力確認」を[設定しない]に設定している場合は、番号入力後、[OK]を押すと、番号が確定されます。

「新規宛先の入力確認」を[設定する]に設定している場合は、番号入力後、[OK]を押すと、確認画面が表示されます。
 再度ファクス番号を入力して[OK]を押してください。

「新規宛先の入力」が[禁止する]に設定されているときは、テンキーを使って修正はできません。詳しくは、[4-52ページのファクス番号のテンキー入力を禁止する](#)を参照してください。

別の宛先に変更する場合

- 1 [✓]または[へ]を押して、変更する宛先を選択します。
- 2 [詳細/編集]を押すと、選択した宛先を変更できます。
- 3 [OK]を押します。

タイマー送信ジョブを削除する場合

- 1 [✓]または[へ]を押して、削除する宛先を選択します。
- 2 [削除]を押します。
- 5 [OK]を押します。

1回の操作でたくさんの相手先に送信する【同報送信】

1回の操作で同じ原稿を複数の宛先に送ることができる機能です。本機は送信する原稿をいったんメモリーに蓄積(記憶)し、その後で指定された宛先に自動的にダイヤルと送信を繰り返します。



参考

宛先にグループを使用すれば、1回の操作で最大500ヶ所の相手先に送信することができます。

Fコード通信やタイマー送信と合わせて使用できます。

ダイレクト送信が選択されている場合は、送信時にメモリー送信に切り替わります。

宛先がファクスの場合

- 1 ホーム画面の[ファクス]を押します。
- 2 原稿をセットします。
- 3 宛先を選択します。

ファクス番号を入力する

- 1 [新規ファクス]を押し、テンキーでファクス番号を入力します。
 - ・「新規宛先の入力確認」を[設定しない]に設定している場合は、番号入力後、[OK]を押すと、番号が確定されます。
 - ・「新規宛先の入力確認」を[設定する]に設定している場合は、番号入力後、[OK]を押すと、確認画面が表示されます。再度ファクス番号を入力して[OK]を押してください。
 - ・「新規宛先の入力」の設定が[禁止にする]に設定されているときは、テンキーを使って入力できません。詳しくは、[4-52ページのファクス番号のテンキー入力を禁止する](#)を参照してください。

番号確定後、[新規ファクス]を押すと、次のファクス番号が入力できます。

[編集]を押すと、入力した番号を変更できます。

新規宛先の入力確認については、本体の**使用説明書**の「8章 動作設定・登録を行う(システムメニュー)」の「送信」―「新規宛先の入力確認」を参照してください。

- 2 すべての宛先が入力できたら、[OK]を押します。

宛先をアドレス帳から選択する

- 1 [アドレス帳]を押します。
- 2 リストの中から、選択する宛先のチェックボックスにすべてチェックマークをつけます。
LDAPのアドレス帳を使用する場合は、「アドレス帳」の[拡張アドレス帳]を選択します。
- 3 [OK]を押します。

宛先をワンタッチキーから選択する

必要な宛先が登録されているワンタッチキーをすべて押してください。



参考

アドレス帳の詳細は、[3-18ページの宛先をアドレス帳から選ぶ](#)を参照してください。

ワンタッチキーの詳細は、[2-16ページのワンタッチキーの新規登録](#)を参照してください。

宛先は、直接入力、アドレス帳、ワンタッチキーを組み合わせで選択することができます。

- 4 すべての宛先が選択できたら、[スタート]キーを押します。

送信が開始します。



参考

「送信前の宛先確認画面の設定」を「設定する」に設定している場合は、[スタート]キーを押したときに、宛先確認画面が表示されます。詳しくは、[5-12ページの宛先確認画面について](#)を参照してください。

宛先がインターネットファクスの場合



参考

インターネットファクスの詳細は、[8-8ページのインターネットファクス送信](#)を参照してください。

- 1 [送信]キーを押します。
- 2 原稿をセットします。
- 3 宛先を選択します。

インターネットファクスアドレスを入力する

- 1 [新規i-ファクス]を押します。
- 2 [i-ファクスアドレス]を押し、インターネットファクスアドレスを入力して、[OK]を押します。
- 3 [OK]を押します。
 - ・「新規宛先の入力確認」を[設定しない]に設定している場合は、アドレスが確定されます。
 - ・「新規宛先の入力確認」を[設定する]に設定している場合は、確認画面が表示されず。再度インターネットファクスアドレスを入力して[OK]を押してください。

アドレス確定後、[新規i-ファクス]を押すと、次のインターネットファクスアドレスが入力できます。

[詳細/編集]を押すと、入力したアドレスを変更できます。

新規宛先の入力確認については、本体の使用説明書の「8章 動作設定・登録を行う(システムメニュー)」の「送信」―「新規宛先の入力確認」を参照してください。

宛先をアドレス帳から選択する

- 1 [アドレス帳]を押します。
- 2 リストの中から、選択する宛先のチェックボックスにすべてチェックマークをつけます。
LDAPのアドレス帳を使用する場合は、「アドレス帳」の[拡張アドレス帳]を選択します。
- 3 [OK]を押します。

宛先をワンタッチキーから選択する

必要な宛先が登録されているワンタッチキーをすべて押してください。



参考

アドレス帳の詳細は、[3-18ページの宛先をアドレス帳から選ぶ](#)を参照してください。

ワンタッチキーの詳細は、[2-16ページのワンタッチキーの新規登録](#)を参照してください。

宛先は、直接入力、アドレス帳、ワンタッチキーを組み合わせで選択することができます。

- 4 すべての宛先が選択できたら、[スタート]キーを押します。
送信が開始します。



参考

「送信前の宛先確認画面の設定」を「設定する」に設定している場合は、[スタート]キーを押したときに、宛先確認画面が表示されます。詳しくは、[5-12ページの宛先確認画面について](#)を参照してください。

通信中に別の原稿の送信を予約する【送信予約】

通信中に原稿を読み込んで、次の送信を予約できます。通信が終わると、自動的に予約した送信を開始します。送信予約を使用すれば、同報送信などで通信が長引くときに待つ必要がなくなります。



参考

タイマー送信や割り込み送信と合わせて200件まで予約することができます。

同報送信を使用できます。

送信方法はメモリー送信で行ってください。メモリー送信の操作については、[3-4ページの送信方法の選択](#)を参照してください。

- 1 ホーム画面の[ファクス]を押します。
- 2 原稿をセットします。
- 3 宛先を選択し、使用する送信機能がある場合は設定します。
- 4 [スタート]キーを押します。

原稿の読み込みを開始して、次の送信を予約します。



参考

「送信前の宛先確認画面の設定」を「設定する」に設定している場合は、[スタート]キーを押したときに、宛先確認画面が表示されます。詳しくは、[5-12ページの宛先確認画面について](#)を参照してください。

- 5 通信が終わると、予約した送信が開始します。

別の原稿を優先して送信する【割り込み送信】

通信中にダイレクト送信を選択して原稿を読み込むと、割り込み送信ができます。同報送信などで通信が長引く場合や、次の送信が予約されている場合でも、割り込み送信を使用した原稿を先に送信します。



参考

送信予約やタイマー送信がすでに200件ある場合は、割り込み送信ができません。

割り込み送信のタイミングによっては、すぐに割り込めない場合があります。

- 1 ホーム画面の[ファクス]を押します。
- 2 割り込み送信する原稿をセットします。
- 3 [応用/その他]→[ファクスダイレクト送信]の順に押します。
- 4 [設定する]を押します。
- 5 [OK]を押します。
- 6 宛先を指定し、[スタート]キーを押します。

原稿が送信できる状態になれば、割り込み送信が開始します。



参考

「送信前の宛先確認画面の設定」を「設定する」に設定している場合は、[スタート]キーを押したときに、宛先確認画面が表示されます。詳しくは、[5-12ページの宛先確認画面について](#)を参照してください。

ダイレクト送信の操作については、[3-4ページの送信方法の選択](#)を参照してください。

割り込み送信の待機中に送信を中止するときは、操作パネルの[ストップ]キーまたは、タッチパネルの[中止]を押してください。詳細は、[3-15ページの通信を中止する](#)を参照してください。

- 7 割り込み送信が終了すると、中断していた通信や送信予約が自動的に開始します。

特定の局番を省略して送信する【チェーンダイヤル】

チェーンダイヤルは、複数の宛先に共通する番号でチェーン番号を作成し、相手先のファクス番号をつなげてダイヤルする機能です。

国際電話や遠方の送信相手にファクス送信する場合に、電話会社をチェーン番号として複数登録しておき、料金の安い電話会社を選択して送信することもできます。

参考

チェーン番号は、相手先のファクス番号の先頭に使用できます。

よく使用するチェーン番号は、アドレス帳またはワンタッチキーに登録しておく则便利です。アドレス帳への登録は、[2-6ページの宛先の新規登録](#)、ワンタッチキーへの登録は、[2-16ページのワンタッチキーの新規登録](#)を参照してください。

例として、「001」をチェーン番号に使用します。

- 1 ホーム画面の[ファクス]を押します。
- 2 原稿をセットします。
- 3 [新規ファクス]を押して、テンキーで「001」を入力します。

アドレス帳またはワンタッチキーを使用する場合は、「001」が登録された宛先を選択してください。

参考

アドレス帳とワンタッチキーについては、[3-18ページの宛先をアドレス帳から選ぶ](#)、[2-16ページのワンタッチキーを使う](#)を参照してください。

「新規宛先の入力」の設定が[禁止にする]に設定されているときは、テンキーを使って入力できません。詳しくは、[4-52ページのファクス番号のテンキー入力を禁止する](#)を参照してください。

- 4 [チェーン]を押します。



- 5 チェーン番号につなげるファクス番号を入力します。

ファクス番号をテンキーで入力する

続けてファクス番号を入力してください。

- 「新規宛先の入力確認」を[設定しない]に設定している場合は、番号入力後、[OK]を押すと番号が確定されます。
- 「新規宛先の入力確認」を[設定する]に設定している場合は、番号入力後、[OK]を押すと確認画面が表示されます。再度ファクス番号を入力して[OK]を押してください。
- 「新規宛先の入力」の設定が[禁止にする]に設定されているときは、テンキーを使って入力できません。詳しくは、[4-52ページのファクス番号のテンキー入力を禁止する](#)を参照してください。

番号確定後、[新規ファクス]を押すと、次のファクス番号が入力できます。その場合、チェーン番号を再度入力してください。

[編集]を押すと、入力した番号を変更できます。

新規宛先の入力確認については、本体の**使用説明書**の「8章 動作設定・登録を行う(システムメニュー)」の「送信」―「新規宛先の入力確認」を参照してください。

ファクス番号をアドレス帳から選択する

- 1 [アドレス帳]を押します。
- 2 リストの中から、宛先を選択します。
複数の宛先を選択できます。
- 3 [OK]を押します。
宛先にはすべて「001」が自動的に付加されます。

ファクス番号をワンタッチキーから選択する

ワンタッチキーの中から宛先を選択してください。宛先に「001」が自動的に付加されます。

続けてワンタッチキーでファクス番号を入力するときは、チェーン番号を再度入力してください。

- 6 [スタート]キーを押します。

送信が開始します。



参考

「送信前の宛先確認画面の設定」を[設定する]に設定している場合は、[スタート]キーを押したときに、宛先確認画面が表示されます。詳しくは、[5-12ページの宛先確認画面について](#)を参照してください。

相手先に電話して手動で送信する【手動送信】

相手先との回線がつながったことを確認した後、[スタート]キーを押して送信する方法です。本機にオプションのハンドセットあるいは電話機(市販品)を接続すれば、原稿を送信する前に相手と電話で話すことができます。

相手先との接続を確認してから送信する

相手先との回線がつながったことを音声で確認してから送信できます。

- 1 ホーム画面の[ファクス]を押します。
- 2 原稿をセットします。
- 3 [オンフック]を押します。
- 4 相手先の番号をテンキーで入力します。



参考

操作を途中で中止するときは、[回線を切る]を押してください。

- 5 「ピー」という音が聞こえたら、相手先のファクスとつながっています。[スタート]キーを押します。
送信が開始します。



参考

「送信前の宛先確認画面の設定」を「設定する」に設定している場合は、[スタート]キーを押したときに、宛先確認画面が表示されます。詳しくは、[5-12ページの宛先確認画面について](#)を参照してください。

電話を使って送信する

原稿を送信する前に相手と電話で話したいときや、相手先機がファクスへの切り替えを必要とするときは、この方法で送信してください。

- 1 原稿をセットします。
- 2 オプションのハンドセットまたは電話の受話器を上げて、相手先にダイヤルします。
- 3 相手先のファクスとつながったかどうか確認します。

「ピー」という音が聞こえたとき

相手先はファクスです。

- 1 ホーム画面の[ファクス]を押します。
- 2 [オンフック]を押します。
- 3 [スタート]キーを押します。原稿の送信が開始します。

相手先の話し声が聞こえたとき

相手先の電話につながっています。会話が終わったら、上記の手順1～3を行ってください。

- 4 送信が開始したら(操作パネルの[処理中]ランプが点滅したら)、ハンドセットまたは受話器を元に戻します。

送られてきたファクスを手動で受信する【手動受信】

相手先との回線がつながったことを確認した後、[手動受信]を押して受信する方法です。本機にオプションのハンドセットまたは電話機(市販品)を接続することが必要です。

参考

本機の受信方式は、通常、ファクス専用自動受信が選択されています。手動受信を使用するには、受信方式を手動受信に変更する必要があります。受信方式の変更については、[6-17ページの利用状況に合わせて受信のしかたを切り替える【受信方式】](#)を参照してください。

ファクスキットを2台装着する場合、ポート2の受信方式はファクス専用自動受信のみです。

電話を使って受信する

相手先との回線がつながったことを確認してから受信できます。

- 1 着信すると、接続された電話で呼び出し音が鳴ります。
- 2 オプションのハンドセットまたは電話の受話器を上げます。
- 3 相手先のファクスとつながったかどうか確認します。

「ポーッポーッ」という音が聞こえたとき

相手先はファクスです。

- 1 [状況確認/ジョブ中止]キーを押します。
- 2 [デバイス/通信]→[手動受信]の順に押します。
受信が開始します。



参考

トーン信号を送出できる電話機を使用している場合は、リモート切替機能で電話機から受信を開始させることができます。(4-16ページの電話機を操作して受信させる【リモート切替機能】参照)

相手先の話し声が聞こえたとき

相手先の電話につながっています。会話が終わったら、上記の手順3の1、2を行ってください。

相手側が送信すると、本機は受信を開始します。

- 4 受信が開始したら(操作パネルの[処理中]ランプが点滅したら)、ハンドセットまたは受話器を元に戻します。

電話機を操作して受信させる【リモート切替機能】

接続された電話機からの操作で、ファクスの受信を開始させることができます。本機と電話機(市販品)を離れた場所に設置して併用するときには便利な機能です。

接続された電話機からの操作でファクスの受信を開始させるときは、次の操作を行ってください。



参考

リモート切替を行うためには、トーン信号を送出できる電話機(市販品)を本機に接続することが必要です。ただし、トーン信号を発信することができる電話機でも、種類によってはこの機能をうまく使用できない場合があります。詳しくは弊社代理店またはお買い上げ店までご連絡ください。

リモート切替ダイヤルの登録のしかた

リモート切替ダイヤルは、工場出荷時では55になっていますが、変更することもできます。

- 1 [システムメニュー]キーを押します。
- 2 [ファクス]→「受信設定」の[次へ]→「ファクス」の[次へ]→「リモート切り替えダイヤル」の[変更]の順に押します。
- 3 [+], [-]またはテンキーを押して新たに登録する番号(00-99)を入力します。
- 4 [OK]を押します。

リモート切替ダイヤルの使いかた

接続された電話機からの操作でファクスの受信を開始させるときは、次の操作を行ってください。

- 1 接続された電話機で呼び出し音が鳴ります。



- 2 電話機を受話器を上げます。



- 3 受話器からファクスの発信音が聞こえたら、2桁のリモート切替ダイヤルを電話機側のダイヤルボタンで入力します。



参考

工場出荷時のリモート切替ダイヤル(2桁)は55です。
2桁のリモート切替ダイヤルを入力するときは、ゆっくり押してください。短い間隔でダイヤルボタンを押すと、ファクスに切り替わらないことがあります。

- 4 回線は本体側に切り替わり、受信が開始されます。

受信した文書を条件ごとに印刷/転送する【メモリー転送】

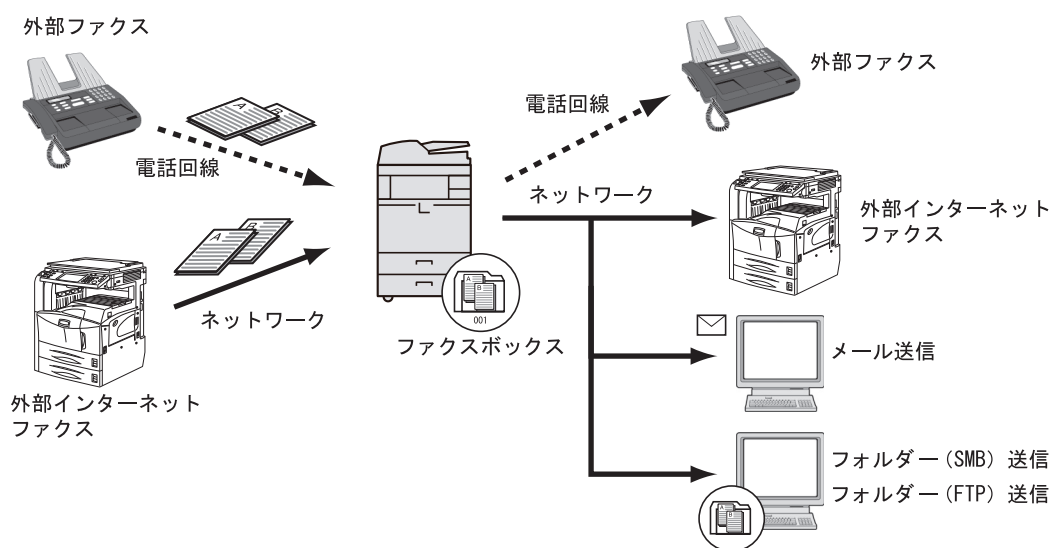
ファクスまたはインターネットファクスを受信したとき、受信画像を他のファクス、コンピューターやファクスボックスに転送したり、印刷部数を設定したりできます。

転送先の種類と転送条件

転送先と転送条件を指定することができます。

転送先の種類

他のファクス、インターネットファクス、ファクスボックス、メール送信、フォルダー(SMB)送信、フォルダー(FTP)送信に転送することができます。



転送条件



重要

指定されている転送条件に合致するファクスまたはインターネットファクスを1件転送します。複数の転送条件に当てはまるときは、転送条件の優先順位に従って転送されます。

転送条件は、下記の1～5です。転送条件の優先順位を変更する場合は、[4-26ページの転送条件の優先順位をあげる](#)をご覧ください。

転送条件は次のとおりです。

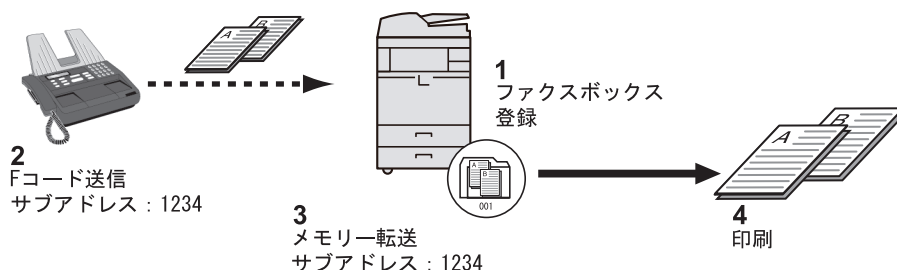
- 1 Fコード(Fコードサブアドレス)
- 2 送信元ファクス番号
- 3 ダイヤルイン番号
- 4 受信回線(ファクスキットを2台装着時)
- 5 相手先アドレス(インターネットファクス)

メモリー転送機能を使って次のような通信を行うことができます。

Fコード親展通信

受信した原稿を印刷せずに、あらかじめ登録しておいたファクスボックスに保存し、誰にも見られずに印刷することができます。

設定例



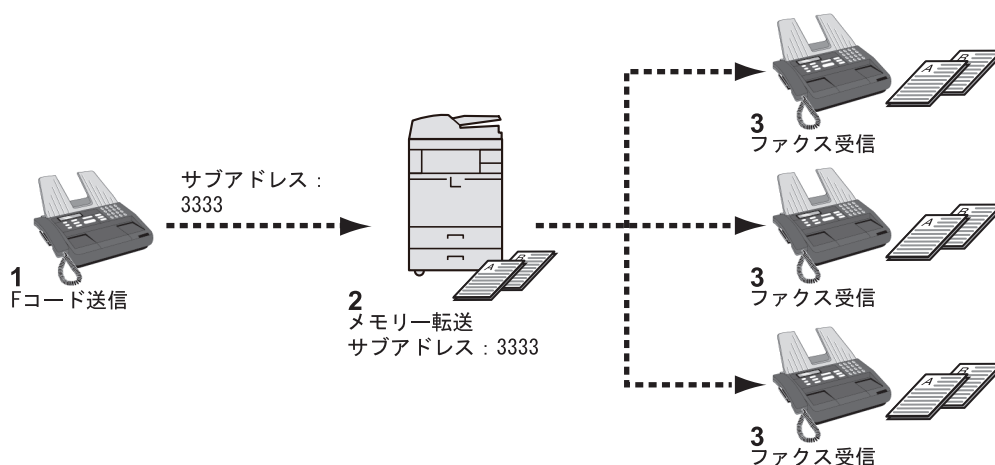
- 1 ファクスボックスを登録する。(4-32ページ参照)
- 2 Fコード送信する。
- 3 メモリー転送で原稿をファクスボックスに保存する。
- 4 ファクスボックスから原稿を印刷する。(4-34ページ参照)

Fコード中継同報通信

受信した原稿を複数のファクスに転送します。Fコードを転送条件とすることで、特定の通信だけを中継同報することができます。

 **参考**
メモリー転送時、本機で印刷する/しないの設定ができます。また、印刷する場合は部数の設定ができます。詳細は[4-29ページの印刷部数の設定](#)を参照してください。

設定例



- 1 Fコード送信する。
- 2 メモリー転送で複数のファクスに転送する。
- 3 各転送先でファクスを受信する。

すべての受信に適用する

すべての受信に設定を適用すると、受信したすべての文書を条件ごとに印刷/転送します。
すべての受信に設定を適用するときは次の手順を行ってください。

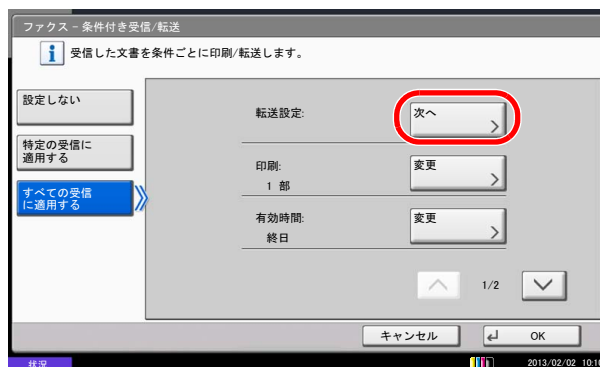
参考

受信条件ごとに設定を変更する場合は、[4-22ページの特定の受信に適用する](#)を参照してください。

登録内容を変更するときも、同様の操作を行ってください。

すべての受信に適用する場合は、ファクスボックスに保存できません。

- 1 [システムメニュー]キーを押します。
- 2 [ファクス]→「条件付き受信/転送」の[次へ]の順に押します。
- 3 [すべての受信に適用する]を押します。
- 4 「転送設定」の[次へ]を押します。



- 5 「転送」の[変更]を押します。
- 6 転送する場合は[設定する]を、また転送しない場合は[設定しない]を選択し、[OK]を押します。
- 7 「転送先」の[変更]を押します。
- 8 転送先を指定します。次のいずれかのキーを押して相手先を選択し、[OK]を押してリストに追加します。



参考

宛先は複数登録することができます。宛先にグループを使用すれば、最大500件の相手先を指定することができます。

キー	内容
アドレス帳	アドレス帳または拡張アドレスに登録している宛先を選択してください。
新規メール	原稿をメール送信で転送します。転送する相手先のメールアドレスを入力してください。
新規フォルダー	原稿をフォルダー(SMB)送信またはフォルダー(FTP)送信で転送します。転送する相手先のホスト名、パス、ログインユーザー名、ログインパスワードをそれぞれ入力してください。
新規ファクス	原稿を他のファクスに転送します。相手先のファクス番号をテンキーで入力し、送信詳細設定をしてください。 「新規宛先の入力」が[禁止する]に設定されているときは、テンキーを使って入力できません。詳しくは、 4-52ページのファクス番号のテンキー入力を禁止する を参照してください。
新規i-ファクス	原稿をインターネットファクスで転送します。転送する相手先のインターネットファクスアドレスを入力し、相手機条件を設定してください。



参考

登録した宛先を修正する場合は、リストから修正する宛先を選択し、[詳細/編集]を押して修正してください。

登録した宛先を削除する場合は、リストから削除する宛先を選択し、[削除]を押してください。

9 [OK]を押します。

10 必要に応じて、次の設定を変更することができます。

- ファイル形式設定
- メール件名付加情報設定
- FTP暗号送信設定
- ファイル分割



参考

上記設定については、[4-26ページの転送詳細設定](#)を参照してください。

11 [OK]を押します。

12 次の設定を変更することができます。

- 印刷部数の設定
- 有効時間設定
- 文書名登録



参考

上記設定については、[4-26ページの転送詳細設定](#)を参照してください。

13 [OK]を押します。

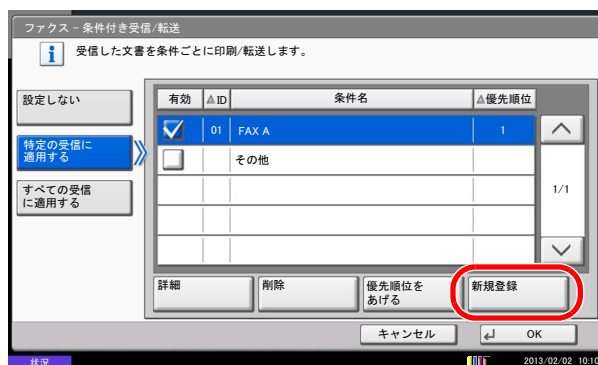
転送が設定されます。

特定の受信に適用する

特定の受信に設定を適用するときは、次の手順を行ってください。

条件を100件まで登録することができます。

- 1 [システムメニュー]キーを押します。
- 2 [ファクス]→「条件付き受信/転送」の[次へ]の順に押します。
- 3 [特定の受信に適用する]を押します。
- 4 [新規登録]を押します。



- 5 「条件番号」の[変更]を押します。
- 6 [+], [-]またはテンキーで、条件番号(001～100)を入力します。
- 7 [OK]を押します。
- 8 「条件名」の[変更]を押します。
- 9 条件名を入力し、[OK]を押します。

参考

文字の入力方法は[11-2ページの文字の入力方法](#)を参照してください。

条件名は、32文字まで入力できます。

- 10 「条件」の[変更]を押します。
- 11 ファクス受信を転送する場合は「ファクス」を選択して[次へ]を押します。
インターネットファクス受信を転送する場合は「i-ファクス」を選択して[次へ]を押してください。
- 12 条件を登録します。

手順11で「ファクス」を選択した場合

条件	登録方法
Fコード(Fコードサブアドレス)	[Fコード]を押して、テンキーで送信元のサブアドレスを入力してください。 サブアドレスは、0～9の数字とスペース、「#」、「*」の文字を使って20桁まで入力できます。
送信元ファクス番号	[送信元ファクス番号]を押して、テンキーで送信元のファクス番号を入力してください。20桁まで入力できます。転送条件に送信元ファクス番号を選択した条件は、9件までしか登録できません。 「新規宛先の入力」の設定が[禁止にする]に設定されているときは、テンキーを使って入力できません。詳しくは、 4-52ページのファクス番号のテンキー入力を禁止する を参照してください。
ダイヤルイン番号	[ダイヤルイン]を押して、テンキーでダイヤルイン番号(4桁)を入力してください。0000～9,999の番号が入力できます。
受信回線(ポート)	[ポート]を押して、「ポート1」または「ポート2」を選択してください。ただし、ポートを選択すると、ファクスボックス転送はできなくなります。 この項目は、ファクスキットを2台装着時のみ表示します。

手順11で「i-ファクス」を選択した場合

検索条件	登録方法
相手先アドレス	[i-ファクスアドレス]を押してください。 相手先のインターネットファクスアドレスを入力してください。128文字まで入力できます。



参考

転送条件に送信元ファクス番号(相手の自局登録情報)を選び、送信元ファクス番号として何も入力せずに転送を設定した場合に、送信元ファクス番号が登録されていない相手先からのファクスを転送できます。

送信元ファクス番号または相手先アドレスを転送条件にする場合、[∨]を押して、「検索条件」を設定できます。

- 以下と一致する
- 以下で始まる
- 以下で終わる
- 以下を含む

13 [OK]を押します。

14 「転送設定」の[次へ]を押します。

15 「転送」の[変更]を押します。

16 転送する場合は[設定する]を、また転送しない場合は[設定しない]を選択し、[OK]を押します。

17 「転送先」の[変更]を押します。

- 18** 転送先を指定します。次のいずれかのキーを押して相手先を選択し、[OK]を押してリストに追加します。

キー	内容
アドレス帳	アドレス帳または拡張アドレス帳に登録している宛先を選択します。
新規メール	原稿をメール送信で転送します。転送する相手先のメールアドレスを入力してください。
新規フォルダー	原稿をフォルダー (SMB) 送信またはフォルダー (FTP) 送信で転送します。転送する相手先のホスト名、パス、ログインユーザー名、ログインパスワードをそれぞれ入力してください。
新規ファクス	原稿を他のファクスに転送します。相手先のファクス番号をテンキーで入力し、送信詳細設定をしてください。 「新規宛先の入力」の設定が[禁止にする]に設定されているときは、テンキーを使って入力できません。詳しくは、 4-52ページのファクス番号のテンキー入力を禁止する を参照してください。
新規i-ファクス	原稿をインターネットファクスで転送します。転送する相手先のインターネットファクスアドレスを入力し、相手機条件を設定してください。

 参考

登録した宛先を修正する場合は、リストから修正する宛先を選択し、[詳細/編集]を押して修正してください。

登録した宛先を削除する場合は、リストから削除する宛先を選択し、[削除]を押してください。

- 19** [OK]を押します。

- 20** 必要に応じて、次の設定を変更することができます。

- ファイル形式
- メール件名付加情報
- FTP暗号送信
- ファイル分割

 参考

上記設定については、[4-26ページの転送詳細設定](#)を参照してください。

- 21** [OK]を押します。

- 22** 「ファクスボックス保存」の[変更]を押します。

- 23** 原稿をファクスボックスに保存するときは、[設定する]を押します。ファクスボックスに保存しないときは、[設定しない]を選択し、[OK]を押して手順25に進んでください。

 参考

転送先にファクスボックスを設定する場合は、事前にファクスボックスを登録してください。詳細は、[4-32ページの受信した原稿を管理する【ファクスボックス機能】](#)を参照してください。

- 24** 原稿を保存するファクスボックスを選択し、[OK]を押します。

ファクスボックスにパスワードが設定されている場合は、パスワード入力画面が表示されます。入力後、[OK]を押してください。

25 次の設定を変更することができます。

- 印刷部数の設定
- 有効時間設定
- 文書名登録
- 優先順位設定



参考

上記設定については、[4-26ページの転送詳細設定](#)を参照してください。

26 [登録]を押します。

転送設定が登録されます。

27 別の転送設定を登録する場合は、手順4～26を繰り返します。

28 条件に当てはまらない受信ファクスの転送を設定する場合は、「その他」を選び[詳細]を押し、設定を変更します。



参考

「その他」を設定しない場合、条件に当てはまらない受信ファクスは印刷されます。

「その他」の設定では、ファクスボックス保存の設定はできません。

29 リストの中から、チェックボックスを押して有効にする転送設定を選択します。

有効にする転送設定にはチェックマークがつきます。



参考

設定を無効にするときは、チェックボックスを押してチェックマークを消してください。

30 [OK]を押します。

条件ごとに設定が登録されます。

転送条件の変更/削除

転送条件を変更または削除するときは次の手順で行ってください。

- 1 [4-22ページの特定の受信に適用する](#)の手順1～3を行います。
- 2 削除または変更する条件名を選択します。
削除するときは次の手順に、変更するときは手順4に進んでください。
- 3 [削除]を押します。確認画面が表示されたら[はい]を押し、手順6に進んでください。
- 4 [詳細]を押します。
- 5 [4-22ページの特定の受信に適用する](#)の手順5～26を参考に設定を変更します。
- 6 削除または変更が終わりましたら、[OK]を押します。

転送条件の優先順位をあげる

転送条件の優先順位をあげるときは次の手順で行ってください。

- 1 [4-22ページの特定の受信に適用する](#)の手順1～3を行います。
- 2 優先順位をあげる条件名を選択します。
- 3 [優先順位をあげる]を押します。
選択した条件の優先順位があがります。

条件付き受信/転送の解除

転送を解除するときは、次の手順を行ってください。

- 1 [システムメニュー]キーを押します。
- 2 [ファクス]→「条件付き受信/転送」の[次へ]の順に押します。
- 3 [設定しない]を押して、[OK]を押します。

転送詳細設定

転送設定で次の詳細設定を変更できます。

有効時間設定

設定した条件が有効になる開始時刻と終了時刻を登録します。

すべての受信に適用する

[4-20ページのすべての受信に適用する](#)の手順1～3を行ってください。

特定の受信に適用する

[4-22ページの特定の受信に適用する](#)の手順1～3を行い、条件を選択して[詳細]を押してください。

- 1 「有効時間」の[変更]を押します。

2 [終日]または[時間指定]を選択します。

終日転送する場合は[終日]を選択し、[OK]を押してください。

転送時刻を指定する場合は[時間指定]を選択し、次の手順に進んでください。



3 [+]と[-]を押して開始時刻と終了時刻を入力し、[OK]を押します。



参考

時刻は24時間制で入力してください。

優先順位設定

登録した転送条件の優先順位を設定します。

- 1** [4-22ページの特定の受信に適用する](#)の手順1～3を行い、条件を選択して[詳細]を押します。
- 2** 「優先順位」の[変更]を押します。
- 3** [+],[-]またはテンキーで、優先順位を入力します。
- 4** [OK]を押します。

ファイル形式設定

メール送信、フォルダー(SMB)送信、またはフォルダー(FTP)送信する場合に、ファイル形式をPDF、TIFFまたはXPSから選択します。

すべての受信に適用する

[4-20ページのすべての受信に適用する](#)の手順1～4を行ってください。

特定の受信に適用する

[4-22ページの特定の受信に適用する](#)の手順1～3を行い、条件を選択して[詳細]を押したあと、手順14を行ってください。

- 1** 「ファイル形式」の[変更]を押します。
- 2** [PDF]、[TIFF]または[XPS]を選択して、[OK]を押します。



参考

ファイル形式でPDFを選択した場合、PDF暗号化機能を使用することができます。詳しくは本体の使用説明書を参照してください。

- 3** [OK]を押します。

メール件名付加情報設定

メールを送信するときに、メールの件名に情報を付加するかどうか設定します。情報を付加する場合は、送信元名または送信元から選択します。

すべての受信に適用する

[4-20ページのすべての受信に適用する](#)の手順1～4を行ってください。

特定の受信に適用する

[4-22ページの特定の受信に適用する](#)の手順1～3を行い、条件を選択して[詳細]を押したあと、手順14を行ってください。

- 1 「メール件名付加情報」の[変更]を押します。
- 2 [送信元名]、[送信元 ファクス番号／アドレス]または[設定しない]を押して、[OK]を押します。

FTP暗号送信設定

転送するときにFTP暗号送信をするかどうか設定します。

すべての受信に適用する

[4-20ページのすべての受信に適用する](#)の手順1～4を行ってください。

特定の受信に適用する

[4-22ページの特定の受信に適用する](#)の手順1～3を行い、条件を選択して[詳細]を押したあと、手順14を行ってください。

- 1 「FTP暗号送信」の[変更]を押します。
- 2 [設定する]または[設定しない]を選択します。
- 3 [OK]を押します。



参考

FTP暗号送信機能を使用する場合、セキュアプロトコル設定の「SSL」の設定を[使用する]にしてください。詳しくは本体の使用説明書を参照してください。

ファイル分割

メール送信、フォルダー(SMB)送信またはフォルダー(FTP)送信する場合に、ページ分割するかどうか設定します。

すべての受信に適用する

[4-20ページのすべての受信に適用する](#)の手順1～4を行ってください。

特定の受信に適用する

[4-22ページの特定の受信に適用する](#)の手順1～3を行い、条件を選択して[詳細]を押したあと、手順14を行ってください。

- 1 「ファイル分割」の[変更]を押します。
- 2 [設定しない]または[ページごと]を選択します。
ページごとにファイルを作成する場合は、[ページごと]を選択します。
- 3 [OK]を押します。

印刷部数の設定

転送するときには本機で印刷するかどうか設定します。また、印刷部数の設定ができます。

すべての受信に適用する

[4-20ページのすべての受信に適用する](#)の手順1～3を行ってください。

特定の受信に適用する

[4-22ページの特定の受信に適用する](#)の手順1～3を行い、条件を選択して[詳細]を押してください。

- 1 「印刷」の[変更]を押します。
- 2 [設定する]または[設定しない]を選択します。
[設定する]を選択した場合は、[+]や[-]、またはテンキーを押して印刷部数を設定してください。
- 3 [OK]を押します。

文書名登録

転送時に作成するファイルの文書名を設定します。その他、日時やジョブ番号、またはファクス番号(インターネットファクスの場合はアドレス)の情報も付加できます。

すべての受信に適用する

[4-20ページのすべての受信に適用する](#)の手順1～3を行ってください。

特定の受信に適用する

[4-22ページの特定の受信に適用する](#)の手順1～3を行い、条件を選択して[詳細]を押してください。

- 1 「文書名」の[変更]を押します。
- 2 [文書名]を押します。
- 3 文書名を入力して、[OK]を押します。
- 4 文書名に付加情報を入れるときは、[ジョブ番号]、[日時]、[番号/アドレスを前に付ける]または[番号/アドレスを後ろに付ける]を選択します。



参考

文字の入力方法は[11-2ページの文字の入力方法](#)を参照してください。

付加情報を入れていない場合、ファイル名が同じになり、フォルダー(SMB)送信やフォルダー(FTP)送信で転送するとファイルを上書きしますので注意してください。

- 5 [OK]を押します。

Command Center RXからの転送設定(条件付き受信/転送)

本機にネットワーク接続されたコンピューターからCommand Center RXを使って転送の設定を行えます。ネットワークの設定については、本体の使用説明書を参照してください。

Command Center RXへのアクセス

- 1 Webブラウザを起動します。
- 2 アドレスバーまたはロケーションバーに本機のIPアドレスまたはホスト名を入力します。
例) 192.168.48.21/(IPアドレスの場合)
MFP001(ホスト名がMFP001の場合)



本機およびCommand Center RXに関する一般情報と現在の状態が、Webページに表示されます。

参考

Command Center RXに接続すると、「この Web サイトのセキュリティ証明書には問題があります」と表示されることがあります。このメッセージを表示しないようにするには、「プロトコル設定」の「HTTP」を[設定する]にするか、WEBブラウザに本機のデバイス証明書をインストールしてください。詳細は本体の使用説明書を参照してください。

- 3 管理者のユーザー名とパスワードを入力し、[ログイン]をクリックします。
管理者のユーザー名とパスワードを設定すると、スタートページ以外への一般ユーザーのアクセスを制限できます。セキュリティを確保するために、管理者のユーザー名およびパスワードの設定をすすめます。工場出荷時の設定値は、ユーザー名、パスワードともに「Admin」です。
- 4 画面左のナビゲーションバーから[機能設定]を選択します。
- 5 [ファクス/ファクス]をクリックします。
設定画面が表示されます。詳細はCommand Center RX操作手順書を参照してください。

転送設定

機能設定>条件付き受信/転送>設定/登録

条件付き受信/転送設定を行います。条件付き受信/転送設定のページで設定する項目は以下のとおりです。

項目	説明
オフ	条件付き受信/転送処理を行いません。受信されたファクスは、紙に印刷されます。
特定の受信に適用する	あらかじめ設定した条件ごとに転送処理を行います。(設定項目については 4-31ページの条件リストの追加 参照)
すべての受信に適用する	条件を指定せず、転送処理を行います。受信されたファクスは、同様に処理されます。(設定項目については 4-31ページの条件リストの追加 参照)

設定終了後に、[設定]をクリックして設定内容を保存してください。

条件リストの追加

機能設定>条件付き受信/転送>条件追加

転送する条件の設定を行います。

条件リストの追加ページで設定する項目は以下のとおりです。

項目		説明
条件の使用		条件を使用するかどうかを指定します。
基本	条件番号	ユーザーが管理する転送条件のIDを入力します。
	条件名	ここで設定する条件に、識別しやすい名前を付けます。
	優先順位	転送条件を検索するときの優先順位を設定します。
条件設定	条件の形式	条件の種類を次から選択します。 ファクスFコード ファクス番号 ファクスダイヤルイン iファクスアドレス 項目を選択すると必要な情報を入力できます。詳細はCommand Center RX操作手順書を参照してください。
有効時間	有効時間	時刻指定を行うかどうかを設定します。
	開始時刻	設定した条件が有効になる時刻と無効になる時刻を登録します。
	終了時刻	0:00 ~ 23:59 の間で登録できます。
文書名	文書名	転送時に作成するファイルの文書名を設定します。
	付加情報	ファイル名に日時やジョブ番号や相手先アドレスの情報を付加します。
転送設定	転送	転送するかどうかを設定します。
	転送先	転送先を設定します。 [アドレス帳]、[メール]、[フォルダー]、[ファクス]、[i-ファクス]を押して、転送先を設定してください。 詳細はCommand Center RX操作手順書を参照してください。
	ファイル形式	転送したときに保存されるファイル形式をPDF、TIFFまたはXPS から選択します。
	PDF暗号化	転送を行うPDFファイルに暗号化を適用します。
	PDF/A	ファイル形式がPDFの場合、PDF/A形式を[PDF/A-1a]、[PDF/A-1b]、または[オフ]に設定します。PDF/A形式は、長期文書保存に関するISO 19005-1 に準拠した電子文書形式です。
	ファイル分割	コンピューターに転送するときにファイル分割するかどうかを選択します。
	メール件名付加情報	転送する宛先が[メール]に設定されている場合、メールの件名に[送信元名]または[送信元ファクス番号/ アドレス]を付加して転送します。 [オフ]を選ぶと何も付加しません。
	FTP暗号送信	暗号送信を行う場合は[オン]を選択します。SSL プロトコルを[オン]にする必要があります。
印刷設定	印刷	転送するときに本機で印刷するかどうかを設定します。
	部数	印刷する部数を指定します。
ファクスボックス保存	ファクスボックス保存	ファクスボックスへ保存するかどうかを指定します。
	ファクスボックス	保存するファクスボックスを指定します。

設定終了後に、[設定]をクリックして設定内容を保存してください。

条件に当てはまらない受信ファクスの転送を設定する場合は、条件リストの「有効条件以外」の[設定/登録]をクリックしてください。「条件の使用」を[オン]に設定し、続けて各項目を設定します。「特定の受信に適用する」を選択した時に、リストに登録されていない条件で受信した時の動作を設定します。

「条件の使用」を[オフ]に設定すると、条件に当てはまらない受信ファクスは印刷されます。

受信した原稿を管理する【ファクスボックス機能】

ファクスボックスとは

受信原稿を保存するボックスをファクスボックスと呼びます。メモリー転送機能を使って、受信した原稿をファクスボックスに保存することができます。

ファクスボックスの登録のしかた

ファクスボックスは100個まで登録することができます。

- 1 [システムメニュー]キーを押します。
- 2 [文書ボックス/外部メモリー]→「ファクスボックス」の[次へ]→「ボックス登録/編集」の[登録/編集]の順に押します。
- 3 [新規登録]を押します。



- 4 登録する各内容の[変更]を押します。

参考

「所有者」と「共有設定」はユーザー管理が有効であるときに表示されます。

「ボックス番号」を選択したとき

- 1 [+], [-]またはテンキーを押して、ボックス番号を入力します。
- 2 [OK]を押します。

参考

「0000」を入力した場合は、自動的に空いている番号を割り当てます。

「所有者」を選択したとき

- 1 ボックスの所有者を選択します。
フリガナ検索またはログイン名検索で所有者を検索することもできます。
[詳細]を押して「ユーザー名」、「ユーザー名(フリガナ)」、「ログインユーザー名」、「アクセスレベル」、「部門名」、「メールアドレス」を確認できます。確認が終了したら[閉じる]を押してください。
- 2 所有者の選択が終了したら[OK]を押します。

「ボックス名」を選択したとき

- 1 ファクスボックス名を入力します。
32文字まで入力できます。
- 2 入力が終われば[OK]を押します。



参考

文字の入力方法は[11-2ページの文字の入力方法](#)を参照してください。

「ボックスパスワード」を選択したとき

- 1 [パスワード]を押してパスワードを入力します。
16桁まで入力できます。
- 2 確認のため[パスワード(確認)]を押して同じパスワードを入力します。
- 3 入力が終われば[OK]を押します。



参考

ボックスパスワードは、ユーザー管理が無効である場合、またはユーザー管理が有効でファクスボックスを他のユーザーと共有する場合に設定できます。

パスワードは必要な時に設定してください。

パスワードを設定したときは、変更/削除と印刷の際にパスワードが必要です。

「共有設定」を選択したとき

- 1 ファクスボックスを個人で使用する場合は[所有者のみ]を押します。他のユーザーと共有する場合は[共有する]を押します。
- 2 選択が終了したら[OK]を押します。

「印刷後削除」を押したとき

ファクスボックス内の受信原稿を印刷したときに、自動的に削除するかの設定ができます。

- 1 [設定する]または[設定しない]を選択します。
 - 2 [OK]を押します。
- 5** すべての内容の登録が終了したら[登録]を押します。その他のファクスボックスの登録を行うときは手順3～5を繰り返してください。

ファクスボックスの変更/削除のしかた

- 1 [4-32ページのファクスボックスの登録のしかた](#)の手順1、2を行います。

- 2 削除または変更するボックスを選択します。
削除する場合は次の手順に、変更する場合は手順4に進んでください。

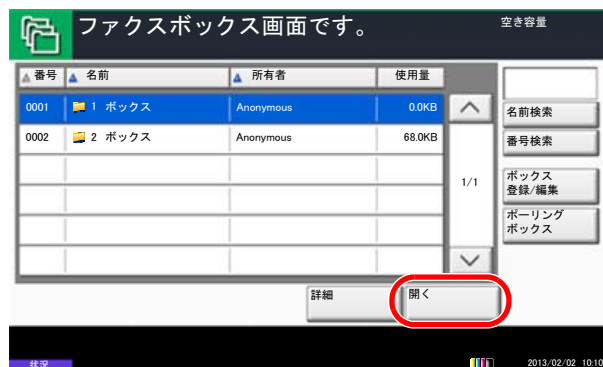


- 3 [削除]を押します。削除の確認画面で[はい]を押します。
手順5に進んでください。
- 4 [詳細/編集]を押して、[4-32ページのファクスボックスの登録のしかた](#)の手順4～5を参照して変更します。
- 5 その他のファクスボックスの削除や変更を行うときは手順2～4を繰り返します。
- 6 すべてのファクスボックスの削除や変更が終了したら[閉じる]を押します。

ファクスボックスからの印刷のしかた

ファクスボックスへ送られた原稿は、次の操作を行って印刷してください。

- 1 ホーム画面の[ファクスボックス]を押します。
- 2 ファクスボックスを選択し、[開く]を押します。



参考

次の場合はボックスパスワードの入力が必要です。

- ・ユーザー管理が無効の場合
- ・ユーザー管理が有効でユーザー権限でログインしているときに、別の所有者のファクスボックスを選択した場合

- 3 リストの中から、チェックボックスを押して原稿を選択します。
選択した原稿にはチェックマークがつきます。

参考

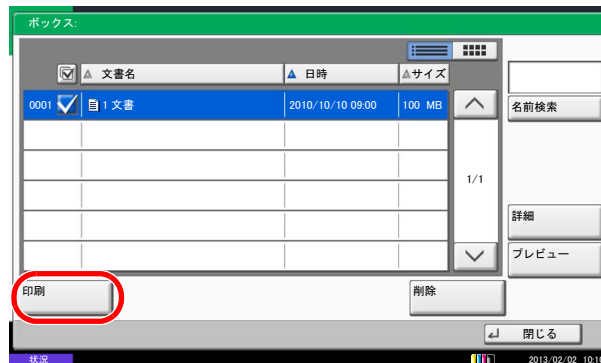
選択を解除するときは、チェックボックスを押してチェックマークを消してください。

[

原稿の画像を確認したいときは、プレビューを参照することができます。プレビューについては、[4-36ページのプレビューの参照のしかた](#)を参照してください。

ファクスボックス内の一覧の操作については、本体の使用説明書を参照してください。
ファクスボックスからは印刷のみできます。送信はできません。

4 [印刷]を押します。



5 印刷後に原稿データをファクスボックスから消去するか選択します。消去するときは[設定する]を押します。

6 [印刷開始]を押します。

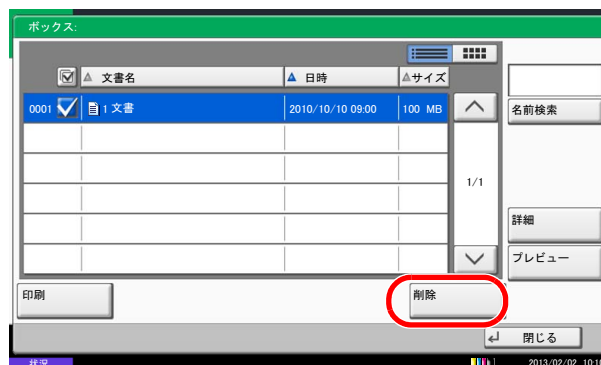
印刷を開始します。

ファクスボックスからの削除のしかた

ファクスボックスへ送られた原稿を削除するときは、次の操作を行ってください。

1 [4-34ページのファクスボックスからの印刷のしかた](#)の手順1～3を行います。

2 [削除]を押します。



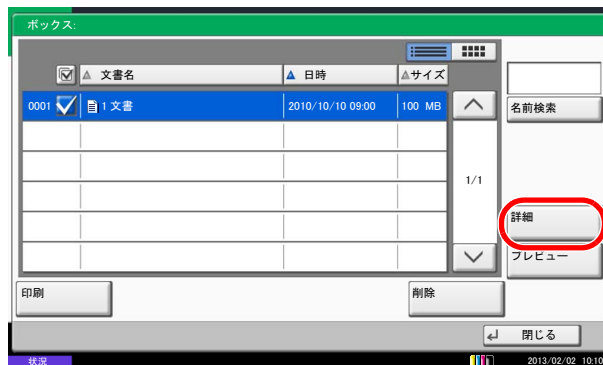
3 削除の確認画面で[はい]を押します。

原稿を削除します。

詳細情報の確認/ファイル名の変更のしかた

ファクスボックスへ送られた原稿の詳細情報を確認できます。また、ファイル名を変更できます。

- 1 [4-34ページのファクスボックスからの印刷のしかた](#)の手順1～3を行います。
- 2 [詳細]を押します。



- 3 選択した原稿の詳細情報が表示されます。

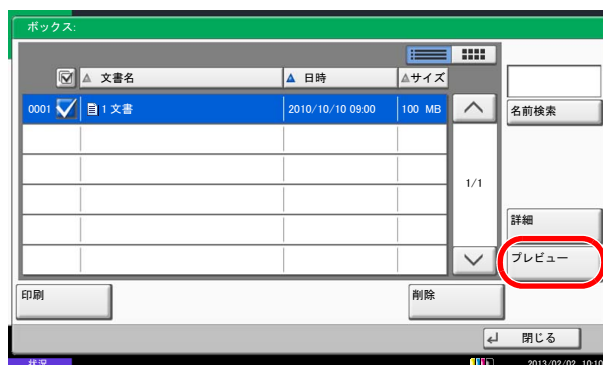
項目	説明
文書名	原稿のファイル名 [変更]を押すと、ファイル名を変更できます。
ページ数	原稿の枚数
解像度	原稿の解像度
日時	原稿が送られた日時

- 4 確認を終了するときは、[閉じる]を押します。

プレビューの参照のしかた

ファクスボックスへ送られた原稿の画像を、タッチパネル上で参照できます。

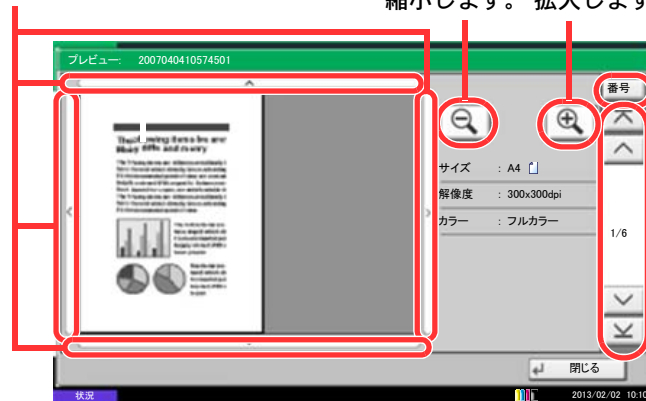
- 1 [4-34ページのファクスボックスからの印刷のしかた](#)の手順1～3を行います。
- 2 [プレビュー]を押します。
プレビュー画面が表示されます。



プレビュー画面の使い方

拡大したとき、表示する
範囲を移動できます。

縮小します。拡大します。



複数ページあるときは、
ページ番号を入力して、
ページを切り替えるこ
とができます。

複数ページあるときは、
ページを切り替えるこ
とができます。

参考

プレビューの表示はタッチパネルにおいた指の動きで操作することができます。
詳しくは、[3-23ページのプレビュー画面の操作について](#)を参照してください。

ファクスボックスリストの印刷のしかた

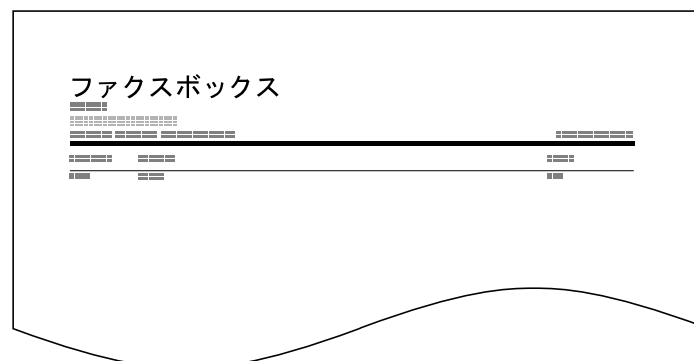
登録されているファクスボックスのボックス番号、ボックス名の一覧が記載されたファクスボックスリストを印刷することができます。また、ファクスボックスに原稿がある場合はそのページ数が表示されます。



参考

ユーザー管理が有効の場合は、管理者がログインしたときに印刷できます。

- 1 [システムメニュー]キーを押します。
- 2 [文書ボックス/外部メモリー]→「ファクスボックス」の[次へ]→「ファクスボックスリスト」の[印刷]の順に押します。
- 3 印刷の確認画面で[はい]を押します。
ファクスボックスリストを印刷します。



Fコードを使って通信する【Fコード通信】

Fコード通信とは

Fコード通信とは、ITU-T(国際電気通信連合)の勧告に準拠したサブアドレスやパスワードを付加して送/受信する通信をいいます。Fコードを使用することにより、本来弊社機間でしかできなかった親展通信(受信側機に設けられた原稿受け渡しボックスに送る通信)やポーリング通信(受信側から操作して送信側の原稿を受信する通信)などの通信が他社機との間でも可能になります。本機では、Fコード通信とメモリー転送機能を使って、受信した原稿をファクスボックスに保存したり、他の複数のファクスに転送したりするなど、高度な通信ができます。



参考

Fコード通信を行うためには、相手機にも同様のFコード通信機能が備わっている必要があります。

Fコードを使った通信は、各種機能通信とも併用することができます。また、FコードサブアドレスやFコードパスワードをアドレス帳やワンタッチキーに登録しておけば、送信時に入力を省略することができます。詳しくは、各通信方法や登録方法の手順内の記述を参照してください。

Fコードについて

本機では、FコードサブアドレスとFコードパスワードがFコードにあたります。

Fコードサブアドレス

Fコードサブアドレスは0～9までの数字とスペース、「#」、「*」を使って20桁まで入力することができます。本機で受信する場合、Fコードサブアドレスはメモリー転送の転送条件として使用されます。

Fコードパスワード

Fコードパスワードは0～9までの数字とスペース、「#」、「*」の文字を使って20桁まで入力することができます。本機で受信する場合はFコードパスワードを使用しません。

Fコード送信のしかた

Fコード送信は次の手順で行ってください。



重要

Fコード送信を行う場合は、あらかじめ受信側に設定されているFコードサブアドレスとFコードパスワードを確認してください。

Fコード送信時は、暗号送信を行うことができません。

本機で受信する場合の設定方法は、[4-18ページの受信した文書を条件ごとに印刷/転送する【メモリー転送】](#)を参照してください。

- 1 ホーム画面の[ファクス]を押します。
- 2 原稿をセットします。
- 3 [宛先]→[新規ファクス]を押します。

 参考

アドレス帳の宛先にFコードを登録している場合には、その宛先が使用できます。また、アドレス帳でFコードを登録している宛先をワンタッチキーに使用している場合はそれらも使用できます。その場合手順9に進んでください。

4 テンキーを使って相手先のファクス番号を入力します。

- 「新規宛先の入力確認」を[設定しない]に設定している場合は、番号入力後、[OK]を押すと番号が確定されます。
- 「新規宛先の入力確認」を[設定する]に設定している場合は、番号入力後、[OK]を押すと確認画面が表示されます。再度ファクス番号を入力して[OK]を押してください。

番号確定後、[新規ファクス]を押すと、次のファクス番号が入力できます。

[編集]を押すと、入力した番号を変更できます。

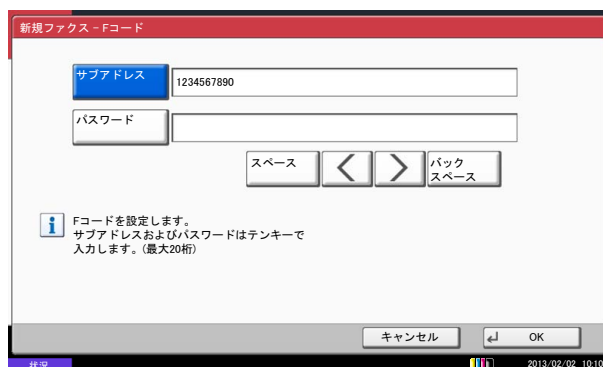
新規宛先の入力確認については、本体の使用説明書の「8章 動作設定・登録を行う(システムメニュー)」の「送信」―「新規宛先の入力確認」を参照してください。

 参考

「新規宛先の入力」の設定が[禁止にする]に設定されているときは、テンキーを使って入力できません。詳しくは、[4-52ページのファクス番号のテンキー入力を禁止する](#)を参照してください。

5 [詳細]を押します。

6 「Fコード」の[変更]を押します。



7 [サブアドレス]を押して、テンキーでサブアドレスを入力します。

 参考

サブアドレスは、0～9の数字とスペース、「#」、「*」の文字を使って、20桁まで入力できます。

8 [パスワード]を押して、テンキーでFコードパスワードを入力します。

 参考

Fコードパスワードは0～9の数字とスペース、「#」、「*」の文字を使って、20桁まで入力できます。本機で受信する場合はFコードパスワードを使用しません。

9 [OK]を押します。

10 [OK]を押します。

11 [スタート]キーを押します。

送信が開始します。



参考

「送信前の宛先確認画面の設定」を「設定する」に設定している場合は、[スタート]キーを押したときに、宛先確認画面が表示されます。詳しくは、[5-12ページの宛先確認画面について](#)を参照してください。

Fコード受信のしかた

Fコード受信を行うときは、あらかじめ送信側に本機のFコードサブアドレスとFコードパスワードを伝えておく必要があります。

Fコード受信を行うと、次の機能を使用できます。

- 受信した文書を条件ごとに印刷/転送する【メモリー転送】4-18ページ
- Fコード親展通信4-19ページ
- Fコード中継同報通信4-19ページ
- Fコード掲示板通信4-43ページ

 重要

Fコード受信の機能については、事前に設定が必要です。設定方法については、[4-18ページの受信した文書を条件ごとに印刷/転送する【メモリー転送】](#)または[4-47ページのFコードを使用するポーリング受信のしかた](#)を参照してください。

送信する相手や設定内容などを登録する【プログラムダイヤル】

送信する相手先や送信時刻など送信条件をプログラムとして登録できます。登録後は、プログラム番号を押すだけで呼び出すことができます。また、各プログラムに名前をつけておくと、プログラムを呼び出すときにわかりやすく便利です。



参考

プログラムにはコピー機能も登録できます。コピー機能、送信機能を合わせて最大50件のプログラムを登録できます。ユーザー管理が有効であるときは、登録できるのは管理者のみです。

プログラムの登録のしかた

- 1 登録する送信条件を設定した状態で、[プログラム]タブを押します。
- 2 [新規登録]を押します。
- 3 登録するプログラム番号(1～50)を押します。
- 4 [次へ]を押します。



参考

すでに登録されているプログラム番号を選択すると、現在設定されている機能に置き換えることができます。

- 5 プログラム名を入力し、[登録]を押します。
プログラムが登録されます。
登録したプログラムをホーム画面に表示させたい場合は、表示される確認画面で[はい]を押してください。



参考

文字の入力方法は[11-2ページの文字の入力方法](#)を参照してください。

登録内容の変更と削除のしかた

プログラム番号とプログラム名を変更したり、プログラムを削除したりできます。

- 1 ホーム画面の[プログラム]を押します。
- 2 [編集]を押します。

変更する

- 1 変更したいプログラム番号(01～50)のキーを選択します。
- 2 [編集]を押し、[4-41ページのプログラムの登録のしかた](#)を参照してプログラム番号とプログラム名を変更します。
- 3 [登録]を押します。
- 4 確認画面で[はい]を押します。

削除する

- 1 削除したいプログラム番号(01~50)のキーを選択します。
- 2 [削除]を押します。
- 3 確認画面で[はい]を押します。

プログラムの使いかた

- 1 ホーム画面の[プログラム]キーを押します。
- 2 原稿をセットします。



- 3 呼び出すプログラム番号(01~50)のキーを押します。
[短縮]キーまたは[番号]を押すと、プログラム番号を直接入力して呼び出すことができます。



参考

呼び出したプログラムから送信する相手先の変更など送信条件を変更することもできます。

- 4 [スタート]キーを押します。
送信を開始します。



参考

「送信前の宛先確認画面の設定」を「設定する」に設定している場合は、[スタート]キーを押したときに、宛先確認画面が表示されます。詳しくは、[5-12ページの宛先確認画面について](#)を参照してください。

受信側の操作で通信を開始する【ポーリング通信】

ポーリング通信とは、受信側から操作して送信側の原稿を受信する通信方法です。受信側は自分の都合に合わせて原稿を受け取ることができます。本機では、ポーリング送信とポーリング受信ができます。

☑ 重要

この通信は、受信側から送信側にダイヤルする操作を行うため、電話料金は通常受信側の負担になります。

ポーリング送信

ポーリング送信用として原稿をポーリングボックスに保存します。相手先からのポーリング受信要求があると自動的に送信します。

相手先に送信されたポーリング送信用の原稿は自動的に削除されますが、ポーリング送信後原稿の削除を[設定しない]にしておけば、原稿は削除するまでポーリングボックスに保存されます。同じ原稿を何度でもポーリング送信することができます。(4-44ページ参照)

🔍 参考

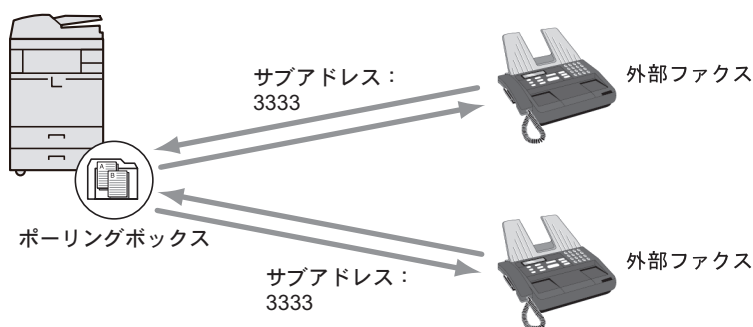
ポーリング送信用の原稿は10件まで保存できます。

相手先からポーリング受信要求があるまでは、送信する原稿を後から追加、上書きすることができます。詳細は、[4-44ページの上書き保存許可設定](#)を参照してください。

さらに、Fコードを使用すると、次のような通信が可能になります。

Fコード掲示板通信

ポーリングボックスを掲示板のように使用し、多数の相手先が自由に原稿を受信できる通信方法です。ポーリング送信後原稿の削除を[設定しない]にして、同じ原稿を何度でもポーリング送信できるようにしておきます。さらに、Fコード[†]を使用することによって、相手先が他社機であっても、同様のFコード掲示板通信機能を備えていれば通信することができます。



☑ 重要

相手先が、同様のFコード掲示板通信機能を備えていることが必要です。ファクスによっては、原稿を保存できなかったり、ポーリング受信ができなかったりする場合があります。それぞれの状況に合わせた機能が備わっていることを、送信側と受信側であらかじめ確認してください。(例えば、本機がポーリングボックスに原稿を保存しても、受信側のファクスにポーリング受信機能が備わっていない場合は通信が成立しません。)

送信側は、FコードサブアドレスとFコードパスワードを受信側に伝えておく必要があります。

[†]本機ではFコードサブアドレスとFコードパスワードです。



参考

Fコードについての詳細は、[4-38ページのFコードを使って通信する【Fコード通信】](#)を参照してください。

Fコード掲示板通信での受信方法は、[4-47ページのFコードを使用するポーリング受信のしかた](#)を参照してください。

ポーリング送信後原稿の削除

相手先に送信されたポーリング送信用の原稿は自動的に削除します。同じ原稿を複数の相手先にポーリング送信する場合は、[設定しない]にしてください。

- 1 [システムメニュー]キーを押します。
- 2 [文書ボックス/外部メモリー]→「ポーリングボックス」の[変更]→「送信済み文書削除」の[変更]の順に押します。
- 3 [設定しない]または[設定する]を選択します。
- 4 [OK]を押します。

上書き保存許可設定

上書き保存するときは[許可する]にしてください。

ポーリングボックスに保存された文書で、同じ文書名を付けた場合、上書き保存できます。

- 1 [システムメニュー]キーを押します。
- 2 [文書ボックス/外部メモリー]→「ポーリングボックス」の[変更]→「上書き保存許可」の[変更]の順に押します。
- 3 [禁止する]または[許可する]を選択します。
- 4 [OK]を押します。

ポーリング送信のしかた

- 1 原稿をセットします。
- 2 ホーム画面の[ファクスボックス]→[ポーリングボックス]→[文書保存]の順に押します。

3 保存する原稿に必要な機能を変更します。

各機能の使いかたは本体の**使用説明書**を参照してください。原稿の画質については**3-9ページ**の操作で変更してください。

機能	説明
原稿サイズ	原稿の読み込みサイズを選択します。不定形サイズの原稿を使用する場合は、必ず原稿サイズを選択してください。
原稿サイズ混載	原稿送り装置を使用して、サイズの異なる原稿をまとめてセットし、保存できます。この方法で原稿送り装置にセットできる枚数は、最大30枚です。
両面/見開き原稿	原稿に合わせて、原稿の種類と同じ方向を選択します。
原稿セット向き	原稿を正しい向きに保存するため、原稿の上部の向きを指示します。次の機能を使用する場合は、原稿のセット向きを選択する必要があります。 - 両面/見開き原稿 - 枠消し
保存サイズ	保存サイズ(保存する原稿のサイズ)を選択します。
濃度	原稿の読み込み濃度を調整します。
原稿の画質	原稿の種類に合わせて、画質を選択します。
読み込み解像度	原稿をどの程度細かく読み込むかを選択します。
縮小/拡大	保存サイズに合わせて、原稿を自動で縮小/拡大して読み込むことができます。
センター移動	原稿サイズと送信サイズを指定してスキャンした場合、サイズによっては、用紙の下側または左右どちらかに余白ができます。センター移動すると、この余白が上下左右均等になるように画像を配置することができます。
枠消し	原稿のまわりにできる黒い枠を消去して読み込みます。
連続読み込み	原稿送り装置に一度にセットできない枚数の原稿を、数回に分けて読み込んだ後、一つのデータとして保存できます。この方法では、[読み込み終了]を押すまで、原稿を読み込み続けます。
ジョブ終了通知	ジョブが終了すると、メールで知らせることができます。
文書名入力	読み込む原稿のファイル名を変更できます。ジョブ番号や日付も付加できます。
長尺原稿	原稿送り装置を使用して、長尺原稿(給紙される方向に長い原稿)を読み込むことができます。

4 Fコードを使用する場合は[✓]→[Fコード]→[設定する]の順に押します。**5** [サブアドレス]を押して、テンキーでFコードサブアドレスを入力します。**参考**

Fコードサブアドレスは、0～9の数字とスペース、「#」、「*」の文字を使って、20桁まで入力できます。

6 Fコードパスワードを設定する場合は、[パスワード]を押して、テンキーでFコードパスワードを入力します。**参考**

Fコードパスワードを入力した場合は、パスワードが一致しないと送信しません。

Fコードパスワードは0～9の数字とスペース、「#」、「*」の文字を使って、20桁まで入力できます。

7 [OK]を押します。

8 [スタート]キーを押します。

原稿を読み込み、ポーリングボックスに保存します。



参考

[プレビュー]を押すと、保存する画像のプレビューを参照できます。詳細は、[3-23ページの送信する原稿のイメージを確認する](#)を参照してください。

ポーリング受信

受信側からダイヤルして、送信側に保存されている原稿を自動的に送信させる機能です。複数の相手先を指定した場合は、順次ダイヤルと受信を繰り返します。



参考

宛先にグループを使用すれば、1回の操作で最大500ヶ所の相手先から原稿を受信することができます。暗号通信が登録されている宛先を指定した場合、暗号通信を無効にしてポーリング受信をします。

ファクスキットを2台装着しているときに、受信専用ポートが設定されている場合は、受信専用ではない方のポートから通信を行います。

ポーリング受信を行うためには、相手先があらかじめポーリング送信を準備している必要があります。[\(4-43ページのポーリング送信参照\)](#)

ポーリング受信のしかた



参考

相手先がFコードを使用しているときは、次のFコードを使用するポーリング受信のしかたを参照してください。

- 1 ホーム画面の[ファクス]を押します。
- 2 [応用/その他]→[ファクスポーリング受信]の順に押します。
- 3 [設定する]を押します。
- 4 [OK]を押します。
- 5 宛先を選択します。
 - 「新規宛先の入力確認」を[設定しない]に設定している場合は、番号入力後、[OK]を押すと番号が確定されます。
 - 「新規宛先の入力確認」を[設定する]に設定している場合は、番号入力後、[OK]を押すと確認画面が表示されます。再度ファクス番号を入力して[OK]を押してください。
 - 「新規宛先の入力」の設定が[禁止にする]に設定されているときは、テンキーを使って入力できません。詳しくは、[4-52ページのファクス番号のテンキー入力を禁止する](#)を参照してください。

番号確定後、[新規ファクス]を押すと、次のファクス番号が入力できます。

[編集]を押すと、入力した番号を変更できます。

新規宛先の入力確認については、本体の**使用説明書の「8章 動作設定・登録を行う(システムメニュー)」の「送信」**―「新規宛先の入力確認」を参照してください。



参考

選択できる宛先は、ファクス番号のみです。

宛先は、テンキー入力、アドレス帳およびワンタッチキーを組み合わせで選択することができます。

6 [スタート]キーを押します。

受信のための動作を開始します。



参考

「送信前の宛先確認画面の設定」を「設定する」に設定している場合は、[スタート]キーを押したときに、宛先確認画面が表示されます。詳しくは、[5-12ページの宛先確認画面について](#)を参照してください。

Fコードを使用するポーリング受信のしかた

ポーリング受信時に、相手先で設定されているFコード(本機ではFコードサブアドレスとFコードパスワード)を入力します。相手先が他社機であっても、同様のFコード通信機能を備えていれば通信が可能です。



重要

相手先に設定されているFコード(FコードサブアドレスとFコードパスワード)をあらかじめ確認してください。

- 1 ホーム画面の[ファクス]を押します。
- 2 [応用/その他]→[ファクスポーリング受信]の順に押します。
- 3 [設定する]を押します。
- 4 [OK]を押します。
- 5 宛先を選択します。

その際に、[4-38ページのFコード送信のしかた](#)を参照して、Fコードを入力してください。

- 「新規宛先の入力確認」を[設定しない]に設定している場合は、番号入力後、[OK]を押すと番号が確定されます。
- 「新規宛先の入力確認」を[設定する]に設定している場合は、番号入力後、[OK]を押すと確認画面が表示されます。再度ファクス番号を入力して[OK]を押してください。
- 「新規宛先の入力」の設定が[禁止にする]に設定されているときは、テンキーを使って入力できません。詳しくは、[4-52ページのファクス番号のテンキー入力を禁止する](#)を参照してください。

番号確定後、[新規ファクス]を押すと、次のファクス番号が入力できます。

[編集]を押すと、入力した番号を変更できます。

新規宛先の入力確認については、本体の[使用説明書の「8章 動作設定・登録を行う\(システムメニュー\)」の「送信」](#)―「新規宛先の入力確認」を参照してください。



参考

選択できる宛先は、ファクス番号のみです。

宛先は、テンキー入力、Fコードが登録されているアドレス帳およびワンタッチキーを組み合わせで選択することができます。

6 [スタート]キーを押します。

受信のための動作を開始します。

 参考

「送信前の宛先確認画面の設定」を[設定する]に設定している場合は、[スタート]キーを押したときに、宛先確認画面が表示されます。詳しくは、[5-12ページの宛先確認画面について](#)を参照してください。

ポーリングボックスからの印刷のしかた

ポーリングボックスに保存されている原稿を印刷できます。

1 ホーム画面の[ファクスボックス]→[ポーリングボックス]の順に押します。

2 リストの中から、チェックボックスを押して原稿を選択します。

選択した原稿にはチェックマークがつきます。

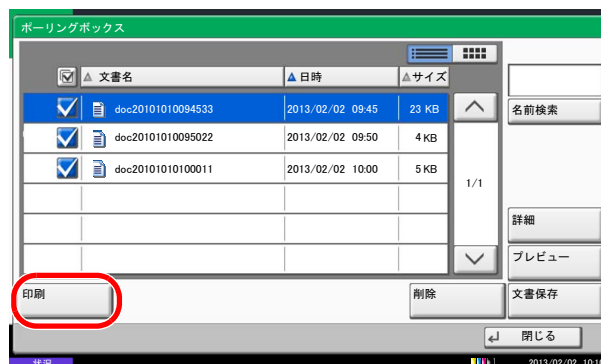
 参考

選択を解除するときは、チェックボックスを押してチェックマークを消してください。

原稿の画像を確認したいときは、プレビューを参照することができます。プレビューについては、[4-36ページのプレビューの参照のしかた](#)を参照してください。

ポーリングボックス内の一覧の操作については、本体の[使用説明書](#)を参照してください。

3 [印刷]を押します。



4 印刷の確認画面で[はい]を押します。

印刷を開始します。

ポーリングボックスからの削除のしかた

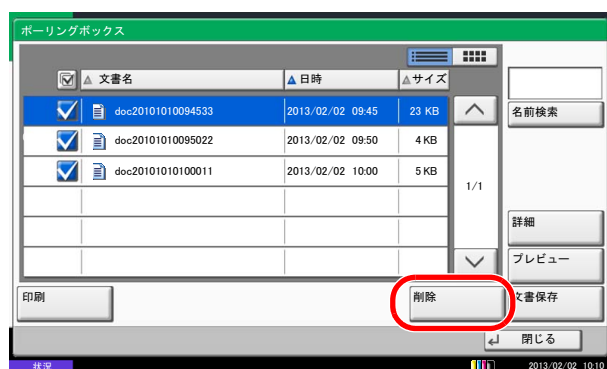
ポーリングボックスに保存されている原稿を削除します。

 参考

ポーリング送信後原稿の削除を[設定する]にしている場合は、ポーリング送信後の原稿は自動的に削除されます。[\(4-44ページ参照\)](#)

1 [4-48ページのポーリングボックスからの印刷のしかた](#)の手順1、2を行います。

2 [削除]を押します。

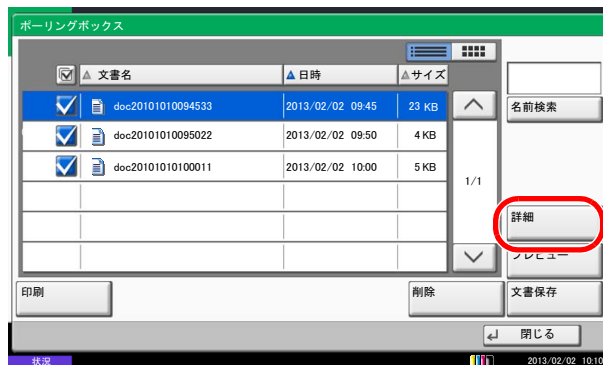


- 3 削除の確認画面で[はい]を押します。
原稿を削除します。

詳細情報の確認/ファイル名の変更のしかた

ポーリングボックスに保存されている原稿の詳細情報を確認できます。また、ファイル名を変更できます。

- 1 4-48ページのポーリングボックスからの印刷のしかたの手順1、2を行います。
- 2 [詳細]を押します。



- 3 選択した原稿の詳細情報が表示されます。



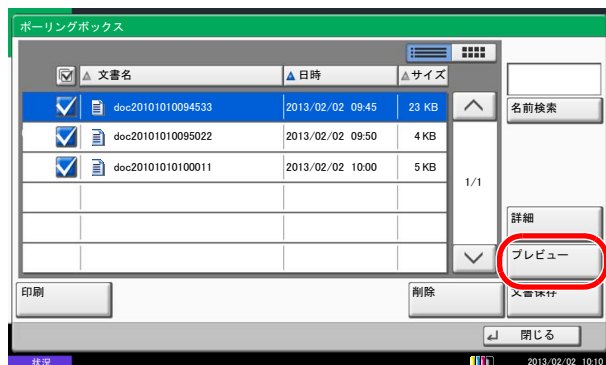
項目	説明
文書名	原稿のファイル名 [変更]を押すと、ファイル名を変更できます。
ページ数	原稿の枚数
解像度	読み込み時の解像度
日時	原稿が保存された日時
Fコード	設定されているFコードサブアドレス 情報がない場合は項目が表示されません。

- 4 確認を終了するときは、[閉じる]を押します。

プレビューの参照のしかた

ポーリングボックスに保存されている原稿の画像を、タッチパネル上で参照できます。

- 1 [4-48ページのポーリングボックスからの印刷のしかた](#)の手順1,2を行います。
- 2 [プレビュー]を押します。
プレビュー画面が表示されます。
プレビュー画面については、[4-36ページのプレビューの参照のしかた](#)を参照してください。



ファクス番号のテンキー入力を禁止する

ファクスを送信するときに、テンキーでの直接入力を禁止することができます。
禁止すると、アドレス帳やワンタッチキーに登録した相手先以外にファクス送信できなくなります。

- 1 [システムメニュー]キーを押します。
- 2 [ファクス]→[新規宛先の入力(ファクス)]の順に押します。
- 3 [禁止する](テンキーでのファクス番号入力を禁止する)、または[許可する]を選択します。
- 4 [OK]を押します。



参考

システムメニューの[送信]にある[新規宛先の入力]を[禁止する]に設定すると、ファクスを含むすべての送信機能の宛先の直接入力が禁止されます。

ファクスの使用状況などを管理する【管理機能】

管理機能は、本機を使用できるユーザーを特定するユーザー管理と部門別の使用量を管理する部門管理に分かれます。ユーザー管理ではユーザー名とパスワードによって1,000人までのユーザーを管理できます。部門管理では部門コードを入力してから送信や通信予約を行うことによって、1,000部門までのファクスの使用状況を各部門ごとに把握することができます。各管理方法については本体の**使用説明書**を参照してください。

ユーザー管理設定の内容

項目	内容
ローカルユーザーリスト	ユーザーの権限、ユーザー名やパスワードなどを登録します。
ユーザー管理の有効/無効	ユーザー管理を有効または無効にします。



参考

詳細は本体の使用説明書を参照してください。

部門管理設定の内容

項目	内容
部門リスト	部門名や部門コード(最大8桁)を登録します。
部門管理	部門管理を設定します。
ファクス送信制限	ファクスの送信枚数を制限します。使用の禁止や制限をなくすこともできます。
ファクスポート制限†	使用するポートを制限します。
使用枚数の集計	全部門または部門別に、ファクスの送信ページ数やファクスの送信に使用した時間を参照しリセットできます。
部門レポートの印刷	全部門で集計された印刷や送信のページ数を印刷できます。

†ファクスキットが2台必要です。



参考

詳細は本体の使用説明書を参照してください。

部門管理の対象となる通信形態

- 通常送信
- タイマー送信
- 同報送信
- Fコード送信
- 暗号送信
- 本機より相手先へダイヤルした場合の手動送信
- ポーリング受信
- Network FAX送信*
- インターネットファクス送信
- 文書ボックスからの送信

* 送信先として、ファクスおよびインターネットファクスを含みます。

使用機能の制限

部門管理を有効にすると、次の操作を行うときには部門コードの入力が必要となります。

- 通常送信
- タイマー送信
- 同報送信
- Fコード送信
- ファクスボックスからの印刷
- 暗号送信
- 本機より相手先ヘダイヤルした場合の手動送信
- ポーリング受信
- Network FAX送信*
- インターネットファクス送信
- 文書ボックスからの送信

* 送信先として、ファクスおよびインターネットファクスを含みます。

🔒 重要

「接続された電話で電話をかける」、「ファクスボックスの履歴確認」、「通信管理レポート印刷」は、部門コードや管理者番号の入力なしでも行うことができます。

部門管理が有効であるとき、一括送信機能は部門コードが同一のものについてのみ働きます。部門コードが異なる通信は一括送信されません。

通常、発信元記録には自局名称が印刷されますが、部門管理が有効であるときに部門コードを入力して送信を行った場合は、部門名または自局名称から選択したものが印刷されるように設定できます。設定方法については、[6-5ページの自局情報の登録](#)を参照してください。

ユーザー管理が有効であるときにログインする

ユーザー管理を有効にすると、本機を使用する際に、ユーザー名とパスワードを入力する必要があります。

- 1 [ログインユーザー名]を押します。

- 2 ユーザー名を入力して、[OK]を押します。

🔍 参考

文字の入力方法は[11-2ページの文字の入力方法](#)を参照してください。

- 3 [ログインパスワード]を押します。

- 4 パスワードを入力して、[OK]を押します。
- 5 正しいユーザー名とパスワードが入力されていることを確認して、[ログイン]を押します。
- 6 ファクスの操作を行います。



参考

操作が終了したら、[\[認証/ログアウト\]](#)キーを押してください。

部門管理が有効であるときにログインする

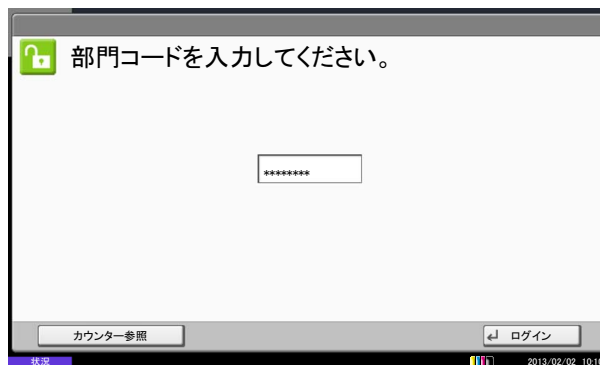
部門管理を有効にすると、本機を使用する際に部門コードを入力する必要があります。



参考

ユーザー管理と部門管理が両方有効である場合には、ユーザー名とパスワードを入力する画面が表示されます。

- 1 テンキーで部門コードを入力して、[ログイン]を押します。



参考

部門コードを入力して[\[カウンター参照\]](#)を押すと、その部門が使用した枚数を確認できます。カウンター参照画面で[\[閉じる\]](#)を押すとログインします。

- 2 ファクスの操作を行います。



参考

操作が終了したら、[\[認証/ログアウト\]](#)キーを押してください。

ファクス送信された原稿を設定した宛先にも送信する【送信控え転送】

ユーザーがファクスを送信すると、送信した原稿が管理者の設定した宛先にも送信するように設定できます。

送信原稿を管理する場合に便利です。



参考

この機能は、送信機能での設定を行うことで、ファクスにも設定されます。ファクスのみ設定することはできません。設定方法については、本体の**使用説明書**の「8章 動作設定・登録を行う(システムメニュー)」の「送信」―「送信控え転送」を参照してください。

その他の便利な機能

ファクスを送信するときに使用できる便利な機能を紹介します。各機能の使いかたは本体の**使用説明書**を参照してください。

原稿サイズを選択する【原稿サイズ】

原稿の読み込みサイズを選択します。不定形サイズの原稿を使用する場合は、必ず原稿サイズを選択してください。原稿サイズは、ファクス送信時に選択できます。

送信サイズを選択する【送信サイズ選択】

送信サイズ(送信する画像のサイズ)を選択します。

原稿を縮小または拡大して送信する【縮小/拡大】

送信サイズに合わせて、原稿を自動で縮小/拡大して読み込むことができます。



参考

原稿を等倍で読み込んだ場合でも、相手機側で設定している用紙サイズによっては縮小されて送信されることがあります。

サイズの異なる原稿を一緒に送信する【原稿サイズ混載】

原稿送り装置を使用して、サイズの異なる原稿をまとめてセットし、送信できます。この方法で原稿送り装置にセットできる枚数は、最大30枚です。



参考

ダイレクト送信時は、原稿サイズ混載を使用できません。(3-4ページの**送信方法の選択**参照)

原稿の種類を選択する【両面/見開き原稿】

原稿に合わせて、原稿の種類と同じ方向を選択します。

原稿	種類	とじ方向
片面のシート原稿	片面原稿	—
両面のシート原稿	両面原稿†	左/右とじ、上とじ
見開きの原稿	見開き原稿	左とじ、右とじ

† 原稿送り装置を使用時のみ。



参考

ダイレクト送信時は、[両面原稿]と[見開き原稿]を使用できません。(3-4ページの**送信方法の選択**参照)

両面のシート原稿を選択しているときは、原稿セット向きの変更ができます。

雑誌や本などの厚い原稿は、原稿ガラスを使用します。

原稿の置きかたを決める【原稿セット向き】

原稿を正しく読める向きに送信するため、原稿の上部の向きを指示します。両面／見開き原稿を設定する場合は、セットした原稿の向きを設定する必要があります。

原稿に合わせて画質を変更する【原稿の画質】

原稿の種類に合わせて、画質を選択することができます。

選択項目	詳細
文字+写真	文字と写真が混在する原稿の場合。
写真	写真原稿の立体感を出す場合。
文字	えんぴつや細線をくっきりと再現する場合。 文字を選択した場合、OCR画面 [†] が表示されます。OCRアプリケーションソフト(画像として取り込んだデータをテキストデータに変換するソフトウェア)での読み込みに適した画質にする場合は[使用する]を、しない場合は[設定しない]を押してください。

† ファクスの送信時は、[文字]に変更されます。

大量の原稿を一度に送信する【連続読み込み】

原稿の枚数が多く原稿送り装置に一度にセットできないときに、数回に分けて読み込んだ後、一括送信できます。この方法では、[読み込み終了]を押すまで、原稿を読み込み続けます。

読み込みの途中で、次の機能を変更できます。

- 原稿サイズ
- 原稿セット向き
- 両面/見開き原稿
- 濃度
- 原稿の画質
- ファクス送信解像度
- 送信サイズ
- 縮小/拡大
- 枠消し



参考

ダイレクト送信時は両面/見開き原稿のみ変更できません。

原稿のまわりを消去する【枠消し】

原稿のまわりにできる黒い枠を消去して読み込みます。枠消しには次の方法があります。

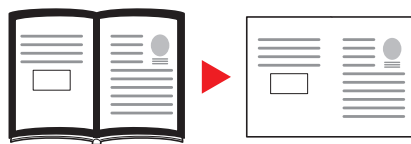
シート枠消し

シート原稿のまわりにできる黒い枠を消します。



ブック枠消し

分厚い本などを読み込む際、本のまわりや中央の黒い枠を消します。枠消しの幅は、本の周りとは中央を別々に設定できます。



個別枠消し

上下左右の枠消し幅を別々に設定できます。



枠消しの各方法で使用できる枠消し幅は0～50 mm(1 mm単位)です。

送信が終了したことを通知する【ジョブ終了通知】

送信の完了をメールで知らせる機能です。

送信する原稿の控えを印刷する【送信控え印刷】

送信するとき、送信する原稿の控えを印刷することができます。

送信する原稿の控えを保存する【送信控え保存】

送信するとき、送信する原稿の控えを文書ボックスに保存することができます。

5 通信結果や登録した内容の確認

この章では、ファクスの通信結果やファクス機能の登録内容を確認する方法を説明します。

通信結果や登録した内容を確認する	5-2
ファクスジョブの送信/受信履歴を確認する	5-3
ジョブ履歴画面の表示	5-3
ジョブ履歴画面の内容	5-4
ジョブ履歴の詳細情報の確認	5-5
管理レポートを印刷する	5-7
送信結果レポート	5-7
受信結果レポート	5-8
通信管理レポート	5-9
ファクスの受信結果をメールで知らせる	5-11
宛先確認画面について	5-12

通信結果や登録した内容を確認する

ファクスの通信結果や登録内容は次の方法で確認できます。

確認方法	表示場所	確認できる内容	確認のタイミング	参照ページ
ファクスジョブの履歴確認	タッチパネル	最近の送/受信およびファクス保存100件の履歴	任意	5-3ページ
送信結果レポート/受信結果レポート	レポートを印刷	直前の送信または受信の結果	送/受信のたびに自動印刷(印刷なし/エラー時のみも選択可)	5-7ページ 5-8ページ
通信管理レポート	レポートを印刷	最近の送/受信50件の結果	任意、および送/受信50件ごとに自動印刷(印刷なしも選択可)	5-9ページ
ステータスページ	レポートを印刷	自局ファクス番号、自局名称、回線などの登録状況	任意	5-10ページ
受信結果のメール通知	コンピューター	ファクスの受信	ファクスを受信するとメール通知	5-11ページ

ファクスジョブの送信/受信履歴を確認する

最近の送/受信それぞれ100件までをタッチパネルに表示させ、確認することができます。



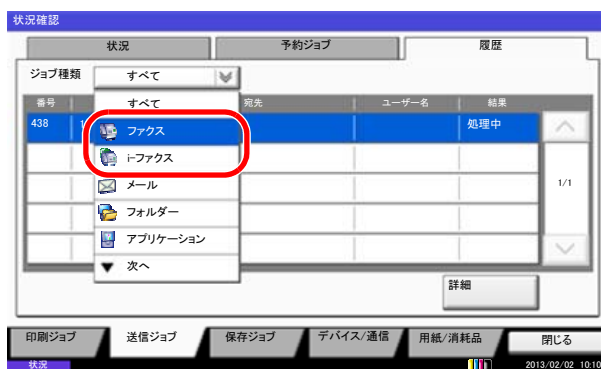
参考

部門管理が有効である場合でも、部門コードに関係なく、送信結果、受信結果それぞれ100件が表示されます。

ジョブの履歴確認についてさらに詳しくは、本体の使用説明書を参照してください。

ジョブ履歴画面の表示

- 1 [状況確認/ジョブ中止]キーを押します。
- 2 送信結果を確認するときは[送信ジョブ]、受信結果を確認するときは[印刷ジョブ]、ファクスボックスおよびポーリングボックスへの保存の結果を確認するときは[保存ジョブ]を選択し、[履歴]を押します。
- 3 「ジョブ種類」の[⌵]を押して「ファクス」または「i-ファクス」を選択します。



ジョブ履歴画面の内容

各ジョブ履歴画面で表示される項目と各キーの働きは次のとおりです。

印刷ジョブ履歴画面

表示/キー	説明
番号	ジョブ受付番号
終了日時	ジョブ終了日時
種類	ジョブの種類を示すアイコン  ファクス受信  インターネットファクス受信
ジョブ名	ジョブ名
ユーザー名	ユーザー名 情報がなければ空欄になります。
結果	結果表示 正常終了: ジョブは正常に終了しました。 中止: ジョブはキャンセルされました。 エラー: ジョブはエラーが発生したため正常に終了できませんでした。
「ジョブ種類」の [▽]	特定の種類のジョブだけを表示できます。(ここではファクス受信またはインターネットファクス受信)
[詳細]	詳細情報を表示したいジョブを一覧で選択して、このキーを押してください。 (5-5ページのジョブ履歴の詳細情報の確認 参照)

送信ジョブ履歴画面

表示/キー	説明
番号	ジョブ受付番号
終了日時	ジョブ終了日時
種類	ジョブの種類を示すアイコン  ファクス送信  インターネットファクス送信
宛先	送信先(宛先名/ファクス番号/インターネットファクスアドレスのいずれか)
ユーザー名	ユーザー名 情報がなければ空欄になります。
結果	結果表示 正常終了: ジョブは正常に終了しました。 中止: ジョブはキャンセルされました。 エラー: ジョブはエラーが発生したため正常に終了できませんでした。 結果未達: 送信を行ったが、相手先から受取信号が送られてきません。
「ジョブ種類」の [▽]	特定の種類のジョブだけを表示できます。(ここではファクス送信またはインターネットファクス送信)
[詳細]	詳細情報を表示したいジョブを一覧で選択して、このキーを押してください。 (5-5ページのジョブ履歴の詳細情報の確認 参照)。

保存ジョブ履歴画面

表示/キー	説明
番号	ジョブ受付番号
終了日時	ジョブ終了日時
種類	ジョブの種類を示すアイコン  ファクス受信データの保存  インターネットファクス受信データの保存
ジョブ名	ジョブ名
ユーザー名	ユーザー名 情報が無い場合は空欄になります。
結果	結果表示 正常終了:ジョブは正常に終了しました。 中止:ジョブはキャンセルされました。 エラー:ジョブはエラーが発生したため正常に終了できませんでした。
「ジョブ種類」の [▽]	特定の種類のジョブだけを表示できます。
[詳細]	詳細情報を表示したいジョブを一覧で選択して、このキーを押してください (5-5ページのジョブ履歴の詳細情報の確認 参照)。



参考

ポーリングボックスへ保存したジョブの種類はスキャナー()になります。

ジョブ履歴の詳細情報の確認

各ジョブ履歴の詳細情報を確認することができます。

ジョブ履歴の詳細情報の表示

- 1 [状況確認/ジョブ中止]キーを押します。
- 2 [印刷ジョブ]、[送信ジョブ]または[保存ジョブ]→[履歴]の順に押します。
- 3 確認するジョブを選択し、[詳細]を押します。
選択したジョブの詳細情報が表示されます。




参考

[へ]または[▽]を押して、次/前のページの情報を確認できます。

4 確認を終了するときは、[閉じる]を押します。

詳細画面の内容

項目	説明
ジョブ番号	ジョブ受付番号
結果(結果/宛先)	結果表示 正常終了:ジョブは正常に終了しました。 中止:ジョブはキャンセルされました。 エラー:ジョブはエラーが発生したため正常に終了できませんでした。 [詳細]を押すと、送信先ごとの結果を確認できます。
ジョブ種類	ジョブの種類
宛先数	送信先件数を表示します。
ユーザー名	ユーザー名 情報がない場合は空欄になります。
ジョブ名	ジョブ名
受付時刻	ジョブの受付時刻
終了時刻	ジョブの終了時刻
原稿ページ数	原稿の枚数
カラー/白黒	原稿読み込み時のカラーモード
通信先	相手機に登録されている自局名または自局ファクス番号(ファクス受信、手動受信の場合) i-ファクスの差出人アドレス(i-ファクス受信の場合) 情報がない場合は空欄になります。
印刷ページ数	印刷の枚数

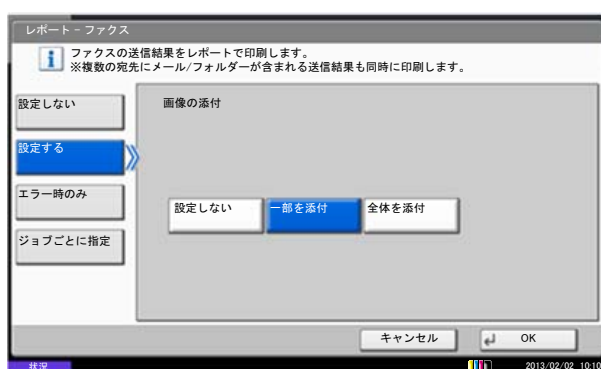
管理レポートを印刷する

さまざまな管理レポートを印刷して、通信結果やファクス機能の設定状況などを確認することができます。

送信結果レポート

送信するごとにレポートを印刷させて、正常に送信されたかを確認することができます。また、送信結果レポートに送信した画像を印刷できます。

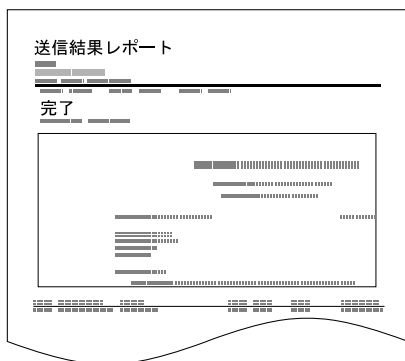
- 1 [システムメニュー]キーを押します。
- 2 [レポート]→「結果通知設定」の[次へ]→「送信結果レポート」の[次へ]→「ファクス」の[変更]の順に押します。
- 3 [設定しない] (常に印刷しない)、[設定する] (常に印刷する)、[エラー時のみ]、または [ジョブごとに指定] を選択します。



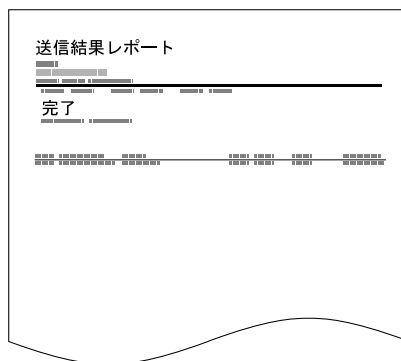
[設定する]、[エラー時のみ]、または [ジョブごとに指定] を選択した場合は、送信画像の添付について、[設定しない] (送信画像を印刷しない)、[一部を添付] (送信画像を等倍で印刷する) または [全体を添付] (送信画像の全体を印刷する) を選択してください。

- 4 [OK]を押します。

送信画像あり



送信画像なし



ファクス送信レポート

送信結果レポートの設定で [ジョブごとに指定] を選択した場合は、送信結果レポートを印刷するかどうか、送信操作ごとに設定することができます。

送信結果レポートを印刷する場合は、送信操作時に [応用/その他] タブの [ファクス送信レポート] を押し、[設定する] または [エラー時のみ] を選択してください。

送信前に中止されたジョブのレポート

送信を開始する前にジョブを中止したときに、送信結果レポートを印刷します。

- 1 [システムメニュー]キーを押します。
- 2 [レポート]→「結果通知設定」の[次へ]→「送信結果レポート」の[次へ]→「送信前の中止レポート」の[変更]の順に押します。
- 3 [設定しない]または[設定する]を選択します。
- 4 [OK]を押します。

宛先の表示形式

送信結果レポートに表示される宛先の表示形式を設定します。

名前と宛先は、アドレス帳の登録情報を参照し、送信結果レポートに表示されます。

[名前または宛先]を選択すると、アドレス帳に登録された名前(宛先名)と宛先(ファクス番号またはインターネットファクスアドレス)のどちらかを表示します。アドレス帳に名前と宛先の両方が登録されている場合は、宛先を優先して表示します。

[名前と宛先]を選択すると、名前(宛先名)と宛先(ファクス番号またはインターネットファクスアドレス)の両方を表示します。

例えば、宛先(ファクス番号)を直接入力した場合などは、宛先(ファクス番号)のみ表示します。

- 1 [システムメニュー]キーを押します。
- 2 [レポート]→「結果通知設定」の[次へ]→「送信結果レポート」の[次へ]→「宛先の表示形式」の[変更]の順に押します。
- 3 [名前または宛先]または[名前と宛先]を選択します。
- 4 [OK]を押します。



参考

送信結果レポートの「メール/フォルダー」と「ファクス」がどちらも[設定しない]場合は表示されません。

受信結果レポート

受信するごとにレポートを印刷させて、正常に受信できたかを確認することができます。

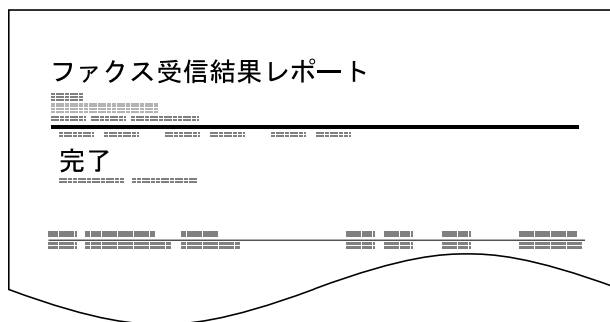


参考

受信結果レポートの代わりに、受信をメールで通知するように変更できます。[\(5-11ページのファクスの受信結果をメールで知らせる参照\)](#)

- 1 [システムメニュー]キーを押します。
- 2 [レポート]→「結果通知設定」の[次へ]→「ファクス受信結果通知」の[変更]の順に押します。
- 3 [設定しない] (常に印刷しない)、[設定する] (常に印刷する)、または[エラー/ボックス保存のみ]を選択します。

- 4 [OK]を押します。



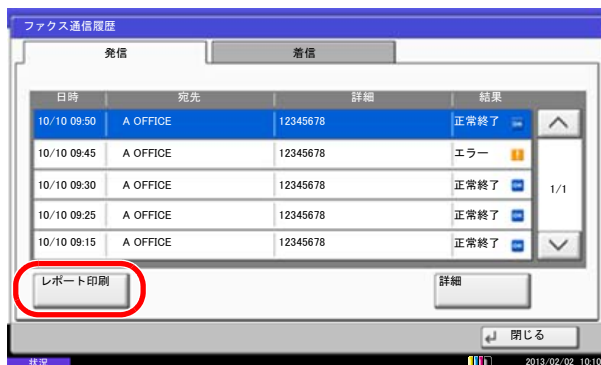
通信管理レポート

通信管理レポートには、ファクス発信管理レポートとファクス着信管理レポートがあり、それぞれ最近の発信または着信50件の情報を確認できます。自動印刷にすると、発信50件または着信50件ごとに、自動的にレポートが印刷されます。

通信管理レポートの印刷

最近の発信または着信50件の情報をレポートにして印刷します。

- 1 [状況確認/ジョブ中止]キーを押します。
- 2 [デバイス/通信]→「ファクス」の[通信履歴]の順に押します。
- 3 ファクス発信管理レポートを印刷する場合は[発信]を、ファクス着信管理レポートを印刷する場合は[着信]を押します。
- 4 [レポート印刷]を押します。

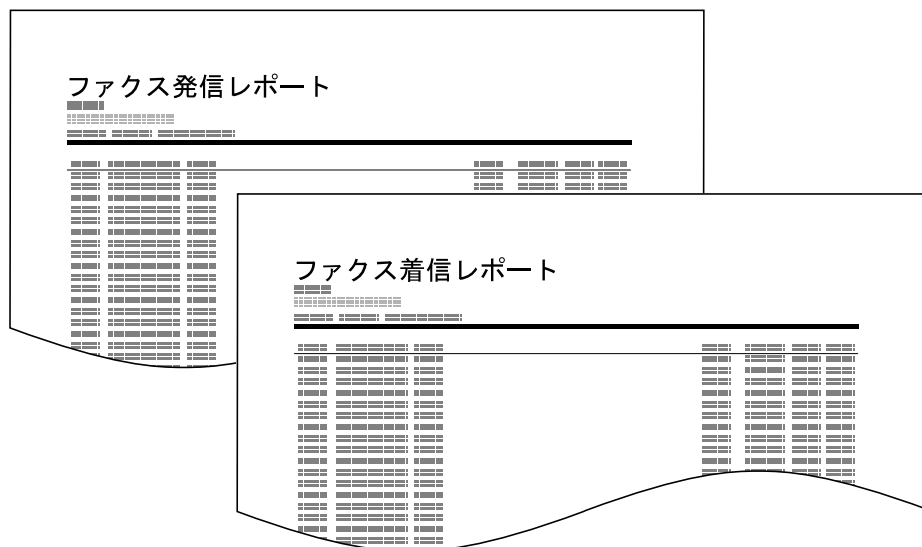


参考

表示されているファクスジョブを選択して、[詳細]を押すと、各ジョブの詳細情報を確認できます。

5 印刷の確認画面で[はい]を押します。

レポートが印刷されます。



自動印刷

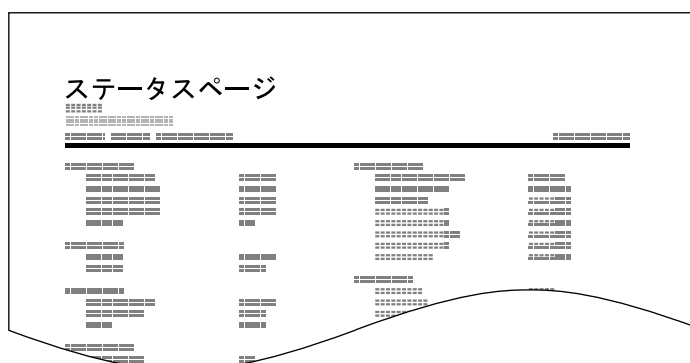
発信50件または着信50件ごとに、自動的に通信管理レポートが印刷されます。

- 1 [システムメニュー]キーを押します。
- 2 [レポート]→「管理レポート設定」の[次へ]→「ファクス発信レポート」または「ファクス着信レポート」の[変更]の順に押します。
- 3 [設定しない] (印刷しない) または [設定する] (印刷する) を選択します。
- 4 [OK]を押します。

ステータスページ

ステータスページには、ユーザーが本機に設定したさまざまな項目が記載されています。ファクス関連では、自局ファクス番号、自局名、回線設定などがあります。必要に応じて印刷してください。

- 1 [システムメニュー]キーを押します。
- 2 [レポート]→「レポート印刷」の[次へ]→「ステータスページ」の[印刷]の順に押します。
- 3 印刷の確認画面で[はい]を押します。
ステータスページが印刷されます。



ファクスの受信結果をメールで知らせる

ファクスを受信したときに、受信結果レポートを印刷する代わりに、メールで知らせることができます。

```
Job No.: 000019
Result: OK
End Time: Sun 23 Apr 2006 14:53:38
File Name: doc23042006145300
```

```
Result Job Type Address
```

```
-----
OK FAX 123456
```

```
-----
XX-XXXX
[00:c0:ee:1a:01:24]
-----
```



参考

この設定は、「ファクス受信結果通知」が[設定する]または[エラー/ボックス保存のみ]であるときに表示されます。詳しくは、[5-8ページの受信結果レポート](#)を参照してください。

メール通知は、「ファクス受信結果通知」の設定にしたがって実行されます。「ファクス受信結果通知」が[設定する]の場合は毎回メール通知されます。[エラー/ボックス保存のみ]の場合は、エラーが起こったとき、または受信原稿がファクスボックスに転送されたときのみメール通知されます。

- 1 [システムメニュー]キーを押します。
- 2 [レポート]→「結果通知設定」の[次へ]→「受信結果通知方法」の[変更]の順に押します。
- 3 送信先をアドレス帳から選択するときは、[メールアドレス帳]を押して、[アドレス帳]を押します。

メールの送信先を指定して、[OK]を押してください。



参考

アドレス帳で送信先を選択する手順は、[3-18ページの宛先をアドレス帳から選ぶ](#)を参照してください。

アドレスを直接入力する場合は、[メールアドレス入力]を押して、[メールアドレス]を押してください。

メールアドレスを入力して、[OK]を押してください。128文字まで入力できます。



参考

文字の入力方法は、[11-2ページの文字の入力方法](#)を参照してください。

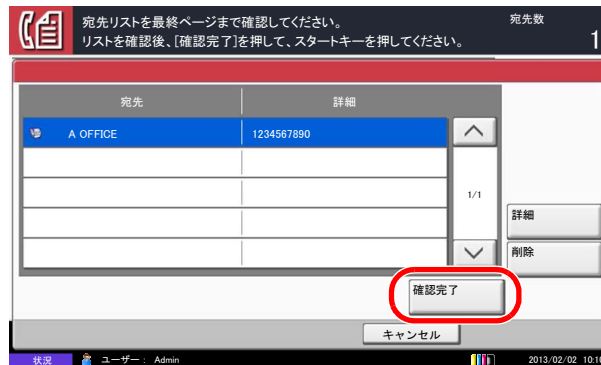
- 4 [OK]を押します。

宛先確認画面について

送信前の宛先確認画面の設定を[設定する]に設定している場合は、[スタート]キーを押すと、宛先を確認するための宛先確認画面が表示されます。詳しくは、本体の使用説明書の「8章 動作設定・登録を行う（システムメニュー）」の「送信」―「送信前の宛先確認」を参照してください。

宛先確認画面の操作手順は、次のとおりです。

- 1 [✓]または[へ]を押して、すべての宛先を確認します。



[詳細]を押すと、選択した宛先の詳しい情報が参照できます。

宛先を削除するときは、削除する宛先を選択して[削除]を押してください。削除の確認画面で[はい]を押すと宛先が削除されます。

宛先を追加するときは、[キャンセル]を押して元の画面に戻ってください。

- 2 [確認完了]を押します。

参考

必ずすべての宛先をタッチパネルに表示して確認してください。すべての宛先を表示しないと[確認完了]キーは機能しません。

- 3 [スタート]キーを押します。

送信が開始されます。

6 各種設定と登録

この章では、各種の設定や登録のしかたについて説明します。

電話回線の種類を選択する	6-2
送信したファクスに印刷される発信元記録を設定する	6-3
発信元の情報を設定する	6-4
名前(自局名)の登録	6-4
自局情報の登録	6-5
ECM送信を設定する【ECM送信】	6-7
送信開始速度を設定する【送信開始速度】	6-8
ファクスと電話を自動で切り替える【ファクス/電話自動切替受信】	6-9
受信の操作	6-10
ファクスと留守番電話を自動で切り替える【ファクス/留守番電話自動切替受信】	6-11
受信の操作	6-12
呼び出しベルの回数を変更する【ベル回数】	6-13
スピーカーの音量を調整する【音量調整】	6-14
ジョブの正常終了音を設定する【正常終了音】	6-15
リダイヤルする回数を変更する【リダイヤル回数】	6-16
利用状況に合わせて受信のしかたを切り替える【受信方式】	6-17
受信した日時や情報などを印刷する【受信日時記録】	6-18
使用する用紙の種類を限定する【受信用紙種類】	6-19
ファクス受信出力をするカセットを設定する	6-19
手差しトレイの使用/不使用を選択する【手差しトレイ受信】	6-21
ファクス通信網を使用して受信する【Fネット無鳴動受信】	6-22
1回線で電話とファクスを使い分ける【ダイヤルイン】	6-23
ナンバーディスプレイを設定する【ナンバーディスプレイ】	6-24
ECM受信を設定する【ECM受信】	6-25
受信開始速度を設定する【受信開始速度】	6-26
通信する相手先を限定する【送受信制限】	6-27
許可ファクス番号の登録のしかた	6-28
許可ファクス番号の変更/削除のしかた	6-29
拒否ファクス番号の登録のしかた	6-30
拒否ファクス番号の変更/削除のしかた	6-31
許可ID番号の登録のしかた	6-32
許可ID番号の変更/削除のしかた	6-33
送信制限設定のしかた	6-34
受信制限設定のしかた	6-34
原稿を暗号化して安全に通信する【暗号通信】	6-35
暗号鍵の登録のしかた	6-36
暗号鍵の登録内容の変更/削除のしかた	6-37
送信側の操作方法	6-37
受信側の操作方法	6-39
用紙サイズより大きい原稿を縮小して受信する【縮小受信】	6-40
幅が同じ原稿を受信したときは両面に印刷する【両面受信】	6-41
2枚の原稿を1枚にまとめて受信する【2in1受信】	6-42
サービスセンターからの通信で本機を診断する【リモート診断】	6-43
時間を指定してファクスの印刷を禁止する【使用禁止時間】	6-44
排紙先を設定する【排紙先】	6-45

電話回線の種類を選択する

契約している電話回線の種類を選択してください。この選択を誤ると、ファクスの送信ができませんのでご注意ください。



参考

ファクスキットを2台装着して電話回線を2回線使用する場合は、それぞれの回線の種類を選択してください。

- 1 [システムメニュー]キーを押します。
- 2 [ファクス]→「送信設定」の[次へ]→「ファクス」の[次へ]→「回線設定(ポート1)」または「回線設定(ポート2)」の[変更]の順に押します。
- 3 契約している電話回線の種類に合わせて、[プッシュ回線(DTMF)]、[ダイヤル回線(10PPS)]または[ダイヤル回線(20PPS)]を選択します。
- 4 [OK]を押します。

送信したファクスに印刷される発信元記録を設定する

発信元記録とは、相手先で受信したファクスに印刷されるこちら側(発信元)の情報のことです。送信日時や送信ページ数、名前、ファクス番号、インターネットファクスアドレスなどがあります。本機では、発信元記録を受信側で印刷させるかどうかを選択することができます。印刷させる場合の位置も、送信ページ画像の内側、外側を選択できます。



参考

発信元記録は、ファクス送信とインターネットファクス送信で同一の設定です。

通常、発信元記録には自局名称が印刷されますが、部門管理が有効であるときに部門コードを入力して送信を行った場合は、部門名または自局名称から選択したものが印刷されるように設定できます。設定方法については、[6-5ページの自局情報の登録](#)を参照してください。

- 1 [システムメニュー]キーを押します。
- 2 [ファクス]→「送信設定」の[次へ]→「基本設定」の[次へ]→「発信元記録」の[変更]の順に押します。



- 3 印刷させるときはその位置を、印刷させないときは[設定しない]を押します。
- 4 [OK]を押します。

発信元の情報を設定する

発信元記録に印刷される名前(自局名)や、ファクス番号、ファクスID(自局情報)を登録します。発信元の情報を登録すると、受信側ではどこから送られてきた原稿なのかを容易に知ることができます。

名前(自局名)の登録

発信元記録に印刷する発信元の名前を登録します。

 **参考**
ファクスキットを2台装着して電話回線を2回線使用する場合は、2回線分の自局名を登録できます。ただし、登録できるファクスIDは1つだけです。

登録内容を変更するときも、同様の操作を行ってください。

- 1 [システムメニュー]キーを押します。
- 2 [ファクス]→「送信設定」の[次へ]→「基本設定」の[次へ]→「自局名登録(ポート1)」または「自局名登録(ポート2)」の[次へ]→「自局名登録」の[変更]の順に押します。

入力画面が表示されます。

 **参考**
「自局名登録(ポート1)」で設定した内容は、インターネットFAXに反映されます。



- 3 登録する自局名を入力します。

32文字まで入力できます。

 **参考**
文字の入力方法は、[11-2ページの文字の入力方法](#)を参照してください。

- 4 [OK]を押します。
 - 5 「自局名登録(フリガナ)」の[変更]を押します。
- 入力画面が表示されます。

- 登録する自局名のフリガナを入力します。
半角カタカナおよび半角英数で32文字まで入力できます。



参考

文字の入力方法は、[11-2ページの文字の入力方法](#)を参照してください。

- [OK]を押します。

自局情報の登録

発信元記録に印刷する発信元の自局情報(自局ファクス番号)を登録します。自局ファクスIDは送受信制限で使します。(6-27ページの[通信する相手先を限定する【送受信制限】](#)参照)

また、自局情報に部門名や部門コードを設定することができます。
部門名や部門コードの登録方法については、本体の[使用説明書](#)を参照してください。



参考

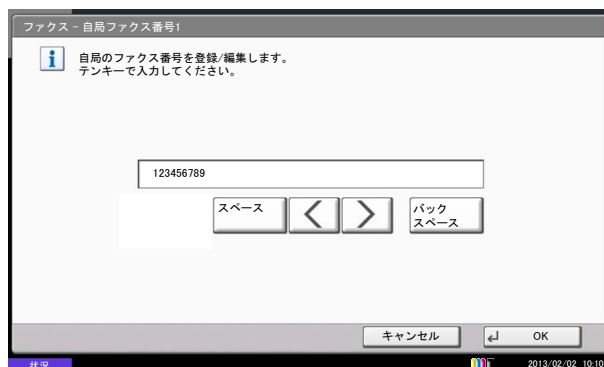
ファクスキットを2台装着して電話回線を2回線使用する場合は、2回線分の自局ファクス番号が登録できます。ただし、登録できる自局ファクスIDは1つだけです。

登録内容を変更するときも、同様の操作を行ってください。

- [システムメニュー]キーを押します。
- [ファクス]→「送信設定」の[次へ]→「ファクス」の[次へ]の順に押します。
自局ファクス番号を登録するときは次の手順に、自局ファクスIDを登録するときは手順6に進んでください。

自局ファクス番号登録

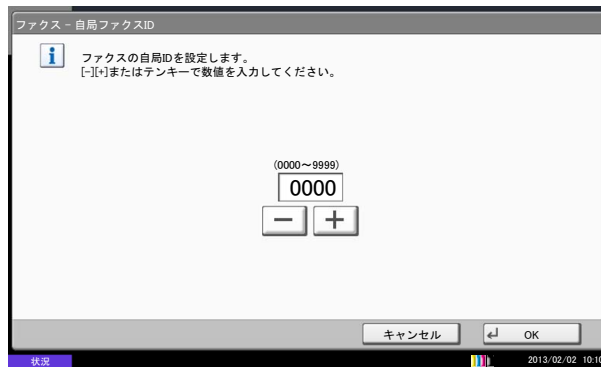
- 「自局ファクス番号1」または「自局ファクス番号2」の[変更]を押します。
すでに登録されている場合は、現在の登録番号が表示されます。



- テンキーを使って、登録する自局ファクス番号を入力します。
 - 20桁まで入力できます。
 - [スペース]を押すと、半角スペースが入力されます。
 - [<]または[>]を押すと、カーソルが移動します。
 - [バックスペース]を押すと、カーソルの前の1文字が削除されます。
- [OK]を押します。

自局ファクスID登録

- 6 「自局ファクスID」の[変更]を押します。
入力画面が表示されます。



- 7 [+], [-]またはテンキーを押して、登録する自局ファクスIDの番号を4桁で入力します。
- 8 [OK]を押します。
- 9 [閉じる]を押します。

部門名使用の設定

- 10 「基本設定」の[次へ]→「自局名に部門名を使用」の[変更]の順に押します。
- 11 自局名に部門名を使用するときは[設定する]を、自局名称を使用する場合は[設定しない]を押します。
- 12 [OK]を押します。

ECM送信を設定する【ECM送信】

ECMはITU-T(国際電気通信連合)で定められた誤り再送方式の通信です。ECM機能を持つファクス間の通信では、送信したデータに誤りがないことを確認しながら通信しますので、電話回線の雑音などによる画像の乱れを防いで通信することができます。



参考

雑音の多い電話回線では、[設定しない]を選択したときに比べて通信時間が若干長くなることがあります。

- 1 [システムメニュー]キーを押します。
- 2 [ファクス]→「送信設定」の[次へ]→「ファクス」の[次へ]→「ECM送信(ポート1)」または「ECM送信(ポート2)」(ファクスキットを2台装着時)の[変更]の順に押します。
- 3 [設定しない]または[設定する]を選択します。
- 4 [OK]を押します。

送信開始速度を設定する【送信開始速度】

通信状態が悪いとファクスを正しく送信できないことがあります。そのときは、送信開始速度を低く設定してください。
通常は設定値を変更しないで使用してください。

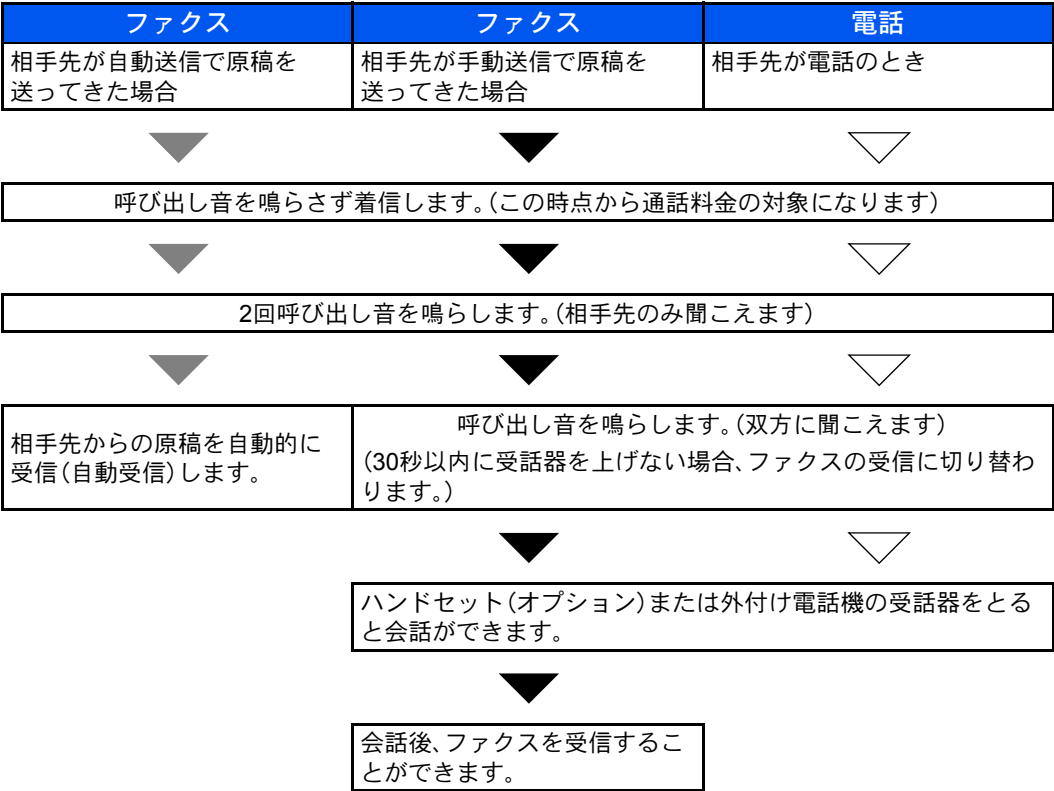
- 1 [システムメニュー]キーを押します。
- 2 [ファクス]→「送信設定」の[次へ]→「ファクス」の[次へ]→「送信開始速度(ポート1)」または「送信開始速度(ポート2)」(ファクスキットを2台装着時)の[変更]の順に押します。
- 3 [9600bps]、[14400bps]、または[33600bps]を選択します。
- 4 [OK]を押します。

ファクスと電話を自動で切り替える【ファクス/電話自動切替受信】

1回線で電話とファクスの両方を使用するときに便利な受信方法です。ファクス原稿が送られてくれば自動的に受信し、相手先が電話のときは本機に接続された電話機(市販品)で呼び出し音が鳴り、応答を促します。

 **重要**
ファクス/電話自動切替受信するためには、本機にオプションのハンドセットまたは電話機(市販品)を接続することが必要です。
電話機で呼び出し音が設定回数分鳴った後は、受信側が応答しない場合でも発信側に電話料金がかかります。

受信の流れ



 **参考**
会話終了後に手動で受信することもできます。(4-15ページの送られてきたファクスを手動で受信する【手動受信】参照)

受信の操作

6-17ページの利用状況に合わせて受信のしかたを切り替える【[受信方式](#)】を参照して、[自動(ファクス/電話)]を選択してください。

- 1 まず接続された電話機(またはオプションのハンドセット)で呼び出し音が鳴ります。ただし、呼び出し音が鳴る回数(ファクス/電話自動切替用)が「0」に設定されている場合は呼び出し音が鳴りません。



参考

呼び出し音が鳴る回数は変更することができます。(6-13ページの[呼び出しベルの回数を変更する【ベル回数】](#)参照)

相手先が電話のとき



- 2 本機に接続された電話機(市販品)で呼び出し音が鳴り、応答を促します。30秒間以内に電話の受話器を上げます。

参考

30秒間以内に受話器を上げない場合、ファクスの受信に切り替わります。

- 3 会話をします。

参考

会話終了後に手動で受信することもできます。(4-15ページの[送られてきたファクスを手動で受信する【手動受信】](#)参照)

相手先がファクスのとき

ファクスの受信を開始します。

ファクスと留守番電話を自動で切り替える【ファクス/留守番電話自動切替受信】

留守番電話機とファクスを併用するときに便利な方法です。ファクス原稿が送られてくれば自動的に受信し、相手先が電話のときは接続された留守番電話機の機能にしたがうため、不在の場合には相手先からのメッセージを留守番電話に残すことができます。

☑ 重要

ファクス/留守番電話自動切替受信機能の使用時、相手先からの電話がつながってから、1分間経過するまでの間に30秒以上無音状態が続くと、本機の無音検出機能が働き、ファクス受信に切り替わります。



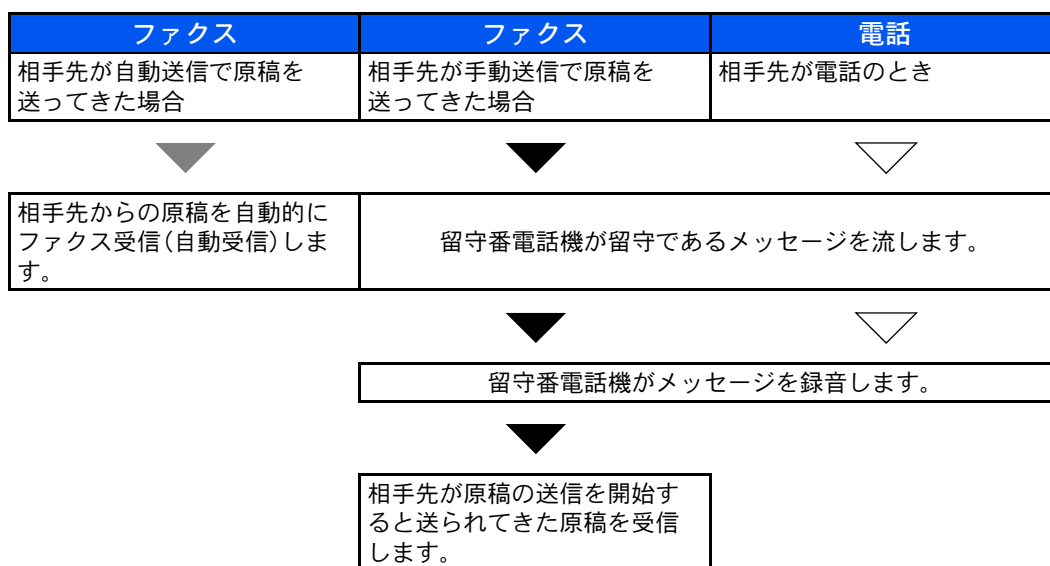
参考

ファクス/留守番電話自動切替受信をするためには、本機に留守番機能付電話機(市販品)を接続する必要があります。

応答メッセージ等は、各留守番電話機の使用説明書を参照してください。

本機の呼び出しベルの回数は、留守番電話の呼び出しベルの回数よりも多くしてください。[\(6-13ページの呼び出しベルの回数を変更する【ベル回数】を参照\)](#)

受信の流れ



受信の操作

6-17ページの利用状況に合わせて受信のしかたを切り替える【[受信方式](#)】を参照して、[自動(留守番電話)]を選択してください。

- 1 接続された電話機で設定された回数の呼び出し音が鳴ります。



参考

電話機で呼び出し音が鳴っているときに受話器を上げた場合は、手動受信のときと同じ状態になります。(4-15ページの送られてきたファクスを手動で受信する【[手動受信](#)】参照)

- 2 留守番電話機が応答します。

相手先は電話だが不在のとき

留守番電話機から応答メッセージが流れ、用件の録音を開始します。

参考

録音中に無音状態が30秒間続くとファクスの受信に切り替わります。

相手先がファクスのとき

ファクスの受信を開始します。

呼び出しベルの回数を変更する【ベル回数】

相手先からの呼び出しに応答するまでのベル回数を、必要に応じて変更することができます。ベル回数は、本機の受信方式のうち、ファクス専用自動受信、ファクス/留守番電話自動切替受信、ファクス/電話自動切替受信について、それぞれ変更できます。



参考

ファクス専用自動受信、ファクス/留守番電話自動切替受信のベル回数は1～15回まで、ファクス/電話自動切替受信のベル回数は0～15回までの間で変更できます。

- 1 [システムメニュー]キーを押します。
- 2 [ファクス]→「受信設定」の[次へ]→「ファクス」の[次へ]の順に押し、「ベル回数(普通)」、「ベル回数(留守番電話)」、または「ベル回数(ファクス/電話切替)」の[変更]を押します。
- 3 [+],[-]またはテンキーを押して、ベル回数を選択します。
- 4 [OK]を押します。

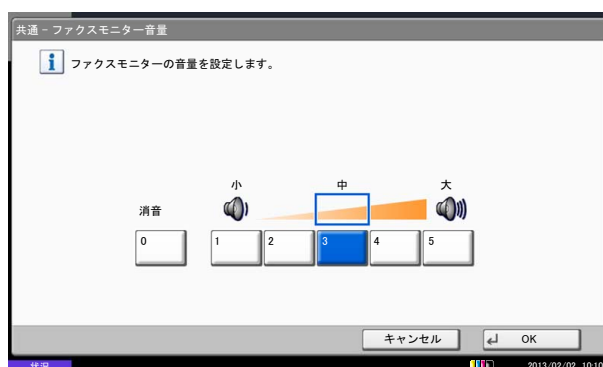
スピーカーの音量を調整する【音量調整】

本機のモニター音、スピーカー音のボリュームを調整できます。

スピーカー音量: オンフックで電話したときや、相手先の音声とプッシュ回線の信号音を確認したいときに調整してください。

モニター音量: FAX通信中の信号音を確認したいときに調整してください。

- 1 [システムメニュー]キーを押します。
- 2 [共通設定]→「音設定」の[次へ]→「ファクススピーカー音量」または「ファクスモニター音量」の[変更]の順に押します。
- 3 [1] (小)、[2]、[3] (中)、[4]、[5] (大) または [0] (消音) を選択します。



- 4 [OK]を押します。

ジョブの正常終了音を設定する【正常終了音】

ジョブの処理が正常に終了したときに音を鳴らすかどうかを設定します。

- 1 [システムメニュー]キーを押します。
- 2 [共通設定]→「音設定」の[次へ]→「ブザー」の[次へ]→「正常終了音」の[変更]の順に押します。
- 3 [使用しない]、[使用する]、または[ファクス受信時のみ]を選択します。
- 4 [OK]を押します。



参考

ブザーの正常終了音以外の設定項目については、本体の使用説明書を参照してください。

リダイヤルする回数を変更する【リダイヤル回数】

自動的にリダイヤルする回数を変更できます。



参考

リダイヤル回数は0～14回までの間で設定できます。リダイヤルについては、[3-22ページの同じ相手に再送信する\(リダイヤル\)](#)を参照してください。

- 1 [システムメニュー]キーを押します。
- 2 [ファクス]→「送信設定」の[次へ]→「基本設定」の[次へ]→「リダイヤル回数」の[変更]の順に押します。
- 3 [+],[-]またはテンキーを押して、リダイヤルの回数を選択します。
- 4 [OK]を押します。

利用状況に合わせて受信のしかたを切り替える【受信方式】

本機の受信方式には次の4種類があります。

- ファクス専用自動受信[自動(普通)]
- ファクス/電話自動切替受信[自動(ファクス/電話)] ([6-9ページ](#)参照)
- ファクス/留守番電話自動切替受信[自動(留守番電話)] ([6-11ページ](#)参照)
- 手動受信[手動] ([4-15ページ](#)参照)

本機の使用状況に合わせて、受信方式を選択してください。

- 1** [システムメニュー]キーを押します。
- 2** [ファクス]→「受信設定」の[次へ]→「ファクス」の[次へ]→「受信方式」の[変更]の順に押します。
- 3** 切り替えたい受信方式を選択します。
- 4** [OK]を押します。

受信した日時や情報などを印刷する【受信日時記録】

受信日時記録は、ファクスが印刷されるときに、受信した日時、相手先の情報、ページ数を本機側で付加し、各ページの先頭に印刷する機能です。時差がある地域から送られてきた原稿を、いつこちらが受信したか確認できて便利です。



参考

受信データが複数ページに分割されるときは、最初の1ページに受信日時記録が印刷され、次のページ以降には印刷されません。

メモリー転送時に、転送された受信データには、受信日時記録は付加されません。

- 1 [システムメニュー]キーを押します。
- 2 [ファクス]→「受信設定」の[次へ]→「基本設定」の[次へ]→「受信日時記録」の[変更]の順に押します。
- 3 [設定する]を押します。
- 4 [OK]を押します。

使用する用紙の種類を限定する【受信用紙種類】

ファクスが印刷されるときに使用する用紙を、用紙の種類で限定できます。

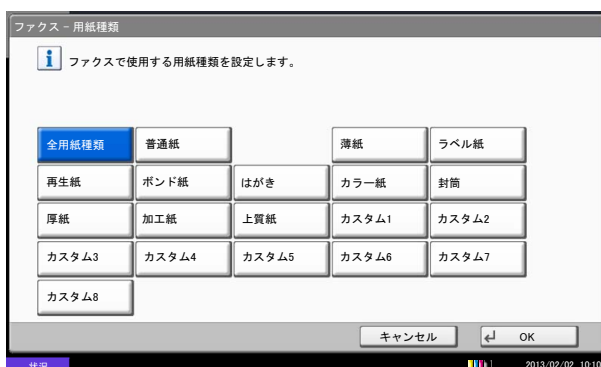
選択できる用紙種類：全用紙種類、普通紙、薄紙、ラベル紙、再生紙、ボンド紙、はがき、カラー紙、封筒、厚紙、加工紙、上質紙、カスタム1～8



参考

用紙種類のカスタム1～8については、本体の使用説明書を参照してください。

- 1 [システムメニュー]キーを押します。
- 2 [ファクス]→「受信設定」の[次へ]→「基本設定」の[次へ]→「用紙種類」の[変更]の順に押します。
- 3 用紙種類を選択します。用紙種類を指定しない場合は[全用紙種類]を押します。



- 4 [OK]を押します。

ファクス受信出力をするカセットを設定する

用紙種類を限定することで、用紙種類を設定した該当のカセットからファクス受信が可能となります。また、設定された用紙サイズで自動的に縮小されます。詳細は、[6-40ページの用紙サイズより大きい原稿を縮小して受信する【縮小受信】](#)を参照してください。

- 1 [システムメニュー]キーを押します。
- 2 「カセット/手差しトレイ設定」を押します。
- 3 [カセット1]～[カセット7]のいずれかを選択して[次へ]を押し、「用紙サイズ」の[変更]を押します。



参考

[カセット3]～[カセット7]は、オプションのペーパーフィーダー装着時のみ表示されます。

4 [自動]を押して、[A系/B系]を選択します。



 参考

ファクス受信で使用するカセットの用紙サイズは、次の設定にしてください。

[自動]→[A系/B系]を押します。

上記の設定を変えると、ファクスの印刷ができなくなります。

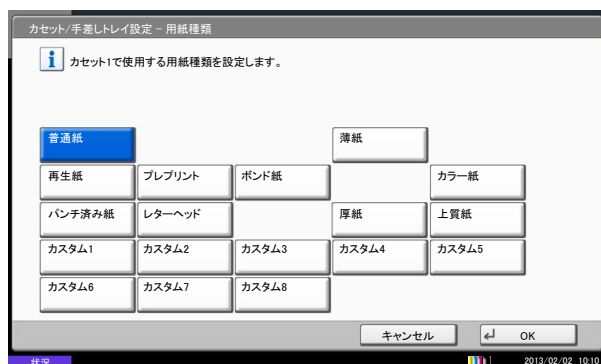
用紙サイズの設定については、本体の使用説明書の「3章 本機を使用する前に」の「用紙サイズと用紙種類の設定」を参照してください。

5 [OK]を押します。

前画面に戻ります。

6 「用紙種類」の[変更]を押して、用紙種類を選択し、[OK]を押します。

前画面に戻ります。



7 [閉じる]を押して、システムメニューの初期画面に戻ります。

手差しトレイの使用/不使用を選択する【手差しトレイ受信】

ファクスが印刷されるときに、手差しトレイを使用するかどうか選択できます。

- 1 [システムメニュー]キーを押します。
- 2 [ファクス]→「受信設定」の[次へ]→「基本設定」の[次へ]→「手差し」の[変更]の順に押します。
- 3 [使用しない]または[使用する]を選択します。
- 4 [OK]を押します。

ファクス通信網を使用して受信する【Fネット無鳴動受信】

NTTが提供するファクス通信網(Fネット)に接続してファクス通信をする場合は、「Fネット無鳴動受信」を[使用する]にしてください。

- 1 [システムメニュー]キーを押します。
- 2 [ファクス]→「受信設定」の[次へ]→「ファクス」の[次へ]→「Fネット無鳴動受信」の[変更]の順に押します。
- 3 [設定しない]または[設定する]を選択します。
- 4 [OK]を押します。

1回線で電話とファクスを使い分ける【ダイヤルイン】

NTTのダイヤルインサービスを利用することにより、1回線で電話とファクスとの併用を可能にする機能です。

ダイヤルインサービスでは、契約時にNTTから電話用とファクス用の2つの番号が与えられます。相手先に対して、電話用とファクス用にそれぞれ別の番号を伝えておけば、相手側では、電話をかけるときは電話用の番号を使い、ファクスを送るときはファクス用の番号を使います。

本機側では、それらの番号を事前に電話用とファクス用に登録しておくため、電話かファクスかを区別して受信することができます。

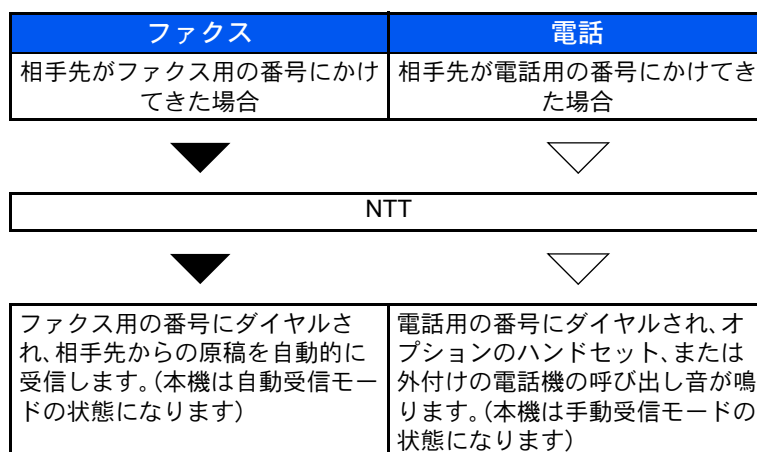
参考

ダイヤルインサービスのサービス内容や契約方法については、NTTの営業窓口にお問い合わせください。また、サービスをお受けになるときは、ダイヤルイン番号を4桁の任意の数字でお申し込みください。

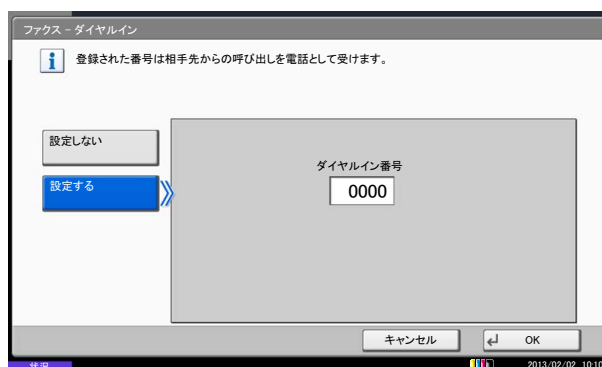
ファクス/電話自動切替受信やファクス/留守番電話自動切替受信との併用はできません。

電話を受けるためには、オプションのハンドセットあるいは併用電話機(市販品)を接続する必要があります。

受信の流れ



- 1 [システムメニュー]キーを押します。
- 2 [ファクス]→「受信設定」の[次へ]→「ファクス」の[次へ]→「ダイヤルイン」の[変更]の順に押します。



- 3 [設定する]を選択し、電話番号として使用する番号をテンキーで入力します。
- 4 [OK]を押します。

ナンバーディスプレイを設定する【ナンバーディスプレイ】

重要

本製品はナンバーディスプレイ表示に対応していないため、ナンバーディスプレイサービスはご利用いただけません。また、ナンバーディスプレイサービスを契約していると受信が正常に行えないことがあります。一時的な回避方法として、ナンバーディスプレイの設定を[契約している]に変更すると受信できる場合があります。いずれにしても、利用の如何にかかわらずナンバーディスプレイ料金が発生しますので、サービス提供会社にご連絡ください。

- 1 [システムメニュー]キーを押します。
- 2 [ファクス]→「受信設定」の[次へ]→「ファクス」の[次へ]→[✓]→「ナンバーディスプレイ(ポート1)」または「ナンバーディスプレイ(ポート2)」(ファクスキットを2台装着時)の[変更]の順に押します。
- 3 [契約していない]または[契約している]を選択します。
- 4 [OK]を押します。



参考

本機能の設定にかかわらず、相手先の番号は表示されません。

この項目は簡単設定に含まれています。詳しくは、[2-2ページの簡単セットアップ\(ファクスのセットアップ\)](#)を参照してください。

ECM受信を設定する【ECM受信】

ECMはITU-T(国際電気通信連合)で定められた誤り再送方式の通信です。ECM機能を持つファクス間の通信では、送信したデータに誤りがないことを確認しながら通信しますので、電話回線の雑音などによる画像の乱れを防いで通信することができます。



参考

雑音の多い電話回線では、[設定しない]を選択したときに比べて通信時間が若干長くなることがあります。

- 1 [システムメニュー]キーを押します。
- 2 [ファクス]→「受信設定」の[次へ]→「ファクス」の[次へ]→[✓]→「ECM受信(ポート1)」または「ECM受信(ポート2)」(ファクスキットを2台装着時)の[変更]の順に押します。
- 3 [設定しない]または[設定する]を選択します。
- 4 [OK]を押します。

受信開始速度を設定する【受信開始速度】

通信状態が悪いとファクスを正しく受信できないことがあります。そのときは、受信開始速度を低く設定してください。通常は設定値を変更しないで使用してください。

- 1 [システムメニュー]キーを押します。
- 2 [ファクス]→「受信設定」の[次へ]→「ファクス」の[次へ]→[✓]→「受信開始速度(ポート1)」または「受信開始速度(ポート2)」(ファクスキットを2台装着時)の[変更]の順に押します。
- 3 [9600bps]、[14400bps]、または[33600bps]を選択します。
- 4 [OK]を押します。

通信する相手先を限定する【送受信制限】

通信条件を満たすときだけ送/受信を可能にする機能です。この機能を使うと、通信する相手先を限定することができます。

具体的には、あらかじめ通信条件（許可ファクス番号/許可ID番号）を登録し、送受信制限を設定しておきます。送/受信時は、この機能についての特別な操作の必要はなく、通常の操作を行います。そして、実際に送/受信が開始されたとき、通信条件を満たす送/受信は正常に行われますが、条件を満たさない送/受信はエラーとなります。また、受信制限を[拒否リスト]に設定すると、拒否ファクス番号に登録した相手先と自局ファクス番号を登録していない相手先からの受信を拒否することができます。

参考

送受信制限は、下記の前提条件、通信成立条件、および受信拒否条件をよくお読みになり、送信や受信を可能にする相手先とあらかじめよく打ち合わせた上で行うようにしてください。

	前提条件	通信成立条件
送信制限	- 許可ファクス番号または許可ID番号を登録する。[†]（6-28ページの許可ファクス番号の登録のしかた、または6-32ページの許可ID番号の登録のしかた参照） - 送信制限設定で、送信制限を[アドレス帳+許可リスト]に設定する。（6-34ページの送信制限設定のしかた参照） - 相手先で自局ファクス番号または自局ファクスIDを登録する。	- 相手先の自局ファクス番号と本機に登録されている許可ファクス番号が一致する。 - 相手先の自局ファクスIDと本機に登録されている許可ID番号が一致する。 - アドレス帳、ワンタッチキーを使ってダイヤルした場合、ダイヤルした番号の下4桁と相手先の自局ファクス番号の下4桁が一致する。（手動送信時を除く）
受信制限	- 許可ファクス番号または許可ID番号を登録する。^{††}（6-28ページの許可ファクス番号の登録のしかた、または6-32ページの許可ID番号の登録のしかた参照） - 受信制限設定で、受信制限を[アドレス帳+許可リスト]に設定する。（6-34ページの受信制限設定のしかた参照） - 相手先で自局ファクス番号または自局ファクスIDを登録する。	- 相手先の自局ファクス番号と本機に登録されている許可ファクス番号が一致する。 - 相手先の自局ファクスIDと本機に登録されている許可ID番号が一致する。 - 相手先の自局ファクス番号の下4桁と一致するファクス番号が、本機のアドレス帳に登録されている。

† 許可ファクス番号と許可ID番号の両方が未登録の場合は、送信制限しません。

†† 許可ファクス番号と許可ID番号の両方が未登録の場合は、受信制限しません。

	前提条件	受信拒否条件
受信拒否	- 拒否ファクス番号を登録する。[†]（6-30ページの拒否ファクス番号の登録のしかた参照） - 受信制限設定で、受信制限を[拒否リスト]に設定する。（6-34ページの受信制限設定のしかた参照）	- 相手先が自局ファクス番号を登録していない。 - 相手先の自局ファクス番号と本機に登録されている拒否ファクス番号が一致する。

† 拒否ファクス番号を登録していない場合、自局ファクス番号（実際の回線番号ではなく、ファクスの自局登録情報を指します。）に登録していない相手先のみ拒否します。

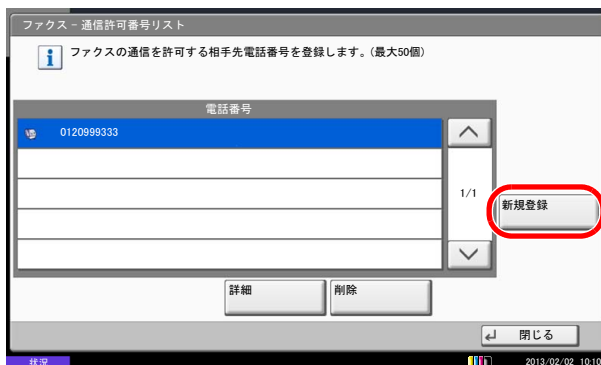
許可ファクス番号の登録のしかた



参考

最大50個の許可ファクス番号を登録することができます。

- 1 [システムメニュー]キーを押します。
- 2 [ファクス]→「通信制限設定」の[次へ]→「通信許可番号リスト」の[登録/編集]の順に押します。
- 3 [新規登録]を押します。



- 4 テンキーを使って許可ファクス番号を入力します。
20桁まで入力できます。



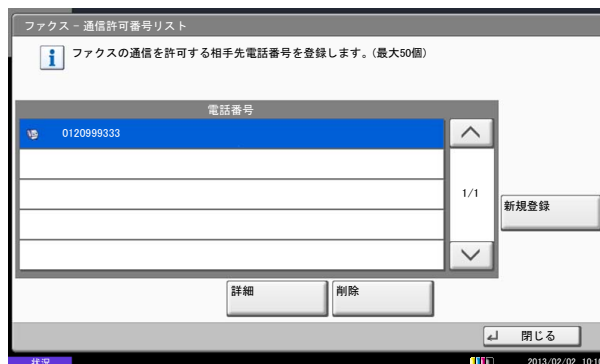
参考

- [ポーズ]を押すと、番号の間にポーズ(-)が入力されます。
- [スペース]を押すと、半角スペースが入力されます。
- [<]または[>]を押すと、カーソルが移動します。
- [バックスペース]を押すと、カーソルの前の一文字が削除されます。

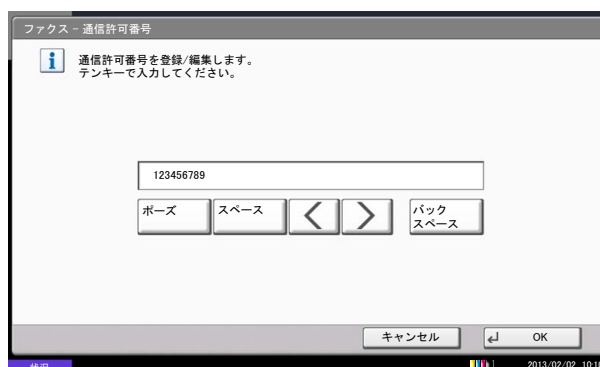
- 5 [OK]を押します。
- 6 その他の許可ファクス番号を登録するときは手順3～5を繰り返します。
- 7 [閉じる]を押します。

許可ファクス番号の変更/削除のしかた

- 1 6-28ページの許可ファクス番号の登録のしかたの手順1、2を行います。



- 2 変更または削除する許可ファクス番号を選択します。
変更するときは手順3に、削除するときは手順6に進んでください。
- 3 [詳細]を押します。



- 4 テンキーを使って許可ファクス番号を入力しなおします。
20桁まで入力できます。

参考

- [ポーズ]を押すと、番号の間にポーズ(-)が入力されます。
- [スペース]を押すと、半角スペースが入力されます。
- [<]または[>]を押すと、カーソルが移動します。
- [バックスペース]を押すと、カーソルの前の一文字が削除されます。

- 5 [OK]を押します。変更の確認画面で[はい]を押します。手順7に進んでください。
- 6 [削除]を押します。削除の確認画面で[はい]を押します。
- 7 その他の許可ファクス番号を変更や削除するときは手順2～6を繰り返します。
- 8 [閉じる]を押します。

拒否ファクス番号の登録のしかた



参考

最大50個の拒否ファクス番号を登録することができます。

- 1 [システムメニュー]キーを押します。
- 2 [ファクス]→「通信制限設定」の[次へ]→「通信拒否番号リスト」の[登録/編集]の順に押します。
- 3 [新規登録]を押します。



- 4 テンキーを使って拒否ファクス番号を入力します。
20桁まで入力できます。



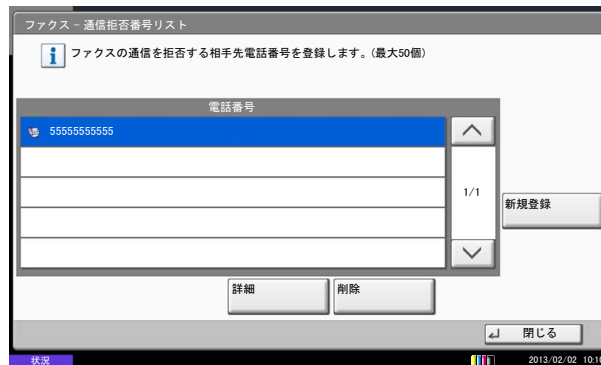
参考

[ポーズ]を押すと、番号の間にポーズ(-)が入力されます。
[スペース]を押すと、半角スペースが入力されます。
[<]または[>]を押すと、カーソルが移動します。
[バックスペース]を押すと、カーソルの前の一文字が削除されます。

- 5 [OK]を押します。
- 6 その他の拒否ファクス番号を登録するときは手順3～5を繰り返します。
- 7 [閉じる]を押します。

拒否ファクス番号の変更/削除のしかた

- 1 6-30ページの拒否ファクス番号の登録のしかたの手順1、2を行います。



- 2 変更または削除する拒否ファクス番号を選択します。
変更するときは手順3に、削除するときは手順6に進んでください。
- 3 [詳細]を押します。



- 4 テンキーを使って拒否ファクス番号を入力しなおします。
20桁まで入力できます。

参考

- [ポーズ]を押すと、番号の間にポーズ(-)が入力されます。
- [スペース]を押すと、半角スペースが入力されます。
- [<]または[>]を押すと、カーソルが移動します。
- [バックスペース]を押すと、カーソルの前の一文字が削除されます。

- 5 [OK]を押します。変更の確認画面で[はい]を押します。手順7に進んでください。
- 6 [削除]を押します。削除の確認画面で[はい]を押します。
- 7 その他の拒否ファクス番号を変更や削除するときは、手順2～6を繰り返します。
- 8 [閉じる]を押します。

許可ID番号の登録のしかた

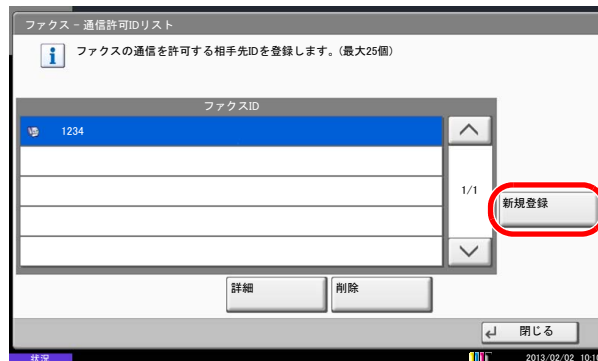
ファクスの通信を許可する相手先IDを登録します。



参考

最大25個の許可ID番号を登録することができます。

- 1 [システムメニュー]キーを押します。
- 2 [ファクス]→「通信制限設定」の[次へ]→「通信許可IDリスト」の[登録/編集]の順に押します。



- 3 [新規登録]を押します。



- 4 [+], [-]またはテンキーで、許可ID番号(0000～9999)を入力します。



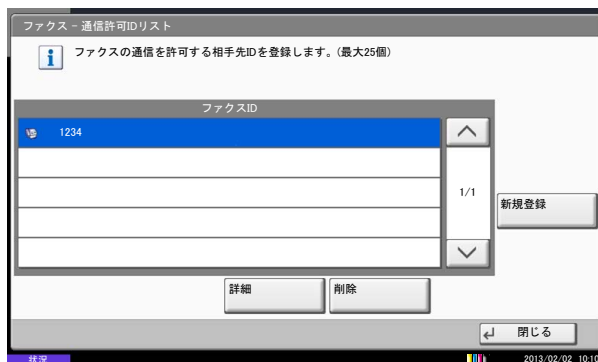
参考

[クリア]キーを押すと、入力前の番号に戻ります。

- 5 [OK]を押します。
- 6 その他の許可ID番号を登録するときは手順3～5を繰り返します。
- 7 [閉じる]を押します。

許可ID番号の変更/削除のしかた

- 1 6-32ページの許可ID番号の登録のしかたの手順1、2を行います。



- 2 変更または削除する許可ID番号を選択します。
変更するときは手順3に、削除するときは手順6に進んでください。
- 3 [詳細]を押します。



- 4 [+], [-]またはテンキーで許可ID番号(0000~9999)を入力しなおします。



参考

[クリア]キーを押すと、入力前の番号に戻ります。

- 5 [OK]を押します。変更の確認画面で[はい]を押します。手順7に進んでください。
- 6 [削除]を押します。削除の確認画面で[はい]を押します。
- 7 その他の許可ID番号を変更や削除するときは、手順2~6を繰り返します。
- 8 [閉じる]を押します。

送信制限設定のしかた

送信する相手先を、許可ファクス番号と許可ID番号に登録されている相手先、およびアドレス帳に登録されている相手先だけに制限できます。送信制限を変更する場合は次の手順で行ってください。

- 1 [システムメニュー]キーを押します。
- 2 [ファクス]→「通信制限設定」の[次へ]→「送信制限」の[変更]の順に押します。
- 3 送信制限を行わない場合は、[制限しない]を押します。許可ファクス番号と許可ID番号に登録されている相手先、およびアドレス帳に登録されている相手先だけに制限するときは、[許可リスト+アドレス帳]を押します。
- 4 [OK]を押します。

受信制限設定のしかた

受信する相手先を、許可ファクス番号と許可ID番号に登録されている相手先、およびアドレス帳に登録されている相手先だけに制限できます。また、受信制限を[拒否リスト]に設定すると、拒否ファクス番号に登録した相手先と自局ファクス番号を登録していない相手先からの受信を拒否することができます。受信制限を変更する場合は次の手順で行ってください。

- 1 [システムメニュー]キーを押します。
- 2 [ファクス]→「通信制限設定」の[次へ]→「受信制限」の[変更]の順に押します。
- 3 受信制限を行わない場合は、[制限しない]を押します。許可ファクス番号と許可ID番号に登録されている相手先、およびアドレス帳に登録されている相手先だけに制限するときは、[許可リスト+アドレス帳]を押します。拒否ファクス番号に登録した相手先からの受信を拒否するときは、[拒否リスト]を押します。
- 4 [OK]を押します。

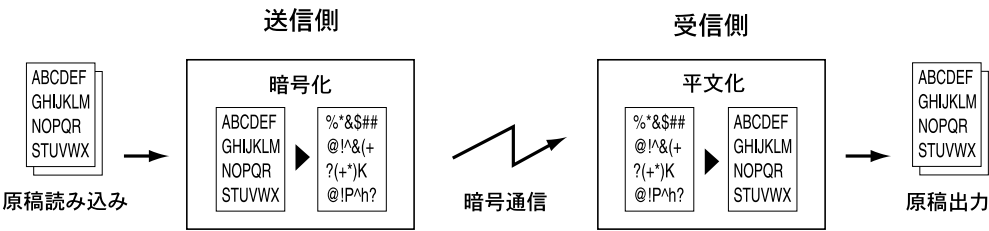
原稿を暗号化して安全に通信する【暗号通信】

送信側で原稿を暗号化して通信する方法です。したがって、通信途中にある送信原稿を第3者が何らかの方法により盗み見ようとした場合でも、本当の原稿の内容を知ることはできません。送られた原稿は受信側で元の原稿に戻して(平文化されて)印刷されます。第3者には絶対に知られてはならないような極秘の機密文書などを送る際に非常に有効な通信方法です。

 重要

暗号通信を行うためには、相手機が同方式の暗号通信機能を備えた弊社機であることが必要です。

暗号通信では、原稿の暗号化、平文化を行うために、送信側と受信側で同じ16桁の暗号鍵を使用しますが、その暗号鍵が送信側と受信側で合致しない場合、暗号通信は成立しません。したがって、送信側と受信側であらかじめ取り決めを行い、両方で同じ暗号鍵を2桁の鍵番号と一緒に登録しておく必要があります。



送信・受信側での設定内容

設定内容	送信側	受信側	参照ページ
暗号鍵番号	(A) 2桁	(B) 2桁	6-36ページ
暗号鍵	(C) 16桁	(C) 16桁	6-36ページ
アドレス帳(または直接ダイヤル入力時)の鍵番号	(A) 2桁		6-36ページ
送信先暗号ボックス番号†	(D) 4桁		6-37ページ
暗号ボックス番号†		(D) 4桁	—
受信設定での鍵番号		(B) 2桁	6-39ページ

† 本機で受信する場合は、暗号ボックスを使用しません。

 参考

上記表中のアルファベットが同じものは同じ文字列を設定してください。例えば、暗号鍵(C)は送信、受信側で同じ文字列です。

暗号鍵の登録のしかた

暗号鍵は、送信側では暗号通信用として使用するアドレス帳を登録する（または直接テンキーで相手先を入力する）ときに、受信側では暗号受信設定をするときに必要になります。

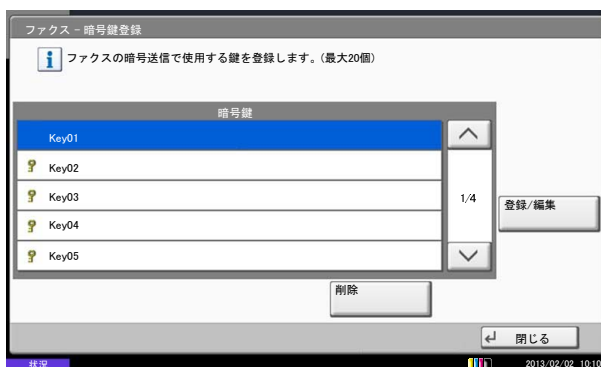
暗号鍵の作成には、0～9までの数字とアルファベットのA～Fの文字を使用し、それらを任意に16個ならべたものが暗号鍵となります。作成した暗号鍵には、01～20の2桁の鍵番号をつけて登録します。



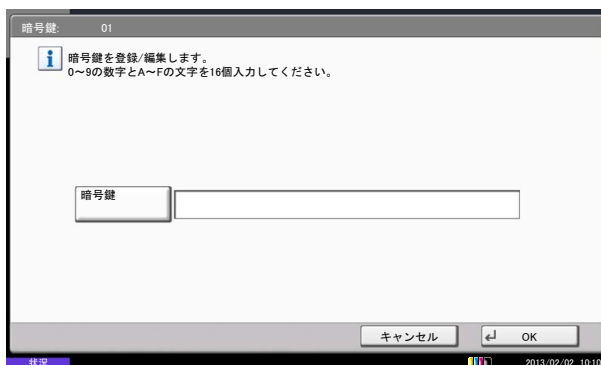
参考

暗号鍵は20個まで登録することができます。

- 1 [システムメニュー]キーを押します。
- 2 [ファクス]→「送受信共通設定」の[次へ]→「暗号鍵登録」の[登録/編集]の順に押します。



- 3 未登録の暗号鍵を選択して、[登録/編集]を押します。



- 4 [暗号鍵]を押します。
- 5 タッチパネル上の数字(0～9)とアルファベット(A～F)を使って暗号鍵(16桁)を入力し、[OK]を押します。
- 6 [OK]を押します。他の暗号鍵を登録するときは手順3～6を繰り返します。

暗号鍵の登録内容の変更/削除のしかた

- 1 [6-36ページの暗号鍵の登録のしかた](#)の手順1、2を行います。



- 2 変更または削除する暗号鍵を選択します。
変更するときは手順3に、削除するときは手順7に進んでください。
- 3 [登録/編集]を押します。
- 4 [暗号鍵]を押します。
- 5 [バックスペース]を押して、前の暗号鍵を削除します。タッチパネル上の数字(0～9)とアルファベット(A～F)を使って暗号鍵(16桁)を入力し、[OK]を押します。
- 6 [OK]を押します。変更の確認画面で[はい]を押します。
手順8に進んでください。
- 7 [削除]を押します。削除の確認画面で[はい]を押します。
- 8 その他の暗号鍵を変更または削除するときは、手順2～7を行います。

送信側の操作方法

暗号送信を行う場合は、暗号通信用として登録したアドレス帳を使用します。または、直接テンキーでダイヤルするときに暗号送信を設定して送信してください。



参考

暗号送信は、同報送信でも行うことができます。

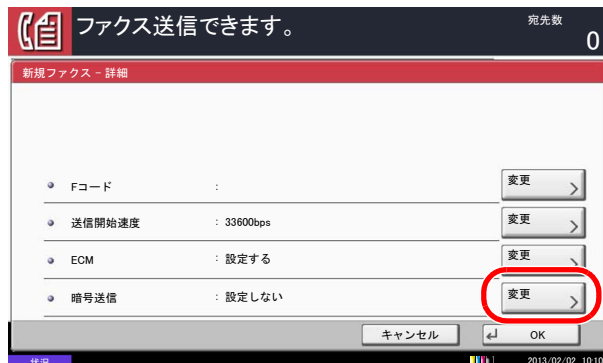
暗号通信時は、Fコード通信を行うことができません。

- 1 受信側と取り決めた暗号鍵を登録します。[\(6-36ページの暗号鍵の登録のしかた参照\)](#)
すでに登録されている場合は、次の手順に進んでください。
- 2 ホーム画面の[ファクス]を押します。
- 3 原稿をセットします。
- 4 [新規ファクス]を押します。
- 5 テンキーで相手先のファクス番号を入力します。
詳しくは、[3-6ページの相手先のダイヤル](#)を参照してください。

参考

アドレス帳またはワンタッチキーの宛先に暗号送信の設定がされている場合には、その宛先が使用できます。

- 6 [詳細]→「暗号送信」の[変更]の順に押します。



- 7 [設定する]を押して、暗号鍵番号を選択します。



- 8 [OK]を押して、手順11に進んでください。相手先で暗号ボックスの選択が必要な場合は、[暗号ボックス]を押して次の手順に進んでください。

参考

本機で受信する場合は、暗号ボックスを使用しません。受信した文書を第三者に見られたくない場合は、ファクスボックスによる転送機能を使用してください。

- 9 [使用する]を押し、テンキーで暗号ボックス番号(4桁)を入力して、[OK]を押します。



- 10 [OK]を押します。

- 11 [OK]を押します。

- 12 [OK]を押します。

13 [スタート]キーを押します。

送信を開始します。



参考

「送信前の宛先確認画面の設定」を[設定する]に設定している場合は、[スタート]キーを押したときに、宛先確認画面が表示されます。詳しくは、[5-12ページの宛先確認画面について](#)を参照してください。

受信側の操作方法

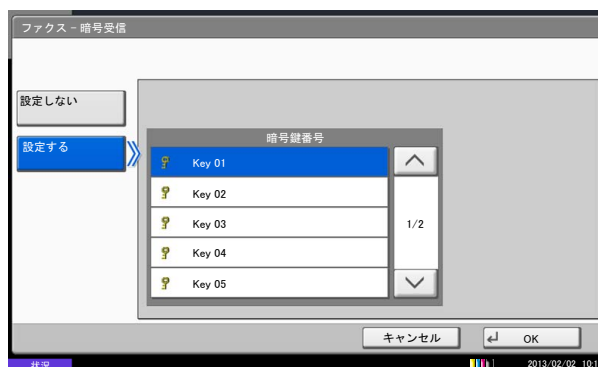
暗号通信を行う場合、受信側では次の手順にしたがって操作を行ってください。



参考

暗号通信時は、Fコード通信できません。

- 1 送信側と取り決めた暗号鍵を登録します。(6-36ページの暗号鍵の登録のしかた参照)
- 2 [システムメニュー]キーを押します。
- 3 [ファクス]→「受信設定」の[次へ]→「暗号受信」の[変更]の順に押します。



- 4 [設定する]を押し、暗号鍵番号を選択して[OK]を押します。
- 5 相手先から暗号送信が行われます。暗号通信が正常に行われた場合、暗号原稿を暗号化する前の状態に戻して印刷します。

用紙サイズより大きい原稿を縮小して受信する【縮小受信】

受信サイズが用紙サイズよりも大きい場合、縮小して印刷できます。

項目	内容
設定しない	受信データを100%のまま、複数枚の用紙に分割して印刷します。
設定する	用紙サイズに合わせて、受信データを縮小して印刷します。

- 1 [システムメニュー]キーを押します。
- 2 [ファクス]→「受信設定」の[次へ]→「基本設定」の[次へ]→「縮小受信」の[変更]の順に押します。
- 3 [設定しない]または[設定する]を選択します。
- 4 [OK]を押します。

幅が同じ原稿を受信したときは両面に印刷する【両面受信】

複数ページの受信データが、すべて同じ幅であるとき、受信データと同じ幅の用紙に両面で印刷します。

- 1 [システムメニュー]キーを押します
- 2 [ファクス]→「受信設定」の[次へ]→「基本設定」の[次へ]→「両面印刷」の[変更]の順に押します。
- 3 [設定しない]または[設定する]を選択します。
- 4 [OK]を押します。

2枚の原稿を1枚にまとめて受信する【2in1受信】

A5サイズで複数ページの原稿を受信したときに、2ページをA4の用紙1枚にまとめて印刷します。



参考

2in1受信と両面受信を両方設定すると2in1受信は機能しません。

- 1 [システムメニュー]キーを押します。
- 2 [ファクス]→「受信設定」の[次へ]→「基本設定」の[次へ]→「2in1印刷」の[変更]の順に押します。
- 3 [設定しない]または[設定する]を選択します。
- 4 [OK]を押します。

サービスセンターからの通信で本機を診断する【リモート診断】

本機で問題が発生したときにサービス実施店等に連絡をいただくと、弊社サービスセンターのコンピューターから電話回線を介して本機にアクセスし、その状況や問題点などを確認することができます。



参考

リモート診断機能を使用するときは、あらかじめサービス実施店と契約の上、決められたIDを本機に登録する必要があります。詳しくは弊社サービス実施店またはお買い求めいただいた販売店にお問い合わせください。

- 1 [システムメニュー]キーを押します。
- 2 [ファクス]→「送受信共通設定」の[次へ]→「ファクスリモート診断」の[変更]の順に押します。
- 3 [設定しない]または[設定する]を選択します。
- 4 [設定する]を選択した場合は、[+]、[-]またはテンキーを押して、あらかじめ指定されたIDを入力します。
- 5 [OK]を押します。

時間を指定してファクスの印刷を禁止する【使用禁止時間】

受信したファクスの印刷を禁止する時間帯を設定します。

📌 重要

使用禁止時間を設定すると、禁止時間中はファクスの印刷以外にも、コピー印刷、プリンター印刷、USBメモリーからの印刷など、すべての印刷が禁止されます。
禁止時間中に受信したファクス受信や印刷ジョブは、使用禁止時間の終了後、または使用禁止時間を一時解除したときに印刷されます。

- 1 [システムメニュー]キーを押します。
- 2 [✓]→[日付/タイマー/節電]の順に押します。
- 3 ユーザー認証画面が表示されます。ログインユーザー名とパスワードを入力し、[ログイン]を押します。ログインユーザー名とパスワードの工場出荷時の値は、ともに「Admin」です。
- 4 [✓]→「使用禁止時間」の[変更]の順に押します。
- 5 [設定する]を押し、[+]または[-]で、開始時刻と終了時刻を入力します。

📌 参考

開始時刻と終了時刻を同じ時刻に設定すると、終日の設定になります。

- 6 禁止時間中に一時的に使用するための解除コードを設定します。
[解除コード]を押し4桁で入力します。

📌 参考

禁止時間中に一時的に使用する場合は解除コードを入力し、[ログイン]を押してください。

- 7 [OK]を押します。
- 8 [OK]を押します。

排紙先を設定する【排紙先】

ファクスを受信したときの印刷用紙の排紙先を設定します。



参考

ドキュメントフィニッシャーやジョブセパレーターが装着されていない場合、この機能は表示されません。

- 1 [システムメニュー]キーを押します。
- 2 [共通設定]→「排紙先」の[次へ]の順に押します。
- 3 「ファクス回線1」または「ファクス回線2」の[変更]の順に押します。
- 4 排紙先を選択します。
- 5 [OK]を押します。

7 オプションについて

この章では、ファクスキットで利用できるオプション機器を紹介します。

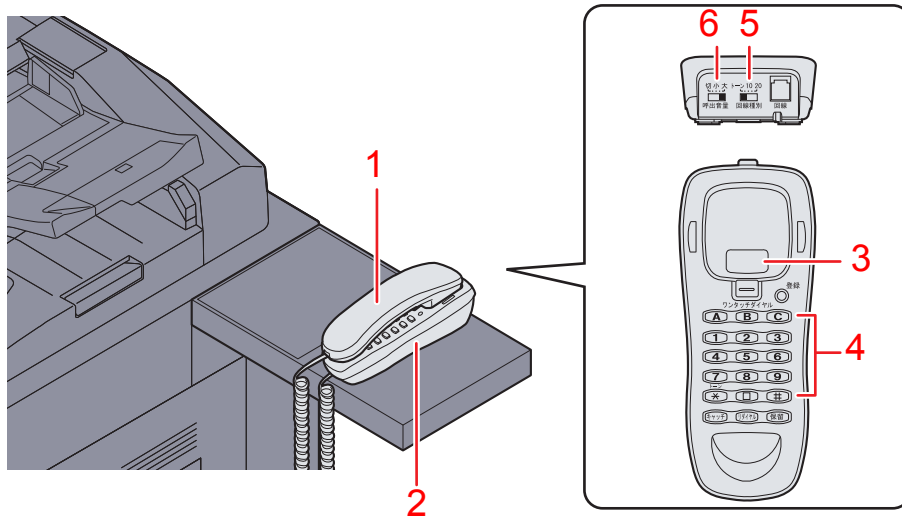
インターネットファクスキット	7-2
ハンドセット	7-3
電話のかけかた	7-4
拡張メモリー	7-5
マルチポートについて	7-5
マルチポートの設定	7-5
受信ポートの選択	7-5
部門管理のポート制限	7-6

インターネットファクスキット

本機でインターネットファクスが利用できるようになります。詳しくは、[8-1ページのインターネットファクスについて](#)を参照してください。

ハンドセット

本機で音声通話ができるようになります。また、手動での送/受信の際にも使用します。



- 1 ハンドセット...会話や手動送/受信を行うときに使用します。
- 2 ハンドセット台...ハンドセットを置く台です。
- 3 フックボタン...回線を切るときやダイヤルしなおすときに押してください。
- 4 ダイヤルボタン...相手先の電話番号を入力します。
- 5 回線種別切替スイッチ...電話回線の種類を切り替えます。契約している電話回線の種別に合わせて次の3種類から選択してください。
 - 20:ダイヤル(パルス)回線の20PPS
 - 10:ダイヤル(パルス)回線の10PPS
 - トーン:プッシュ(トーン)回線



参考

回線種別を誤って選択すると、電話をかけたり、原稿の送信ができなくなりますのでご注意ください。

- 6 呼び出し音量調節スイッチ...呼び出し音の音量を切り替えます。
 - 大:音量大
 - 小:音量小
 - 切:呼び出し音は鳴りません

電話のかけかた

電話をかけるときは、次の手順で行ってください。

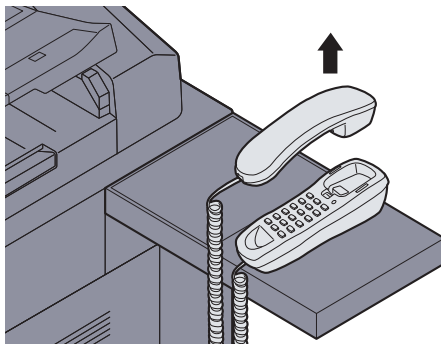
電話の受けかたは、[4-15ページの送られてきたファクスを手動で受信する【手動受信】](#)を参照してください。

- 1 ファクスの送/受信が行われていないことを確認します。

参考

送/受信が行われているときは、操作パネルの[**処理中**]ランプが点滅し、タッチパネル下の「状況」に「送信ジョブ##実行中です。」(送信中)または「ファクス受信中です。」(受信)が表示されます。また、[**状況確認/ジョブ中止**]キーを押し、[**デバイス/通信**]を押すと、「ファクス回線1」に「送信中です。」または「受信中です。」が表示されます。

- 2 ハンドセットを上げます。



参考

ハンドセットを上げずに、タッチパネルの[**オンフック**]を押すことも可能です。このとき、音声は本体側のスピーカーから聞こえます。

- 3 ハンドセットのダイヤルボタンまたは本体操作パネルのテンキーを使って、相手先の番号を入力します。
- 4 相手先が応答したら会話をします。

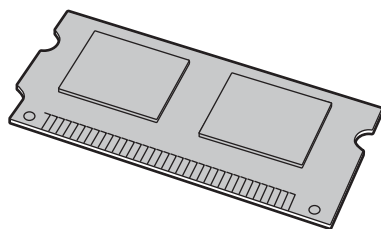
参考

手順2で[**オンフック**]を押したときは、相手の声が本体側のスピーカーから聞こえます。ハンドセットを上げてください。相手と話ができます。[**オンフック**]を押し本体操作パネルのテンキー、ワンタッチキーまたはアドレス帳などで相手先の番号を入力した場合は、相手の声が聞こえてからハンドセットを上げてください。

- 5 会話が終わったら、ハンドセットをハンドセット台に置きます。

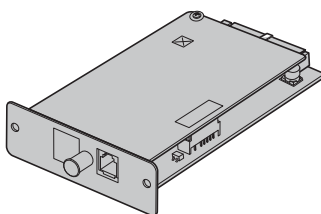
拡張メモリー

拡張メモリーは128MBで画像蓄積用メモリーが増加し、メモリーに蓄積できる受信原稿のページ数を増やすことができます。拡張メモリーの取り付けおよび取り外しは、弊社のサービス担当者が行います。



マルチポートについて

ファクスキットを2台装着すると、マルチポートとして電話回線を2回線使用できます。これにより、複数の相手先に送信する同報送信などは、すべての相手先に送信するまでの時間を短縮できます。さらに送/受信が同時に行えるため、送信中に相手先から受信できないということは少なくなります。



マルチポートの設定

[6-2ページの電話回線の種類を選択する](#)、[6-5ページの自局情報の登録](#)を参照して、2回線分の設定を行ってください。

受信ポートの選択

2回線のうち、片方の回線を受信専用にすることができます。

- 1 [システムメニュー]キーを押します。
- 2 [ファクス]→「受信設定」の[次へ]→「ファクス」の[次へ]→「受信専用ポート」の[変更]の順に押します。
- 3 受信専用にするポートを選択します。受信専用のポートを使用しない場合は、[使用しない]を選択します。
- 4 [OK]を押します。

部門管理のポート制限

部門管理が有効であるときに、片方の回線に使用を制限することができます。

- 1 [システムメニュー]キーを押します。
- 2 [ユーザー /部門管理]を押します。
ユーザー認証画面が表示されます。ログインユーザー名とパスワードを入力し、[ログイン]を押します。ログインユーザー名とパスワードの工場出荷時の値は、ともに「Admin」です。
- 3 「部門管理設定」の[次へ]→「部門管理(ローカル)」の[次へ]→「部門リスト」の[登録/編集]→[新規登録]の順に押します。
- 4 [✓]→「ファクスポート制限」の[変更]を押します。
- 5 [設定しない]、[ポート1のみ使用]または[ポート2のみ使用]を選択します。
- 6 [OK]を押します。
他の使用制限や部門管理の詳細は、本体の使用説明書を参照してください。

8 インターネットファクスについて

この章では、オプションのインターネットファクスキットを使用してインターネットファクスを利用する方法について説明します。

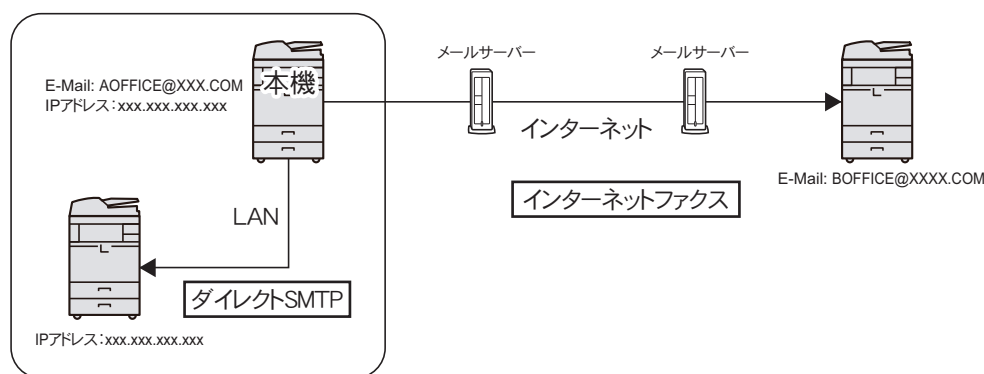
インターネットファクスとは	8-2
インターネットファクスを設定する	8-5
Command Center RXへのアクセス	8-5
インターネットファクスの設定	8-6
インターネットファクス送信	8-8
インターネットファクス受信	8-13

インターネットファクスとは

インターネットファクスとは、電話回線を使用せずにインターネットを経由してファクスの送/受信をする機能です。主な特徴は次のとおりです。

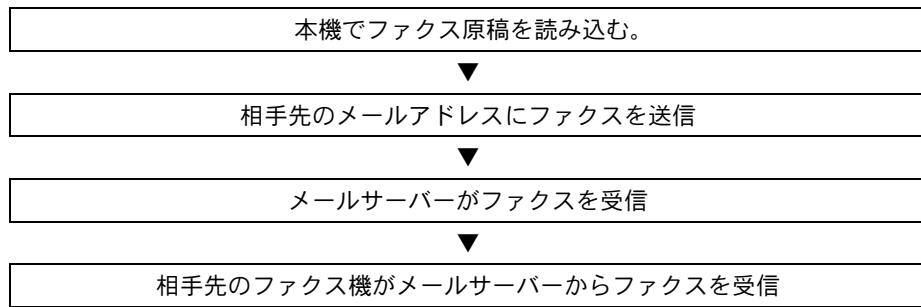
- 電話回線を使用しないので、通信費の削減が可能
- 宛先指定にアドレス帳(本体内/コンピューター内)を利用可能
- 複数の相手先に同報送信が可能
- メモリー転送(4-18ページ参照)を使用して、本機で受信したファクスをインターネットファクスで複数の相手先に転送することが可能
- 送信結果のメール通知
- LANに接続されたインターネットファクス対応機とメールサーバーを経由せずに直接通信が行えるダイレクトSMTPに対応しており、リアルタイムな送受信が可能

インターネットファクスで送信する場合のイメージ



インターネットファクスの送信の流れ

インターネットファクスの送信は次の流れで行います。

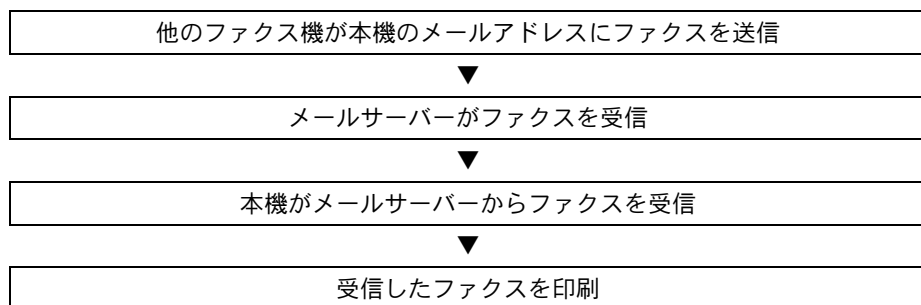


参考

ダイレクトSMTPの場合は、メールサーバーを経由しないので、本機で読み込んだ原稿は、直接相手先のダイレクトSMTP対応機に送信されます。

インターネットファクスの受信の流れ

インターネットファクスの受信は次の流れで行われます。



参考

ダイレクトSMTPの場合は、メールサーバーを経由しないので、他のファクス機から送信された原稿を、直接本機が受信して印刷します。

インターネットファクス使用上の注意

- インターネットファクスを使用するためには、ネットワークケーブルで本体とコンピュータを接続し、ネットワークの設定を行う必要があります。詳細は、[8-5ページのインターネットファクスを設定する](#)を参照してください。
- 相手に正しく送信できなかった場合、通常サーバーからエラーメールが返信されますが、何らかの原因によりエラーメールが受信されない場合があります。重要なファクスなどは正しく受信されたか相手に確認してください。
- インターネットを使用した通信では機密性が低いため、重要文書などを送信する場合は、電話回線を使ったファクス送信をお勧めします。
- インターネットを使用した通信では、ネットワークの状況や通信障害により送信に時間がかかることがあります。緊急のファクスなどでは、電話回線を使ったファクス送信をお勧めします。
- インターネットファクスでは、ファクス原稿をEメールの添付ファイルとして送信しますので、相手先と直接通信することはできません。
- インターネットを経由しての通話はできません。
- 送信できる解像度・圧縮方式・用紙サイズは、相手機の性能に依存します。相手機の性能を確認してから送信してください。相手機の性能がわからない場合は、解像度を200×200 dpi、圧縮方式をMH、用紙サイズをA4にして送信することをお勧めします。
- サーバーを経由しないダイレクトSMTPのみを使用する場合は、i-ファクス設定のSMTP設定/POP3のサーバー設定は不要です。

送信時に使用できない機能

次の機能は、通常のファクス送信では使用できますが、インターネットファクスの送信では使用できません。

- タイマー送信
- ダイレクト送信
- ポーリング送信
- ECMを使った送信
- 暗号送信
- Fコード送信
- 許可ファクス番号による送信制限
- 許可ID番号による送信制限

受信時に使用できない機能

次の機能は、通常のファクス受信では使用できますが、インターネットファクスの受信では使用できません。

- Fコードを使った受信
- ポーリング受信
- 暗号受信
- 許可ファクス番号による受信制限
- 許可ID番号による受信制限
- 拒否ファクス番号による受信制限
- 縮小受信

フルモードについて

本機はITU-T T.37勧告に準拠したフルモードインターネットファクス対応機です。相手機がフルモード対応機であれば送信時に送達確認を行い、送信した原稿が相手機に届いたかを確認することができます。

本機が受信する場合

相手先からの送達確認の要求に対して受信能力情報を返送します。本機で受信できる解像度、圧縮方式、用紙サイズの情報を相手先に送ります。

本機が送信する場合

フルモードを選択した相手先に送達確認を行います。相手先から返送された送達確認結果はファクス発信管理レポートに記載されます。

ファクス発信管理レポートに関しては、[5-9ページの通信管理レポート](#)を参照してください。

相手機条件の設定に関しては、[2-10ページの個人登録\(インターネットファクス\)](#)または、[8-8ページのインターネットファクス送信](#)を参照してください。

インターネットファクスを設定する

インターネットファクスを送/受信するためには、SMTPサーバーとPOP3サーバーを設定する必要があります。
ここでの設定は、本機にネットワーク接続されたコンピュータからCommand Center RXを使って行います。
ネットワークの設定については、本体の**使用説明書**を参照してください。

Command Center RXへのアクセス

- 1 Webブラウザを起動します。
- 2 アドレスバーまたはロケーションバーに本機のIPアドレスまたはホスト名を入力します。

例) 192.168.48.21/(IPアドレスの場合)

MFP001(ホスト名がMFP001の場合)



本機およびCommand Center RXに関する一般情報と現在の状態が、Webページに表示されます。

参考

Command Center RXに接続すると、「この Web サイトのセキュリティ証明書には問題があります」と表示されることがあります。このメッセージを表示しないようにするには、「プロトコル設定」の「HTTP」を[設定する]にするか、WEBブラウザに本機のデバイス証明書をインストールしてください。詳細は本体の**使用説明書**を参照してください。

- 3 管理者のユーザー名とパスワードを入力し、ログインをクリックします。
管理者のユーザー名とパスワードを設定すると、スタートページ以外への一般ユーザーのアクセスを制限できます。セキュリティを確保するために、管理者のユーザー名およびパスワードの設定をおすすめします。工場出荷時の設定値は、ユーザー名、パスワードともに「Admin」です。
- 4 画面左のナビゲーションバーから**[機能設定]**を選択します。
- 5 **[ファクス/iファクス]**をクリックします。
設定画面が表示されます。
詳細はCommand Center RX操作手順書を参照してください。

インターネットファクスの設定

機能設定>ファクス/i-ファクス

インターネットファクスを使用する設定です。

表示される項目は次のとおりです。

項目			説明
共通設定	送信	自局名(フリガナ)	自局名を入力します。
		発信元記録	相手方に、TTI(Transmit Terminal Identifier) 情報を送信する(オン)か、送信しない(オフ)を選択します。
		発信元記録位置	送信文書に付加するTTIの位置を選択します。
		自局名に部門名を使用	自局名に部門名を使用する場合に[オン]に設定します。上記の自局名に部門名が表示されます。
		リダイヤル回数	リダイヤルする回数を、0～14回で選択します。
	受信	用紙種類	受信したファクス文書を印刷する際、用紙種類を設定します。
		手差しトレイの使用	受信したファクス文書を印刷する際、自動用紙選択の検索対象に手差しトレイを含むかどうかを選択します。[オン]にすると手差しトレイを自動選択の対象とし、[オフ]にすると給紙カセットのみを対象とします。
		縮小受信	セットされている用紙サイズより、受信された文書サイズの方が大きい場合の印刷方法を選択します。[等倍優先]を選択すると、受信した文書と同サイズで、複数枚の用紙に印刷します。[縮小優先]を選択すると、可能な限り1枚の用紙に収まるよう縮小して印刷します。
		受信日時記録	受信日、受信時間、送信者の情報、送信されたページ数などの情報の、受信文書への印刷を[オン]または[オフ]に設定します。
		両面印刷	受信文書を両面印刷するかどうかを設定します。
		2 in 1印刷	受信文書の2ページ分ごとに、1ページに集約して印刷するかどうかを設定します。
ファクス設定			FAXに関する設定を行います。詳しくはCommand Center RX 操作手順書を参照してください。
i-ファクス設定	通信	i-ファクス†	i-ファクスの接続有無が表示されます。設定は「 プロトコル設定 」ページの「 i-ファクス(SMTP & POP3) 」で行ってください。
	SMTP	SMTPサーバー名††	SMTPサーバー名またはSMTPサーバーのIPアドレスを入力します。64文字まで入力可能です。 サーバー名を入力する場合、DNSサーバーのIPアドレスも設定する必要があります。DNSサーバーのアドレスは、TCP/IP設定の画面で入力できます。詳細は、本体の 使用説明書 を参照してください。
		SMTPポート番号	SMTPが使用するポート番号を入力します。通常は25番を使用します。
		SMTPサーバーのタイムアウト	タイムアウトまでの時間を秒単位で入力します。
		認証	SMTP認証を行うかどうか、また [POP before SMTP] を認証方式として使用するかを設定します。このSMTP認証はMicrosoft Exchange 2000に対応しています。
		POP before SMTPのタイムアウト	「 認証 」で [POP before SMTP] を選択した場合、タイムアウトまでの時間を秒単位で設定します。
		接続確認	このページで設定した内容が正しいかどうかをテストします。 [テスト] ボタンを押すと、SMTPサーバーへ接続を試みます。
		ドメイン制限	ドメイン制限の有無を設定できます。 [ドメインリスト] ボタンを押して設定してください。許可、または拒否する宛先のドメイン名を入力します。メールアドレスも指摘できます。

† ダイレクトSMTPを使用するときに、必ず設定してください。

†† インターネットファクスを使用するときに、必ず設定してください。

項目			説明
i-ファクス設定	POP3	着信チェック間隔	着信メールの有無を確認するために、POP3サーバーに接続する間隔を表示されます。間隔を3から60分単位で指定してください。初期設定値は15分です。
		直ちに実行	[受信] ボタンをクリックすると、直ちにPOP3サーバーに接続し、着信メールの有無をチェックします。
		ドメイン制限	ドメイン制限の有無を設定できます。[ドメインリスト] ボタンを押して設定してください。許可、または拒否する宛先のドメイン名を入力します。メールアドレスも指摘できます。
		POP3ユーザー設定	—
		メールアドレス ^{††}	インターネットファクスアドレス(メールアドレス)を入力します。64文字まで入力可能です。
		POP3サーバー名 ^{††}	POP3サーバー名またはPOP3サーバーのIPアドレスを入力します。64文字まで入力可能です。 サーバー名を入力する場合、DNSサーバーのIPアドレスも設定する必要があります。DNSサーバーのアドレスは、TCP/IP設定の画面で入力できます。詳細は、本体の使用説明書を参照してください。
		POP3ポート番号	POP3で使用するポート番号を設定します。通常は110番を使用します。
		POP3サーバーのタイムアウト	タイムアウトまでの時間を秒単位で入力します。
		ログインユーザー名 ^{††}	ユーザーアカウントのログイン名を入力します。64文字まで入力可能です。
		ログインパスワード ^{††}	ユーザーアカウントのパスワードを入力します。64文字まで入力可能です。
		APOPの使用	APOP認証を使用するかどうかを設定します。APOP認証を行うときは、設定を[オン]にします。
		接続確認	このページで設定した内容が正しいかどうかをテストします。[テスト] ボタンを押すと、SMTPサーバーへ接続を試みます。
		メール送信のサイズ制限	受信可能なメールの最大サイズをキロバイトで入力します。(最大32767キロバイト)0を入力した場合、設定は無制限になります。
		カバーページ	メールの本文も印刷するかどうかを設定します。[オン]に設定すると、カバーページを添付して印刷されます。メッセージにテキストが含まれる場合は、それがカバーページとして印刷されます。
	送信	送信方法	送信方法を、[サーバー経由/ダイレクトSMTP]、[サーバー経由のみ]または[ダイレクトSMTPのみ]から選択できます。
		ダイレクトSMTP差出人アドレス [†]	本機がダイレクトSMTPで送信するメールの差出人のアドレスを入力します。
		ダイレクトSMTPポート番号	ダイレクトSMTPが使用するポート番号を入力します。通常は25番を使用します。
		ダイレクトSMTPタイムアウト	ダイレクトSMTPサーバーへの接続がタイムアウトするまでの時間を、秒単位で指定します。
	受信	ダイレクトSMTPポート番号	ダイレクトSMTPが使用するポート番号を入力します。通常は25番を使用します。
		ダイレクトSMTPタイムアウト	ダイレクトSMTPサーバーへの接続がタイムアウトするまでの時間を、秒単位で指定します。
	メール送信設定	メール送信サイズの制限	送信可能なメールの最大サイズをキロバイトで入力します。送信サイズ制限を無効にするには、0を設定します。
		差出人アドレス ^{††}	本機が送信するメールの差出人のアドレスを表示します。設定は「POP3ユーザー設定」の[メールアドレス]で行ってください。
		署名	メール本文の最後に挿入される署名を表示します。設定は「メール」ページで行ってください。
		機能初期値	機能の初期値の変更は「共通/ジョブ初期値」ページで行ってください。

設定終了後に、[設定] をクリックして設定内容を保存してください。

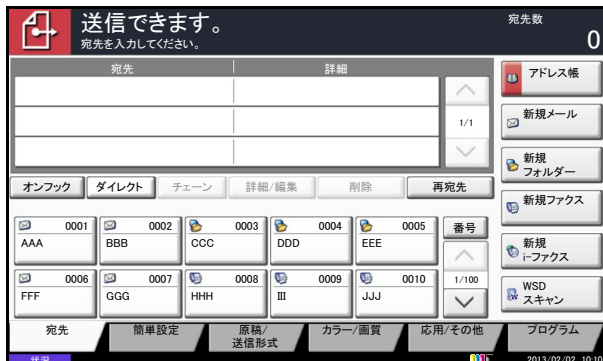
† ダイレクトSMTPを使用するときに、必ず設定してください。

†† インターネットファクスを使用するときに、必ず設定してください。

インターネットファクス送信

相手先のアドレスを直接入力する場合の送信方法を説明します。

送信画面への切り替え



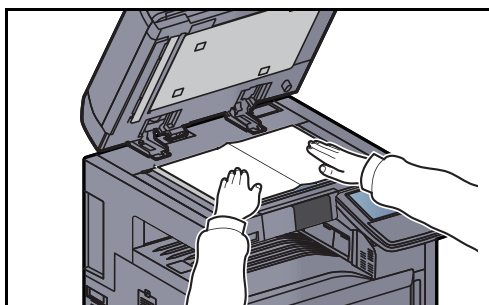
送信の基本画面が表示されていることを確認してください。

送信の基本画面でないときは、ホーム画面の[送信]を押してください。送信の基本画面が表示されます。

参考
設定によっては、アドレス帳の画面が表示される場合があります。この場合、[キャンセル]を押して送信の基本画面を表示させてください。

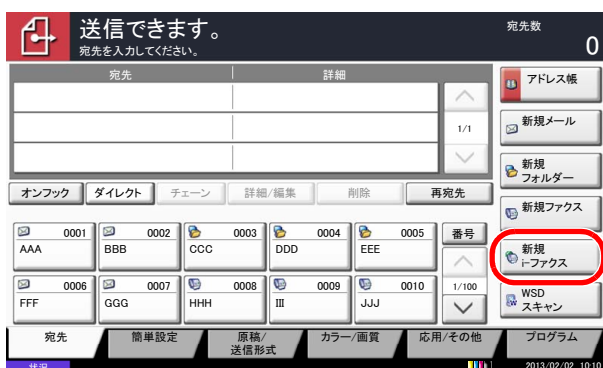
原稿のセット

原稿ガラスまたは原稿送り装置に原稿をセットしてください。原稿をセットする方法は、本体の**使用説明書**を参照してください。

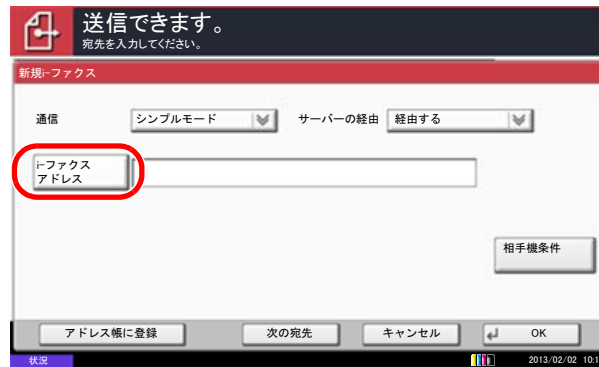


相手先の指定

- 1 [新規i-ファクス]を押します。



2 [i-ファクスアドレス]を押します。



3 相手先のアドレスを入力してください。128文字まで入力できます。

サーバーを経由しないダイレクトSMTPの場合の宛先は、相手のIPアドレスのみ、もしくは、半角英数字任意の名前@[相手のIPアドレス]で指定してください。

例) officeA@[192.168.48.21]

- 「新規宛先の入力確認」を「設定しない」に設定している場合は、アドレス入力後、[OK]を押すとアドレスが確定されます。
- 「新規宛先の入力確認」を「設定する」に設定している場合は、アドレス入力後、[OK]を押すと確認画面が表示されます。再度インターネットファクスアドレスを入力して[OK]を押してください。
アドレス確定後、[新規i-ファクス]を押すと、次のアドレスが入力できます。
[詳細/編集]を押すと、入力したアドレスを変更できます。
新規宛先の入力確認については、本体の**使用説明書の「8章 動作設定・登録を行う（システムメニュー）」の「送信」—「新規宛先の入力確認」**を参照してください。

文字の入力方法は[11-2ページの文字の入力方法](#)を参照してください。

[アドレス帳に登録]が表示されているときは、入力した内容をアドレス帳に登録することができます。

テンキー以外のダイヤルのしかた

- 宛先をアドレス帳から選ぶ ([3-18ページ参照](#))
- 宛先をワンタッチキーで選ぶ ([3-21ページ参照](#))
- 番号キーを使う ([3-21ページ参照](#))
- 手動リダイヤル(再宛先呼び出し) ([3-22ページ参照](#))

 参考

インターネットファクス以外にも、ファクス送信、メール送信、フォルダー (SMB/FTP) 送信を組み合わせ一度に送信することができます。詳細は本体の**使用説明書**を参照してください。

宛先にファクスまたはi-ファクスが含まれている場合、ファクスまたはi-ファクスの宛先には白黒で送信されます。その他の宛先には原稿読み込み時のカラーモードになります。

詳細設定

シンプルモード/フルモードの設定や、相手機条件の設定ができます。ほかにも、原稿の解像度および濃度の設定ができます。

シンプルモード/フルモードの設定

相手機に送達確認をするときは、フルモードを選択してください。

「通信」の[☑]を押して、「シンプルモード」または「フルモード」を選択してください。

サーバー経由の設定

「サーバー経由」の[☑]を押して、「経由する」または「経由しない」を選択してください。

この設定を[経由しない]にすると、ダイレクトSMTPとして(Emailサーバーを経由しない方式で)動作します。

この設定を[経由する]にすると、今までのiファクスの動作(Emailサーバーを経由する方式で)動作します。



参考

Command Center RXから設定できるiFAX送信タイプ設定に従って、自動的に設定されます。送信タイプが[サーバー経由/ダイレクトSMTP]に設定されている場合には、本設定が可能となります。

相手機条件の設定

- 1 [相手機条件]を押します。
- 2 相手機条件を設定して、[OK]を押します。

項目	説明
解像度	相手先のファクス機で受信できる解像度を設定します。 禁止されている解像度で送信した場合は、自動的に許可している解像度に変更して送信します。 • 200×100 dpi: 許可(固定) • 200×200 dpi: 許可(固定) • 200×400 dpi: 許可または禁止 • 400×400 dpi: 許可または禁止 • 600×600 dpi: 許可または禁止 許可する場合は、その解像度のキーを押して反転表示させください。 禁止する場合は、もう一度そのキーを押して反転表示を解除してください。
圧縮方式	相手先のファクス機に合わせて圧縮方式を選択します。 MH、MR、MMRまたはJBIG
用紙サイズ	相手先のファクス機に合わせて選択できる用紙サイズを設定します。 禁止されている用紙サイズで送信した場合は、自動的に許可している用紙サイズに変更して送信します。 • A4/Letter: 許可(固定) • B4: 許可または禁止 • A3/Ledger: 許可または禁止 許可する場合は、そのサイズのキーを押して反転表示させください。 禁止する場合は、もう一度そのキーを押して反転表示を解除してください。

- 3 [OK]を押します。

解像度の選択

送る原稿に適した解像度を選択します。相手機条件で禁止した解像度を選択した場合は、自動的に許可している解像度に下げて送信します。操作方法は、[3-9ページの解像度の選択](#)を参照してください。

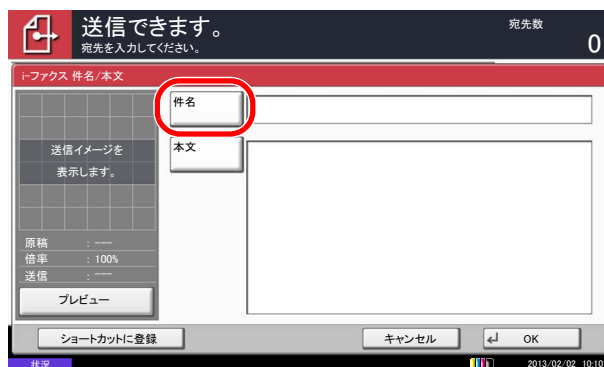
濃度の選択

原稿読み込み時の濃度を調整します。操作方法は、[3-8ページの濃度の選択](#)を参照してください。

件名と本文の入力

インターネットファクスを送信するとき、iファクスの件名と本文を入力することができます。

- 1 [応用/その他]→[iファクス件名/本文]の順に押します。



- 2 [件名]を押します。
- 3 件名を入力して、[OK]を押します。
件名は最大60文字です。
- 4 [本文]を押します。
- 5 本文を入力して、[OK]を押します。
本文は最大500文字です。
- 6 [OK]を押します。



参考

相手機のカバーページの設定がオンになっていると、件名とメッセージが印刷されます。

送信スタート

[スタート]キーを押してください。送信が開始します。

参考

「送信前の宛先確認画面の設定」を「設定する」に設定している場合は、[スタート]キーを押したときに、宛先確認画面が表示されます。詳しくは、本体の使用説明書の「8章 動作設定・登録を行う(システムメニュー)」の「送信」―「送信前の宛先確認」を参照してください。

送信状況の確認

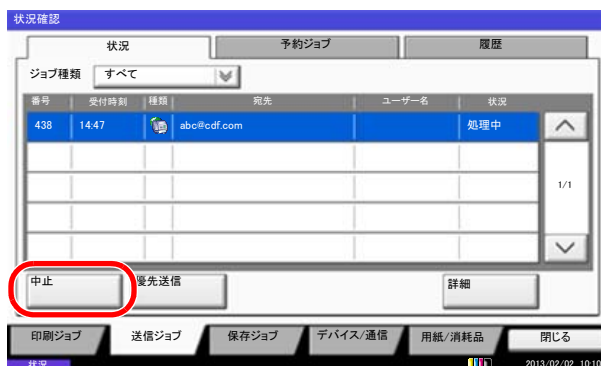
1 [状況確認/ジョブ中止]キーを押します。

2 [送信ジョブ]を押します。

受付時刻や宛先、状況がジョブごとに一覧表示されます。



送信を中止するには、送信ジョブ確認画面で、ジョブを選択して[中止]を押してください。



中止の確認画面で、[はい]を押してください。

参考

原稿読み込み中は、送信画面で操作パネルの[ストップ]キーを押すと、送信を中止します。

インターネットファクス受信

本機は一定の間隔でメールサーバーに接続を行い、インターネットファクスがあると自動的に受信して印刷を行います。受信時には特に操作の必要はありません。

参考

ダイレクトSMTP受信(メールサーバーを経由しない方式)の場合は、送信側の相手機と直接接続するので、外部メールサーバーへの接続は行いません。相手機と直接接続するので、サーバーへの問い合わせ操作である手動受信操作を行わなくても、直ちに受信を行います。

次の受信設定を変更することができます。詳細は[8-7ページのPOP3](#)を参照してください。

- インターネットファクスアドレスの登録
- 受信チェック間隔の設定
- カバーページ(メール情報)の印刷

インターネットファクスの手動受信

直ちにファクスの有無を確認することができます。

- 1 [状況確認/ジョブ中止]キーを押します。
- 2 [デバイス/通信]を押します。



- 3 「i-ファクス」の[受信問い合わせ]を押します。
メールサーバーに接続し、インターネットファクスがあれば受信を開始します。

9 Network FAXについて

この章では、Network FAXを利用する方法について説明します。

Network FAX機能を使用した送信のしかたや各種選択方法など、コンピューターからの操作方法について説明しています。

Network FAXとは	9-2
セットアップする	9-3
セットアップの流れ	9-3
Network FAX ドライバーのダウンロード	9-4
Network FAXドライバーのインストール	9-6
Network FAXドライバーのアンインストール	9-8
基本的な送信の方法	9-9
送信設定を変更する	9-16
送付状を使用する	9-21
送付状の登録(初期設定)	9-26
送信の状況を確認する	9-31

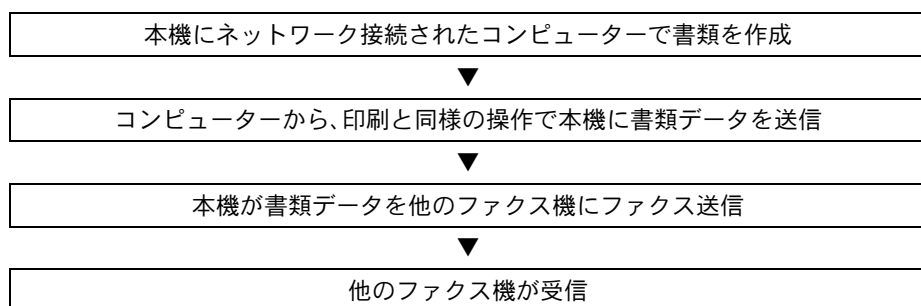
Network FAXとは

Network FAXとは、本機に接続されたコンピューターでファクスの送/受信をする機能です。主な特徴は次のとおりです。

- コンピューターで作成した書類を、印刷することなくファクス送/受信が可能
- 宛先指定にアドレス帳(本体内/コンピューター内)を利用可能
- 送付状の添付
- 送信と同時に印刷も可能
- 送信結果のメール通知
- Fコード通信対応
- インターネットファクス送信対応
- 印刷と同じ簡単操作

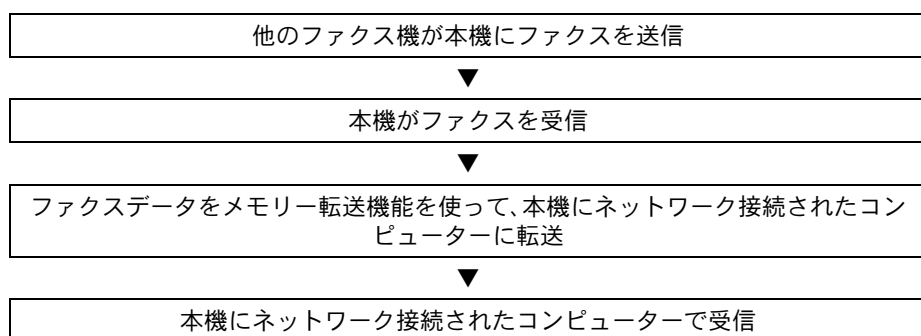
Network FAXの送信の流れ

Network FAXの送信は次の流れで行います。



Network FAXの受信の流れ

Network FAXの受信は次の流れで行われます。



参考

メモリー転送では、ネットワーク上のコンピューターで受信する以外にも、受信したファクスをメールで転送したり、他のファクスに転送したり、ファクスボックスに保存することができます。

セットアップする

Network FAXを使用するためには、次の準備が必要です。

セットアップの流れ

コンピューターとの接続

ネットワークケーブルで本体とコンピューターを接続します。詳細は、本体の**使用説明書**を参照してください。

本体の登録

メモリー転送機能で受信先コンピューターやファイル形式を選択します。



参考

メモリー転送機能では、コンピューターへの転送や、受信したファクスをメールの添付ファイルにして転送することもできます。詳細は、[4-18ページの受信した文書を条件ごとに印刷/転送する【メモリー転送】](#)を参照してください。

コンピューターへのソフトウェアのインストール

Network FAXを使うために必要な専用ソフト(同梱DVDに収録)をコンピューターにインストールします。

詳細は、[9-6ページのNetwork FAXドライバーのインストール](#)を参照してください。

Network FAX ドライバーのダウンロード

Network FAX ドライバーを弊社のホームページからダウンロードする手順について説明します。

- 1 Web ブラウザーを起動します。
- 2 アドレスバーまたはロケーションバーに弊社のホームページで以下を入力します。
<http://www.kyoceradocumentsolutions.co.jp/download/>
ダウンロードページが表示されます。
- 3 お使いのモデル名をプルダウンリストから選択し、[検索]をクリックします。

ダウンロード

プリンターをご使用の方

プリンタードライバー、ネットワーク関連ツール(ユーティリティ)などをダウンロードいただけます。
機種により利用可能なソフトウェアが異なりますので、ご使用になっているモデル名を選択ください。

カラープリンター モノクロプリンター プリンター複合機

お選び下さい 検索

複合機をご使用の方

プリンタードライバー、スキャナソフト、FAXドライバー、ネットワーク関連ツール(ユーティリティ)などをダウンロードいただけます。機種により利用可能なソフトウェアが異なりますので、ご使用になっているモデル名を選択ください。

カラー複合機 モノクロ複合機 広幅複合機

KM-C2630 検索

- 4 [ネットワークファクス]をクリックします。

ダウンロード

カラー複合機

プリンター | スキャナー | ネットワークファクス | KM-NET ユーティリティ

プリンター

KXドライバー(Windows用 推奨ドライバー) [ダウンロードページへ]

一つのドライバーで、複合機のPDL(PCL 5e/PS/XL および KPSLなど)をサポートします。また、プリンターや複合機の持つ機能やオプション機能の機能を最大限に活かしてご利用いただけるドライバーです。

※ Windows95はこのドライバーの使用を推奨します。

KXドライバー機能追加プラグイン [プラグインページへ]

KXドライバーの機能とは別に新たな機能を拡張するプラグインです。必要に応じプラグインを追加削除を行うことが可能です。

※ KXドライバーをインストールする必要があります。

Package 90 (KXドライバー) 100MB (パッケージ)

- 5 [FAX ドライバー (Windows 用)]をクリックします。

ネットワークファクス

FAXドライバー (Windows用) [ダウンロードページへ]

ネットワークファクス機能は、FAXモデムから宛先を指定するだけで、電子データを直接FAXとして送信することが可能です。ご利用の場合は、各自のパソコンにインストールしてご利用ください。また外部ファクス等からの接続をファクス本体で受信し、ご利用のPDIに保存するためには、Scanner File Utilityが必要です。

Address Editor for FAX (Windows用) [ダウンロードページへ]

FAXの自局情報、ダイヤル情報、BOX情報、Network FAX設定の登録を行うためのユーティリティソフトです。このユーティ

- 6 使用許諾契約書の使用条件に同意いただけましたら、[\[契約書に同意してダウンロード\]](#)をクリックします。お使いのOS が64 ビットの場合は、(x64)と記載されている行の[\[契約書に同意してダウンロード\]](#)をクリックします。

ネットワークファクス				
FAXドライバー (Windows用)				
OS	バージョン	掲載日	Read Me	
Win Svr2003・Vista・Svr2008・7(x64)	Ver 3.51.415	2010.6.10	詳細	契約書に同意してダウンロード(6730KB)
Win 2000/ XP/ Vista・Svr2003・Svr2008・7(x86)	Ver 3.51.415	2010.6.10	詳細	契約書に同意してダウンロード(7422KB)
Win 95/ 98/ Me	Ver 3.21.501	2007.6.13	詳細	契約書に同意してダウンロード(6986KB)
Win NT4.0	Ver 3.21.501	2007.6.13	詳細	契約書に同意してダウンロード(7158KB)

画面にしたがって、FAX ドライバーをお使いのパソコンにダウンロードしてください。

参考

ダウンロード後のインストール方法については、Read Me の[\[詳細\]](#)をクリックし、表示されるインストール方法を参照してください。

ネットワークファクス				
FAXドライバー (Windows用)				
OS	バージョン	掲載日	Read Me	
Win Svr2003・Vista・Svr2008・7(x64)	Ver 3.51.415	2010.6.10	詳細	契約書に同意してダウンロード(6730KB)
Win 2000/ XP/ Vista・Svr2003・Svr2008・7(x86)	Ver 3.51.415	2010.6.10	詳細	契約書に同意してダウンロード(7422KB)
Win 95/ 98/ Me	Ver 3.21.501	2007.6.13	詳細	契約書に同意してダウンロード(6986KB)
Win NT4.0	Ver 3.21.501	2007.6.13	詳細	契約書に同意してダウンロード(7158KB)

Network FAXドライバーのインストール

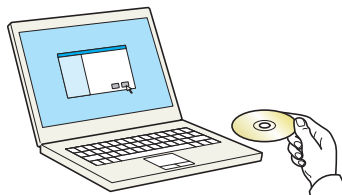
Network FAXを使用するコンピューターにNetwork FAXドライバーをインストールします。
(画面はWindows 7です。)



参考

スリープモード時や節電優先状態では自動認識しません。インストールを続ける場合、**[電源]**キーを押してスリープモードや節電優先状態を解除してください。

1 DVDを挿入する



参考

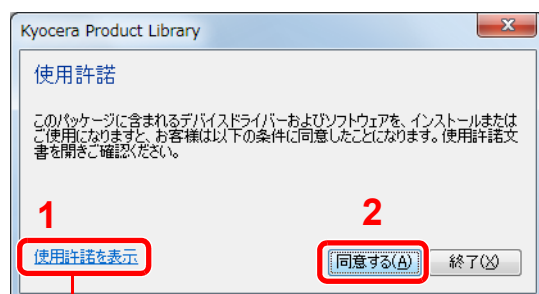
ソフトウェアをインストールするときは、管理権限でログオンする必要があります。

「**新しいハードウェアの検索ウィザード**」が表示された場合、**[キャンセル]**をクリックしてください。

自動再生画面が表示されたら、**[setup.exeを実行]**をクリックしてください。

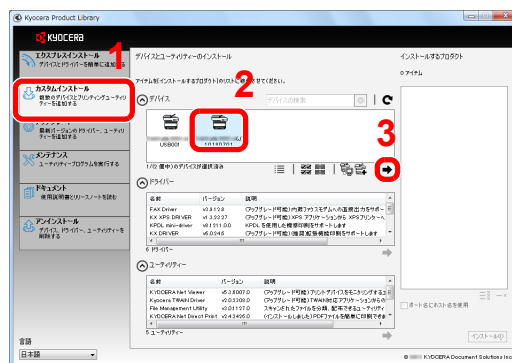
ユーザーアカウント制御画面が表示された場合、**[はい]** (**[許可]**) をクリックしてください。

2 画面を表示する

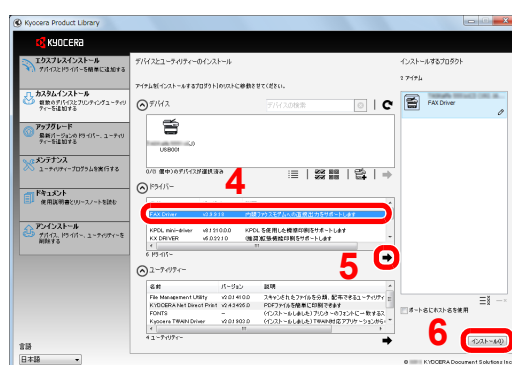


[使用許諾を表示]をクリックして、使用許諾契約をお読みください。

3 カスタムインストールでインストールする



- 1 [カスタムインストール]を選択します。
- 2 本機のモデル名を選択します。
- 3 [➡]をクリックします。



- 4 [FAX Driver]を選択します。
- 5 [➡]をクリックします。
- 6 [インストール]をクリックします。

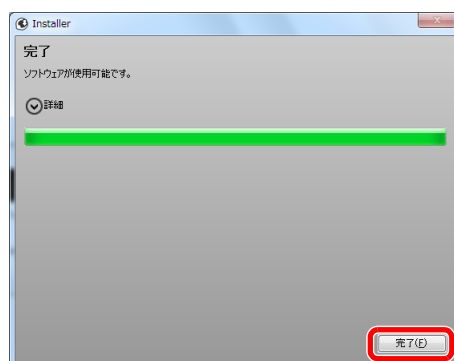


参考

本機の電源が入っていないと検索されません。本機が検索されない場合、本機とパソコンがネットワークまたはUSBケーブルで接続され、本機の電源が入っていることを確認して、**更新**をクリックしてください。

Windowsセキュリティ画面が表示された場合、この[**ドライバーソフトウェアをインストールします**]をクリックしてください。

4 インストールを終了する



画面の指示に従い、必要に応じてシステムを再起動してください。これで、ソフトウェアのインストール作業は終了です。

Network FAXドライバーのアンインストール

Network FAXドライバーを削除するときは、以下の手順で行ってください。



参考

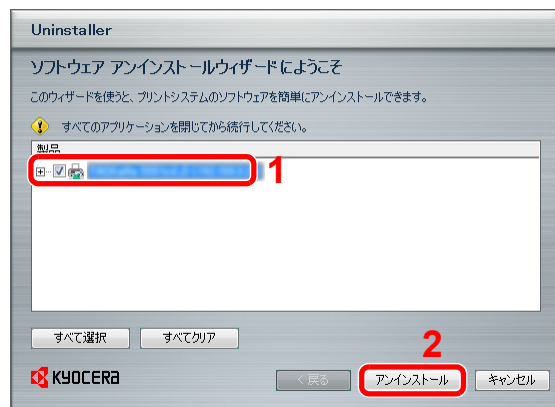
ソフトウェアをアンインストールするときは、管理権限でログオンする必要があります。

1 画面を表示する

Windowsの[スタート]ボタン→[すべてのプログラム]→[Kyocera]→[プロダクトライブラリーのアンインストール]を選択してください。ソフトウェア アンインストールウィザードが表示されます。

2 アンインストールする

削除するドライバーのチェックボックスにチェックを入れ、[アンインストール]をクリックします。



3 アンインストールを終了する

画面の指示に従い、必要に応じてシステムを再起動してください。これでソフトウェアのアンインストール作業は終了です。



参考

ソフトウェアのアンインストールはProduct Libraryを使って行うことも可能です。

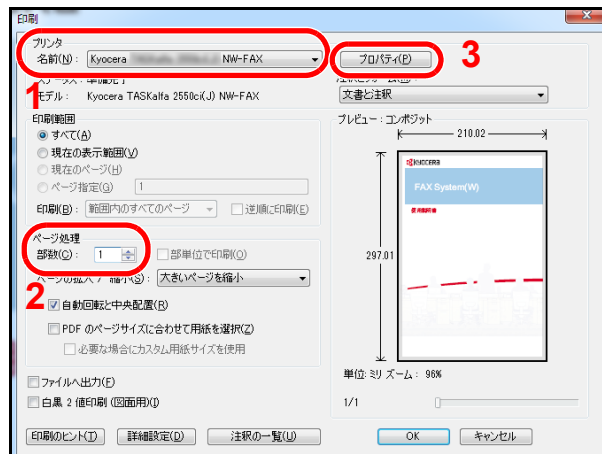
Product Libraryのインストール画面でアンインストールを選択し、画面の表示に従ってソフトウェアをアンインストールします。

基本的な送信の方法

1 送信する原稿を作成する

- 1 コンピューター上で任意のアプリケーションで送信する原稿を作成します。
- 2 原稿サイズや向きを設定します。
- 3 ファイルメニューから[印刷]を選択します。

使用されているアプリケーションの印刷画面が開きます。



2 印刷画面で設定する

- 1 プリンタ名リストで使用する本体の製品名 (Kyocera TASKalfa XXX NW-FAX) を選択します。
- 2 印刷ページなどの設定を行います。



参考

印刷部数は1部になっていることを確認してください。以下の画面はご使用のアプリケーションによって異なります。

3 [プロパティ]をクリックします。

プロパティウィンドウが開きます。

3 ファクス設定タブで設定する

- 1 ファクス設定タブが開いている状態で、原稿サイズなど各種送信設定を行い、[OK]をクリックします。



 参考

設定方法は、[9-12ページのドライバーの初期設定をする](#)を参照してください。

- 2 アプリケーションの印刷画面に戻ります。**[OK]**をクリックします。
送信設定画面が表示されます。

4 送信設定画面で設定する

送信設定画面では、送信時刻を設定したり、Fコードの設定などができます。

 参考

詳しい設定については、[9-16ページの送信設定を変更する](#)を参照してください。

5 送付状を設定する

送付状を使用するときは、**[送付状]**タブで設定を行ないます。

 参考

詳しい設定については、[9-21ページの送付状を使用する](#)を参照してください。

6 送信先を設定する

- 1 **[宛先設定]**タブで送信先のファクス番号をキーボードより入力します。

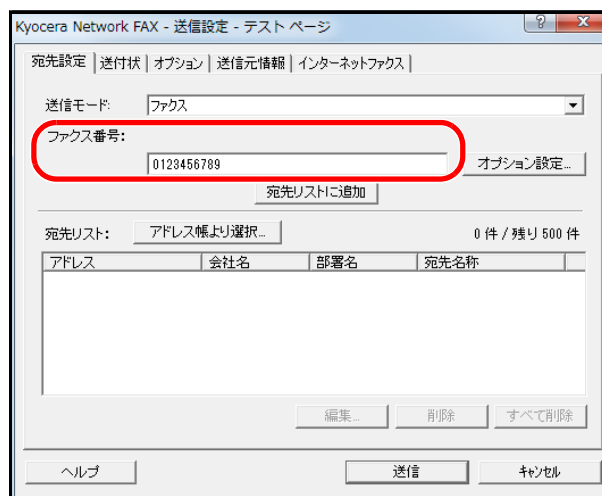
オプションのインターネットファクス機能を使用している場合は、「送信モード」から使用するモード(**[ファクス]**、**[インターネットファクス]**、**[ダイレクトSMTP]**)を選択し、相手先のファクス番号またはアドレスを入力してください。

 参考

詳しい設定については、[3-6ページの相手先のダイヤル](#)または、[8-8ページの相手先の指定](#)を参照してください。

- 2 **[宛先リストに追加]**をクリックします。

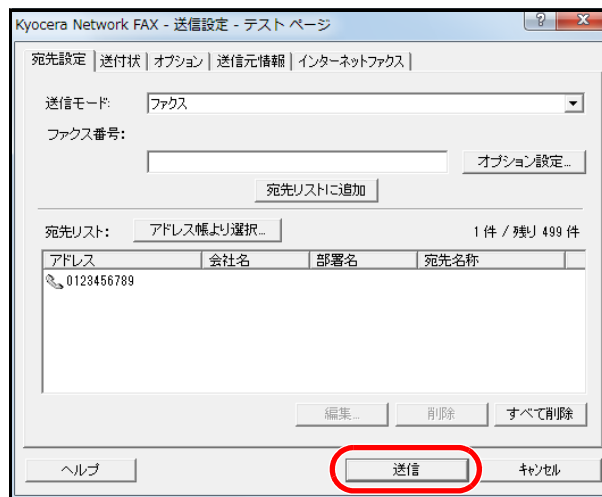
送信先の情報が宛先リストに表示されます。複数の相手先に送るときは、操作を繰り返し行ないます。



- 3 アドレス帳を使用するときは、**[アドレス帳より選択]**をクリックして、送信先を選択します。

7 送信する

[送信]をクリックしてください。送信を開始します。



The image shows a screenshot of the 'Kyocera Network FAX - 送信設定 - テスト ページ' (Kyocera Network FAX - Transmission Settings - Test Page) window. The window has a title bar with a question mark icon and a close button. Below the title bar is a tabbed interface with four tabs: '宛先設定' (Destination Settings), '送付状' (Invoice), 'オプション' (Options), and '送信元情報' (Sender Information). The '宛先設定' tab is active. It contains a '送信モード' (Transmission Mode) dropdown menu set to 'ファクス' (Fax), a 'ファクス番号' (Fax Number) input field, and an 'オプション設定...' (Option Settings...) button. Below these is a '宛先リストに追加' (Add to Destination List) button. The '宛先リスト' (Destination List) section shows a table with columns: 'アドレス' (Address), '会社名' (Company Name), '部署名' (Department Name), and '宛先名称' (Destination Name). The first row contains the address '0123456789'. To the right of the table, it says '1 件 / 残り 499 件' (1 item / 499 items remaining). Below the table are buttons for '編集...' (Edit...), '削除' (Delete), and 'すべて削除' (Delete All). At the bottom of the window are three buttons: 'ヘルプ' (Help), '送信' (Send), and 'キャンセル' (Cancel). The '送信' button is highlighted with a red circle.

アドレス	会社名	部署名	宛先名称
0123456789			

ドライバーの初期設定をする

印刷設定画面のファクス設定タブで原稿サイズなど送信条件をここで設定してください。

1 画面を表示する

- 1 スタートボタンから[コントロールパネル]、[ハードウェアとサウンド]の[デバイスとプリンター]と順にクリックします。
- 2 使用する本体の製品名を右クリックし、プルダウンメニューから[印刷設定]を選択します。

印刷設定画面が開きます。



2 設定する

次の項目が設定できます。

項目	詳細
原稿サイズ	プルダウンリストから送信する原稿サイズを選択してください。 設定値: A3、A4、A5、Folio、B4、B5(JIS)、Letter、Legal、Ledger(11 x17)、Statement
原稿の向き	チェックボックスで原稿の出力向きを縦または横のどちらか選択してください。 設定値: 縦、横
解像度	プルダウンリストから送信する原稿の解像度を選択してください。 設定値: 100 x200 dpi ノーマル、200 x200 dpi ファイン、400 x400 dpi ウルトラファイン、600 x600 dpi
ファクス送信設定	条件の初期設定をするときは[ファクス送信設定]をクリックしてください。初期設定画面が表示されます。

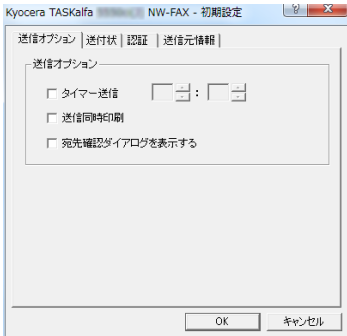
初期設定ダイアログボックス

基本的に使用する送信条件を設定しておく、通信毎に設定する手間が省けます。

初期設定ダイアログボックスは次の手順で開きます。

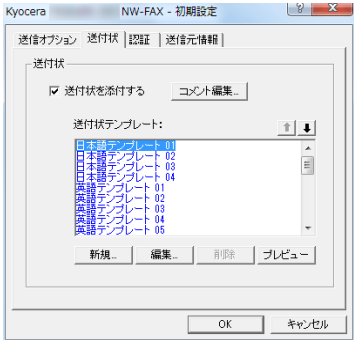
- 1 スタートボタンから[コントロールパネル]、[ハードウェアとサウンドのデバイスとプリンター]の表示の順にクリックしてください。
- 2 使用する本体の製品名を右クリックし、プルダウンメニューから[印刷設定]を選択してください。[印刷設定]ダイアログボックスで[ファクス送信設定]ボタンをクリックしてください。

(1)送信オプションタブ



項目	詳細
タイマー送信	チェックボックスにチェックを入れると、右側の時刻表示エディットボックスが有効となり、送信原稿に対して送信する時刻の指定を行うことができます。キーボードからの入力と▲▼ボタンをクリックして入力ができます。  重要 本体の操作部に表示されている現在時刻表示が合っていないと、指定時刻に正しく通信されません。表示されている現在時刻が合っていないときは正しく調整してください。  参考 本体に設定されている時刻より前の時刻を指定して送信した場合、翌日の指定時刻に送信を行います。本体で設定されている時刻を確認してください。 設定値 : 00:00~23:59
送信同時印刷	チェックボックスにチェックを入れると、送信とともに本体からも出力します。
宛先確認ダイアログを表示する	チェックボックスにチェックを入れると、送信前に宛先確認画面を表示し、宛先を確認してから送信することができます。

(2) 送付状タブ

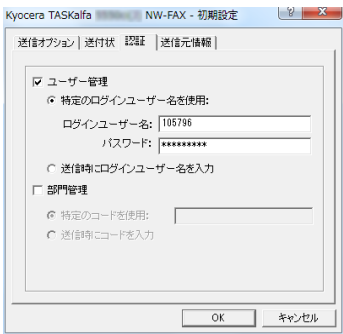


項目	詳細
送付状を添付する	チェックボックスにチェックを入れると、送付状を添付してファクスを送信します。

 参考

送付状の登録方法は、[9-26ページの送付状の登録\(初期設定\)](#)を参照してください。

(3) 認証タブ



項目	詳細
ユーザー管理	本体でユーザー管理を設定している場合に選択し、特定のログインユーザー名を使用または送信時にログインユーザー名を入力を選択してください。 特定のログインユーザー名を使用：ログインユーザー名とパスワードを入力してください。入力されたログインユーザー名とパスワードで送信を行います。 送信時にログインユーザー名を入力：送信時にログインユーザー名とパスワードを入力する画面が表示されます。送信を行うごとにログインユーザー名とパスワードを入力する必要があります。
部門管理	本体で部門管理を設定している場合に選択し、特定のコードを使用または送信時にコードを入力を選択してください。 特定のコードを使用：コードを入力してください。入力されたコードで送信を行います。 送信時にコードを入力：送信時にコードを入力する画面が表示されます。送信を行うごとにコードを入力する必要があります。

(4)送信元情報タブ

Kyocera NW-FAX - 初期設定

送信オプション | 送付状 | 認証 | 送信元情報

会社名:

部署名:

名称:

電話番号:

ファクス番号:

*メールアドレス:

* メールアドレスを設定すると、送信結果レポートを受け取ることができます。

OK

キャンセル

送付状を添付する際、以下の送信元情報を入力してください。

項目	詳細
会社名	最大全角32 文字(半角64 文字)まで入力できます。
部署名	最大全角32 文字(半角64 文字)まで入力できます。
名称(個人名など)	最大全角16 文字(半角32 文字)まで入力できます。
電話番号	最大半角20 文字(入力可能文字0 ～ 9、#、*、-、(、) +、およびスペース)まで入力できます。
ファクス番号	最大半角20 文字(入力可能文字0 ～ 9、#、*、-、(、) +、およびスペース)まで入力できます。
メールアドレス	最大半角128 文字まで入力できます。 入力可能文字:記号(!、#、\$、%、&、'、*、+、-、.、/、=、@、[,、^、_、`、{、})英数字(0-9、A-Z、a-z)

 参考

メールアドレスを入力すると、送信結果レポートをE メールで受信することができます。(本体でEメールの設定が必要です。詳細は本体の使用説明書を参照してください。)

送信設定を変更する

送信時に送信設定を変更することができます。

(1) アドレス帳より送信先の選択

アドレス帳は、本体のアドレス帳、Windows 標準のアドレス帳から相手先を選択することができます。



参考

アドレス帳 for Network FAX をお持ちのかたは、アドレス帳 for Network FAX データファイル(.fdt)から選択することができます。

本体のアドレス帳を使用するときは、本体のアドレス帳に相手先が登録されている必要があります。詳細は、[2-6ページの宛先の新規登録](#)を参照してください。

1 宛先を入力する

- 1 送信モードを選択します。
- 2 送信先をキーボードより入力します。
- 3 アドレス帳を使用するときは、[アドレス帳より選択] ボタンをクリックします。
- 4 宛先の選択ダイアログボックスが開きます。

入力可能文字数: 半角64文字

入力可能文字 0～9、#、*、-、スペース (先頭の-, スペースは不可)

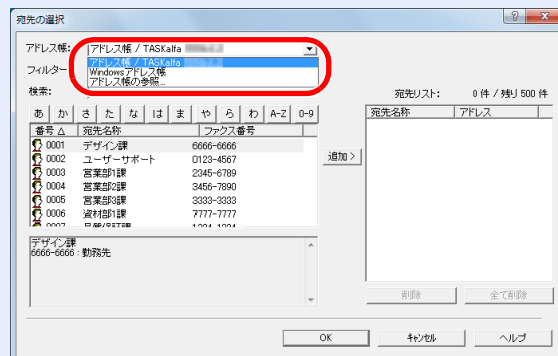
2 アドレス帳を選択する

本体に登録しているアドレス帳を使用する場合、「アドレス帳」のプルダウンメニューから[\[アドレス帳/機種名\]](#)を選択してください。



参考

Windows 標準のアドレス帳を使用する場合は、[\[Windows アドレス帳\]](#)を選択してください。

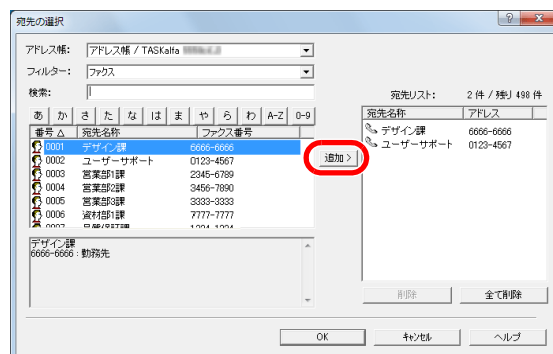


アドレス帳 for Network FAX データファイル(.fdt)を追加する場合は、[\[アドレス帳の参照\]](#)を選択して、[\[追加\]](#)をクリックし、アドレス帳データファイルを選択してください。

3 宛先を選択する

アドレス帳に登録されている宛先が左側のリストに表示されます。宛先をインターネットファクスやグループで選択する場合は、「フィルター」のプルダウンメニューで[\[インターネットファクス\]](#)や[\[グループ\]](#)を選択してください。

送信する宛先を選択して[\[追加>\]](#)ボタンをクリックしてください。送信する宛先が宛先リスト(右側のリスト)に登録されます。



参考

- リストは並び替え(ソート)することができます。リストの項目([\[番号\]](#)、[\[宛先名称\]](#)、[\[ファクス番号\]](#)、[\[アドレス\]](#))をクリックしてください。ソートしている項目に△または▽が表示されます。また、「検索」に検索文字列を入力すると、ソートしている項目で該当する宛先を選択します。
- 相手先を選択するとリストの下フィールドに相手先の詳細情報が表示されます。また、グループを選択した場合はリストの下フィールドにメンバーが表示されます。グループ内で複数のFAX番号が登録されているメンバーが含まれている場合は、番号の選択画面が表示されます。

宛先リストに表示されている宛先より削除するときは、削除する宛先を選択し[\[削除\]](#)ボタンをクリックしてください。また、すべての宛先を削除するときは、[\[すべて削除\]](#)ボタンをクリックしてください。

4 [OK]ボタンをクリックする

送信設定ダイアログボックスに戻り、「宛先リスト」に登録した宛先を表示します。

(2)Fコード通信

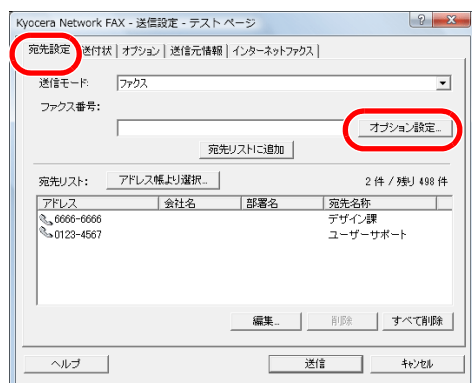


参考

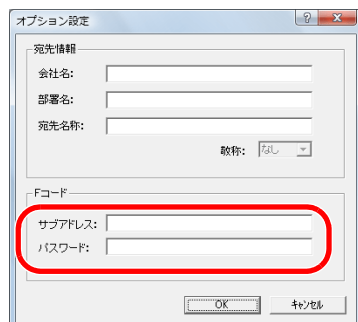
Fコード通信を行うためには、相手機にも同様のFコード通信機能が備わっている必要があります。

1 オプション設定ダイアログボックスを開く

[送信設定]ダイアログボックスの[宛先設定]タブで[オプション設定]ボタンをクリックします。



2 相手側のサブアドレスとパスワードの入力をする



- ・ 入力可能文字数: 半角20文字
- ・ 入力可能文字: 0～9、#、*、スペース (先頭のスペースは不可)

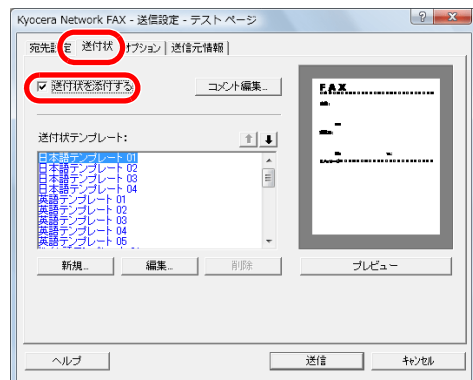
3 [OK]ボタンをクリックする

送信設定ダイアログボックスに戻ります。

(3) 送付状の設定

ファクスの1枚目に送付状を付けて送信できます。送付状は標準のテンプレート以外に、オリジナルのテンプレートを作成し使用することもできます。

送付状を付けて送信する場合は、[送付状]タブで[送付状を添付する]チェックボックスにチェックを入れてください。

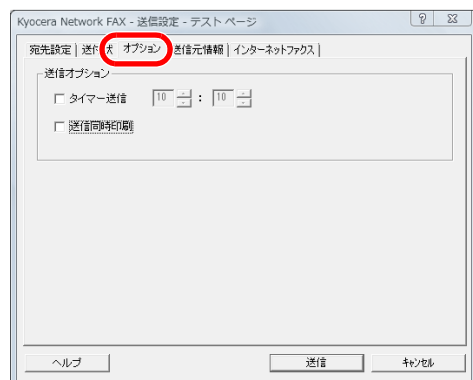


参考

送付状の使用方法は、[9-21ページの送付状を使用する](#)を参照してください。

(4) オプション設定

[オプション]タブをクリックすると[9-13ページの\(1\)送信オプションタブ](#)で設定した内容を変更できます。



設定の方法は[9-13ページの\(1\)送信オプションタブ](#)を参照してください。

(5) 送信元情報

[送信元情報]タブをクリックすると[9-15ページの\(4\)送信元情報タブ](#)で設定した内容を変更できます。

設定の方法は[9-15ページの\(4\)送信元情報タブ](#)を参照してください。

(6) インターネットファクス設定

インターネットファクスで送信する場合は、[インターネットファクス]タブをクリックして、件名とメッセージを入力します。

件名:最大60文字まで入力できます。

メッセージ:最大500文字まで入力できます。



参考

相手機のカバーページの設定がオンになっていると、件名とメッセージが印刷されます。

送付状を使用する

送付状の選択(送信設定)

ファクスの1枚目に送付状を付けて送信します。

送付状について

送付状はテンプレートから選択できます。送付状には次のような宛先情報や送信元情報が記載されます。

日本語テンプレート01のサンプル

The image shows a sample of a Japanese FAX form template. It is titled 'FAX' and contains several fields for user input. Red lines with numbers 1 through 11 point to specific fields: 1 points to the recipient's company name, 2 to the recipient's department, 3 to the recipient's title, 4 to the recipient's address, 5 to the recipient's fax number, 6 to the sender's name, 7 to the sender's company name, 8 to the sender's department, 9 to the sender's fax number, 10 to the sender's telephone number, and 11 to the comment field at the bottom.

番号	項目
1	宛先会社名
2	宛先部署名
3	宛先名称
4	敬称
5	宛先のファクス番号またはインターネットファクスアドレス
6	送信元名称
7	送信元会社名
8	送信元部署名
9	送信元ファクス番号
10	送信元電話番号
11	コメント

送付状を付けて送信する

送付状を付けて送信する手順は次のとおりです。

1 送信設定ダイアログボックスを開く

[9-9ページの基本的な送信の方法](#)の手順1～6を行い、送信設定ダイアログボックスを開きます。

相手先をアドレス帳から選択する場合は、[9-16ページの\(1\)アドレス帳より送信先の選択](#)を参照して相手先を選択し、手順4に進んでください。

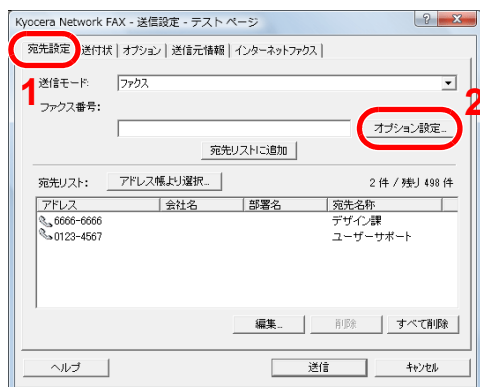
2 ファクス番号を入力する

[宛先設定]タブで相手先のファクス番号を入力し、[オプション設定]ボタンをクリックしてください。



参考

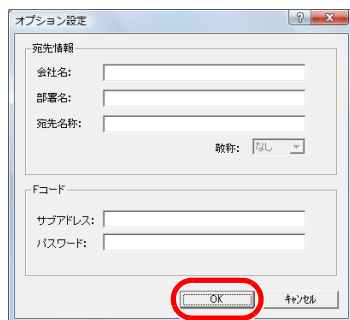
オプションのインターネットファクスで送信する場合は、送信モードでインターネットファクスを選択し、インターネットファクスアドレスを入力してください。



項目	詳細
ファクス番号	最大半角64文字まで入力できます。
インターネットファクスアドレス	最大半角128文字まで入力できます。

3 宛先情報を入力する

入力後、[OK]ボタンをクリックしてください。



項目	詳細
会社名	最大32文字まで入力できます。
部署名	最大32文字まで入力できます。
宛先名称	最大32文字まで入力できます。
敬称	なし、様、殿、御中の中から選択できます。

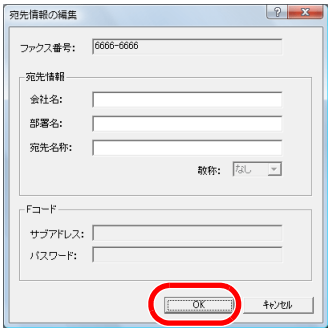


参考

送付状タブの[送付状を添付する]が設定されていない場合、送付状の確認画面が表示されます。送付状を添付するときは、[送付状を添付する]ボタンをクリックしてください。

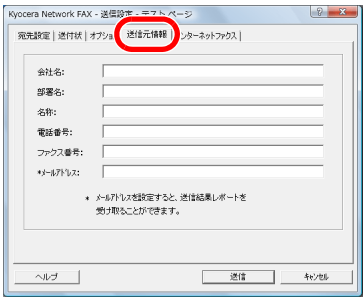
4 宛先を宛先リストに追加する

- 1 [宛先リストに追加] ボタンをクリックして、[宛先リスト] に追加してください。
- 2 [宛先リスト] に追加した相手先の宛先情報を変更するときは、変更する相手先を選択して、[編集] をクリックしてください。宛先情報を修正し、[OK] ボタンをクリックしてください。



項目	詳細
ファクス番号(インターネットファクスアドレス)	ファクス番号またはインターネットファクスアドレスは変更できません。
会社名	最大32文字まで入力できます。
部署名	最大32文字まで入力できます。
宛先名称	最大32文字まで入力できます。
敬称	なし、様、殿、御中の中から選択できます。

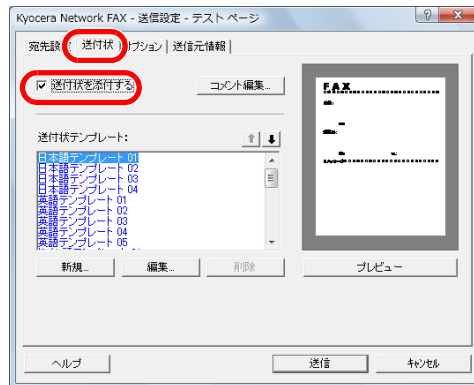
- 3 送信元情報を初期設定ダイアログで設定していない場合には、[送信元情報] タブをクリックして、送信元情報を設定してください。[9-15ページの\(4\)送信元情報タブ](#)を参照してください。



項目	詳細
会社名	最大全角32文字(半角64文字)まで入力できます。
部署名	最大全角32文字(半角64文字)まで入力できます。
名称	最大全角16文字(半角32文字)まで入力できます。
電話番号	最大半角20文字(入力可能文字0～9、#、*、-、(、) +、およびスペース)まで入力できます。
ファクス番号	最大半角20文字(入力可能文字0～9、#、*、-、(、) +、およびスペース)まで入力できます。
メールアドレス	最大半角128 文字まで入力できます。 入力可能文字: 記号 (!、#、\$、%、&、'、*、+、-、.、/、=、@、[, \、^、_、`、{、}) 英数字 (0-9、A-Z、a-z)

5 送付状を添付する

[送付状]タブをクリックし、[送付状を添付する]チェックボックスにチェックを入れてください。



6 添付する送付状を選択する

送付状テンプレートリストから送付状のテンプレートを選択してください。



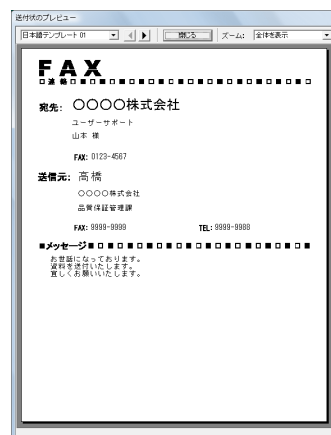
参考

初期設定で送付状を登録しておけば、送信ごとに送付状を選択する作業を省くことができます。[9-26ページの送付状の登録\(初期設定\)](#)を参照してください。

オリジナルの送付状テンプレートを作成することができます。[9-28ページの送付状テンプレートの新規作成](#)を参照してください。

7 送付状の内容を確認する

- 1 [プレビュー]ボタンをクリックしてください。現在選択しているテンプレートのプレビューを表示します。



別のテンプレートを表示するときは、ダイアログボックス上部のプルダウンメニューもしくは、◀または▶ボタンをクリックしてください。テンプレートの表示倍率もプルダウンメニューで25～250%の範囲で変更できます。

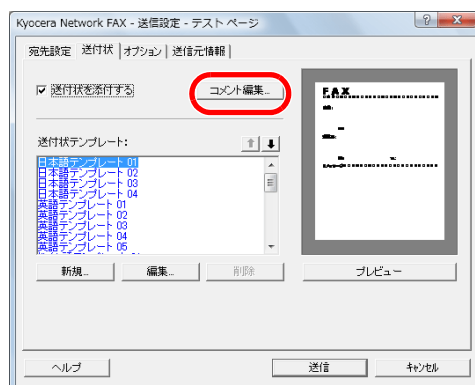
✓ 重要

送信する前に必ずプレビュー画面で宛先の名称や会社名などがすべて表示されているか確認してください。宛先名称など、自動的に挿入される情報の文字数が多い場合、枠に入りきれない文字は正しく印刷されません。文字が正しく表示されていない場合は、宛先情報や送信元情報の文字数を減らすか、使用するテンプレートを編集してください。

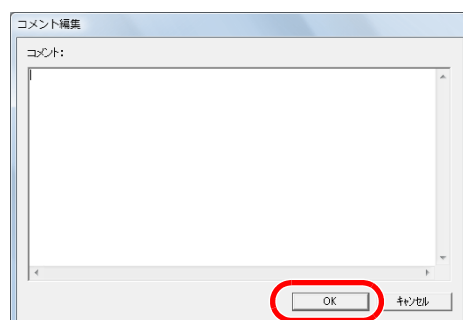
- 2 [閉じる] ボタンをクリックしてください。

8 コメントを編集する

- 1 [コメント編集] ボタンをクリックしてください。



- 2 送付状に記載するコメントを入力して、[OK] ボタンをクリックしてください。



項目	詳細
コメント	全角で最大500文字(半角で最大1000文字)まで入力できます。

9 送信する

- [送信] ボタンをクリックしてください。送信を開始します。

送付状の登録(初期設定)

初期設定で送付状を登録しておけば、送信ごとに送付状を選択する作業を省くことができます。

テンプレートの選択

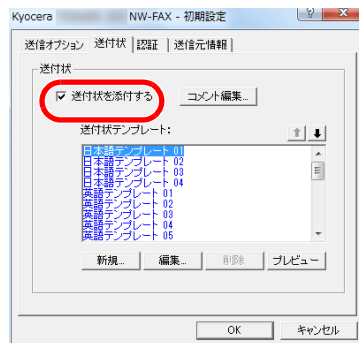
初期設定に登録する送信状のテンプレートを選択します。登録方法は次のとおりです。

1 初期設定ダイアログボックスを開く

[9-13ページの初期設定ダイアログボックス](#)の手順を行い、初期設定ダイアログボックスを開きます。

2 送付状を添付する

[[送付状](#)]タブをクリックし、[[送付状を添付する](#)]チェックボックスにチェックを入れてください。



3 添付する送付状を選択する

送付状テンプレートリストから送付状のテンプレートを選択してください。

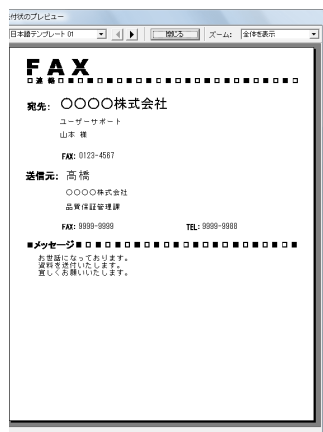


参考

オリジナルの送付状テンプレートを作成することができます。[9-28ページの送付状テンプレートの新規作成](#)を参照してください。

4 送付状の内容を確認する

- 1 [プレビュー]ボタンをクリックしてください。現在選択しているテンプレートのプレビューを表示します。

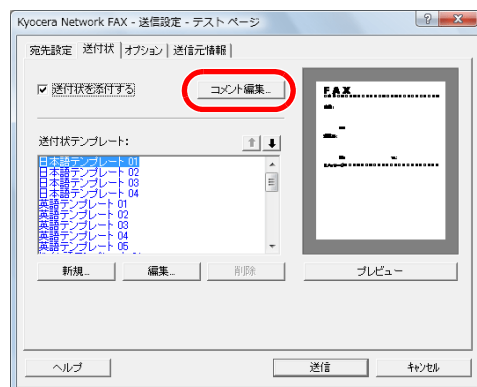


別のテンプレートを表示するときは、ダイアログボックス上部のプルダウンメニューもしくは、◀または▶ボタンをクリックしてください。テンプレートの表示倍率もプルダウンメニューで25～250%の範囲で変更できます。

- 2 [閉じる]ボタンをクリックしてください。

5 コメントを編集する

- 1 [コメント編集]ボタンをクリックしてください。



- 2 送付状に記載するコメントを入力して、[OK]ボタンをクリックしてください。全角で最大500文字(半角で最大1000文字)まで入力できます。

6 [OK]ボタンをクリックする

送信元情報の登録

送付状に記載される送信元情報を登録してください。



参考

登録方法は、[9-15ページの\(4\)送信元情報タブ](#)を参照してください。

送付状テンプレートの新規作成

オリジナルの送付状テンプレートを作成する場合は、次の手順を行ってください。

1 初期設定ダイアログボックスを開く

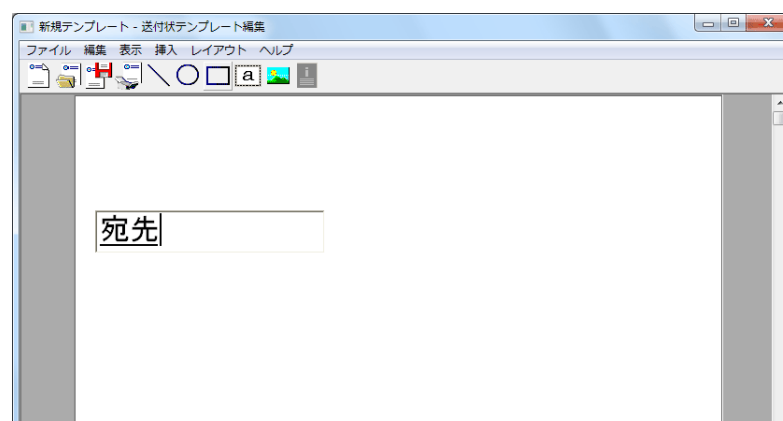
[9-13ページの初期設定ダイアログボックス](#)の手順を行い、「初期設定」ダイアログボックスを開きます。

2 送付状テンプレートを編集する

1 [\[送付状を添付する\]](#)チェックボックスにチェックを入れ、[\[新規\]](#)ボタンをクリックしてください。送付状テンプレート編集画面が表示されます。

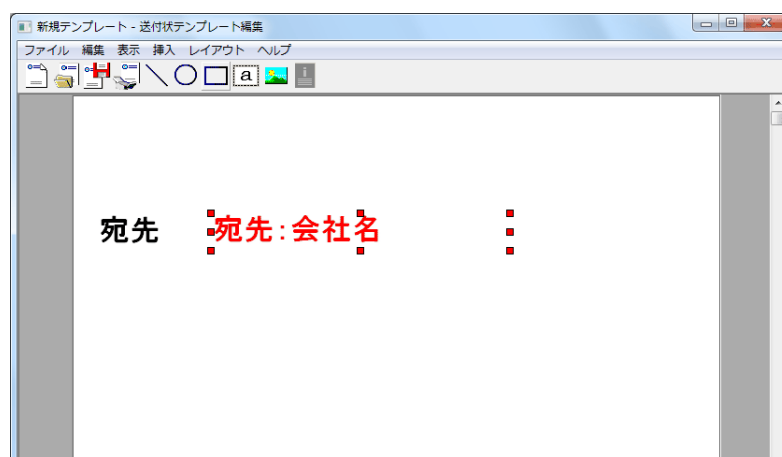
2 文字を入力します。

メニューバーの[挿入]、[テキストボックス]を順にクリックし、テキストボックスを配置して、文字を入力してください。



3 差し枠を配置します。

メニューバーの「挿入」メニューから配置する差し枠を選んでください。



重要

宛先の名称や会社名など、挿入する情報の文字数が多くなると、差し枠内に入りきらずに文字が切れてしまうことがあります。差し枠を配置するときは、挿入する情報が入るように枠の大きさと文字のポイントを調整してください。

参考

差し枠は、ファクス送信時に初期設定や宛先設定で入力された情報が自動的に挿入されます。

次の差し枠が使用できます。必要に応じて配置してください。

メニュー項目		テンプレートの表示	挿入する情報
宛先	会社名	宛先:会社名	宛先情報の会社名
	部署名	宛先:部署名	宛先情報の部署名
	名称	宛先:名称	宛先情報の宛先名称
	アドレス	宛先:アドレス	宛先のファクス番号またはインターネットファクスアドレス

メニュー項目		テンプレートの表示	挿入する情報
送信元	会社名	送信元:会社名	送信元情報の会社名
	部署名	送信元:部署名	送信元情報の部署名
	名称	送信元:名称	送信元情報の名称
	FAX番号	送信元:FAX番号	送信元情報のファクス番号
	TEL番号	送信元:電話番号	送信元情報の電話番号
コメント		コメント	送付状タブで入力したコメント

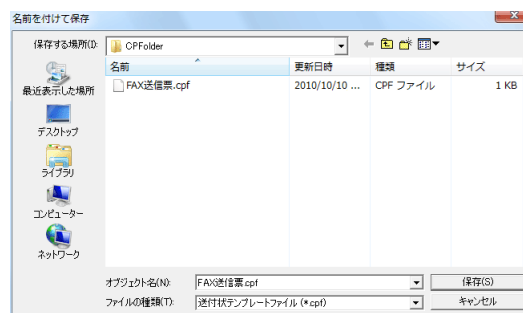
- 4 図形やテキストボックスなどを配置して、送付状を作成してください。



参考

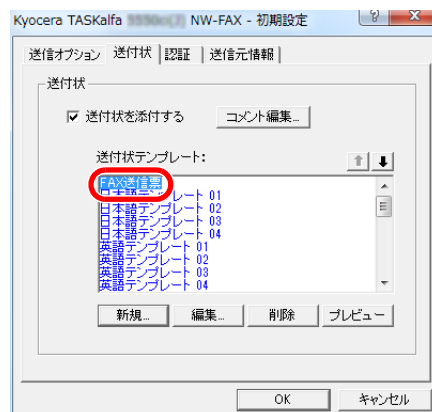
操作方法是ヘルプを参照してください。

- 5 メニューバーの[ファイル]、[名前を付けて保存]を順にクリックし、ファイル名を入力して、[保存]をクリックしてください。



- 6 テンプレートの編集画面を閉じてください。

- 7 新しいテンプレートがリストの1番上に登録されテンプレートを選択できるようになります。



送信の状況を確認する

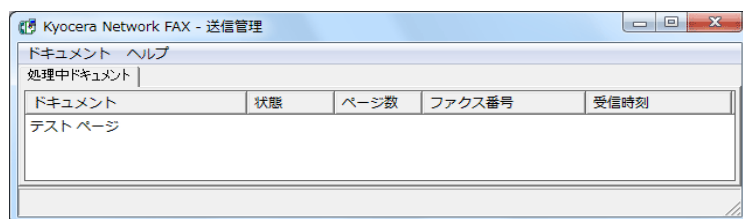
以下の方法で、コンピューターから現在処理中の状況を確認したり、FAXへのデータの送信を中止させることができます。

データの送信を行うと、タスクバーに送信管理アイコンが表示されます。



1 送信管理のアイコンをダブルクリックする

現在の送信状況をお知らせする送信管理ダイアログボックスが開きます。



FAXへのデータの送信を中止させるときは、ドキュメントメニューから[キャンセル]を選択してください。

送信管理を終了する

送信管理のアイコンを右クリックし、[終了]を選択してください。



10 こんなときには

この章では、トラブルが発生した場合の対処のしかたについて説明します。

送/受信中のランプ表示について	10-2
電源を切るときの注意	10-3
こんな表示が出たら	10-4
トラブルが発生した場合	10-5

送/受信中のランプ表示について

ファクスの送/受信中は、[処理中]ランプ、[メモリー]ランプで状況がわかります。

- ファクスの送/受信中は[処理中]ランプが点滅します。
- メモリー送信などで、原稿がメモリーに記憶されるときに、[メモリー]ランプが点滅します。
- タイマー送信で、メモリーに記憶されている原稿がある場合、[メモリー]ランプが点灯します。



*モデルによっては、イラストと外観が異なることがあります。

電源を切るときの注意

電源を切る場合は操作パネルにある[電源]キーを押してください。主電源スイッチを切ると、ファクスが受信できなくなりますのでご注意ください。

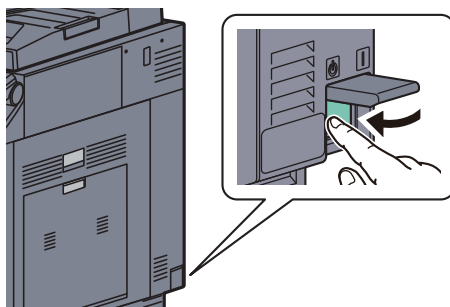
主電源スイッチを切るときは、操作パネルの[電源]キーを押して、[電源]キー、処理中およびメモリーのランプが消灯していることを確認してから切ってください。

⓪ 重要

[電源]キー、処理中およびメモリーのランプが点灯または点滅しているときは、ハードディスクが動作している場合があります。ハードディスクが動作しているときに主電源スイッチを切ると、ハードディスクが故障する原因となる可能性があります。



このランプ以外が消灯していることを確認する



*モデルによっては、イラストと外観が異なることがあります。

こんな表示が出たら

異常が発生するとタッチパネルにメッセージが表示されます。次の表を参照して対処してください。



参考

通信エラーが発生したときは、メッセージとともに受信/送信結果レポートが印刷されます。受信/送信結果レポートに表記されるエラーコードを確認して、[11-30ページのエラーコード一覧表](#)で内容を参照してください。受信/送信結果レポートの印刷については、[5-7ページの送信結果レポート](#)、および[5-8ページの受信結果レポート](#)を参照してください。

エラーコードは通信管理レポートでも確認することができます。(5-9ページの通信管理レポート参照)

表示	確認事項	処理方法	参照ページ
故障が発生しました。	—	本機内部で異常が発生しています。画面に表示されているエラーコードを書きとめて、サービス担当者にご連絡ください。	—
このドライバーは接続されている機種に対応していません。	本製品のNetwork FAXドライバーを使用していますか？	本体の製品名を確認し、Network FAXドライバーをインストールしなおしてください。	9-6ページ
ファクスボックスが容量制限を超えました。	—	このままではファクス印刷および転送ができません。[OK]を押して、ファクスボックスの文書を削除してください。	4-32ページ
FAX ボードが装着されていません。	本体にファクスキットが装着されていますか？	Network FAX送信するためにはファクスキットを装着してください。	—
ファクスと接続できませんでした。	本体でエラーが発生していませんか？	エラーを解除してから、送信を行ってください。	本体使用説明書参照
	Network FAXドライバーで設定している本体のIPアドレスが間違っていないですか？	Network FAXドライバーのプロパティにあるポート設定を確認してください。	—
部門管理の制限を超えました。	部門管理で設定されている制限ページ数を超えていませんか？	部門管理で設定されている制限ページ数に達したため、これ以上印刷できません。ジョブは中止されます。[終了]を押してください。	本体使用説明書参照
このジョブは実行できません。	—	認可設定で使用が禁止されています。 ジョブは中止されます。[終了]を押してください。 部門管理で使用が禁止されています。 ジョブは中止されます。[終了]を押してください。	本体使用説明書参照
付属電話機の受話器がはずれています。	—	受話器を戻してください。	—
送信ジョブの予約制限数を超えました。	—	タイマー送信をセットできる件数を超えています。[終了]を押してください。このジョブは中止されます。 タイマー送信が実行されるのを待つか、タイマー送信をキャンセルしてから、再度操作してください。	4-3ページ

トラブルが発生した場合

トラブルが発生した場合は、次のことを調べてください。それでもなお異常が見られるときには、サービス実施店またはお買い上げ店までご連絡ください。

トラブル内容	確認事項	処置方法	参照ページ
送信できない。	モジュラーコードが正しく接続されていますか。	モジュラーコードを正しく接続してください。	—
	「送信エラーです。」が表示されていませんか。	エラーの原因を除去した上で、もう一度送信してください。	11-30ページ
	送信制限をしていませんか。	送信制限を解除してください。	6-27ページ
暗号通信ができない。	送信側/受信側でそれぞれ登録されている内容は正しいですか。	送信側、受信側の両方で登録内容をもう一度確認してください。	6-35ページ
リモート切替機能が使用できない。	ダイヤル(パルス)回線を使用していませんか。	電話機によってはボタンなどでトーン信号を送出できる場合があります。電話機の使用説明書を参照してください。	—
	リモート切替番号は正しいですか。	登録内容を確認してください。(工場出荷時:55)	4-16ページ
	リモート切替番号を早く押していませんか	リモート切替番号をゆっくり2回押してください。	—
受信したが、印刷されない。	メモリー転送がセットされていませんか。	転送先を確認してください。	4-18ページ
受信できない。	モジュラーコードが正しく接続されていますか。	モジュラーコードを正しく接続してください。	—
	「通信エラーが発生しました。」が表示されていませんか。	エラーの原因を除去した上で、もう一度相手先から送信してもらってください。	11-30ページ
	受信制限をしていませんか。	受信制限を解除してください。	6-27ページ
代行受信できない。	メモリーがいっぱいになっていませんか。	メモリーに空きができてから受信を行うか、メモリー内に空きを作ってください。	3-13ページ
2in1受信ができない。	2 in 1受信と両面受信を両方とも設定していませんか。	両面受信を解除してください。	6-42ページ
Fコード送信ができない。	相手機はFコード機能を有したファクスですか。	相手機が同様のFコード機能を有していない場合、Fコード通信を行えません。	—
	入力したサブアドレスやFコードパスワードは、相手機で登録されているサブアドレスやFコードパスワードと一致していますか。	入力内容に誤りがないときは、相手先に確認してください。本機で受信する場合、Fコードパスワードは使用しません。	4-38ページ
	相手機のメモリーがいっぱいになっていませんか。	相手先に確認してください。	—
メモリー転送ができない。	メモリー転送が[設定する]になっていますか。	メモリー転送の設定を確認してください。	4-18ページ
Fコード通信を使った、メモリー転送ができない。	相手機はFコード機能を有したファクスですか。	相手機が同様のFコード機能を有していない場合、Fコード通信を行えません。	—
	設定したFコードサブアドレスは、相手機で登録されているFコードサブアドレスと一致していますか。	入力内容に誤りがないときは、相手先に確認してください。本機で受信する場合、Fコードパスワードは使用しません。	4-18ページ

トラブル内容	確認事項	処置方法	参照ページ
メモリー転送で、ファクスボックスに保存できない。	ファクスボックスが正しく指定されていますか。	メモリー転送の設定を確認してください。	4-18ページ
	メモリーがいっぱいになっていませんか。	メモリーに空きができてから受信を行うか、メモリー内に空きを作ってください。	4-32ページ
ファクスボックスから印刷できない。	ボックスパスワードを設定していますか。	正しいボックスパスワードを入力してください。	4-32ページ
ポーリング受信ができない。	相手機でポーリング送信が正しく操作されていますか。	相手先に確認してください。	—
Fコード中継同報通信ができない。	メモリーがいっぱいになっていませんか。	メモリーに空きができてから送信するか、メモリー内に空きを作ってください。	—
Fコード掲示板通信ができない。	相手機は同様のFコード掲示板通信機能を有したファクスですか。	相手機が同様のFコード掲示板通信機能を有していない場合、Fコード掲示板受信はできません。相手先に確認してください。	—
	入力したFコードサブアドレスやFコードパスワードは正しいですか。	入力内容に誤りがない場合は、相手先に確認してください。	—

11 付録

この付録では、仕様など参考資料を記載します。

文字の入力方法	11-2
入力方式の選択	11-2
入力文字の選択	11-3
入力画面	11-4
区点入力での文字変換	11-10
仕様	11-12
メニュー構成一覧	11-13
出荷時設定値一覧表	11-18
受信サイズと印刷用紙優先順位表	11-21
区点コード表	11-24
エラーコード一覧表	11-30

文字の入力方法

名前などを入力するときに使用する、タッチパネル上のキーボードについて説明します。

漢字の入力は、かな入力とローマ字入力の両方からできます。また、漢字変換の際には文節変換が可能です。

文字を入力するときは、まず入力方式と入力文字をそれぞれ選択してください。

入力方式の選択

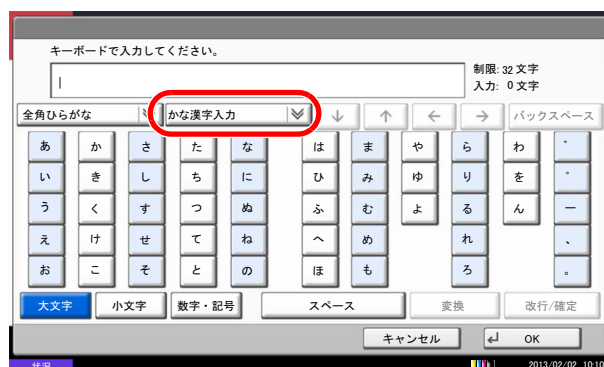
入力方式には次の3種類があります。

[かな漢字入力]－かな入力で漢字などを入力するときに使用してください。

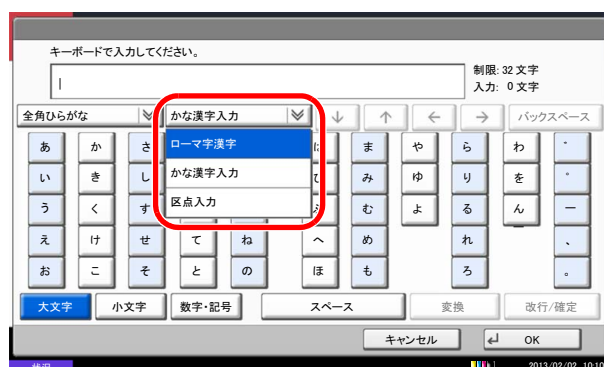
[ローマ字漢字]－ローマ字入力(例えば、「か」と入力するとき「K」「A」と入力する)で漢字などを入力するときに使用してください。

[区点入力]－4桁の区点コードを入力して漢字などを入力するときに使用してください。

- 1 入力方式([かな漢字入力]、[ローマ字漢字]または[区点入力])の[▽]を押します。



- 2 プルダウンメニューから入力方式を選択します。



参考

入力方式の初期値を[ローマ字漢字]に変更することができます。詳しくは、本体の使用説明書の「8章 動作設定・登録を行う(システムメニュー)」の「共通設定」―「キーボード入力方式」を参照してください。

入力文字の選択

入力文字には次の5種類があります。

[全角ひらがな]－漢字変換できます。無変換のときは全角ひらがなになります。

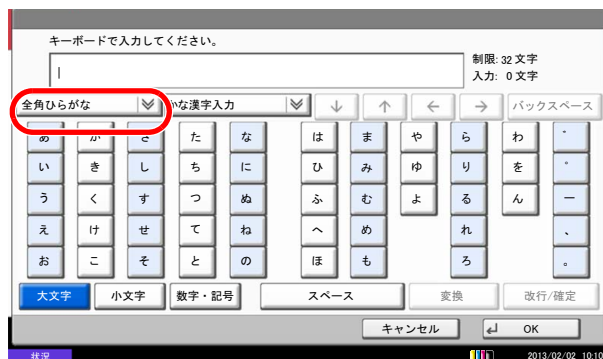
[全角カタカナ]－全角カタカナを入力するときに使用してください。

[半角カタカナ]－半角カタカナを入力するときに使用してください。

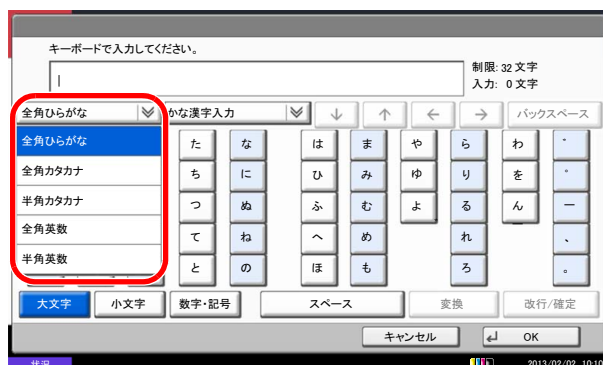
[全角英数]－無変換で全角アルファベット、全角数字を入力するときに使用してください。

[半角英数]－無変換で半角アルファベット、半角数字を入力するときに使用してください。

- 1 入力文字([全角ひらがな]、[全角カタカナ]、[半角カタカナ]、[全角英数]または[半角英数])の[▽]を押します。



- 2 プルダウンメニューから入力文字を選択します。



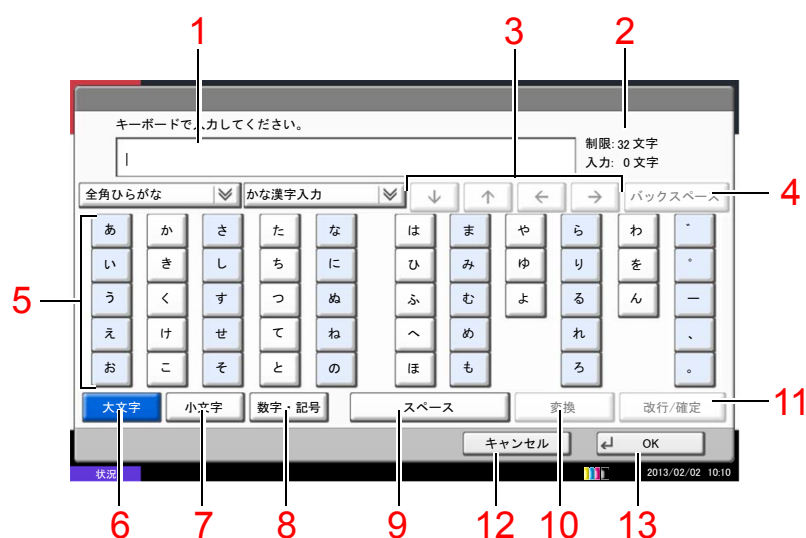
参考

入力方式として[区点入力]を選択したときは、入力文字は選択できません。

入力画面

かな漢字入力

次の画面は入力文字として[全角ひらがな]を選択した場合です。



番号	表示/キー	説明
1	文字表示部	入力した文字を表示します。
2	制限文字数/入力文字数表示部	文字数の制限と入力している文字数を表示します。
3	カーソルキー	文字表示部のカーソルを移動させるときに押してください。
4	[バックスペース]	カーソルの左の文字を削除するとき押してください。
5	キーボード	入力する文字を押してください。
6	[大文字]	全角ひらがなを使用するとき押してください。
7	[小文字]	「あ、い、う、え、お、つ、や、ゆ、よ」を入力するとき押してください。
8	[数字・記号]	数字や記号を入力するとき押してください。
9	[スペース]	スペースを入力するとき押してください。
10	[変換]	入力した文字を漢字などに変換するとき押してください。
11	[改行/確定]	入力した文字を改行または確定するとき押してください。
12	[キャンセル]	入力した文字をキャンセルして、文字入力の前の画面に戻るときに押してください。
13	[OK]	入力した文字を確定して、文字入力の前の画面に戻るときに押してください。



参考

操作パネルの[クリア]キーを押すと、文字表示部のすべての文字を削除します。入力状態が未確定の場合は、未確定文字を削除します。

ローマ字漢字入力

次の画面は入力文字として[全角ひらがな]を選択した場合です。



番号	表示/キー	説明
1	文字表示部	入力した文字を表示します。
2	制限文字数/入力文字数表示部	文字数の制限と入力している文字数を表示します。
3	カーソルキー	文字表示部のカーソルを移動させるときに押してください。
4	[バックスペース]	カーソルの左の文字を削除するとき押してください。
5	キーボード	入力する文字を押してください。
6	[大文字]	大文字を使用するとき押してください。
7	[小文字]	小文字を使用するとき押してください。
8	[数字・記号]	数字や記号を入力するとき押してください。
9	[スペース]	スペースを入力するとき押してください。
10	[変換]	入力した文字を漢字などに変換するとき押してください。
11	[改行/確定]	入力した文字を改行または確定するとき押してください。
12	[キャンセル]	入力した文字をキャンセルして、文字入力の前の画面に戻るときに押してください。
13	[OK]	入力した文字を確定して、文字入力の前の画面に戻るときに押してください。

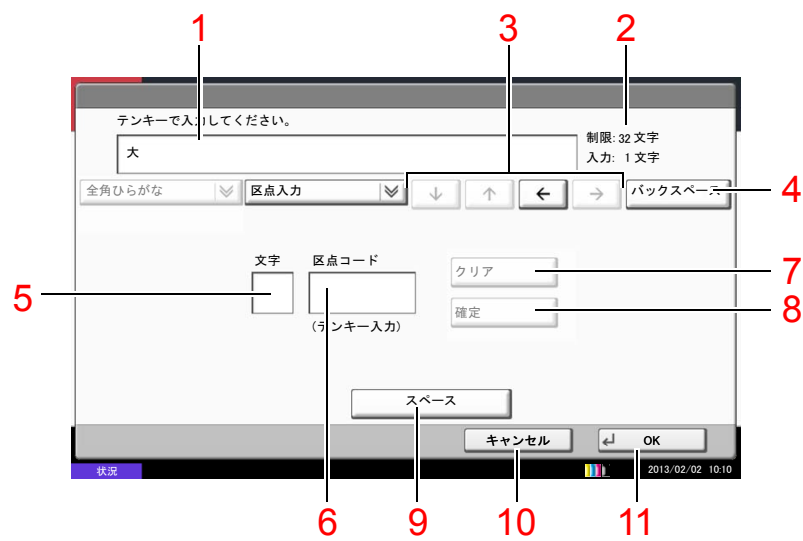


参考

操作パネルの[クリア]キーを押すと、文字表示部のすべての文字を削除します。入力状態が未確定の場合は、未確定文字を削除します。

区点入力

次の画面は入力方式として[区点入力]を選択した場合です。



番号	表示/キー	説明
1	文字表示部	入力した文字を表示します。
2	制限文字数/入力文字数表示部	文字数の制限と入力している文字数を表示します。
3	カーソルキー	文字表示部のカーソルを移動させるときに押してください。
4	[バックスペース]	カーソルの左の文字を削除するとき押してください。
5	入力文字表示部	区点コードに対応した文字を表示します。
6	区点コード表示部	入力した区点コードを表示します。
7	[クリア]	入力した区点コードを消去するとき押してください。
8	[確定]	区点コードに対応した文字を確定するとき押してください。
9	[スペース]	スペースを入力するとき押してください。
10	[キャンセル]	入力した文字をキャンセルして、文字入力の前の画面に戻るときに押してください。
11	[OK]	入力した文字を確定して、文字入力の前の画面に戻るときに押してください。

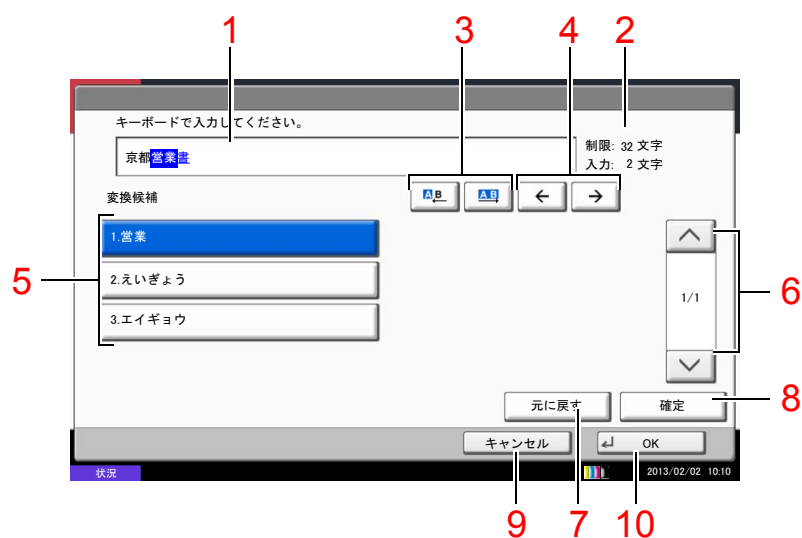


参考

各文字の区点コードは、[11-24ページの区点コード表](#)を参照してください。

かな漢字入力とローマ字漢字入力での文字変換

ローマ字漢字入力、かな漢字入力のそれぞれの入力画面で変換前の文字を入力した後、[変換]キーを押すと次のような文字変換画面が表示されます。

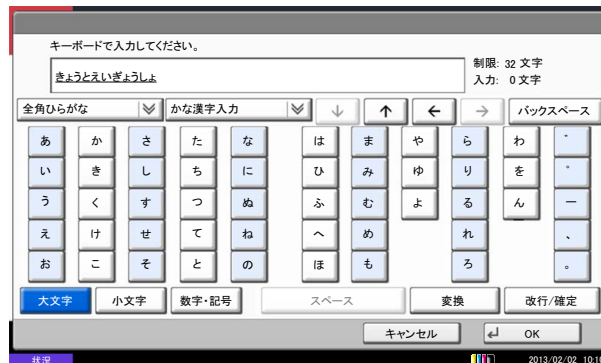


番号	表示/キー	説明
1	文字表示部	入力した文字を表示します。
2	制限文字数/入力文字数表示部	文字数の制限と入力している文字数を表示します。
3	[][]	変換対象文節の長さを変更するときに押してください。
4	[←][→]	変換対象の文節を移動させるときに押してください。
5	変換候補リスト	選択中の文節に対する変換候補を表示します。
6	[↑][↓]	表示されている以外に変換候補がある場合、変換候補をスクロールするときに押してください。
7	[元に戻す]	[変換]を押す前に戻るときに押してください。
8	[確定]	未確定文字をすべて確定するときに押してください。
9	[キャンセル]	入力した文字をキャンセルして、文字入力の前の画面に戻るときに押してください。
10	[OK]	入力した文字を確定して、文字入力の前の画面に戻るときに押してください。

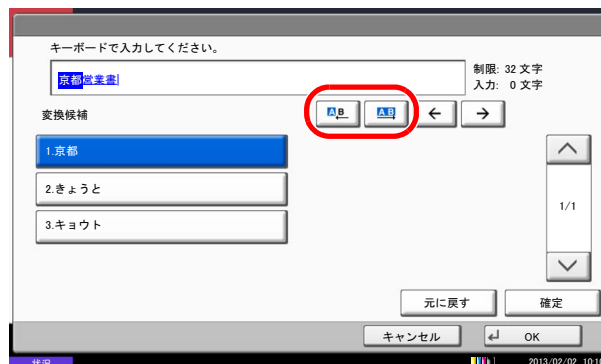
【入力例】「京都営業所」と入力するとき

入力は一文字ずつできますが、ここでは一度にひらがなを入力し文節に変換していく方法を説明します。

- 1 漢字かな入力の場合「きょうとえいぎょうしょ」と順にタッチパネル上で入力します。
ローマ字漢字入力の場合、「kyoutoeigyousho」と順にタッチパネル上で入力してください。
文字表示部に「きょうとえいぎょうしょ」と表示されます。



- 2 [変換]キーを押します。
文字変換画面に替わります。
反転されている部分に変換する文字です。
- 3 [A B]または[A B]を押して、変換する部分(この場合まず「きょうと」)を反転させます。
変換候補が表示されます。



- 4 変換候補リストから、変換する文字(この場合[京都])を押します。

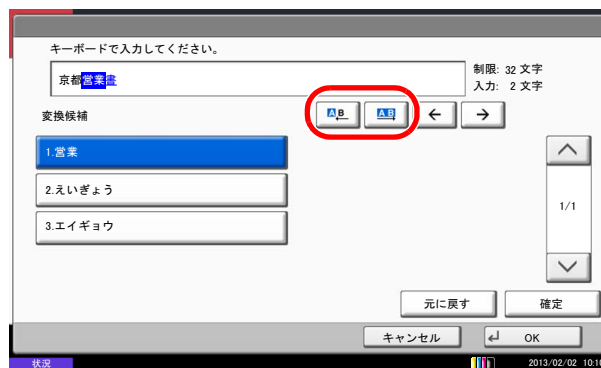
参考

変更候補リストはテンキーでも選択できます。

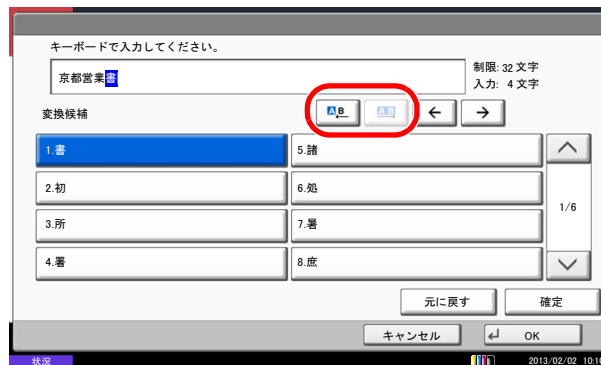
表示されている以外の変換候補がある場合、[へ]または[✓]を押して画面をスクロールしてください。

- 5 [→]を押します。
「京都」が確定します。

- 6 [A8]または[A9]を押して、次の変換する部分(この場合「えいぎょう」)を反転させます。
変換候補が表示されます。



- 7 変換候補リストから、変換する文字(この場合[営業])を押します。
8 [→]を押します。
「営業」が確定します。



- 9 [A8]または[A9]を押して、次の変換する部分(この場合「しよ」)を反転させます。
変換候補が表示されます。
10 変換候補リストから、変換する文字(この場合[所])を選択します。
11 文字の変換が終了するれば、[確定]を押します。
12 正しく入力できたことを確認して、[OK]を押します。

区点入力での文字変換

参考

入力できる文字は全角文字に限ります。半角文字は入力できません。

各文字の区点コードは、[11-24ページの区点コード表](#)を参照してください。

【入力例】「大阪」と入力する場合

- 1 [11-24ページの区点コード表](#)を参照して、入力に必要な全ての文字の区点コード(4桁)をメモします。

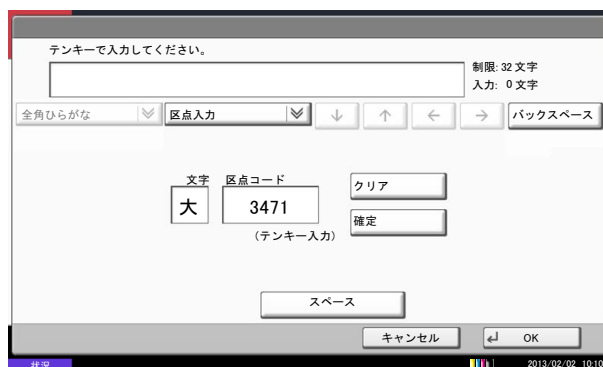
この例で入力する「大」の区点コードは「3471」、「阪」の区点コードは「2669」となります。

参考

漢字を探すときは、音読みで探してください。

- 2 テンキーを使って「3」、「4」、「7」、「1」と入力します。

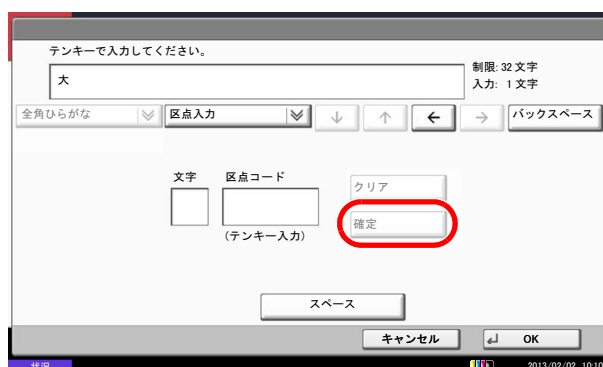
入力文字表示領域に「大」の文字が表示されます。



The screenshot shows a software input window titled "テンキーで入力してください。" (Please enter using the numeric keypad). At the top right, it says "制限: 32 文字" (Limit: 32 characters) and "入力: 0 文字" (Input: 0 characters). Below the title bar, there are several buttons: "全角ひらがな" (Full-width hiragana), "区点入力" (Zone-dot input), and navigation arrows. In the center, there are two input fields: "文字" (Character) containing "大" and "区点コード" (Zone-dot code) containing "3471". Below these fields is the text "(テンキー入力)" (Numeric keypad input). To the right of the code field are "クリア" (Clear) and "確定" (Confirm) buttons. Below the character field is a "スペース" (Space) button. At the bottom are "キャンセル" (Cancel) and "OK" buttons. A status bar at the very bottom shows "状況" (Status) and the date/time "2013/02/02 10:10".

- 3 [確定]を押します。

文字表示領域に「大」の文字が表示されます。



This screenshot is similar to the previous one, but the "確定" (Confirm) button is now highlighted with a red circle. The "入力" (Input) count at the top right has increased to "1 文字" (1 character). The character "大" is still in the "文字" field, and the code "3471" is still in the "区点コード" field.

- 4 手順2～3と同様にして、区点コード「2669」を入力します。
「阪」の文字が「大」の後に続いて入力されます。

The screenshot shows a software window titled "テンキーで入力してください。" (Please enter using the numeric keypad). At the top right, it says "制限: 32 文字" (Limit: 32 characters) and "入力: 1 文字" (Input: 1 character). Below the title bar is a text input field containing the character "大". To the right of the input field are several buttons: "全角ひらがな", "区点入力", "↓", "↑", "←", "→", and "バックスペース". Below the input field, there are two columns of information. The first column is labeled "文字" (Character) and contains the character "阪". The second column is labeled "区点コード" (Area Code) and contains the code "2669". Below the area code, it says "(テンキー入力)" (Numeric keypad input). To the right of these columns are two buttons: "クリア" (Clear) and "確定" (Confirm). Below the "確定" button is a "スペース" (Space) button. At the bottom of the window are "キャンセル" (Cancel) and "OK" buttons. The status bar at the very bottom shows "状況" (Status) on the left and "2013/02/02 10:10" on the right.

- 5 正しく入力できたことを確認して、[OK]を押します。

仕様

形式	オプションFAXキット
相互通信	Super G3
適用回線	加入電話回線、Fネット
伝送時間	3秒以下 (33600 bps、JBIG、ITU-T A4-R #1 chart)
伝送速度	33600/31200/28800/26400/24000/21600/19200/16800/14400/12000/9600/7200/4800/2400 bps
符号方式	MMR/MR/MH/JBIG
誤り訂正	ECM
原稿サイズ	最大原稿幅:297 mm、最大原稿長さ:1,600 mm
原稿自動給紙枚数	最大50枚 (原稿送り装置使用時)
走査線密度	主走査 × 副走査 200 × 100 dpi ノーマル (8 dot/mm × 3.85 line/mm) 200 × 200 dpi ファイン (8 dot/mm × 7.7 line/mm) 200 × 400 dpi スーパーファイン (8 dot/mm × 15.4 line/mm) 400 × 400 dpi ウルトラファイン (16 dot/mm × 15.4 line/mm) 600 × 600 dpi
印刷解像度	600 × 600 dpi
中間調	256階調 (誤差拡散)
ワンタッチキー	1000件
同報送信	最大500宛先 (最大局数:500局、i-ファクスでは最大100件)
代行受信	700枚以上 (ITU-T A4 #1使用時) 7000枚以上 (拡張メモリー使用時)
画像蓄積用メモリー容量	標準メモリー (16 MB) (ファクス受信原稿用)
印刷レポート類	送信結果レポート、受信結果レポート、通信管理レポート、ステータスページ
オプション	拡張メモリー、ハンドセット、マルチポート、インターネットファクスキット



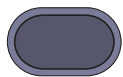
参考

機械の仕様は予告なく変更されることがあります。

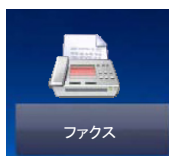
メニュー構成一覧

タッチパネルおよび操作パネル上の各機能キーを押したときのメニュー構成は、次のとおりになっています。本機を操作する上での参考にしてください。

📠 ファクス



または



宛先	アドレス帳	
	新規ファクス ― 詳細	Fコード
		送信開始速度
		ECM
		暗号送信
	宛先確認	
	オンフック	
	ダイレクト	
	ワンタッチキー	
	チェーンダイヤル	
	再宛先	
簡単設定		
原稿/送信形式	原稿サイズ	
	原稿サイズ混載	
	両面/見開き原稿	
	原稿セット向き	
	送信サイズ	
	長尺原稿	
画質	濃度	
	原稿の画質	
	ファクス送信解像度	
応用/その他	縮小/拡大	
	センター移動	
	枠消し	
	ファクスタイマー送信	
	連続読み込み	
	ジョブ終了通知	
	文書名入力	
	ファクスダイレクト送信	
	ファクスポーリング受信	
	送信控え印刷	
	送信控え保存	
	ファクス送信レポート	
プログラム		

 送信



または



送信

宛先	新規I-ファクス†
----	-----------

† オプションのインターネットファクスキットが必要です。



ファクスボックス

開く	詳細
	印刷
	名前検索
	削除
	プレビュー
詳細	詳細
ボックス登録/編集	
名前検索	
番号検索	
ポーリングボックス	印刷
	削除
	名前検索
	詳細
	プレビュー
	文書保存

システムメニュー



または



簡単セットアップウィザード	ファクスのセットアップ			
共通設定	音設定	ブザー	正常終了音	
		ファクススピーカー音量		
		ファクスモニター音量		
	排紙先	ファクス回線1		
		ファクス回線2		
	機能初期値	ファクス送信解像度		
		連続読み込み(ファクス)		
		i-ファクス 件名/本文†		
文書ボックス/ 外部メモリー	ファクスボックス	ボックス登録/編集		
		ファクスボックスリスト		
	ポーリングボックス	送信済み文書削除		
		上書き保存許可		
送信	簡単設定登録			
	送信前の宛先確認			
	新規宛先の入力確認			
	初期画面			
	送信控え転送			
	新規宛先の入力			
	再宛先			
ファクス	送受信共通設定	暗号鍵登録		
		ファクスリモート診断		
	送信設定	基本設定	自局名登録(ポート1)	
			自局名登録(ポート2)††	
			発信元記録	
			自局名に部門名を使用	
			リダイヤル回数	
		ファクス	自局ファクス番号1	
			自局ファクス番号2††	
			回線設定(ポート1)	
			回線設定(ポート2)††	
			自局ファクスID	
			ECM送信(ポート1)	
			ECM送信(ポート2)††	
			送信開始速度(ポート1)	
			送信開始速度(ポート2)††	

ファクス	受信設定	基本設定	用紙種類	
			手差しトレイ	
			縮小受信	
			受信日時記録	
			両面印刷	
			2in1印刷	
		ファクス	ベル回数(普通)	
			ベル回数(留守番電話)	
			ベル回数(ファクス/ 電話切替)	
			受信方式	
			リモート切り替えダイヤル	
			受信専用ポート ^{††}	
			Fネット無鳴動受信	
			ダイヤルイン	
			ナンバーディスプレイ(ポート1)	
			ナンバーディスプレイ(ポート2) ^{††}	
			ECM受信(ポート1)	
			ECM受信(ポート2) ^{††}	
			受信開始速度(ポート1)	
	受信開始速度(ポート2) ^{††}			
	暗号受信			
	通信制限設定	送信制限		
		受信制限		
		番号不明受信の処理 ^{†††}		
		通信許可番号リスト		
		通信許可IDリスト		
通信拒否番号リスト				
条件付き受信/転送				
新規宛先の入力(ファクス)				
簡単設定登録				
日付/タイマー/節電	日付/時刻			
	時差			
	使用禁止時間			
レポート	レポート印刷	ステータスページ		
	管理レポート設定	ファクス発信レポート		
		ファクス着信レポート		
	結果通知設定	送信結果レポート	ファクス — 画像の添付	
			送信前の中止レポート	
			宛先の表示形式	
		ファクス受信結果通知		
	終了通知設定			
受信結果通知方法				
システム/ネットワーク	ネットワーク設定	プロトコル設定	i-ファクス [†]	
	データセキュリティー	セキュリティーデータの完全消去		

宛先編集	アドレス帳	ファクス	Fコード
			暗号鍵番号
			送信開始速度
			ECM
		i-ファクス†	通信
			サーバー経由
			i-ファクスアドレス
			解像度
	ワンタッチキー	圧縮方式	
		用紙サイズ	
		リスト印刷	ファクスリスト(見出し)
ファクスリスト(番号)			
アドレス帳初期設定	アドレス帳の種類		
	ユーザー/部門管理		
ユーザー/部門管理	ユーザー管理設定		
	部門管理設定		

† オプションのインターネットファクスキットが必要です。

†† ファクスキットが2台必要です。

††† 受信制限で[拒否リスト]を選択すると表示されます。

状況確認 /
ジョブ中止



または



印刷ジョブ	状況	
	履歴	
送信ジョブ	状況	
	予約ジョブ	
	履歴	
保存ジョブ	状況	
	履歴	
デバイス/通信	回線を切る	
	手動受信	
	受信問い合わせ(インターネットファクス受信) [†]	
	通信履歴	レポート印刷
	外部メモリー	

† オプションのインターネットファクスキットが必要です。



編集	編集
	削除

出荷時設定値一覧表

ファクス機能の設定範囲と出荷時設定値は次のとおりです。

項目	設定範囲	出荷時設定値
ファクス発信レポート	設定しない、設定する	設定する
ファクス着信レポート	設定しない、設定する	設定する
送信結果レポートのファクス	設定しない、ジョブごとに指定、エラー時のみ、設定する	エラー時のみ
画像の添付	設定しない、一部を添付、全体を添付	一部を添付
送信前の中止レポート	設定しない、設定する	設定しない
受信結果レポート	設定しない、エラー/転送時のみ、設定する	設定しない
受信結果通知方法	レポート印刷、メールアドレス帳、メールアドレス入力	レポート印刷
ファクススピーカー音量	1小、2、3中、4、5大、0消音	3中
ファクスモニター音量	1小、2、3中、4、5大、0消音	3中
自局名登録(ポート1)	最大32文字	未登録
自局名登録(ポート2) [†]	最大32文字	未登録
自局名登録(フリガナ)(ポート1)	最大32文字	未登録
自局名登録(フリガナ)(ポート2) [†]	最大32文字	未登録
自局ファクス番号1	最大20桁	未登録
自局ファクス番号2 [†]	最大20桁	未登録
自局ファクスID	4桁(0000～9999)	0000
回線設定(ポート1)	プッシュ回線(DTMF)、ダイヤル回線(10PPS)、ダイヤル回線(20PPS)	プッシュ回線
回線設定(ポート2) [†]	プッシュ回線(DTMF)、ダイヤル回線(10PPS)、ダイヤル回線(20PPS)	プッシュ回線
受信方式	自動(普通)、自動(ファクス/電話)、自動(留守番電話)、手動	自動(普通)
ベル回数(普通)	1～15回	2回
ベル回数(留守番電話)	1～15回	10回
ベル回数(ファクス/電話切替)	0～15回	0回
リモート切り替えダイヤル	2桁(00～99)	55
ダイヤルイン	設定しない、設定する	設定しない
ダイヤルイン番号	4桁(0000～9999)	0000
Fネット無鳴動受信	設定しない、設定する	設定しない
暗号受信	設定する(暗号鍵番号01～20)、設定しない	設定しない
暗号鍵登録	0～9、A～Fの16桁(暗号鍵番号01～20)	未登録
発信元記録	設定しない、設定あり(原稿外側、原稿内側)	設定あり(原稿外側)
i-FAXとダイレクトSMTPの切り替えの設定 ^{††,†††}	サーバー経由/ダイレクトSMTP、サーバー経由のみ、ダイレクトSMTPのみ	サーバー経由のみ

† ファクスキットが2台必要です。

†† Command Center RXで設定します。

††† オプションのインターネットファクスキットが必要です。

項目	設定範囲	出荷時設定値
自局名に部門名を使用	設定しない、設定する	設定する ^{††}
用紙種類	全用紙種類、普通紙、薄紙、ラベル紙、再生紙、ボンド紙、はがき、カラー紙、封筒、厚紙、加工紙、上質紙、カスタム1～8	全用紙種類
手差し	使用しない、使用する	使用しない
縮小受信	設定しない、設定する	設定しない
受信日時記録	設定しない、設定する	設定しない
両面印刷	設定しない、設定する	設定しない
2in1印刷	設定しない、設定する	設定しない
送信制限	制限しない、許可リスト+アドレス帳	制限しない
受信制限	制限しない、許可リスト+アドレス帳、拒否リスト	制限しない
通信許可番号リスト	最大20桁（登録件数は最大50件）	未登録
通信拒否番号リスト	最大20桁（登録件数は最大50件）	未登録
通信許可IDリスト	0000～9999（登録件数は最大25件）	0000
受信ポート選択 [†]	設定しない、ポート1、ポート2	設定しない
リダイヤル回数	0～14回	3回
ファクスリモート診断	設定しない、設定する	設定しない
リモート診断ID	4桁(0000～9999)	0000
条件付き受信/転送	設定しない、特定の受信に適用する、すべての受信に適用する	設定しない
新規宛先の入力	禁止する、許可する	許可する
簡単設定登録	原稿サイズ、両面/見開き原稿、送信サイズ、原稿セット向き、濃度、原稿の画質、ファクス送信解像度、縮小/拡大、連続読み込み	原稿サイズ、ファクス送信解像度、濃度、両面/見開き原稿、連続読み込み、原稿の画質
送信開始速度	9600 bps、14400 bps、33600 bps	33600 bps
ECM	設定しない、設定する	設定する
受信開始速度	9600 bps、14400 bps、33600 bps	33600 bps
ナンバーディスプレイ設定	契約していない、契約している	契約していない
暗号送信	設定しない、設定する	設定しない
暗号ボックス	使用しない、使用する	使用しない
ファクス送信解像度(i-ファクス送信解像度)	600×600 dpi 400×400 dpi(ウルトラファイン) 200×400 dpi(スーパーファイン) 200×200 dpi(ファイン) 200×100 dpi(ノーマル)	200×100 dpi(ノーマル)
送信モード(インターネットファクス) ^{†††}	シンプルモード、フルモード	シンプルモード

[†] ファクスキットが2台必要です。

^{††} 部門管理を有効にしている必要があります。

^{†††} オプションのインターネットファクスキットが必要です。

項目	設定範囲	出荷時設定値
解像度(インターネットファクス) [†]	200×100 dpi(許可固定)、 200×200 dpi(許可固定)、 200×400 dpi(許可/禁止)、 400×400 dpi(許可/禁止)、 600×600 dpi(許可/禁止)	200×100 dpi(許可) 200×200 dpi(許可) 200×400 dpi(禁止) 400×400 dpi(禁止) 600×600 dpi(禁止)
圧縮方式(インターネットファクス) [†]	MH、MR、MMR、JBIG	MH
用紙サイズ(インターネットファクス) [†]	A4/Letter(許可固定)、B4(許可/禁止)、A3/Ledger(許可/禁止)	A4/Letter(許可) B4(禁止) A3/Ledger(禁止)
ポーリング送信後原稿の削除	設定しない、設定する	設定しない
上書き保存許可設定	禁止する、許可する	許可する

† オプションのインターネットファクスキットが必要です。

受信サイズと印刷用紙優先順位表

受信した原稿のサイズと、同サイズ同方向の用紙がカセットにセットされていない場合、本機が印刷の際に自動で選択する用紙の優先順位は次の表のとおりです。

等倍優先

選択 順位	受信サイズ					
	A5	B5	A4-R	A4	B4	A3
用紙サイズ	1	†, †† A5-R	†† B5	†† A4-R	†† A4	†† B4
	2	A4-R	†, †† B5-R	†, †† A4	†, †† A4-R	A3
	3	† A4	B4	A3	A3	† B5
	4	B5	A4	B4	† B4	† B5-R
	5	† B5-R	† A4-R	† A5-R	A4	
	6	A3	A3	B5	† A4-R	
	7	B4		† B5-R		

† 受信サイズと用紙サイズ、または用紙の向きが異なるため、画像を自動的に90°回転して印刷します。

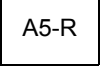
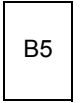
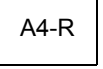
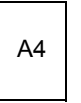
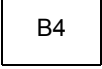
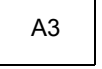
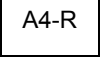
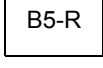
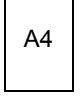
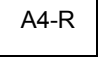
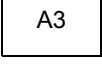
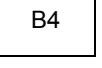
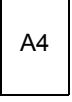
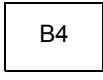
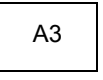
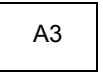
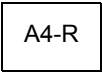
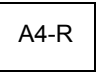
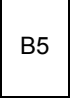
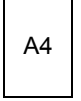
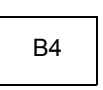
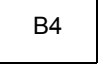
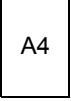
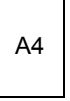
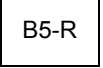
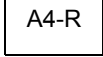
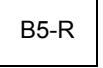
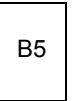
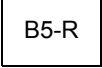
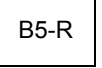
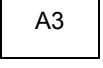
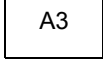
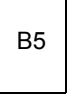
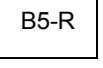
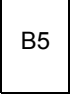
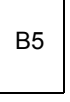
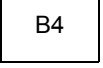
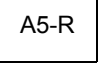
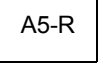
 は2枚の用紙に分割して印刷されることを示しています。

†† iファクスの印刷用紙。(受信サイズと同サイズ)

 参考

「受信用紙種類」で用紙の種類を選択している場合は、用紙種類が一致する給紙元から印刷します。(6-19ページ参照)
 「受信用紙種類」で[全用紙種類]を選択している場合でも、ファクスの印刷に使用できない用紙種類(OHPフィルムなど)がセットされた給紙元からは印刷できません。

縮小受信

選択 順位		受信サイズ					
		A5	B5	A4-R	A4	B4	A3
用紙サイズ	1	†, †† 	†† 	†† 	†† 	†† 	†† 
	2		†, †† 	†, †† 	†, †† 		
	3	† 					
	4				† 	† 	† 
	5	† 	† 				
	6			† 	† 	† 	† 
	7				† 		

† 受信サイズと用紙サイズ、または用紙の向きが異なるため、画像を自動的に90°回転して印刷します。

†† i-ファクスの印刷用紙。(受信サイズと同サイズ)



参考

「受信用紙種類」で用紙の種類を選択している場合は、用紙種類が一致する給紙元から印刷します。[\(6-19ページ参照\)](#)

「受信用紙種類」で[全用紙種類]を選択している場合でも、ファクスの印刷に使用できない用紙種類(OHPフィルムなど)がセットされた給紙元からは印刷できません。

区点コード表

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
0100		、	。	、	、	、	、	、	、	？
0110	！	”	。	、	、	、	、	、	、	—
0120	ゞ	ゞ	ゞ	//	全	々	メ	○	—	—
0130	-	/	\	~			…	…	”	
0140	“		(	)	[	]	[	]	{	}
0150	<	>	《	》	「	」	『	』	【	】
0160	+	-	±	×	÷	=	≠	<	>	≤
0170	≥	∞	∴	♂	♀	°	′	″	℃	¥
0180	\$	¢	£	%	#	&	*	@	\$	☆
0190	★	○	●	◎	◇					
0200	◆	□	■	△	▲	▽	▼	※	〒	
0210	→	←	↑	↓	=					
0220								∈	≡	⊆
0230	⊂	⊃	∪	∩						
0240		∧	∨	⇒	⇐	⇔	∀	∃		
0250										
0260	∠	⊥	∩	∂	∇	≡	≡	≡	≡	√
0270	∞	∞	∴	∴	∴	∴	∴	∴	∴	
0280		Å	%	#	b	♪	†	‡	¶	
0290										
0300										
0310										
0320	4	5	6	7	8	9				
0330										
0340	H	I	J	K	L	M	N	O	P	Q

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
0350	R	S	T	U	V	W	X	Y	Z	
0360						a	b	c	d	e
0370	f	g	h	i	j	k	l	m	n	o
0380	p	q	r	s	t	u	v	w	x	y
0390	z									
0400	あ	い	い	う	う	え	え	お		
0410	お	か	が	き	ぎ	く	ぐ	け	げ	こ
0420	ご	さ	ざ	し	じ	す	ず	せ	ぜ	そ
0430	ぞ	た	だ	ち	ち	っ	つ	づ	て	で
0440	と	ど	な	に	ぬ	ね	の	は	ば	ば
0450	ひ	び	び	ふ	ぶ	ぶ	へ	べ	べ	ほ
0460	ぼ	ぼ	ま	み	む	め	も	ゃ	や	ゅ
0470	ゆ	ょ	よ	ら	り	る	れ	ろ	わ	わ
0480	ゐ	ゑ	を	ん						
0490										
0500	ア	アイ	イ	ウ	ウ	エ	エ	オ		
0510	オ	カ	ガ	キ	ギ	ク	グ	ケ	ゲ	コ
0520	ゴ	サ	ザ	シ	ジ	ス	ズ	セ	ゼ	ソ
0530	ゾ	タ	ダ	チ	ヂ	ツ	ヅ	テ	デ	
0540	ト	ド	ナ	ニ	ヌ	ネ	ノ	ハ	バ	パ
0550	ヒ	ビ	ピ	フ	ブ	フ	ヘ	ベ	ペ	ホ
0560	ボ	ポ	マ	ミ	ム	メ	モ	ヤ	ユ	
0570	ユ	ョ	ヨ	ラ	リ	ル	レ	ロ	ウ	ワ
0580	キ	エ	ラ	ン	ヴ	カ	ケ			
0590										

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
0600	A	B	Г	Δ	E	Z	H	Θ	I	
0610	К	Λ	M	N	Ξ	O	Π	P	Σ	T
0620	Υ	Φ	X	Ψ	Ω					
0630					α	β	γ	δ	ε	ζ
0640	θ	ι	κ	λ	μ	ν	ξ	ο	π	ρ
0650	σ	τ	υ	φ	χ	ψ	ω			
0660										
0670										
0680										
0690										
0700	A	B	В	Г	Д	Е	Ё	Ж	З	
0710	И	Й	К	Л	М	Н	О	П	Р	С
0720	Т	У	Ф	Х	Ц	Ч	Ш	Щ	Ъ	Ы
0730	Ь	Э	Ю	Я						
0740										
0750	б	в	г	д	е	ё	ж	з	и	й
0760	к	л	м	н	о	п	р	с	т	у
0770	ф	х	ц	ч	ш	щ	ъ	ы	ь	э
0780	ю	я								
0790										
0800										
0810										
0820										
0830										
0840										

		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9			0	1	2	3	4	5	6	7	8	9			0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
ア	1600	垂	唾	娃	阿	哀	愛	挨	始	逢	力	1850	禍	禾	稼	箇	花	苛	茄	荷	華	菓	キ	2100	機	帰	穀	気	汽	畿	祈	季	稀		
	1610	葵	茜	穉	惡	握	渥	旭	葦	蓼		1860	蝦	課	唾	貨	迦	過	霞	蚊	俄	峨		2110	紀	微	規	記	貴	起	軌	輝	飢	騎	
	1620	梓	庄	幹	扱	宛	姐	虻	飴	絢		1870	我	牙	画	臥	芽	蛾	賀	雅	餓	駕		2120	鬼	龜	偽	儀	妓	宜	戲	技	擬	欺	
	1630	鮎	或	栗	裕	安	庵	按	暗	案		1880	介	会	解	回	塊	壞	迴	快	怪	悔		2130	犧	疑	祇	義	蟻	誼	議	掬	菊	鞠	
	1640	鞍	杏	以	伊	位	依	偉	困	夷		委	1890	恢	懷	戒	拐	改							2140	吉	吃	喫	桔	橘	詰	砧	杵	黍	却
イ	1650	威	耐	性	意	慰	易	椅	為	畏	異	1900	魁	晦	械	海	灰	界	皆	絵	芥	キ	2150	客	脚	虐	逆	丘	久	仇	休	及	吸		
	1660	移	維	緯	胃	萎	衣	謂	違	遺	医	1910	蟹	開	階	貝	凱	効	外	咳	害		崖	2160	宮	弓	急	救	朽	求	汲	泣	灸	球	
	1670	井	亥	域	育	郁	磯	一	吉	溢	逸	1920	慨	概	涯	碍	蓋	街	該	鎧	骸		湮	2170	究	窮	笈	級	糾	給	旧	牛	去	居	
	1680	稻	茨	芋	鯛	允	印	咽	員	因	姻	1930	馨	蛙	垣	柿	蛎	鈎	劃	嚇	各		廓	2180	巨	拒	拋	拳	渠	虛	許	距	鋸	漁	
	1690	引	飲	淫	胤	蔭						1940	拡	攪	格	核	穀	獲	確	穫	覺		角	2190	禦	魚	亨	享	京						
ウ	1700	院	陰	隱	韻	吋	右	宇	烏	羽	力	1950	赫	較	郭	閣	隔	革	学	岳	樂	額	2200	供	俠	僞	兇	競	共	凶	協	匡			
	1710	迂	雨	卵	鵜	窺	丑	碓	臼	渦		嘘	1960	顎	掛	笠	桎	櫃	梃	鯁	渴	割	喝	2210	卿	叫	喬	境	峽	強	彊	怯	恐	恭	
	1720	唄	鬱	蔚	鰻	姥	厩	浦	瓜	閨		噂	1970	恰	括	活	渴	滑	葛	褐	轄	旦	鯉	2220	挾	教	橋	況	狂	狹	矯	胸	脅	興	
	1730	云	運	雲	荏	餌	馥	宮	嬰	影		映	1980	叶	柁	樺	鞆	株	兜	電	蒲	釜	鎌	2230	蕎	郷	鏡	響	響	驚	仰	凝	堯	曉	
	1740	曳	栄	永	泳	洩	瑛	盈	穎	穎		英	1990	嚙	鴨	栢	茅	萱						2240	業	局	曲	極	玉	桐	籽	僅	勤	均	
エ	1750	衛	詠	銳	液	疫	益	馱	悅	謁	越	2000	粥	刈	刈	瓦	乾	侃	冠	寒	刊	キ	2250	巾	錦	斤	欣	欽	琴	禁	禽	筋	緊		
	1760	閱	榎	厭	厭	園	堰	奄	宴	延	怨	2010	勘	勘	巷	喚	堪	姦	完	官	寬		干	2260	芹	菌	衿	襟	謹	近	金	吟	銀	九	
	1770	掩	援	沿	演	炎	焰	煙	燕	猿	緣	2020	幹	患	感	慣	憾	換	敢	柑	桓		棺	2270	俱	句	区	狗	玖	矩	苦	軀	駟	駟	
	1780	艷	苑	遠	遠	鉛	鴛	塹	於	汚	甥	2030	款	飲	汗	漢	澗	淮	環	甘	監		看	2280	駒	具	愚	虞	喰	空	偶	寓	遇	隅	
	1790	凹	央	奧	往	庀						2040	竿	管	簡	緩	缶	翰	肝	艦	莞		觀	2290	串	櫛	釧	屑	屈						
オ	1800	押	旺	橫	欧	殴	王	翁	襖	嵩	キ	2050	諫	貫	還	鑑	問	閑	閑	陷	韓	館	ケ	2300	掘	窟	沓	靴	轡	淫	熊	隈	桑		
	1810	鷗	黃	岡	沖	荻	億	屋	憶	臆		桶	2060	舘	丸	含	岸	巖	玩	癌	眼	岩		翫	2310	栗	線	桑	鋤	勲	君	薰	訓	群	軍
	1820	牡	乙	俺	卸	恩	温	穩	音	下		化	2070	廩	雁	頑	顏	願	企	伎	危	喜		器	2320	郡	卦	袈	祁	係	傾	刑	兄	啓	圭
	1830	仮	何	伽	伽	佳	加	可	嘉	夏		嫁	2080	基	奇	嬉	寄	岐	希	幾	忌	揮		机	2330	珪	型	契	形	徑	患	慶	慧	憩	揭
力	1840	家	寡	科	暇	果	架	歌	河	火	珂	2090	旗	既	期	棋	棄							2340	携	敬	景	桂	溪	畦	稽	系	經	繼	

		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9			0	1	2	3	4	5	6	7	8	9			0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
ケ	2350	繫	野	荃	荊	蚩	計	詣	警	輕	頸	コ	2600	此	頃	今	困	坤	壘	婚	恨	懇	シ	2850	社	紗	者	謝	車	遮	蛇	邪	借	勺	
	2360	鷄	芸	迎	鯨	劇	戟	擊	激	隙	朽		2610	昏	昆	根	梱	混	痕	紺	良	魂		些	2860	尺	杓	灼	爵	酌	釈	錫	若	寂	弱
	2370	傑	欠	決	潔	穴	結	血	訣	月	件		2620	佐	又	唆	嵯	左	差	查	沙	瑳		砂	2870	惹	主	取	守	手	朱	殊	狩	珠	種
	2380	俟	倦	健	兼	券	剣	喧	圈	堅	嫌		2630	詐	鎖	裘	坐	座	挫	債	催	再		最	2880	腫	趣	酒	首	儒	受	呪	寿	授	樹
	2390	建	憲	懸	拳	捲						2640	哉	塞	妻	宰	彩	才	採	裁	歲	濟	2890	綬	需	囚	収	周							
	2400	揆	樞	牽	犬	猷	研	硯	絹	梟		2650	災	采	犀	碎	皆	祭	齋	細	菜	裁	2900	宗	就	州	修	愁	拾	洲	秀	秋			
	2410	肩	見	謙	賢	軒	遣	鍵	険	頸	驗	サ	2660	載	際	劑	在	材	罪	財	牙	坂	阪	2910	終	繡	習	臭	舟	菟	衆	襲	讐	蹴	
2420	缺	元	原	嚴	幻	弦	減	源	玄	現	2670		堺	柁	肴	咲	崎	埼	碕	鷺	作	削	2920	輯	週	酋	酬	集	醜	什	住	充	十		
2430	絃	絃	言	諺	限	乎	個	古	呼	固	2680		咋	搾	昨	朔	柵	窄	策	索	錯	桜	2930	從	戎	柔	汁	洩	獸	縱	重	銃	叔		
コ	2440	姑	孤	己	庫	弧	戸	故	枯	湖	狐	2690	鮭	笹	匙	冊	刷						2940	夙	宿	淑	祝	縮	肅	塾	熟	出	術		
	2450	糊	袴	股	胡	葫	虎	誇	跨	鉅	雇	2700	察	撈	撮	擦	札	殺	薩	雜	皐	2950	述	俊	峻	春	瞬	竣	舜	駿	准	循			
	2460	顧	鼓	五	互	伍	午	吳	吾	娛	後	2710	鯖	捌	鑄	鮫	皿	晒	三	傘	參	山	2960	旬	楯	殉	淳	準	潤	盾	純	巡	遵		
	2470	御	悟	梧	櫛	瑚	暮	語	誤	護	酬	2720	慘	撒	散	棧	燦	珊	産	算	纂	蚕	シ	2970	醇	順	処	初	所	暑	曙	渚	庶	緒	
	2480	乞	鯉	交	佼	侯	候	倖	光	公	功	2730	讚	賛	酸	餐	斬	暫	残	仕	仔	伺		2980	署	書	著	諸	諸	助	叙	女	序	徐	
	2490	効	勾	厚	口	向						2740	使	刺	司	史	嗣	四	士	始	姉	姿	2990	恕	鋤	除	傷	償							
	2500	后	喉	坑	垢	好	孔	孝	宏	工		2750	子	屍	市	師	志	思	指	支	孜	斯	3000	勝	匠	升	召	哨	商	唱	嘗	獎			
	2510	巧	巷	幸	広	庚	康	弘	恒	慌	抗	2760	施	旨	枝	止	死	氏	獅	祉	私	糸	3010	妾	娼	宵	將	小	少	尚	庄	床	廠		
	2520	拘	控	攻	昂	晃	更	杭	校	梗	構	2770	紙	紫	肢	脂	至	視	詞	詩	試	誌	3020	彰	承	抄	招	掌	捷	昇	昌	昭	晶		
	2530	江	洪	浩	港	溝	甲	皇	硬	稿	糠	2780	諮	資	賜	雌	飼	齒	事	似	侍	兒	3030	松	梢	樟	樵	沼	消	涉	湘	燒	焦		
	2540	紅	紘	絞	綱	耕	考	肯	肱	腔	膏	シ	2790	字	寺	慈	持	時					3040	照	症	省	硝	礁	祥	称	章	笑	粧		
	2550	航	荒	行	衡	講	貢	購	郊	酵	鉦		2800	次	滋	治	爾	璽	痔	磁	示	而	3050	紹	肖	莒	蔣	蕉	衝	裳	訟	証	詔		
2560	砧	鋼	閤	降	項	香	高	鴻	剛	劫	2810		耳	自	蒔	辞	汐	鹿	式	識	鳴	竺	3060	詳	象	賞	醬	鉦	鍾	鐘	障	鞘	上		
2570	号	合	壕	拷	濠	豪	轟	趨	克	刻	2820		軸	穴	零	七	叱	執	失	嫉	室	悉	3070	丈	丞	乘	冗	刺	城	場	壤	嬢	常		
2580	告	国	穀	酷	鵠	黒	獄	鹿	腰	甌	2830		湿	漆	疾	質	実	部	篠	俣	柴	芝	3080	情	擾	条	杖	浄	状	量	穰	蒸	讓		
2590	忽	惚	骨	迫	込						2840	屢	蕊	縞	舎	写	射	捨	赦	斜	煮	3090	釅	錠	囁	埴	飾								

		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9			0	1	2	3	4	5	6	7	8	9			0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	
シ	3100	拭	植	殖	燭	織	職	色	触	食		ソ	3350	倉	喪	壯	奏	爽	宋	層	匠	惣	想		チ	3600	帖	帳	庁	弔	張	彫	徵	懲	挑	
	3110	蝕	辱	舛	仲	信	侵	唇	娠	寢	審		3360	搜	掃	挿	搔	操	早	曹	棠	槍	槽			3610	暢	朝	潮	牒	町	眺	聴	脹	腸	蝶
	3120	心	慎	振	新	晋	森	榛	浸	深	申		3370	漕	燥	争	瘦	相	窓	糟	総	綜	聡			3620	調	謀	超	跳	銚	長	頂	烏	勅	抄
	3130	疹	真	神	秦	紳	臣	芯	薪	親	診		3380	草	莊	葬	蒼	藻	装	走	送	遭	鎗			3630	直	朕	沈	珍	賃	鎮	陳	津	墜	椎
	3140	身	辛	進	針	震	人	仁	刃	塵	壬		3390	霜	騷	像	増	憎								3640	槌	追	鎚	痛	通	塚	拇	搦	槻	佃
	3150	尋	甚	尽	賢	訊	迅	陣	鞞	筒	諏		3400	臧	蔵	贈	造	促	側	則	即	息		ツ		3650	漬	柘	辻	薦	綴	鏹	椿	漬	坪	壺
ス	3160	須	酢	囑	厨	逗	吹	垂	帥	推	水	タ	3410	捉	束	測	足	速	俗	属	賊	族	続		テ	3660	孀	紬	爪	吊	釣	鶴	亭	低	停	偵
	3170	炊	睡	粹	翠	衰	遂	醉	錐	鍾	随		3420	卒	袖	其	揃	存	孫	尊	損	村	遜			3670	剃	貞	呈	堤	定	帝	底	庭	廷	弟
	3180	瑞	髓	崇	嵩	数	枢	趨	雖	据	杉		3430	他	多	太	汰	詔	唾	墮	妥	情	打			3680	悌	抵	挺	提	梯	汀	碇	禎	程	締
	3190	桴	菅	頗	雀	裾							3440	柁	舵	橈	陀	駄	騾	体	堆	対	耐			3690	艇	訂	諦	諦	遁					
セ	3200	澄	摺	寸	世	瀨	畝	是	凄	制		タ	3450	岱	帶	待	怠	態	戴	替	泰	滯	胎		ト	3700	邸	鄭	釘	鼎	泥	摘	擢	敵	滴	
	3210	勢	姓	征	性	成	政	整	星	晴	棲		3460	腿	苔	袋	貸	退	逮	隊	黛	鯛	代			3710	的	笛	適	鎬	溺	哲	徹	徹	轍	迭
	3220	栖	正	清	牲	生	盛	精	聖	声	製		3470	台	大	第	醒	題	鷹	淹	瀧	卓	啄			3720	鉄	典	填	天	展	店	添	纏	甜	貼
	3230	西	誠	誓	請	逝	醒	青	静	斉	税		3480	宅	托	挾	拓	沢	濯	琢	託	鐸	濁			3730	転	顛	点	伝	殿	澱	田	電	兎	吐
	3240	脆	隻	席	惜	戚	斥	昔	析	石	積		3490	諾	茸	夙	蛸	只								3740	堵	塗	妬	屠	徒	斗	杜	渡	登	菟
	3250	籍	績	脊	責	赤	跡	蹟	碩	切	拙		3500	叩	但	達	辰	奪	脱	巽	豎	迥		3750		賭	途	都	鍍	砥	砺	努	度	土	奴	
	3260	接	摺	折	設	窃	節	説	雪	絶	舌		3510	棚	谷	狸	鱈	樽	誰	丹	单	嘆	坦			3760	怒	倒	党	冬	凍	刀	唐	塔	塘	套
	3270	蟬	仙	先	千	占	宣	專	尖	川	戰		3520	担	探	旦	歎	淡	湛	炭	短	端	筭			3770	宕	島	嶋	悼	投	搭	束	桃	栲	棟
	3280	扇	撰	桎	桎	泉	浅	洗	染	潜	煎		3530	綻	耽	胆	蛋	誕	鍛	団	壇	彈	断			3780	盗	淘	湯	涛	灯	燈	当	痘	袴	等
	3290	煽	旋	穿	箭	線							3540	暖	檀	段	男	談	値	知	地	弛	恥			3790	答	筒	糖	統	到					
ン	3300	織	羨	腺	舛	船	薦	詮	賤	踐		チ	3550	智	池	痴	稚	置	致	蚰	遲	馳	築		ト	3800	董	蕩	藤	討	膳	豆	踏	逃	透	
	3310	選	遷	錢	銑	閃	鮮	前	善	漸	然		3560	畜	竹	筑	蓄	逐	秩	窒	茶	嫡	着			3810	鎧	陶	頭	騰	鬪	働	動	同	堂	導
	3320	全	禪	繕	膳	糲	嚼	塑	岨	措	曾		3570	中	仲	宙	忠	抽	昼	柱	注	虫	衷			3820	懂	撞	洞	瞳	童	胴	苟	道	銅	峠
	3330	曾	楚	狙	疏	疎	礎	祖	粗	素			3580	註	酎	鑄	駐	櫛	豬	芋	著	貯		3830		錫	匿	得	徳	洩	特	督	禿	篤	毒	
	3340	組	蘇	訴	阻	遡	鼠	僧	創	双	叢		3590	丁	兆	凋	喋	寵							3840	独	読	柄	椽	凸	突	椽	届	薦	苫	

		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9			0	1	2	3	4	5	6	7	8	9			0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
ト	3850	寅	西	滌	噸	屯	惇	敦	沌	豚	遁	ヒ	4100	鼻	柎	稗	匹	疋	髭	彦	膝	菱	ホ	4350	牧	睦	穆	釐	勃	沒	殆	堀	幌	奔	
	3860	頓	呑	曇	鈍	奈	那	内	乍	仄	雍		4110	肘	弼	必	畢	筆	逼	姦	姫	媛		紐	4360	本	翻	凡	盆	摩	磨	魔	麻	埋	妹
ナ	3870	謎	灘	捺	鍋	槌	馴	縄	暇	南	楠		4120	百	謬	倭	彪	標	水	漂	瓢	票	表	マ	4370	昧	枚	每	哩	模	幕	膜	枕	鮪	枉
	3880	軟	難	汝	二	尼	式	迄	勾	販	肉		4130	評	豹	廟	描	病	秒	苗	鉤	蒜	4380		鱒	樹	亦	俟	又	抹	末	沫	迄	俚	
二	3890	虹	廿	日	乳	入							4140	蛭	鱒	品	彬	斌	浜	瀕	貧	實	頻	4390	繭	磨	万	慢	滿						
又	3900		如	尿	茈	任	妊	忍	認	濡	襦	褸	4150	敏	瓶	不	付	埠	夫	婦	富	富	布	4400		漫	蔓	味	未	魅	巳	箕	岬	密	
ネ	3910	祢	寧	葱	猫	熱	年	念	捻	燃	燃	フ	4160	府	怖	扶	敷	斧	普	浮	父	符	腐	ミ	4410	蜜	湊	蓑	稔	脈	妙	耗	民	眠	務
	3920	粘	乃	迺	之	埜	囊	悩	濃	納	能		4170	膚	芙	譜	負	賦	赴	阜	附	侮	撫		△	4420	夢	無	牟	矛	霧	鷗	棕	婿	娘
ノ	3930	腦	農	農	視	蚤	巴	把	播	霸	杷		4180	武	舞	葡	蕪	部	封	楓	風	葦	蔀	メ	4430	名	命	明	盟	迷	銘	鳴	姪	牝	滅
ハ	3940	波	派	琶	破	婆	罵	芭	馬	俳	庖		4190	伏	副	復	幅	服							4440	免	棉	綿	緬	面	麵	摸	模	茂	妄
	3950	排	排	敗	杯	盃	牌	背	肺	輩	配		4200		福	腹	複	覆	淵	弗	払	沸	仏	モ	4450	孟	毛	猛	盲	網	耗	蒙	儲	木	默
	3960	倍	培	媒	梅	煤	煤	狙	賈	売	賄	4210	物	鮒	分	吻	噴	墳	憤	扮	焚	奮	4460	目	杳	勿	餅	尤	戾	矧	貫	問	悶		
	3970	陪	這	蠅	秤	矧	萩	伯	剥	博	拍	4220	粉	糞	紛	雰	文	聞	丙	併	兵	摒	4470	紋	門	匆	也	冶	夜	爺	耶	野	弥		
	3980	柏	泊	白	箔	泊	舶	薄	迫	曝	漠	4230	幣	平	弊	柄	並	蔽	閉	陞	米	頁	ヤ	4480	矢	厄	役	約	葉	訳	躍	靖	柳	藪	
3990	爆	縛	莫	駁	麥						4240	僻	壁	癖	碧	別	瞥	蔑	篋	篋	變	4490		鑊	愉	愈	油	癒							
ヒ	4000		函	箱	筥	筥	肇	筥	櫨	幡	肌	ヘ	4250	片	篇	編	辺	返	遍	便	勉	婉	弁	コ	4500		諭	輸	唯	佑	優	勇	友	宥	幽
	4010	畑	畠	八	鉢	澆	尧	醜	髮	伐	罰		4260	鞭	保	鋪	鋪	圃	捕	步	甫	補	輔		4510	悠	憂	揖	有	柚	湧	涌	猶	猷	由
	4020	拔	筏	閥	鳩	嘶	塙	蛤	隼	伴	判		4270	穗	募	墓	慕	戊	暮	母	簿	菩	倣	4520	祐	裕	誘	遊	邑	郵	雄	融	夕	予	
	4030	半	反	叛	帆	搬	斑	板	汜	汎	版		4280	俸	包	呆	報	奉	宝	峰	峯	崩	庖	ヨ	4530	余	与	譽	輿	預	傭	幼	妖	容	庸
	4040	犯	班	畔	繁	般	藩	販	範	采	煩		4290	抱	捧	放	方	朋							4540	揚	揺	擁	曜	楊	樣	洋	溶	熔	用
フ	4050	頒	飯	晩	晩	番	盤	磐	蕃	蛮	匪	ホ	4300		法	泡	烹	砲	縫	胞	芳	萌	蓬	ヨ	4550	窯	羊	耀	葉	蓉	要	謡	踊	遙	陽
	4060	卑	否	妃	庇	彼	悲	扉	批	披	斐		4310	蜂	褒	訪	豐	邦	鋒	飽	鳳	鵬	乏		4560	養	慾	抑	欲	沃	浴	翌	翼	淀	羅
	4070	比	泌	疲	皮	碑	秘	緋	罷	肥	被		4320	亡	傍	剖	坊	妨	帽	忘	忙	房	暴	ヲ	4570	螺	裸	来	萊	賴	雷	洛	絡	落	酪
	4080	誹	費	避	非	飛	樋	簸	備	尾	微		4330	望	某	棒	冒	紡	肪	膨	謀	貌	貿		4580	乱	卵	嵐	欄	濫	藍	蘭	覽	利	吏
	4090	枇	毘	毘	眉	美							4340	鉞	防	吠	頰	北	僕	卜	墨	撲	朴	リ	4590	履	李	梨	理	璃					

		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9			0	1	2	3	4	5	6	7	8	9			0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	
リ	4600	痢裏裡里離陸律率立																																		
	4610	律掠略劉流溜琉留硫粒																																		
	4620	隆竜龍侶慮旅虜了亮僚																																		
	4630	両凌寮料梁涼獵療瞭稜																																		
	4640	糧良諒遼量陵領力緑倫																																		
	4650	厘林淋隣琳臨輪隣隣隣																																		
ル	4660	瑠望涙累類令伶例冷励																																		
レ	4670	嶺伶玲礼苓鈴隸零靈麗																																		
	4680	齡曆歴列劣烈裂廉恋隣																																		
	4690	漣煉簾練聯																																		
	4700	蓮連鍊呂魯櫓炉路路																																		
ロ	4710	露勞婁廊弄朗楼榔浪漏																																		
	4720	牢狼籠老聾蠟郎六麓禄																																		
	4730	肋録論倭和話歪賄脇惑																																		
ワ	4740	粹鷺互巨鰐訛藁蕨惋湾																																		
	4750	碗腕																																		
	4760																																			
	4770																																			
	4780																																			
	4790																																			

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
4800	弋	丐	丕	个	𠂇	𠂇	井	ノ	又		5050	厶	參	纂	雙	叟	曼	燮	叮	叨		5300	奸	妁	妝	佞	佞	妣	妣	姆	姨	
4810	乖	乘	亂	丿	豫	爭	舒	式	于	亞	5060	叭	叭	吁	吁	呀	听	吭	吼	吮	呐	5310	姜	妍	姘	姚	娥	娟	娑	娜	娉	娉
4820	亟	一	亢	京	毫	亶	从	仍	仄	仆	5070	吩	吝	呖	咏	呵	咎	咍	呱	呷	些	5320	婀	姪	婉	嫫	娶	婢	婪	媚	媼	媼
4830	伉	仗	仞	仞	仟	价	伉	佚	估	佛	5080	咒	呻	咀	呶	咄	咄	咆	哇	号	咸	5330	嫫	嫂	嫫	嫫	嫫	嫫	嫫	嫫	嫫	嫫
4840	佢	佢	佢	佢	佢	佢	佢	佢	佢	佢	5090	啞	咬	哄	哈	咨						5340	嬌	嫫	嫫	嫫	嫫	嫫	嫫	嫫	嫫	嫫
4850	侑	佯	來	侑	僂	僂	俎	俎	俎	俎	5100	咫	晒	咤	咤	咤	哥	哦	唏		5350	孀	子	孕	孚	孖	孖	孩	孰	孖	孖	
4860	俑	俚	俐	俚	俚	倚	倨	倨	倪	倥	5110	唔	哽	哮	哭	哺	啞	啞	啞	啞	5360	學	孖	孖	一	它	宦	宸	冤	寇	寇	
4870	倅	倅	倅	倅	倅	倅	倅	倅	倅	倅	5120	售	啜	啜	啜	啜	啜	啜	啜	啜	5370	寔	寐	寔	寔	寔	寔	寔	寔	寔	寔	
4880	偃	假	會	偕	修	偈	做	偕	偕	偕	5130	咯	喊	唱	啞	啞	啞	啞	啞	啞	5380	寔	尅	將	專	對	尔	尅	尅	尅	尅	
4890	傀	倣	倣	倣	倣	倣	倣	倣	倣	倣	5140	喻	喇	唳	唳	唳	唳	唳	唳	唳	5390	尹	屈	屈	屈	屈	屈	屈	屈	屈	屈	
4900	僉	僂	僂	僂	僂	僂	僂	僂	僂	僂	5150	嘔	噉	噉	噉	噉	噉	噉	噉	噉	5400	屐	屐	屐	屐	屐	屐	屐	屐	屐	屐	
4910	僮	僂	僂	僂	僂	僂	僂	僂	僂	僂	5160	嘴	嘶	嘶	嘶	嘶	嘶	嘶	嘶	嘶	5410	岑	岔	岌	岌	岌	岌	岌	岌	岌	岌	
4920	僇	僇	僇	僇	僇	儿	兀	兒	兌	免	5170	啞	啞	啞	啞	啞	啞	啞	啞	啞	5420	峇	峙	峇	峇	峇	峇	峇	峇	峇	峇	
4930	兢	競	兩	兪	兮	冀	門	回	冊	冉	5180	嚼	嚼	嚼	嚼	嚼	嚼	嚼	嚼	嚼	5430	崗	寄	釜	岨	岨	岨	岨	岨	岨	岨	
4940	冏	冏	冏	冏	冏	冏	冏	冏	冏	冏	5190	囹	囹	囹	囹	囹	囹	囹	囹	囹	5440	嵌	岨	岨	岨	岨	岨	岨	岨	岨	岨	
4950	丂	決	沅	冲	冰	況	冽	洄	凉	凜	5200	圈	國	圍	圓	團	圖	圖	圖	圖	5450	嶢	嶢	嶢	嶢	嶢	嶢	嶢	嶢	嶢	嶢	
4960	几	處	夙	凭	凰	口	函	刃	刊	刖	5210	坏	址	坎	圻	圻	圻	圻	圻	圻	5460	巔	巔	巔	巔	巔	巔	巔	巔	巔	巔	
4970	刖	刖	刖	刖	刖	刖	刖	刖	刖	刖	5220	圻	圻	圻	圻	圻	圻	圻	圻	圻	5470	帑	帑	帑	帑	帑	帑	帑	帑	帑	帑	
4980	刖	刖	刖	刖	刖	刖	刖	刖	刖	刖	5230	埔	圻	圻	圻	圻	圻	圻	圻	圻	5480	幟	幟	帑	帑	帑	帑	帑	帑	帑	帑	
4990	劒	劒	劒	劒	劒	劒	劒	劒	劒	劒	5240	堡	塢	塢	塢	塢	塢	塢	塢	塢	5490	廁	廁	廁	廁	廁	廁	廁	廁	廁	廁	
5000	劒	劒	劒	劒	劒	劒	劒	劒	劒	劒	5250	墟	塢	塢	塢	塢	塢	塢	塢	塢	5500	廖	廣	廐	廐	廐	廐	廐	廐	廐	廐	
5010	勦	勦	勦	勦	勦	勦	勦	勦	勦	勦	5260	墟	塢	塢	塢	塢	塢	塢	塢	塢	5510	廐	廐	廐	廐	廐	廐	廐	廐	廐	廐	
5020	匍	匍	匍	匍	匍	匍	匍	匍	匍	匍	5270	壻	壻	壻	壻	壻	壻	壻	壻	壻	5520	彝	弋	弋	弋	弋	弋	弋	弋	弋	弋	
5030	匚	匚	匚	匚	匚	匚	匚	匚	匚	匚	5280	天	夆	夸	夾	奇	奕	奕	奎	奚	5530	彎	彎	彎	彎	彎	彎	彎	彎	彎	彎	
5040	厄	厄	厄	厄	厄	厄	厄	厄	厄	厄	5290	奢	奠	奠	奠	奠	奠	奠	奠	奠	5540	徃	徃	徃	徃	徃	徃	徃	徃	徃	徃	

[illegible]

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
7050	耙	耜	耨	耨	耨	耨	耨	耨	耨	耨	7300	蓐	蓐	蓐	蓐	蓐	蓐	蓐	蓐	蓐	蓐	7550	誨	誨	誨	誨	誨	誨	誨	誨	誨	誨
7060	聚	聒	聒	聒	聒	聒	聒	聒	聒	聒	7310	藹	藹	藹	藹	藹	藹	藹	藹	藹	藹	7560	諛	諛	諛	諛	諛	諛	諛	諛	諛	諛
7070	聒	聒	聒	聒	聒	聒	聒	聒	聒	聒	7320	藉	藉	藉	藉	藉	藉	藉	藉	藉	藉	7570	諛	諛	諛	諛	諛	諛	諛	諛	諛	諛
7080	胛	胛	胛	胛	胛	胛	胛	胛	胛	胛	7330	藹	藹	藹	藹	藹	藹	藹	藹	藹	藹	7580	誨	誨	誨	誨	誨	誨	誨	誨	誨	誨
7090	脛	脛	脛	脛	脛	脛	脛	脛	脛	脛	7340	庀	庀	庀	庀	庀	庀	庀	庀	庀	庀	7590	證	證	證	證	證	證	證	證	證	證
7100	隋	腴	腴	腴	腴	腴	腴	腴	腴	腴	7350	蚋	蚋	蚋	蚋	蚋	蚋	蚋	蚋	蚋	蚋	7600	誤	誤	誤	誤	誤	誤	誤	誤	誤	誤
7110	腦	腴	腴	腴	腴	腴	腴	腴	腴	腴	7360	蚋	蚋	蚋	蚋	蚋	蚋	蚋	蚋	蚋	蚋	7610	讓	讓	讓	讓	讓	讓	讓	讓	讓	讓
7120	腔	腔	腔	腔	腔	腔	腔	腔	腔	腔	7370	蜀	蜀	蜀	蜀	蜀	蜀	蜀	蜀	蜀	蜀	7620	豐	豕	豕	豕	豕	豕	豕	豕	豕	豕
7130	臂	膺	膺	膺	膺	膺	膺	膺	膺	膺	7380	蜷	蜷	蜷	蜷	蜷	蜷	蜷	蜷	蜷	蜷	7630	貍	貍	貍	貍	貍	貍	貍	貍	貍	貍
7140	鸞	臧	臧	臧	臧	臧	臧	臧	臧	臧	7390	蜷	蜷	蜷	蜷	蜷	蜷	蜷	蜷	蜷	蜷	7640	貍	貍	貍	貍	貍	貍	貍	貍	貍	貍
7150	舍	舐	舐	舐	舐	舐	舐	舐	舐	舐	7400	蜷	蜷	蜷	蜷	蜷	蜷	蜷	蜷	蜷	蜷	7650	賈	賈	賈	賈	賈	賈	賈	賈	賈	賈
7160	舐	舐	舐	舐	舐	舐	舐	舐	舐	舐	7410	蜷	蜷	蜷	蜷	蜷	蜷	蜷	蜷	蜷	蜷	7660	賈	賈	賈	賈	賈	賈	賈	賈	賈	賈
7170	艸	艾	艾	艾	艾	艾	艾	艾	艾	艾	7420	蜷	蜷	蜷	蜷	蜷	蜷	蜷	蜷	蜷	蜷	7670	趾	趾	趾	趾	趾	趾	趾	趾	趾	趾
7180	苞	苐	苐	苐	苐	苐	苐	苐	苐	苐	7430	蜷	蜷	蜷	蜷	蜷	蜷	蜷	蜷	蜷	蜷	7680	跟	跟	跟	跟	跟	跟	跟	跟	跟	跟
7190	苞	苐	苐	苐	苐	苐	苐	苐	苐	苐	7440	衤	衤	衤	衤	衤	衤	衤	衤	衤	衤	7690	蹂	蹂	蹂	蹂	蹂	蹂	蹂	蹂	蹂	蹂
7200	茵	茵	茵	茵	茵	茵	茵	茵	茵	茵	7450	衤	衤	衤	衤	衤	衤	衤	衤	衤	衤	7700	蹇	蹇	蹇	蹇	蹇	蹇	蹇	蹇	蹇	蹇
7210	茯	茫	茫	茫	茫	茫	茫	茫	茫	茫	7460	袍	袍	袍	袍	袍	袍	袍	袍	袍	袍	7710	蹇	蹇	蹇	蹇	蹇	蹇	蹇	蹇	蹇	蹇
7220	莫	莎	莎	莎	莎	莎	莎	莎	莎	莎	7470	裝	裝	裝	裝	裝	裝	裝	裝	裝	裝	7720	蹇	蹇	蹇	蹇	蹇	蹇	蹇	蹇	蹇	蹇
7230	良	菴	菴	菴	菴	菴	菴	菴	菴	菴	7480	裋	裋	裋	裋	裋	裋	裋	裋	裋	裋	7730	舛	舛	舛	舛	舛	舛	舛	舛	舛	舛
7240	常	長	長	長	長	長	長	長	長	長	7490	褸	褸	褸	褸	褸	褸	褸	褸	褸	褸	7740	軾	軾	軾	軾	軾	軾	軾	軾	軾	軾
7250	林	葭	葭	葭	葭	葭	葭	葭	葭	葭	7500	襦	襦	襦	襦	襦	襦	襦	襦	襦	襦	7750	輶	輶	輶	輶	輶	輶	輶	輶	輶	輶
7260	蒂	葩	葩	葩	葩	葩	葩	葩	葩	葩	7510	覈	覈	覈	覈	覈	覈	覈	覈	覈	覈	7760	輶	輶	輶	輶	輶	輶	輶	輶	輶	輶
7270	蒿	蒹	蒹	蒹	蒹	蒹	蒹	蒹	蒹	蒹	7520	覺	覺	覺	覺	覺	覺	覺	覺	覺	覺	7770	辭	辭	辭	辭	辭	辭	辭	辭	辭	辭
7280	芳	蔡	蔡	蔡	蔡	蔡	蔡	蔡	蔡	蔡	7530	訃	訃	訃	訃	訃	訃	訃	訃	訃	訃	7780	近	近	近	近	近	近	近	近	近	近
7290	蓼	蓼	蓼	蓼	蓼	蓼	蓼	蓼	蓼	蓼	7540	詒	詒	詒	詒	詒	詒	詒	詒	詒	詒	7790	迢	迢	迢	迢	迢	迢	迢	迢	迢	迢

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
7800	遏	遏	遏	遏	遏	遏	遏	遏	遏	遏	8050	鮑	鮑	鮑	鮑	鮑	鮑	鮑	鮑	鮑	鮑	8300	鵠	鵠	鵠	鵠	鵠	鵠	鵠	鵠	鵠	鵠
7810	遞	遞	遞	遞	遞	遞	遞	遞	遞	遞	8060	鞋	鞋	鞋	鞋	鞋	鞋	鞋	鞋	鞋	鞋	8310	鵠	鵠	鵠	鵠	鵠	鵠	鵠	鵠	鵠	鵠
7820	邊	邊	邊	邊	邊	邊	邊	邊	邊	邊	8070	鞣	鞣	鞣	鞣	鞣	鞣	鞣	鞣	鞣	鞣	8320	鵠	鵠	鵠	鵠	鵠	鵠	鵠	鵠	鵠	鵠
7830	鄂	鄂	鄂	鄂	鄂	鄂	鄂	鄂	鄂	鄂	8080	韶	韶	韶	韶	韶	韶	韶	韶	韶	韶	8330	鵠	鵠	鵠	鵠	鵠	鵠	鵠	鵠	鵠	鵠
7840	酥	酥	酥	酥	酥	酥	酥	酥	酥	酥	8090	顏	顏	顏	顏	顏	顏	顏	顏	顏	顏	8340	鵠	鵠	鵠	鵠	鵠	鵠	鵠	鵠	鵠	鵠
7850	醪	醪	醪	醪	醪	醪	醪	醪	醪	醪	8100	顛	顛	顛	顛	顛	顛	顛	顛	顛	顛	8350	鵠	鵠	鵠	鵠	鵠	鵠	鵠	鵠	鵠	鵠
7860	釵	釵	釵	釵	釵	釵	釵	釵	釵	釵	8110	飢	飢	飢	飢	飢	飢	飢	飢	飢	飢	8360	點	點	點	點	點	點	點	點	點	點
7870	鈕	鈕	鈕	鈕	鈕	鈕	鈕	鈕	鈕	鈕	8120	餞	餞	餞	餞	餞	餞	餞	餞	餞	餞	8370	鵠	鵠	鵠	鵠	鵠	鵠	鵠	鵠	鵠	鵠
7880	鉤	鉤	鉤	鉤	鉤	鉤	鉤	鉤	鉤	鉤	8130	餞	餞	餞	餞	餞	餞	餞	餞	餞	餞	8380	鵠	鵠	鵠	鵠	鵠	鵠	鵠	鵠	鵠	鵠
7890	鉤	鉤	鉤	鉤	鉤	鉤	鉤	鉤	鉤	鉤	8140	馮	馮	馮	馮	馮	馮	馮	馮	馮	馮	8390	鵠	鵠	鵠	鵠	鵠	鵠	鵠	鵠	鵠	鵠
7900	鉤	鉤	鉤	鉤	鉤	鉤	鉤	鉤	鉤	鉤	8150	駟	駟	駟	駟	駟	駟	駟	駟	駟	駟	8400	堯	堯	堯	堯	堯	堯	堯	堯	堯	堯
7910	鉤	鉤	鉤	鉤	鉤	鉤	鉤	鉤	鉤	鉤	8160	驅	驅	驅	驅	驅	驅	驅	驅	驅	驅											
7920	鑄	鑄	鑄	鑄	鑄	鑄	鑄	鑄	鑄	鑄	8170	驢	驢	驢	驢	驢	驢	驢	驢	驢	驢											
7930	鑄	鑄	鑄	鑄	鑄	鑄	鑄	鑄	鑄	鑄	8180	體	體	體	體	體	體	體	體	體	體											
7940	鑄	鑄	鑄	鑄	鑄	鑄	鑄	鑄	鑄	鑄	8190	髻	髻	髻	髻	髻	髻	髻	髻	髻	髻											
7950	鑄	鑄	鑄	鑄	鑄	鑄	鑄	鑄	鑄	鑄	8200	髻	髻	髻	髻	髻	髻	髻	髻	髻	髻											
7960	閏	閏	閏	閏	閏	閏	閏	閏	閏	閏	8210	閏	閏	閏	閏	閏	閏	閏	閏	閏	閏											
7970	閏	閏	閏	閏	閏	閏	閏	閏	閏	閏	8220	魴	魴	魴	魴	魴	魴	魴	魴	魴	魴											
7980	關	關	關	關	關	關	關	關	關	關	8230	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓											
7990	陟	陟	陟	陟	陟	陟	陟	陟	陟	陟	8240	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓											
8000	陟	陟	陟	陟	陟	陟	陟	陟	陟	陟	8250	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓											
8010	險	險	險	險	險	險	險	險	險	險	8260	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓											
8020	雋	雋	雋	雋	雋	雋	雋	雋	雋	雋	8270	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓											
8030	霽	霽	霽	霽	霽	霽	霽	霽	霽	霽	8280	鸛	鸛	鸛	鸛	鸛	鸛	鸛	鸛	鸛	鸛											
8040	霽	霽	霽	霽	霽	霽	霽	霽	霽	霽	8290	鸛	鸛	鸛	鸛	鸛	鸛	鸛	鸛	鸛	鸛											

エラーコード一覧表

通信エラーが発生すると、送信/受信結果レポートや通信管理レポートには、次のようなエラーコードが記録されます。



参考

通信速度の設定によっては、エラーコードの「U」は「E」で表示されます。

エラーコード	原因および処置方法
話し中	設定されている回数の自動リダイヤルが行われたにもかかわらず、相手先と回線がつながりません。もう一度送信してください。
キャンセル	送信中に、送信の中止操作を行ったため、送信が中止されました。 受信中に、受信の中止操作を行ったため、受信が中止されました。
U00300	送信中に相手機側(受信側)で用紙がなくなっています。相手先を確認してください。
U00430 - U00462	相手先からの受信の際に、回線はつながったが相手機側(送信側)と通信機能に不一致があったため、受信が中断されました。
U00601 - U00690	本機のトラブルにより、通信が中断されました。もう一度送信または受信してください。
U00700	相手機側のトラブルにより、通信が中断されました。相手先を確認してください。
U00800 - U00811	正しく送信できなかったページがあります。もう一度送信してください。 それでも解決しない場合は、送信開始速度を下げてもう一度送信してください。 参考 通信エラーが頻繁に発生する場合は、システムメニューで送信開始速度の初期設定を変更してください。
U00900 - U00910	正しく受信できなかったページがあります。もう一度受信してください。 参考 通信エラーが頻繁に発生する場合は、システムメニューで受信開始速度の初期値を変更してください。
U01000 - U01097	送信中に通信エラーが発生しました。もう一度送信してください。 それでも解決しない場合は、送信開始速度を下げてもう一度送信してください。 参考 通信エラーが頻繁に発生する場合は、システムメニューで送信開始速度の初期設定を変更してください。
U01100 - U01196	受信中に通信エラーが発生しました。もう一度受信してください。 参考 通信エラーが頻繁に発生する場合は、システムメニューで受信開始速度の初期値を変更してください。
U01400	回線設定でプッシュ回線を選択していたときに登録された#を含むダイヤルをダイヤル(パルス)回線に変更した状態で使用したため、該当する相手先との通信ができませんでした。
U01500	高速の送信速度で送信時、通信エラーになりました。もう一度送信してください。 それでも解決しない場合は、送信開始速度を下げてもう一度送信してください。 参考 通信エラーが頻繁に発生する場合は、システムメニューで送信開始速度の初期設定を変更してください。
U01600	高速の送信速度で受信時、通信エラーになりました。相手先の送信速度を下げた状態で、もう一度送信してもらってください。 参考 通信エラーが頻繁に発生する場合は、システムメニューで受信開始速度の初期値を変更してください。

エラーコード	原因および処置方法
U01700 - U01720	高速の送信速度で送信時、通信エラーになりました。もう一度送信してください。それでも解決しない場合は、送信開始速度を下げてもう一度送信してください。  参考 通信エラーが頻繁に発生する場合は、システムメニューで送信開始速度の初期設定を変更してください。
U01721	高速の送信速度で送信時、通信エラーになりました。相手先に使用した送信速度がないかもしれません。送信開始速度を下げて、もう一度送信してください。
U01800 - U01820	高速の通信速度で受信時、通信エラーになりました。相手先の送信速度を下げた状態でもう一度送信してもらうか、システムメニューで本機の受信開始速度の設定値を下げてください。
U01821	高速の通信速度で受信時、通信エラーになりました。通信で使った通信速度が、本機では対応していない可能性があります。 相手先の送信速度を下げた状態でもう一度送信してもらうか、システムメニューで本機の受信開始速度の設定値を下げてください。
U03000	ポーリング受信を行ったところ、相手先のファクスに原稿がセットされていなかったため、受信できませんでした。相手先を確認してください。
U03200	相手が弊社機である場合に、Fコード掲示板受信を行ったところ、指定したFコード親展ボックスには何も入っていませんでした。相手先を確認してください。
U03300	次の1と2のどちらかが原因でエラーとなりました。相手先を確認してください。 1 相手が弊社機である場合に、ポーリング受信を行ったところ、相手先で送受信制限が設定されており、パスワードが不一致であったため通信が中断されました。 2 相手が弊社機である場合に、Fコード掲示板受信を行ったところ、相手先で送受信制限が設定されており、パスワードが不一致であったため通信が中断されました。
U03400	ポーリング受信を行ったところ、相手先で入力されたパスワードと受信側の自局ファクスIDが一致しなかったため受信が中断されました。相手先を確認してください。
U03500	相手が弊社機である場合に、Fコード掲示板受信を行ったところ、指定したFコード親展ボックスが相手に登録されていませんでした。相手先を確認してください。
U03600	相手が弊社機である場合に、Fコード掲示板受信を行ったところ、指定したFコードパスワードが一致しなかったため受信が中断されました。相手先を確認してください。
U03700	Fコード掲示板受信を行ったところ、相手にFコード掲示板通信機能がありませんでした。または、どの原稿受渡しボックス(Fコード親展ボックス)にも原稿が入っていませんでした。
U04000	相手が弊社機である場合に、Fコード親展ボックスに原稿を送信しようとしたところ、指定したボックスが相手に登録されていませんでした。または、転送条件のサブアドレスが一致しませんでした。
U04100	相手先の原稿受渡しボックス(Fコード親展ボックス)に原稿を送信しようとしたところ、相手に対応する機能がありませんでした。または、転送条件のサブアドレスが一致しませんでした。
U04200	暗号送信を行ったところ、指定したボックスが登録されていなかったため、送信が中断されました。
U04300	暗号送信を行ったところ、相手先のファクスには暗号通信機能がなかったため、送信が中断されました。
U04400	暗号送信を行ったところ、暗号鍵が不一致であったため、送信が中断されました。
U04500	暗号受信を行ったところ、暗号鍵が不一致であったため、受信が中断されました。
U05100	送信を行ったところ、本機に送信制限が設定されており、そのために必要な通信条件を満足しなかったため、送信が中断されました。相手先を確認してください。
U05200	相手先から原稿が送信されてきましたが、本機に受信制限が設定されており、そのために必要な通信条件を満足しなかったため、受信が中断されました。
U05300	送信を行ったところ、相手先側で受信制限が設定されており、そのために必要な通信条件を満足しなかったため、相手先側から受信を拒否されました。相手先を確認してください。
U14000	ファクスボックスへの受信が行われましたが、本機のメモリーオーバーにより受信が中断されました。メモリー内に蓄積(記憶)されている原稿を印刷しメモリーに空きを作るか、ファクスボックスでの受信を中止してください。

エラーコード	原因および処置方法
U14100	相手機が弊社機である場合に、相手先ファクスボックスまたはFコードボックスへの送信を行ったところ、相手機のメモリーオーバーにより送信が中断されました。相手先を確認してください。
U19000	代行受信が行われましたが、本機のメモリーオーバーにより受信が中断されました。メモリー内に蓄積(記憶)されている原稿を印刷しメモリーに空きを作ってから、もう一度受信してください。
U19100	送信を行ったところ、相手先のファクスのメモリーオーバーにより送信が中断されました。相手先を確認してください。
U19300	送信中にデータに異常が発生し、送信が中断されました。もう一度送信してください。
1101	iファクス送信できませんでした。 Command Center RXでSMTPサーバーのホスト名を確認してください。
1102	iファクス送信できませんでした。 Command Center RX の設定を確認してください。 - SMTP のログインユーザー名またはログインパスワード - POP3 のログインユーザー名またはログインパスワード
1104	iファクス送信できませんでした。 iファクスの宛先を確認してください。  参考 ドメイン制限で拒否されている場合は送信できません。
1105	iファクス送信できませんでした。 Command Center RXでi-FAXを[オン]にしてください。
1106	iファクス送信できませんでした。 Command Center RXでSMTPの差出人アドレスを確認してください。
2101	iファクス送信できませんでした。 ネットワークとCommand Center RXの設定を確認してください。 - ネットワークケーブルの接続 - ハブの動作 - サーバーの状態 - POP3ユーザーのPOP3サーバー名 - SMTPサーバー名
2102 2103	iファクス送信できませんでした。 ネットワークを確認してください。 - ネットワークケーブルの接続 - ハブの動作 - サーバーの状態
2204	iファクス送信できませんでした。 Command Center RXのSMTP設定でメール送信のサイズ制限を確認してください。
3101	iファクス送信できませんでした。 送信元および送信先の認証方法を確認してください。
3201	iファクス送信できませんでした。 送信先のSMTPユーザー認証方法を確認してください。

一覧表に無いエラーが表示された場合は、本体の使用説明書を参照してください。

索引

数字

2in1受信 6-42

E

ECM通信 2-9, 3-8

F

Fコード通信 3-8, 4-38
 Fコードサブアドレス 4-38
 Fコードパスワード 4-38
 受信のしかた 4-40
 送信のしかた 4-38
 F ネット無鳴動受信 6-22
 Fコード掲示板通信 4-43, 10-6
 Fコード送信ができない 10-5
 Fコード中継同報通信 4-19, 10-6

I

i-ファクス件名/本文 8-11

N

Network FAX
 ドライバーのインストール 9-6
 Network FAXについて 9-1
 基本的な送信の方法 9-9
 受信の流れ 9-2
 セットアップ 9-3
 送信の流れ 9-2
 ファクス設定タブ 9-12

あ

宛先確認画面について 5-12
 アドレス帳 2-6
 宛先選択 3-18
 アドレス帳の種類の変更 2-6
 検索 3-19
 新規登録 2-6
 変更/削除 3-20
 リストの出力 2-15
 暗号通信 3-8, 6-35, 10-5
 暗号鍵 6-35
 暗号鍵の登録 6-36
 暗号鍵の変更/削除 6-37
 暗号鍵番号 6-35
 受信側の操作方法 6-39
 送信側の操作方法 6-37

い

一括送信 4-3
 印刷されない 10-5
 インターネットファクスキット 7-2
 インターネットファクスについて 8-1
 Command Center RX 8-5
 受信 8-13
 使用上の注意 8-3
 送信 8-8

え

エラーコード一覧表 11-30
 エンターキー 3-2

お

音設定
 ファクススピーカー設定 2-2
 ファクスモニター設定 2-2
 音量調整 6-14

か

解像度 3-9
 拡張アドレス帳 2-6
 拡張メモリー 7-5
 各部の名称とはたらき 1-1
 画質 3-9
 簡単設定画面 3-25
 登録できる機能 3-25
 登録変更のしかた 3-26
 簡単セットアップ(ファクスのセットアップ) 2-2
 管理機能 4-53

き

機械を設置する際のご注意 ix
 許可ID番号
 登録 6-32
 変更/削除 6-33
 許可ファクス番号
 登録 6-28
 変更/削除 6-29
 拒否ファクス番号
 登録 6-30
 変更/削除 6-31

く

区点コード表 11-24

け

原稿
 片面/両面選択 4-56
 原稿サイズ混載 4-56
 原稿サイズ選択 4-56
 原稿セット向き 4-56
 サイズについて xi
 原稿送り装置 1-4

原稿のセット 3-6, 8-8

し

自局情報 6-5
 自局ファクスID 2-2
 自局ファクス番号 2-2
 自局名 2-2, 6-4
 時刻 2-4
 自動受信 3-13
 自動送信 3-4
 縮小/拡大 4-56
 縮小受信 6-40
 受信サイズと印刷用紙優先順位 11-21
 受信できない 10-5
 受信日時記録 6-18
 受信方式 6-17
 受信用紙種類 6-19
 出荷時設定値一覧表 11-18
 手動受信 4-15, 6-17
 手動送信 4-14
 ショートカット 3-27
 登録 3-27
 変更と削除 3-28
 仕様 11-12
 使用禁止時間 6-44
 使用前の準備 2-1

そ

操作パネル 1-2
 送受信制限 6-27
 許可ID番号 6-32
 許可ファクス番号 6-28
 拒否ファクス番号 6-30
 受信拒否条件 6-27
 受信制限設定 6-34
 前提条件 6-27
 送信制限設定 6-34
 通信成立条件 6-27
 送信開始速度 2-9, 3-8
 送信サイズ選択 4-56
 送信状況 3-11
 送信できない 10-5
 送信控え印刷 4-58
 送信控え保存 4-58
 送信予約 4-10

た

代行受信 3-13, 10-5
 タイマー送信 4-3
 即時送信 3-15
 中止 3-15
 ダイヤルイン 6-23
 ダイレクトSMTP 8-2
 ダイレクト送信 3-4, 3-5
 中止 3-16
 短縮キー 3-3

ち

チェーンダイヤル 4-12
 注意表示 iii
 中止
 送/受信の中止(通信の切断) 3-16
 タイマー送信の中止 3-15
 ダイレクト送信の中止 3-16
 ポーリング送信/Fコード掲示板送信の中止 3-17
 メモリー転送の中止 3-17
 メモリ送信の中止 3-15
 長尺原稿 4-2

つ

通信結果/登録の確認 5-2

て

手差しトレイ受信 6-21
 電源を切るときの注意 10-3
 電話回線 6-2
 電話回線の設定 2-2

と

同報送信 4-7
 トラブルが発生した場合 10-5

の

濃度 3-8

は

排紙先の設定 6-45
 発信元記録の選択 2-2, 6-3
 ハンドセット 7-3

ひ

日付 2-4

ふ

ファクス/電話自動切替受信 6-9, 6-17
 ファクス/留守番電話自動切替受信 6-11, 6-17
 ファクス専用自動受信 3-13, 6-17
 ファクス番号
 テンキー入力の禁止 4-52
 ファクスボックス 4-32, 10-6
 確認 4-36
 登録 4-32
 ファイル名の変更 4-36
 ファクスボックスからの印刷 4-34
 ファクスボックスからの削除 4-35
 ファクスボックスリスト 4-37
 プレビュー 4-36
 変更/削除 4-33

部門管理 4-53
制限 4-54
対象となる通信形態 4-53
内容 4-53
ログイン 4-55

プレビュー
送信 3-23
ファクスボックス 4-36
ポーリングボックス 4-51
プログラムダイヤル 4-41, 4-42
登録 4-41
変更/削除 4-41

へ
ベル回数 6-13

ほ
ポーリング通信 4-43
Fコード掲示板通信 4-43
確認 4-50
ファイル名の変更 4-50
プレビュー 4-51, 4-52
ポーリング受信 4-46, 10-6
ポーリング送信 4-43
ポーリングボックスからの印刷 4-48
ポーリングボックスからの削除 4-48
本体(名称) 1-3

ま
マルチポート 7-5

め
メール通知
受信結果通知 5-11
ジョブ終了通知 4-58
メッセージ 10-4
メニュー構成一覧 11-13
メモリー送信 3-4
中止 3-15
メモリー転送 4-18, 10-5, 10-6
Command Center RX 4-30
解除 4-26
詳細設定 4-26
転送条件 4-18
転送設定(条件ごと) 4-22
転送設定(すべて転送する) 4-20
転送の種類 4-18

も
文字の入力 11-2
入力画面 11-4
入力方式 11-2
入力文字 11-3
文字変換 11-7, 11-10

ゆ
ユーザー管理 4-53
内容 4-53
ログイン 4-54

よ
用紙サイズについて xi

ら
ランプ 10-2

り
リダイヤル 3-22
回数の変更 6-16
リモート切替機能 4-16, 10-5
使いかた 4-17
登録 4-16
リモート診断 6-43
両面受信 6-41
履歴 5-3
印刷ジョブ履歴 5-4
詳細情報 5-5
ジョブ履歴画面 5-3
送信ジョブ履歴 5-4
保存ジョブ履歴 5-5

れ
レポート
送信前に中止されたジョブのレポート 5-8
受信結果レポート 5-8
ステータスページ 5-10
送信結果レポート 5-7
通信管理レポート 5-9
ファクスボックスリスト 4-37
連続読み込み 4-57

わ
枠消し 4-57
割り込み送信 4-11
ワンタッチキー 2-16
宛先選択 3-21
新規登録 2-16
変更/削除 2-17

**QUALITY
CERTIFICATE**

この製品はすべての品
質管理および最終検査
に合格しました。

お客様相談窓口のご案内

弊社製品についてのお問い合わせは、下記のナビダイヤルへご連絡ください。市内通話料金でご利用いただけます。

京セラドキュメントソリューションズ株式会社 京セラドキュメントソリューションズジャパン株式会社

〒158-8610 東京都世田谷区玉川台2丁目14番9号

<http://www.kyoceradocumentsolutions.co.jp>

お客様
相談窓口



0570-046562

受付時間

● 9:00～17:00

(但し、土曜日、日曜日及び祝日は除く)

市内通話料金でご利用いただけます。